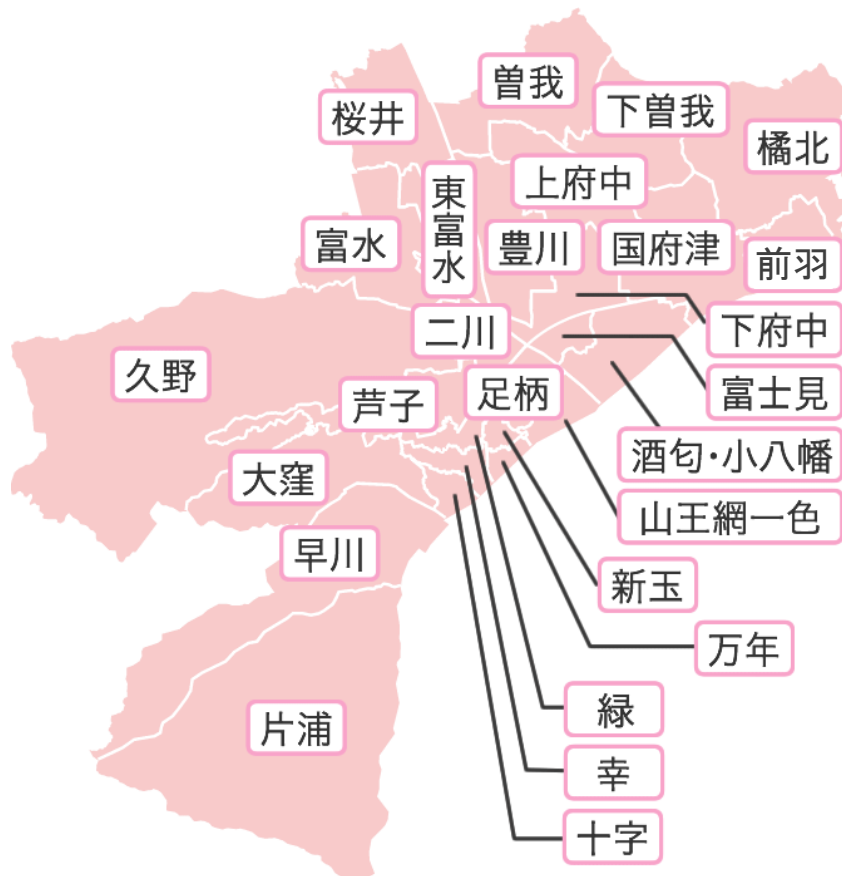


地域別計画

(別冊・平成28年度改定版)



平成29年3月

小田原市

はじめに

平成 21 年度に、新総合計画「おだわら T R Y プラン」と対をなして本市のまちづくりを進めるために、「地域別計画」が策定されました。

この冊子は、当時の 25 地区の自治会連合会の区域ごとに策定した「地域別計画」を、現在の 26 の各地区の地域コミュニティ組織ごとに見直した改定版です。

今回、策定から 6 年が経過したこと、現在の自治会連合会区域すべての地区において地域の課題を解決する地域コミュニティ組織が設立されたこと、平成 29 年度がおだわら T R Y プランの後期基本計画の初年度であること、という点から、現状と平成 21 年度の計画を照らし合わせながら見直しを行いました。

見直しの中では、地域の「誇れること」、「困ったこと」、「できることから始められること」について、地域の皆様で 1 年以上にわたり話し合いを重ね、改定いたしました。

なお、富士見地区は、下府中地区から平成 25 年度に分離・独立したため、下府中地区の内容を修正して別に編集し、キャッチフレーズ等は新たに作成しております。

また、各地区の地勢や特色は、前回策定時の冊子に掲載されておりますので、合わせてご覧ください。

目次

・	参考資料（市全体の人口と世帯数の推移・高齢化の比較）	5
---	----------------------------	---

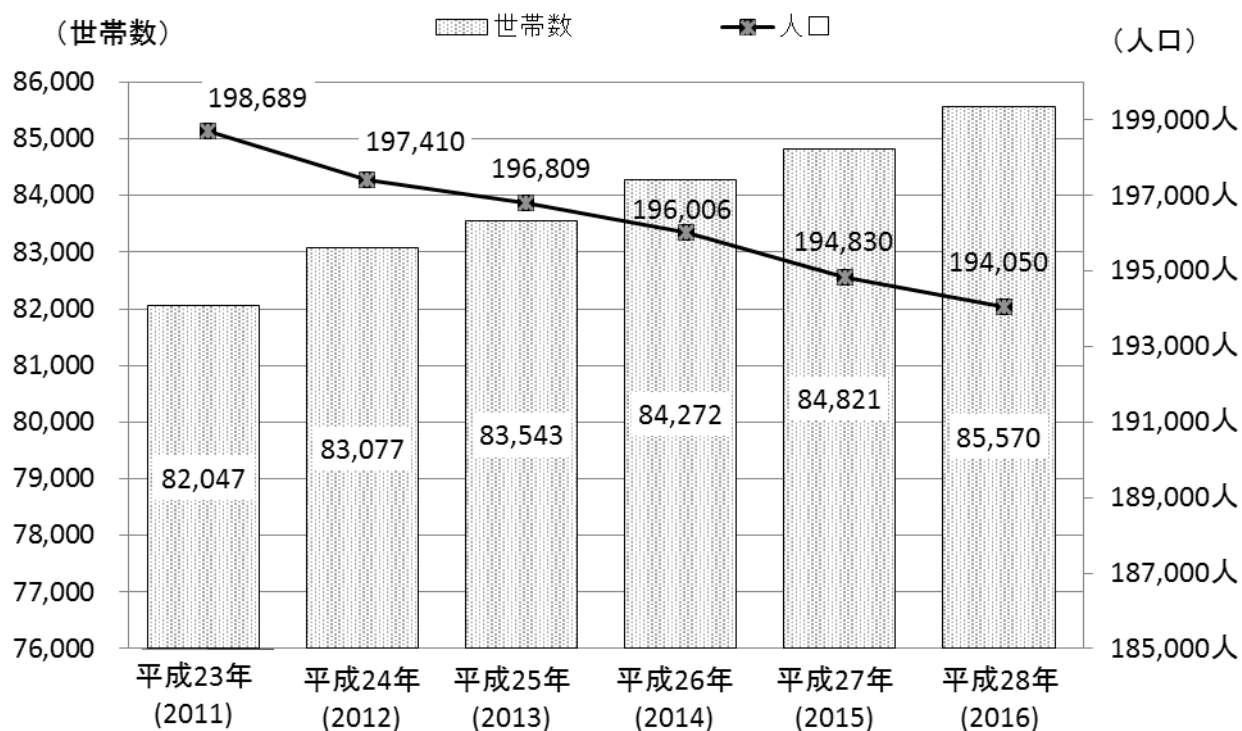
地域別計画

1.	緑地区	7
2.	新玉地区	21
3.	万年地区	29
4.	幸地区	39
5.	十字地区	47
6.	片浦地区	59
7.	早川地区	71
8.	大窪地区	83
9.	山王網一色地区	91
10.	足柄地区	103
11.	芦子地区	113
12.	二川地区	123
13.	久野地区	133
14.	東富水地区	149
15.	富水地区	161
16.	桜井地区	177
17.	酒匂・小八幡地区	187
18.	下府中地区	203
19.	富士見地区	213
20.	豊川地区	225
21.	上府中地区	237
22.	曾我地区	247
23.	下曾我地区	263
24.	国府津地区	271
25.	前羽地区	283
26.	橘北地区	291

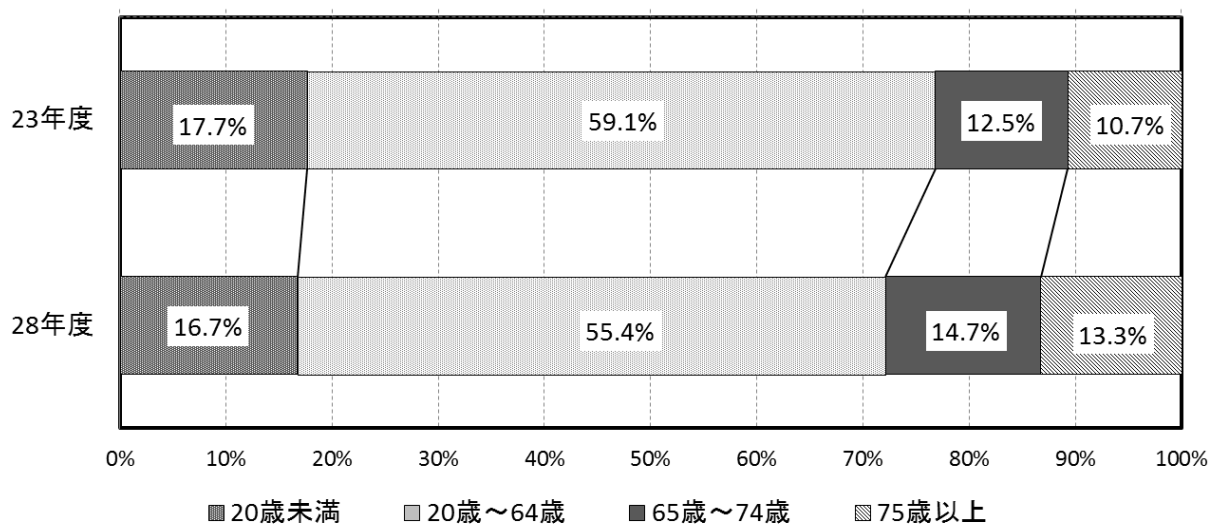
平成21年度の地域別計画では地区の設立順でしたが、今回はエリア順に変更となっております。

参考資料（市全体）

人口と世帯数の推移



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



地域別計画 (平成 28 年度改定)

～ 緑地区 ～

緑地区まちづくり委員会

地域のキャッチフレーズ

小田原の“かお” 歴史と文化のまち “緑”

はじめの一步(住民自ら取り組むこと) ～ できることから始めよう ～

- 1 健康・福祉** なかよしこよし 人に優しいまちづくり
- 2 防災・防犯・交通安全** お互いに声を掛け合えるまちづくり
安全安心なまちをつくりましょう
- 3 環境** グリーンの多い クリーンなまちづくり
ごみのないきれいなまちをつくりましょう
- 4 コミュニティ** 自治会が笑顔を守るまちづくり
ふれあいの輪をもっと広げていきましょう
- 5 子育て・教育** 三世代が学び合えるまちづくり
地域が子どもを育てていきます
- 6 特色あるまちづくり** 歴史を守るまちづくり
自治会と商店が交流を持ちましょう

1 健康・福祉

【めざす姿】

なかよしこよし 人に優しいまちづくり

★誇れるもの ◆困ったこと	できることから始めよう
<p>《情報共有・連携》</p> <p>◆少子高齢化や人口減少が進むとともに、地域に無関心な人が増えてきており、どうやって支えあうかが課題となっています。</p> <p>◆各団体では、様々な活動が実施されていますが、地域内での情報共有がなされていません。自治会と社会福祉協議会の連携が不十分に感じることもあります。</p>	<p>・社会福祉協議会、民生委員、ともしび会などによる月1回の一人暮らし高齢者への配食サービスや在宅福祉サービス、一人暮らし高齢者のリスト作成などを行い、高齢者を支える活動を引き続き実施していきます。緑地区としては見守り活動などに力を入れており、今の活動を続けて、地域の人達と共に声掛けをしていきます。</p> <p>・各団体の長との交流を継続し、各団体間の連絡を密にしていきます。また、会合などに参加して得た情報を共有していきます。</p>
<p>《高齢者と子どもの交流》</p> <p>★敬老会行事は高齢者の交流の場となっており、子ども会から歌のプレゼントをしています。</p> <p>◆夏祭り、ハロウィンなど、イベントに参加することによって交流を図っていますが、お手伝いの人材の確保が課題です。</p>	<p>・敬老会で子どもが小田原囃子の演奏や歌、落語を発表するなど交流は続いているので、今後もお年寄りに喜ばれる演目を検討していきます。高齢者と子どもとの交流を中心に世代間交流を実施していきます。</p> <p>・老人会と子ども会の交流を行っているので、今の状況を継続していけるようにします。</p>
<p>《ラジオ体操》</p> <p>★ラジオ体操を実施しているのは1箇所ですが、継続されています。</p>	<p>・第1区の子ども会が実施している夏休みのラジオ体操を継続していきます。</p>

2 防災・防犯・交通安全

【めざす姿】

お互いに声を掛け合えるまちづくり 安全安心なまちをつくりましょう

★誇れるもの ◆困ったこと	できることから始めよう
<p>《防災》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆年に1回防災訓練を行っていますが、参加者は固定されており、災害に対する備えが十分とはいえません。 ◆高齢化が進んでいるほか、通勤、通学、買い物客などの流入人口が多い地域のため、災害時に対応できるか不安です。 ◆自治会区域と小学校学区が異なるため、避難場所が2つに分かれてしまいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地区、新玉地区防災訓練などを通じて、防災に対する意識を高め、災害時に対応できる体制をつくっていきます。 ・年に一度でも訓練をしておけば、いざという時に役立つと考え、防災については自治会の会合などで常に話題にあげ、参加協力し、多くの方に呼びかけていきます。 ・災害時要援護者を地域で支えていくため、行事を通じての交流を継続するとともに、ネックとなっている個人情報の取扱いについて検討していきます。 ・回覧などでより多くの住民へ防災訓練の参加を呼びかけるとともに、就業者、来訪者、観光客など住民以外の防災対策を検討していきます。 ・若年層の無関心が目立つため、呼びかけを継続し、青少年がボランティアとして、救援活動などに参加するような意識づくりをしていきます。

★誇れるもの ◆困ったこと	できることから始めよう
<p>《防犯・交通安全》</p> <p>◆うらちょう商店街が再結成され、防犯カメラが設置されました。</p> <p>◆竹の花ではアーケード撤去により歩道が暗くなり、防犯に対して不安があります。</p> <p>◆地域の安全を守るため、中学・高校の近くは明るくし、週1回や月1回など登下校時のパトロールや見守りが行われている地域がありますが、地区全体に広がっていません。</p> <p>★交通指導員による交通安全の講習会を年1回程度行っています。</p> <p>★町内歳末夜警は以前より減りましたが、第5区自治会など継続されている地域もあります。</p> <p>★商店街の客引き行為に対しては地区全体で対策に取り組んでいます。</p>	<p>・商店街と地域が協力して防犯カメラを設置することで明るい環境を確保していますが、さらなる防犯カメラの設置を考えていきます。</p> <p>・老人会や子ども会（特に朝）などのパトロールを継続、強化していくとともに、各組織で行われているパトロールなどの情報交換会を警察と共に定期的に行います。</p> <p>・自治会、青少年健全育成会、消防団第1分団などによる防犯パトロールやPTA役員、老人会による登下校時見守り活動、交通指導員による交差点監視、地域の高齢者による児童の登下校時における清掃活動を継続し、地域の安全を守っていきます。また、小学生の通学路に立っての声かけ運動を推進していきます。</p> <p>・駅前という特殊な地域性を考慮した指導員による年1回程度の交通安全教室を継続し、充実していくことを検討します。</p>

3 環境

【めざす姿】

グリーンの多い クリーンなまちづくり ごみのないきれいなまちをつくりましょう

★誇れるもの ◆困ったこと	できることから始めよう
<p>《環境整備》</p> <p>★近くには海や山があり、空気がきれいで、春になるとお城周辺の桜に誘われ多くの人で賑わう地域です。また、行事の開催が多く、多数の買物客、観光客の方々が訪れる地域です。</p> <p>◆北條五代祭り、ツーデーマーチの前には三の丸小学校と城山中学校の児童・生徒がイベント実施範囲の清掃をしてくれていますが、大人を取り込むことが課題です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事でのごみ拾い、地域住民による美化清掃、駅前や海岸の清掃活動、ごみ集積場の管理、環境美化推進による落書き消しなど、各種団体や個人での清掃活動を継続実施し、一人ひとりが意識を持ってまちをきれいにすることで、良好な生活環境を保持していきます。 ・観光都市、また市街地としての自覚を持ち、環境に対して積極的にPRしていきます。 ・城山地区では年2回道端の花を植えるなど、緑化に対する意識を高めていきます。また、錦通りでは街路樹が植えられる計画があるので関心を持っていきます。
<p>《タバコ》</p> <p>◆指定喫煙所があり、歩きタバコが禁止され、道路でのポイ捨てがなくなった一方で、信号の待ち時間のタバコのまとめ捨てがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要と思われる場所に灰皿、ごみ箱などの設置をしていますが、設置がない場所や、灰皿が破損している場所があるので補充を図っていきます。また、設置場所については観光客などからの見た目にも配慮し、検討していきます。 ・道路を綺麗にすることにより、信号待ち時間のタバコのまとめ捨てがされない環境作りにつとめていきます。

★誇れるもの ◆困ったこと	できることから始めよう
<p>《ごみ出し、ペットの糞》</p> <p>★ごみ集積場は周辺住民が清掃しており、ほうきも要望があれば自治会で用意しています。</p> <p>◆他地区からの投棄、指定外のごみを置いていくということが目立ちます。</p> <p>◆ペットの糞の放置は看板設置により、大分改善されてきた一方で、現状としては多い場所もあります。</p> <p>◆防犯カメラは有効なので設置したくても、費用負担がネックになり実施に進めないこともあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店などが多いことから、ごみの管理不十分が目立つので、ネットの確保をしていきます。また、生ごみはごみバケツに入れて捨てるなど、地域の特性にあったごみ出しに関するルールづくりを検討していきます。 ・各自が収集日の朝にごみ出しをすること、網をしっかりとかけることでずいぶんよくなると思うので推進していきます。一方で、道路にネットがあるのはあまり美しくはないという意見もあります。 ・ペットの糞の始末をしない人や野良猫などにえさを与えている人に対し、環境パトロールの中で注意していきます。 ・商店街で設置している防犯カメラが、落書きやごみの持込などの抑止力となっています。不法投棄が多い場所には注意看板を立て、ごみを捨てにくい環境を作っていきます。

4 コミュニティ

【めざす姿】

自治会が笑顔を守るまちづくり ふれあいの輪をもっと広げていきましょう

★誇れるもの ◆困ったこと	できることから始めよう
<p>《地域交流》</p> <p>★神社の祭典や健民祭、子ども会行事が盛んで、団結力のある地域です。松原神社、大稲荷神社の祭典やしろやま商店会の夏祭りでは子ども神輿を出して木遣りを打つなど、祭典を子どもも大人も楽しんでおり、神輿を担ぐ人が多く、関心度が強くなりました。</p> <p>◆世帯数の減少や少子化、核家族化に加え、ライフスタイルの変化や価値観の多様化により、地域に無関心な人が増えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・松原神社、大稲荷神社の祭典をはじめ、夏祭り、稲荷講、風の盆踊り、氷彫刻技術コンクール、ハロウィン、クリスマス、どんど焼き、節分、朝市、公民館活動などを自治会、商店会、青年部、子ども会の参加により充実した自治会活動を展開しているので、このまま続けていきます。 ・木遣りにはより多くの子どもの参加するように楽しいお神輿にしていきます。 ・夏祭り、ハロウィン等、自治会、商店会、子ども会と協力し、行灯を作って盛り上げているので、町内全員に参加を促していきます。 ・自治会行事を盛り上げるため、自治会において地区ごとの年間カレンダーを作り情報を共有していきます。また、学校に対し地域行事への配慮や協力を求めています。 ・まちづくり委員会で発行している地域イベントカレンダーを活用していきます。 ・回覧板での参加を促し、地域の横のつながりをつくり、楽しい行事に参加するよう声かけをしていきます。
<p>《担い手》</p> <p>◆例年開催している行事に関しては、協力者がいますが、自治会や各種団体の組員などの人材の高齢化や不足が見られ、参加者が少なく、担い手不足が問題となっており、こうした活動をさらに盛り上げていくことが難しくなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会運営の担い手を増やすため、マンション建設時に自治会（特に防災時）の必要性を説明し、人数は少ないが入会していただいているので、今後も声掛けをして、加入を勧めていきます。 ・担い手の高齢化が目立ち、地域活動の担い手不足が顕著となることが想定されるため、若い人の参加を促し、人材確保を考えていきます。

5 子育て・教育

【めざす姿】

三世代が学び合えるまちづくり

★誇れるもの ◆困ったこと	できることから始めよう
<p>《教育機関》</p> <p>★幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、専門学校と全て揃っており、また、学校間や地域との連携がとれている文教地区です。</p> <p>◆学校教育にスクールボランティア、図書ボランティアなどの形で協力していますが、地域の人がどのような知識や技能をもっているのか十分に把握できていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・城山中学校のバザーではクイズを行うなど、教職員も協力して、来場者を楽しませる工夫をしています。盛んなPTA活動をより一層充実させるため、バザーをしながら借り物競争や宝物探しをあわせて行うなど、さらにひと工夫入れた活動が展開できないか検討していきます。 ・育成会と協力し、地域密着型の活動を進めていきます。

【めざす姿】

地域が子どもを育てていきます

★誇れるもの ◆困ったこと	できることから始めよう
<p>《子ども会》</p> <p>★お祭、健民祭等を通し、地域、家庭、学校の連携が非常に良くとれています。また、自治会、商店会、子ども会が一つにまとまっており、住民間の声かけができています。</p> <p>◆子ども会は8自治会中4自治会が休会中です。</p> <p>★5区子ども会では新入生、卒業生歓送迎会等の行事を保護者だけではなく、自治会回覧して一般参加を求めています。</p>	<p>・自治会や子ども会によるバザーやキャンプ、ハロウィンなどのイベントを通じて、子どもと地域との交流を推進していきます。学校などへ協力参加のお願いも継続していきます。竹花自治会では作品展やハロウィンなどで子どもを巻き込むことに成功しているので、ノウハウを緑地区全体に広められるようにしていきます。</p> <p>・竹の花は商店街でありながら住居併用なので子ども会が充実していますが、他の地域でも地域住民が共に子どもを見守る活動をしていくことで、子ども会の必要性について再構築していきます。</p> <p>・子ども会の活動内容を見直し、加入の促進、合同での活動、合併を検討し、子ども会の魅力を高め、子ども会を残せるよう検討していきます。行事に対しては青少年育成会、社協、体振などが連絡し合い、少人数の子ども会でも行事に参加できるのではないかと考えます。</p> <p>・小学校卒業と同時に地域とのつながりが薄れてしまうため、5区で行っている中学生も含めた子ども会を他地区においても実施することを検討していきます。また、子どもと大人の間の人（中学生など）をつなぐには松原神社、大稲荷神社の祭典が有効と考えます。</p>
<p>《未就学児》</p> <p>★主任児童委員では未就学児支援のための子育てひろば「みどりっこ」を3区公民館で月1回行っており、親同士の交流の場にもなっています。</p> <p>◆地区全体としては未就学児の支援が不十分に感じます。</p>	<p>・緑地区内に住む子ども達だけではなく、親の仕事の関係などで緑地区に通ってきている子ども達の支援を検討していきます。</p>

6 特色あるまちづくり

【めざす姿】

歴史を守るまちづくり

★誇れるもの ◆困ったこと	できることから始めよう
<p>★富士、箱根、伊豆交流圏の玄関口、神奈川県西部地域の中核的な交流拠点である小田原駅が存在しています。</p> <p>◆小田原城をはじめとした観光資源が豊富で老舗が多く点在していますが、時代の流れにより、商店街の活力が失われつつあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北條五代祭り、夏祭りなどへの参加を継続し、観光資源を活かした行事を地域で盛り上げ、地域の良さをアピールしていきます。 ・地域の人に知られていない地域資産をマップにし、子どもたちによる「まちなか探検隊」を実施したり、「ウォークラリー」を実施したり、ツーデーマーチのチェックポイントに活用してもらうよう関係機関に要請するなど、地域の資産をより多くの人に発信していきます。マップなどをより多くの場所に置いてもらえるように検討します。 ・まだ知られていない宝（歴史や文化遺産）を把握し後世に伝承するため、専門家などのアドバイスをいただきながら歴史認識を高めていきます。 ・空き店舗の利用や空地に緑化を進めることにより、気軽に座ったり話をしたりする場所の設置が一部商店街で実施され、改善されている所もあるので、引き続き検討していきます。 ・道路や公共施設についての意見交換の場をもつことを検討していきます。 ・定住人口を増やす努力をし、活力あるまちづくりに取り組んでいきます。

【めざす姿】

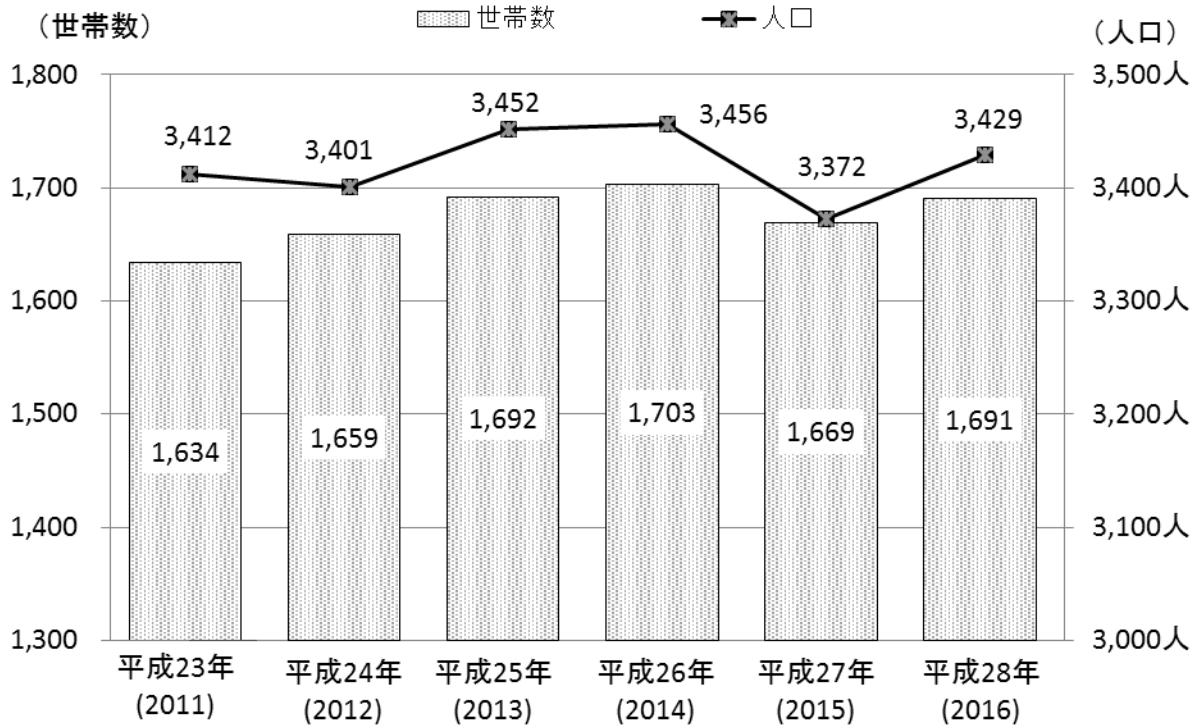
自治会と商店が交流を持ちましょう

★誇れるもの ◆困ったこと	できることから始めよう
<p>《商店会》</p> <p>★商店街で行われている「秋の収穫祭おだわらハロウィン IN 竹の花」は、竹の花商店街のみのイベントから近隣の商店街へと広がりを見せており、約3,000人もの人が参加するイベントで、多くの親子に楽しまれており、他地域の人も多く訪れています。</p> <p>◆10年前には銀座通りと竹の花合同で「小田原知って帖」という冊子を作成しましたが、地域にあまり浸透しておらず、うまく活用されていないのが現状です。</p>	<p>・ハロウィンや夏祭りを継続的に実施し、自治会と商店会などが一体となり、地域の一大イベント化に向けて協力し合ってまちづくりをしていきます。</p> <p>・小田原駅前に商店街マップを設置するなど、商店街を更に盛上げていけるよう検討していきます。</p> <p>・以前、商店街の店先に椅子を置くことをお願いし、少しずつ増えていますが、十分ではないので、さらに椅子を置くことを検討するとともに、老朽化しているものは新しくすることを検討します。</p>
<p>《高齢者との関わり》</p> <p>◆社会との接点が少ないひとり暮らしの高齢者が増えており、活動はしていますが、住居が高台にある場合など、外に出てくるのが難しく、地域の課題となっています。</p>	<p>・高齢者の持っている特技を地域にどのように活かしていきたいか確認し、自治会と商店会などが連携して活躍の場を作り、高齢者の話す機会や交流を促し、呼びかけをしていきます。</p>

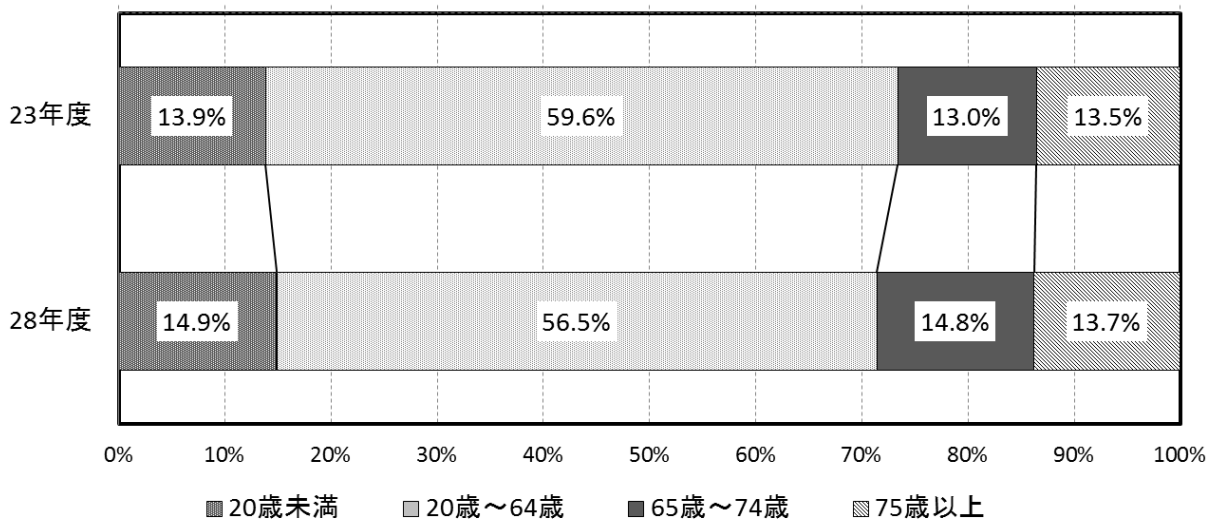
参考資料(緑地区)

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

人口と世帯数の推移



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



緑地区まちづくり委員会における検討経過

平成 28 年 6 月 5 日 地域別計画の見直しについて説明し、見直しシートを配布

9 月 5 日 ・ 11 月 10 日 ・ 1 月 12 日
地域別計画の見直し(案)を元に意見交換

平成 29 年 3 月 13 日 地域別計画平成 28 年度改定(案)の承認

平成29月3月作成

緑地区まちづくり委員会

委員長

高梨 保夫 銀座自治会長（緑地区自治会連合会長）

委員

伊東 秀敏 第 1 区自治会長
栗田 康宏 駅前第 2 区自治会長（小田原駅前東通り商店会長）
松下 弘 第 3 区自治会長
土谷 正光 浦町自治会長
染野 耐 第 4 区自治会長
一寸木 吉久 第 5 区自治会長（緑地区体育振興会長）
高橋 正 竹花自治会長
山口 正隆 緑地区社会福祉協議会長（民生委員）
池田 法枝 緑地区民生委員児童委員協議会（主任児童委員）
岸 廣久 緑地区体育振興会 会計
西島 摩瑛頭 緑地区青少年育成協議会長
池谷 めぐみ 第 1 区子ども会長
坂本 茂 第 5 区子ども会長
藤井 香大 うらちょう商店街会長
磯崎 和彦 おだわら竹の花商店会長
古川 孝昭 小田原錦通り商店街協同組合 理事長
小林 鐵夫 ダイヤ街商店会長
平井 義人 ほっとファイブタウン（中央通り商店会・緑一番街商店会・
小田原銀座商店会・大工町商店会）代表
澤田 君雄 しろやま商店会長
佐々木 康之 防災リーダー（三の丸小学校区）
守屋 富雄 防災リーダー（新玉小学校区）
石井 いく子 緑地区ともしび会長
平井 恵 緑地区健康おだわら普及員
浅岡 綽 緑地区老人クラブ連合会長

地域別計画

(平成28年度改定)

～ 新玉地区 ～

新玉地区まちづくり委員会

地域のキャッチフレーズ

**深めよう!! 安心、安全、地域のふれあい
みんなでつくろう誇りのもてるまちづくり**

はじめの一步(住民自ら取り組むこと) ～ できることから始めよう ～

1 健康・福祉

高齢者や子どもが健康で、ふれあい・コミュニケーションのあるまち

2 防災・防犯

地域全体で顔が見え、安心・安全なまちづくり

3 生活・環境

地域住民が良かったと誇りを持てる住環境の優れたまち

4 文化・教育

和気あいあい、イベントを通じて地域のつながりを深める

1 健康・福祉

【めざす姿】

高齢者や子どもが健康で、 ふれあい・コミュニケーションのあるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>新玉地区においても、少子高齢化や人口減少は進んでおり、高齢者が健康を維持し、いきいきと暮らすことが必要になっています。</p> <p>また、休憩場所やトイレが少ないため、散歩するとき不便だと感じる場合があります。</p>	<p>*各種団体が協力し、ウォーキングや健康体操への参加を呼びかけ、高齢者の健康づくりを推進していきます。</p> <p>*地区内における休憩場所の確保には、学校で使わなくなった椅子を再利用するなどの工夫をし、同時にバリアフリー化や公園の必要性も検討し、住民が住みやすい新玉地区を目指していきます。</p>
<p>子どもから高齢者までがふれあう場や憩える場が必要です。</p>	<p>*子ども会と老人会が協力して、地域の子どもと高齢者がふれあえる行事を行うなどの検討を行っています。</p> <p>*子どもから高齢者にも参加しやすい行事を回覧で呼びかけるなど、健康づくりとふれあいの機会づくりを継続していきます。実施にあたっては、開催場所を各自治会において持ち回りで行うなど、参加しやすい方法を検討しています。</p>
<p>平成26年度から毎月第3火曜日（8月は除く）に、おひさま広場が開催され、子育てに関わる方の憩いの場になっていますが、新玉地区では新生児や乳幼児が少ないのが現状です。</p>	<p>*新玉地区まちづくり委員会でも、乳幼児がいる家庭におひさま広場への参加を呼びかけるなど、参加が増えるための工夫をしています。</p>
<p>地域の行事の中で、健康チェックや健康相談、健康体操などの健康増進のための活動を実施しています。</p>	<p>*新玉スポーツフェスティバルのミニミニ健康デーで実施している、健康相談や健康体操を継続して行い、より多くの方に参加してもらうために小学校とも協力し、さらなるPR活動を行っています。</p> <p>*隣近所で、声かけや誘い合い、新玉地区住民の健康増進を目指していきます。</p> <p>*地域の病院の先生など、専門家に健康相談やアドバイスを継続して行ってもらえるように声掛けを継続して行っています。</p>

<p>高齢者が楽しく、元気に暮らせるよう、高齢者同士の交流を促進するなど、地域全体で支援する必要があります。</p>	<p>* 敬老会、誕生会、手芸教室、健康体操など、高齢者の交流や健康づくりのための活動を継続していきます。</p>
<p>定年年齢の引き上げや働く方も多いので、老人会の加入者が減少しています。</p> <p>また、老人会では多くの事業を実施していますが、地域の高齢者への周知ができていないのが現状です。</p>	<p>* 老人会への加入者を増やすため、自治会としても回覧等で住民への情報提供を行い、老人会の主体的な取り組みに協力していきます。</p>
<p>行政や地域の要請により、民生委員児童委員の活動が多種多様になり、負担が増加してしまっています。</p>	<p>* 民生委員児童委員の業務について、地域のボランティアに協力を要請するなど、負担が偏らないように検討をしていきます。</p> <p>* 個人情報については、個人情報取り扱いのための勉強会を定期的実施していきます。</p>

2 防災・防犯

【めざす姿】

地域全体で顔が見え、安心・安全なまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地域の防災組織はありますが、役割が明確化されていないのが現状です。実際に災害が発生したときに活動ができるような組織と役割分担が必要です。</p>	<p>* 防災訓練を各自治会単位で実施し、より小さい単位での訓練を行うことで、一人ひとりの防災意識を高めていきます。</p> <p>* 新玉小学校学区広域避難所運営委員会を中心に、震災を想定したHUG(避難所運営ゲーム)等を行い、広域避難所開設を想定した訓練の計画をしていきます。</p>
<p>地域の防災訓練では、広域避難所運営委員会と自治会役員が中心に訓練を行っているため、参加者は増加傾向です。</p>	<p>* 訓練は、同じ内容の繰り返しにならないよう、新玉小学校学区広域避難所運営委員会で見直しを行っています。</p>
<p>住民のコミュニケーションが不足しており、世帯構成がわからない家庭も増えています。</p>	<p>* 個人情報の取り扱いについて理解を得るとともに、地域の防災訓練で行っている、安否確認訓練などを継続していき、地域のコミュニケーションの強化と地域内の世帯構成の把握に努めていきます。</p>

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
新玉地区は海岸に近い ため、津波等の自然災害に見舞 われる可能性があります。	* 津波避難経路図の更新や防災チラシの配布を継続 し、災害が起きた時の行動を地域住民に周知して いきます。 * 防災訓練の内容に風水害に対する訓練を取り入れ ることを検討していきます。
交番がなくなり治安の面で 不安であるとともに、街灯が 少ないところもあり、夜にな ると怖さを感じます。	* 防犯灯設置箇所を自治会で協議し、市の制度を活 用して設置し、地域内の危険箇所を減らしてい きます。
新玉地区まちづくり委員会 として、自治会ごとに歳末夜 警パトロールを実施しまし た。	* 毎月1回実施している夜間の防犯パトロール、自 治会ごとに実施する家屋密集地における歳末夜警 パトロール、自治会の会合帰りにおける周辺の見 廻りなどの防犯活動を継続していきます。
新玉地区青少年健全育成協 議会は、PTAと協力し「愛 のパトロール」を月2回実施 しているほか、特別集中指導 も実施し、防犯や青少年の非 行防止に貢献しています。	* パトロールやミニ集会などの行事は参加しやすい 日時を検討し、役員や参加者の負担を軽減してい きます。

3 生活・環境

【めざす姿】

地域住民が良かったと誇りを持てる住環境の優れたまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
まちをきれいに保つため、 環境美化委員による清掃活 動を実施しています。	* 環境美化推進員によるごみステーションの清掃活 動や、ごみ袋に名前を書くようにするなど、環境 美化への取り組みを継続して行っています。
ごみ出しのルールを守り、 まちをきれいに保つ必要があ ります。	* ごみの分別方法を守らない人や、夜間にごみを出 す人がいるので、ごみ出しのルールの啓発を継続 して行います。 * 小学校等とも協力し、ごみ拾いや花壇をつくるな ど地区の環境の整備を検討していきます。

4 文化・教育

【めざす姿】

和気あいあい、イベントを通じて地域のつながりを深める

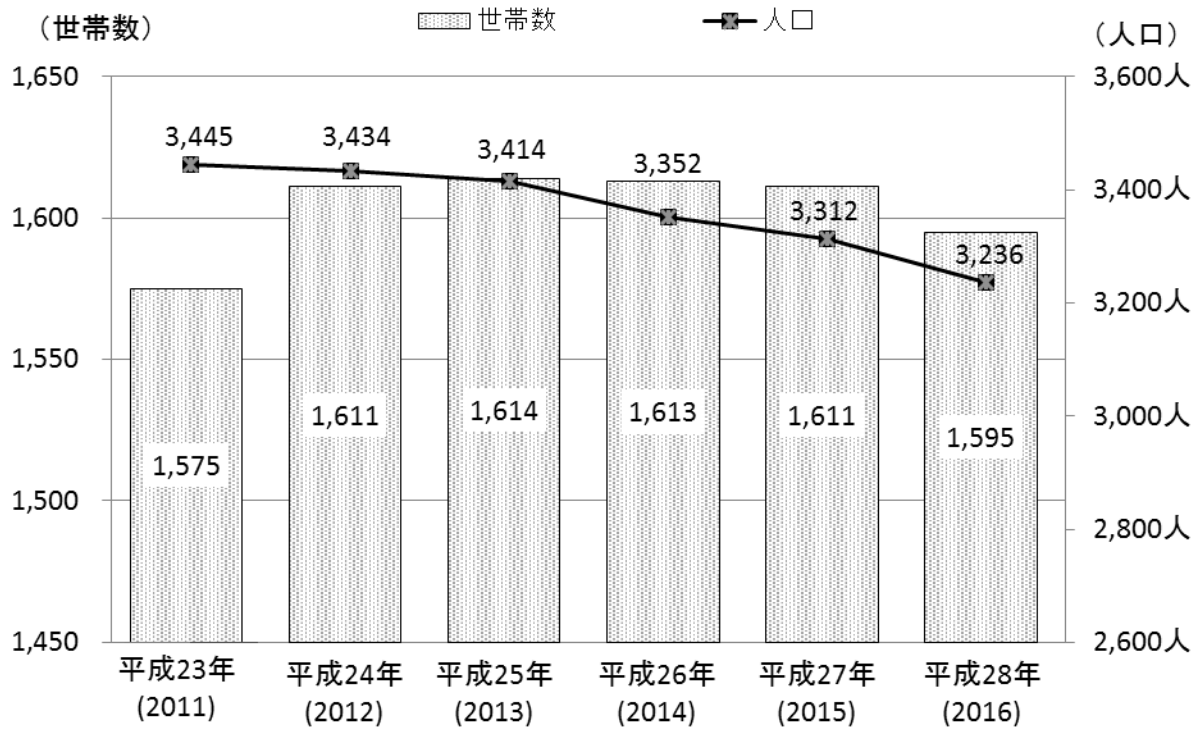
誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>新玉スポーツフェスティバルや5月に実施されている各神社のお祭りは、新玉地区の一大イベントであり、そのような伝統ある行事を通じて、地域の連携が図られています。</p>	<p>* 今後も各行事や各神社のお祭りに、より多くの地域住民に参加してもらえるように各種団体でも参加や周知などの協力をしていきます。</p>
<p>新玉スポーツフェスティバルでは、競技のルールやプログラムを工夫し、子どもから高齢者までの多くの方が参加できるようになっています。</p>	<p>* 新玉スポーツフェスティバルを今後も継続していくとともに、地域をよりもりあげるイベントにするため、今後も学校と地域が協力し、行事内容の見直しを行っていきます。</p>
<p>新玉小学校の行事に地域住民が積極的に協力しています。</p>	<p>* 今後も新玉小学校と各種団体が連携をとり、お互いに協力していきます。</p>
<p>新玉体育協会が中心となり、ペタンクやインディアカ、グラウンドゴルフなどの競技や、新玉スポーツフェスティバル、小田原市市民総合体育大会などのスポーツ活動を行い、「スポーツを通して明るく豊かな社会の形成」を目指しています。</p>	<p>* 今後も新玉体育協会では、地域住民の需要や声に合わせて各行事の内容を検討していき、新玉地区のスポーツ推進に努めていきます。</p>

<p>各種イベントや夏祭りなどは、子どもと保護者の参加が多く、その他の住民の参加は少なくなっています。</p> <p>自治会や子ども会に加入していない世帯の子どもは、地域の行事に参加できないことがあります。</p> <p>子ども会や老人会は会員数が減少傾向にあり、休会している地区もあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> *各種行事への子どもの参加者を増やすために、子ども会が無い地区へも声掛けを行うなど、コミュニケーションをとっていきます。 *各行事のルールや運営方法を見直すなど、できるだけ多くの方が参加できるような環境をつくっていきます。 *自治会未加入世帯に自治会への加入を促す方法を検討していきます。 *自治会や子ども会に加入していない世帯の子どもも地域の行事に参加できるような体制を検討していきます。 *各行事を通して地域を知ってもらい、地域のつながりを深め、子ども会や老人会などの各種団体への入会者を増やす取組をしていきます。
<p>新玉小学校区青少年健全育成協議会では、ミニ集会開催時に様々な団体の方を講師に迎えて講演会を開催したり、各種地域のイベントに参加するなど、地域とのつながりを大切にしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> *青少年の健やかな育ちや非行防止の観点から、青少年健全育成協議会の活動を今後も継続していきます。 *自治会などの各団体が連携し、地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組んでいきます。
<p>新玉小学校では、校庭の芝生化に取り組んでおり、芝生の維持管理に地域住民が参加しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> *校庭の芝生については、地域の方の協力とスポーツチームに使用後の水撒きをしてもらうなど、地域全体で維持管理を行っていきます。

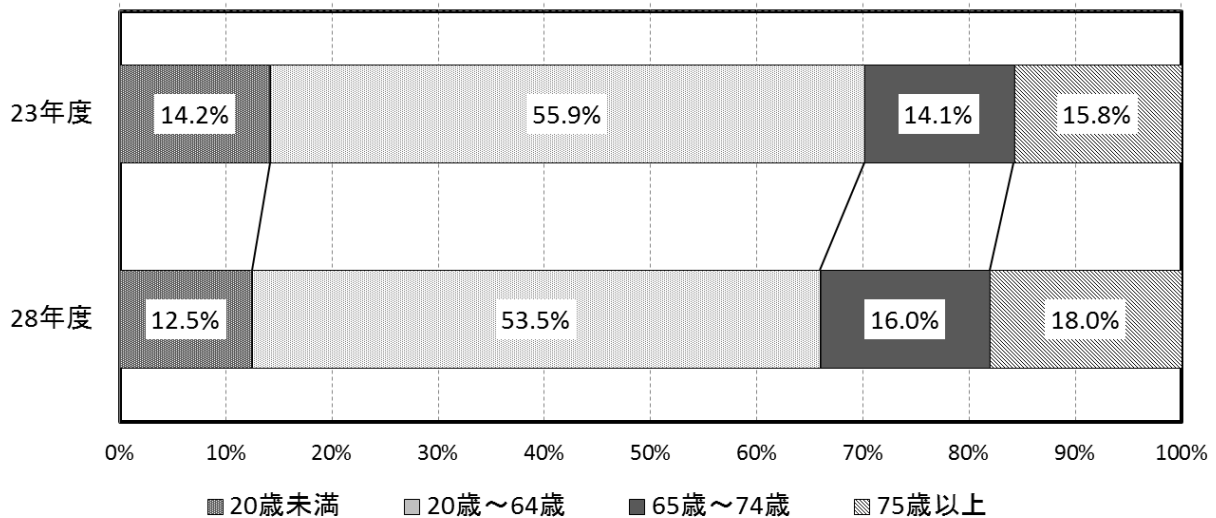
参考資料(新玉地区)

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

人口と世帯数の推移



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



新玉地区まちづくり委員会の検討経過

平成27年度

日付	会議名	内容
7月22日	第2回まちづくり委員会	・地域課題の振り返りについて(地域別計画の見直しの説明)
10月2日	第3回まちづくり委員会	・地域課題の振り返りについて(福祉・健康)
2月9日	第4回まちづくり委員会	・地域課題の振り返りについて(防災・防犯)
3月2日	第5回まちづくり委員会	・地域課題の振り返り(生活・環境/文化・教育)

平成28年度

日付	会議名	内容
8月4日	第2回まちづくり委員会	・地域別計画の見直しの説明
11月9日	第3回まちづくり委員会	・地域別計画の見直し結果(案)を提示 ・修正等の確認
1月19日	第4回まちづくり委員会	・地域別計画平成28年度改定(案)を提示 ・修正等の確認
3月8日	第5回まちづくり委員会	・地域別計画平成28年度改定の承認

新玉地区まちづくり委員会

委員長

飯田 和男 (新玉地区自治会連合会会長・第11区自治会会長)

※平成29年3月現在

副委員長

鳥居 泰一郎 (新玉地区社会福祉協議会会長)
波多野 明夫 (第12区防災リーダー)

委員

市川 幸男 (台宿自治会会長)
吉村 順一 (大工町自治会会長)
井島 幸男 (第9区自治会会長)
土屋 裕利 (第10区自治会会長)
西山 洋一 (第12区自治会会長)
池田 尚文 (第13区自治会会長)
山崎 純一 (新宿自治会会長)
中島 秀子 (新玉地区民生委員児童委員協議会会長)
村山 京子 (第14区民生委員)
山崎 由起子 (主任児童委員)
長谷部 寛子 (主任児童委員)
森田 高一 (小田原市消防団第1分団 団長)
高井 周作 (小田原市消防団第1分団 副団長)
アダムス 澄子 (新玉地区青少年健全育成協議会会長)
川口 幸男 (新玉地区体育協会会長)
戸村 昭一 (第11区防災リーダー)
長澤 貴 (新玉小学校 校長)
遠藤 清子 (新玉小学校 教頭)
米山 満彦 (新玉小学校 P T A)



平成29年3月 作成

地域別計画

(平成 28 年度改定)

～ 万年地区 ～

万年地区まちづくり実行委員会

地域のキャッチフレーズ

旧き良き伝統のまち 万年

はじめの一步 (住民自ら取り組むこと) ～ できることから始めよう ～

- 1 健康・福祉** お年寄りが一人でも元気で安心して暮らせるまち
子どもたちが地域に見守られて明るく育つまち
- 2 防災・防犯** 防災対策が万全で、誰もが安心して住めるまち
犯罪のない、安全で、明るいまち
- 3 生活環境** だれもが住みやすい環境をめざすまち
- 4 文化・教育** 地域の歴史を掘り起こし、伝えていくまち
子どもの交流が広がるまち
- 5 特色ある地域づくり** 人とのつながり・ふれあいを大切にするまち
伝統行事を大切に守って、引き継いでいくまち
地区活動を活発にする組織づくりができるまち

1 健康・福祉

【めざす姿】

お年寄りが一人でも元気で安心して暮らせるまち

★誇れること、◆困っていること	できることから始めよう
<p>★民生委員、社協、自治会が連携して見守りをしている。</p> <p>★近所同士で見守りができている。</p> <p>★緊急時に使える安否確認名簿を作成している。</p> <p>◆マンションに住む高齢者の見守りが難しい。</p> <p>◆一人暮らしの高齢者の把握は、自治会長、民生委員に任せっきりになっている。</p>	<p>・マンションに住む高齢者にも、行事等への参加を促し、顔の見える関係を築いていきます。</p> <p>・個人情報の扱い方についての勉強会をもつなど、名簿等の扱いを活用する方法を模索していきます。</p>
<p>★老人会が自治会からの委託事業に取り組んでいる地域もあり、絆を深めている。</p> <p>★公民館や神社、商店街の縁台等に、高齢者が集まって、会話を楽しんでいる。</p> <p>★社協主催で、地域のつどいやサロンを開催し、参加を呼び掛けている。</p> <p>◆行事に参加する高齢者が固定化されている。</p> <p>◆老人会の会員が減少している。</p>	<p>・公民館を定期的に開放するなど、お年寄りが外に出て、色々な人と会話を楽しむことができる場所をつくっていきます。公民館のない地区では、万年地区内で協力していきます。</p> <p>・高齢者が楽しめる老人会になるよう、組織の充実をめざしていきます。</p> <p>・行事に高齢者にも足を運んでもらえるよう、老人会会員に夏祭り等の食券を配るなど、工夫を続けていきます。</p> <p>・老人会の行事に子ども会、青年会、商店会が携わることによって、地域のつながりをさらに強化していきます。</p>

【めざす姿】

子どもたちが地域に見守られて明るく育つまち

★誇れること、◆困っていること	できることから始めよう
<p>★登校時のパトロールや交通安全指導を行っている。</p>	<p>・子ども会と協力をし、地域で子どもを育てる意識を醸成していきます。</p>

<p>◆核家族化が進み、子どもの数が減少している。</p> <p>◆子どもの数の減少により、将来の地域運営に不安を感じる。</p> <p>◆地域行事を通じて、子どもたちとの交流を図っているが、子どもたちもスポーツや習い事で忙しくなっている。</p>	<p>・引き続き、地域行事を通じて、子どもたちとの交流を図っていきます。</p>
	<p>・もちつきや世代間交流等の年間行事を子どもが引き継ぎ、運営していけるような環境づくりに取り組みます。</p>
	<p>・スポーツ団体や小中学校と調整し、子どもたちが地域行事に参加できるようにしていきます。</p>
	<p>・各種団体と情報交換を密にし、連携を強化していきます。</p>

2 防災・防犯

【めざす姿】

防災対策が万全で、誰もが安心して住めるまち

★誇れること、◆困っていること	できることから始めよう
<p>★自主防災組織の防災計画や組織図を作成している。</p> <p>★行事等で炊き出しを行っている。</p> <p>★自治会の防災費や市の補助金により、防災資機材の充実を図っている。</p> <p>◆住宅が密集していて、火事や天災等の災害時の対応に不安を感じている。</p> <p>◆自治会単位での訓練を実施していない地区が多い。</p>	<p>・自治会単位で隣近所の方々と連携して、消火器や防災資機材の確認等、自主防災組織でできるような訓練を実施していきます。</p> <p>・自主防災組織の防災計画を広く周知し、個々の役割に応じた訓練を実施します。</p>
<p>◆広域避難所開設訓練に参加しているが、参加者が固定化されている。</p>	<p>・炊き出し訓練、AEDの扱い方、一人暮らしの高齢者の方の誘導訓練等のほか、災害時に実際にボランティア活動に携わった方々を招いて話を聴くなど、工夫した訓練を行っていきます。</p>

<p>★日ごろから助け合いの意識は高い。</p> <p>◆一人暮らしの高齢者が多く、いつ災害が起きるか不安な日々を送っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろからの隣近所の声かけ、お互いの助け合いの意識づくりを続けていき、マンション住民とも連携し、災害時に役立つ名簿を作成していきます。 ・緊急時のために、自治会長や防災リーダー、民生委員の連絡先が記載されたステッカー等の作成・配布を考えていきます。
<p>◆海が近いため、津波対策は万全なのかと不安を感じている。</p> <p>★高い建物を津波避難場所として開放してもらえそうな対策を講じている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各組内での連携強化や、青年会・子ども会等の各種団体や、マンションに協力を依頼し、コミュニケーションを図っていきます。 ・防災訓練に、津波による浸水の被害を想定したものを盛り込むようにしていきます。 ・津波避難ビルの周知をしていきます。

【めざす姿】

犯罪のない、安全で、明るいまち

★誇れること、◆困っていること	できることから始めよう
<p>★隣近所のつながりを大切にしている地域なので、防犯等に役立っている。</p> <p>★防犯灯がついているため、犯罪が少なく、安心して生活ができている。</p> <p>★万年地区で一体となり、月に1回、防犯パトロールを行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯パトロールを継続し、住民がより一層安心して生活ができるように努めていきます。 ・あいさつ運動の回数を増やすことによって、お年寄りから子どもまでが気軽にあいさつをかわすことができる明るい地域をめざしていきます。

3 生活環境

【めざす姿】

だれもが住みやすい環境をめざすまち

★誇れること、◆困っていること	できることから始めよう
<p>★地域全体が清潔に保たれている。</p> <p>★万年地区全体で、国道花壇一斉清掃を行っている。</p>	<p>・一斉清掃を今後も続けていきます。また、各家庭に呼びかけを行い、普段からきれいなまちを維持していきます。</p>
<p>★海・山に囲まれ、自然豊かで、気候が温暖な地域である。</p> <p>★毎年7月に、海岸一斉清掃を行っている。</p>	<p>・海岸清掃をこれからも継続し、海岸の美化活動に努めていきます。また、子ども会にも協力を促し、子どもの参加を増やしていきます。</p>
<p>◆海岸や歩道に、犬のフンが目立つ。</p>	<p>・犬のフンは飼い主がきちんと始末する、釣り人もゴミをきちんと持ち帰るなどのことを、地区以外の人へも啓発する方法を考えていきます。</p>
<p>◆若者が深夜に海岸で打ち上げ花火をしており、迷惑をしている。</p>	<p>・「小田原市きれいなまちと良好な生活環境をつくる条例」に基づき、深夜の打ち上げ花火を禁止する看板を、海岸入口や公園に設置していきます。</p>
<p>◆子どもの集まれる公園や、幼児の遊び場が少ない。</p>	<p>・地区内にある公園で、草刈りや花壇の充実等を行い、使いやすい公園づくりに努めていきます。</p>
<p>◆草花がとても好きな方が多く、花も色々植えられているが、樹木が少ない地域である。</p>	<p>・住民の協力を得ながら、各家庭の玄関先に草花のプランターを置くなど、心が和む環境づくりに取り組んでいきます。</p>
	<p>・地域のフラワーサークル等と協力し、万年を花いっぱい彩っていきます。</p>

4 文化・教育

【めざす姿】

地域の歴史を掘り起こし、伝えていくまち

★誇れること、◆困っていること	できることから始めよう
<p>★小田原城等の歴史的建造物が近くにあ り、地域にも旧東海道のなごりを感じさ せる風情やまちなみ等が残っているところ が特色である。</p> <p>★北條稲荷神社、古新宿龍宮神社、袖ヶ浦 地蔵尊、北條稲荷神社蛙石等がある。</p> <p>★川崎長太郎や北村透谷の生誕地であり、 記念碑が建立されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古くからの資料を掘り起こし、学習会を開くなどして、一人ひとりが万年の歴史について知り、後世に伝えていけるよう努めていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りから地域の歴史について話を聞くこと によって、埋もれている資産を掘り起こし、広く住民に知らせていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にある歴史資産のマップを作成するなど、 広報に努めていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会で祭礼や掃除等を行っていますが、さら に多くの住民に声かけをして、大切な資産を守 っています。

【めざす姿】

子どもの交流が広がるまち

★誇れること、◆困っていること	できることから始めよう
<p>◆子どもの数がだんだん減少している中 で、子ども会の存続が困難になってくる のではないかと懸念している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会をいくつか統合するなど、子ども会の 組織のあり方や行事の見直し等を検討してい きます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生まで対象を広げるなどして、子ども会へ の参加者を増やしていきます。

5 特色ある地域づくり

【めざす姿】

人とのつながり・ふれあいを大切にするまち

★誇れるもの、◆困っていること	できることから始めよう
<p>★年間を通じて、お祭り等の行事が盛んであり、世代を問わず交流がある。</p> <p>◆結婚等で若い人の他地区への流出が多く、住民の高齢化が進んでいる。</p>	<p>・青年会と積極的に交流し、地域活動に若い人の意見を取り込むなど、万年に若い人が留まり、また、戻ってくるような魅力あるまちづくりに努めていきます。</p>
<p>★互助の精神が旺盛で、隣近所のつきあいを大切にする風土が根付いている。</p> <p>◆高齢化と住民の減少、マンション住民は地域活動に無関心等の課題がある。</p> <p>◆行事への参加者が減ってきている。</p>	<p>・隣近所のつながりがより一層密になり、お互いに助け合える地域にするために、自治会・老人会・青年会・子ども会・婦人部等各種団体の横のつながりができ、一体感が持てるよう活動の情報の共有に努めていきます。</p> <p>・隣近所で声かけを行い、地域活動への参加を促す努力をしていきます。</p>
<p>★年1回、自治会連合会であいさつ運動を実施している。</p>	<p>・あいさつ運動等を通じて、みなが気軽に声をかけ合える明るい地域づくりに取り組んでいきます。</p>
<p>◆商店街では、店を閉める人が多くなり、人通りも少なく、活気がなくなっている。</p> <p>◆近所にスーパーもなく、日用品も買うことができなくなっている。</p> <p>◆若者は車でまとめ買いができるが、お年寄りにとっては買い物不便である。</p>	<p>・商店街を活気づけるため、青物町商店街で市(いち)のようなイベントを継続していきます。</p> <p>・一人暮らしの高齢者に対しては、月に1~2回程度、民生委員が家庭訪問を行うなかで、買い物等に困っている方に声かけを行うなど、民生委員や自治会が協力して、地域の中でできる対策を考えていきます。</p> <p>・移動販売や通信販売、買い物代行等の便利なサービスの情報を、高齢者に周知していきます。</p>

【めざす姿】

伝統行事を大切に守って、引き継いでいくまち

★誇れるもの、◆困っていること	できることから始めよう
<p>★1月の新年交賀会、2月の初午祭、3月のおしんこ祭り、5月の松原神社祭礼、8月の夏祭り、9月の敬老会や運動会等多くの伝統行事がある。</p> <p>◆多くの伝統行事を行っているが、最近では盛り上がりには欠けるものもある。</p>	<p>・多くの方に参加してもらい、行事を盛り上げられる工夫をしていきます。</p> <p>・地域活動が活発になればなるほど、推進する役員が大変になることが予想されるため、役員等の負担が大きくなるよう、協力体制の強化を図っていきます。</p>
<p>★お祭りが好きな地域であり、特に氏神様のお祭りが盛大に開催されている。</p> <p>★松原神社の祭礼においては、多くの住民が参加して、お祭りを盛り上げている。</p> <p>◆松原神社祭礼の神輿の担ぎ手が減少している傾向にある。</p>	<p>・住民に対して、これまで以上にお祭りをPRすることにより、若い参加者を募っていきます。</p>

【めざす姿】

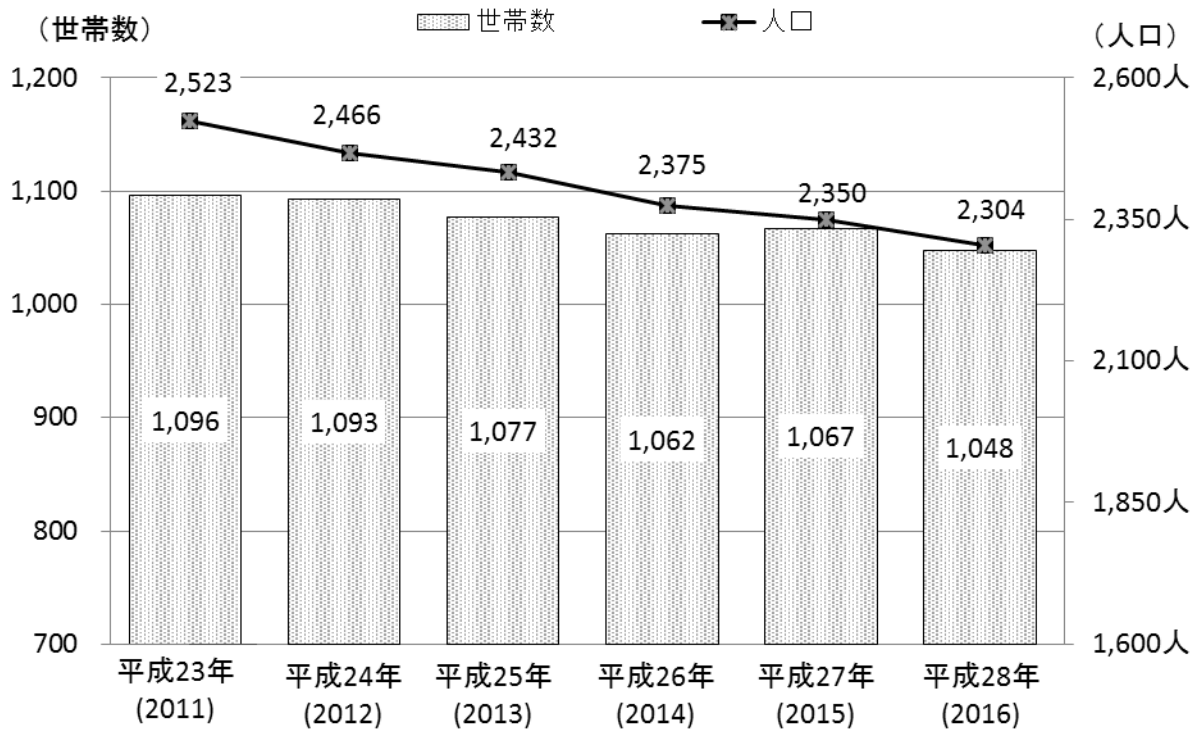
地区活動を活発にする組織づくりができるまち

★誇れるもの、◆困っていること	できることから始めよう
<p>★年間を通して、色々な行事を自治会が中心となり、老人会、婦人部、子ども会が協力して進めている。</p> <p>★青年会が活躍し、お祭りやかまぼこ通り商店街の活性化を図っている。</p> <p>◆若者が減少しているため、行事の際の負担が大きくなっている。</p>	<p>・青年会、子ども会と連携し、若者が積極的に活動に参加できるような仕組みを考えていきます。</p> <p>・高齢者から若者までがお互いに協力し合える体制をつくっていきます。</p> <p>・地域の各種団体に入っていない方へも呼びかけて、協力をお願いしていきます。</p>
<p>◆自治会等の役員選出が年々困難になってきている。</p> <p>◆自治会の役員が高齢化している。</p>	<p>・現役世代や性別に関係なく地区の役員が務まるような組織づくりをめざしていきます。</p> <p>・行事の担当は当番制とするなど、自治会の役員以外の住民が参加するような仕組みを広げていきます。</p>

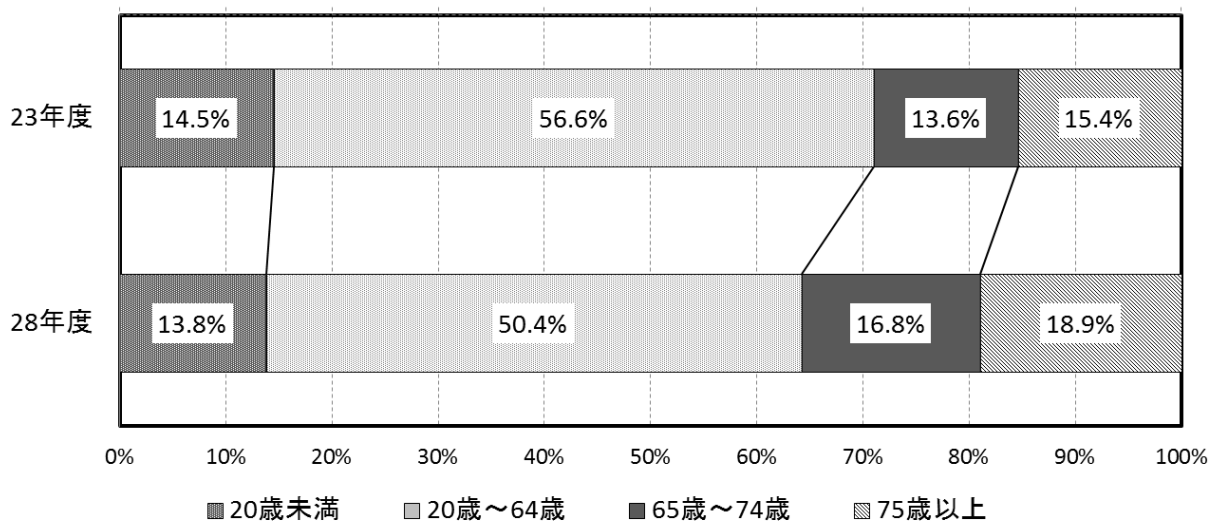
参考資料(万年地区)

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

人口と世帯数の推移



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



万年地区まちづくり実行委員会における検討経過

平成 28 年 4 月 13 日	地域別計画の見直しの方法について意見交換
6 月 9 日	各委員に見直し用記入用紙を配布
8 月 9 日	地域別計画の見直し(健康・福祉)
10 月 7 日	地域別計画の見直し(防災・防犯、生活環境)
12 月 8 日	地域別計画の見直し(文化・教育、特色ある地域づくり)
平成 29 年 2 月 8 日	地域別計画改定版(案)の承認

平成 29 年 2 月作成

万年地区まちづくり実行委員会(見直し検討会)

委員長

加藤 芳永 (万年地区自治会連合会長・第 18 区高梨町自治会長)

副委員長

岩本 辰男 (第 16 区自治会長)

会計

小高 伯夫 (第 19 区自治会長)

監事

泰田 幸枝 (万年地区民生委員児童委員協議会長)

宮本 純 (万年地区社会福祉協議会長・民生委員)

委員

栢沼 正直 (第 15 区自治会長)

萩原 敏行 (第 17 区自治会長)

秋鹿 浩史 (第 20 区-1 自治会長)

前田 誠 (第 20 区-2 青物町自治会長)

富金原 須美子 (青少年育成推進員)

松本 健一 (万年地区体育振興会長)

松本 幸江 (健康おだわら普及員)

安藤 範子 (健康おだわら普及員)

加藤 俊雄 (防犯指導員・第 19 区公民館長)

大木 孝史 (少年補導員)

松下 善彦 (消防団第 1 分団)

横原 浩二 (第 15 区防災リーダー)

田代 昌之 (第 16 区防災リーダー)

村越 昇 (第 17 区防災リーダー)

山本 正 (第 18 区高梨町防災リーダー)

松井 雄二 (第 19 区防災リーダー)

入野 浩一 (第 20 区-1 防災リーダー)

若林 寧人 (第 20 区-2 青物町防災リーダー)

石内 啓司 (第 15 区公民館長)

柏木 傑 (第 16 区公民館長)

小林 章男 (第 17 区公民館長)

桜木 斉 (第 18 区高梨町公民館長)

廣澤 吉美 (第 20 区-2 青物町公民館長)

石田 富代 (万年地区ボランティア代表)

地域別計画

(平成28年度改定)

～ 幸地区 ～

幸地区まちづくり委員会

地域のキャッチフレーズ

いつまでもこれからも住みたい、

だれもが安心して暮らせる自然と歴史文化が調和したまち

はじめの一步（住民自ら取り組むこと） ～ できることから始めよう ～

- 1 防災** いざというときに助け合いができるまち
- 2 防犯** 向こう3軒両隣 声掛け合って
安全で安心して住める明るいまち
- 3 健康・福祉** 両隣が顔見知り、お互い助け合いながら、
地域でお年寄りを見守るまち
- 4 生活・環境** 清掃活動を通して地域資産を守っていこう
- 5 文化・教育** 伝統行事を守るまち
地域が学校の行事に協力するまち

1 防災

【めざす姿】 いざというときに助け合いができるまち

困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none">◆ 災害に対する関心が薄く、防災対策への意識が低いため、防災訓練の参加率が上がりません。◆ 防災訓練の内容はマンネリ化し、実践的ではないため、役に立つか不安です。	<p>【日頃から住民へ防災対策を周知】</p> <ul style="list-style-type: none">◆ 防災勉強会を開催し、防災意識の向上を図る場を設け、既存の広報物や防災関連資料を生かしながら防災対策を周知していきます。◆ 自主防災組織の備蓄は役員や組長までの最低限である現状を伝え、地域住民へは各自備蓄をするよう周知していきます。
	<p>【実践的な防災訓練と参加率の向上に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none">◆ 防災訓練内容のバリエーションを増やすことで、参加者の意識向上を図るとともに、参加率向上を目指します。◆ 自治会未加入者に対しても防災訓練のお知らせをすることで、地域全体で防災への意識向上に繋がります。
<ul style="list-style-type: none">◆ 災害時における共助の重要性が認識されておらず、個人情報保護の観点から、各地区で世帯構成等を把握しにくい状況です。◆ 自治会未加入者が増え、自治会を通じて周知している様々な情報が、地区の全ての世帯に行き渡らなくなっています。	<p>【各世帯の人数把握・個人情報保護法の理解】</p> <ul style="list-style-type: none">◆ 災害時における安否確認に役立てるため、事前に世帯人数の把握につとめます。◆ 実施に向け、個人情報保護法に関して正しい知識を身に付け、自主防災組織が地域住民に世帯情報を管理することへの協力を促します。

2 防犯

【めざす姿】向こう3軒両隣 声掛け合って 安全で安心して住める明るいまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none">◆ 近年、一人暮らしの高齢者が多くなっているため、窃盗や高齢者を狙った詐欺などが増えています。そのため、住民一人ひとりが防犯意識を強く持つことが必要です。	<p>【防犯意識の向上に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none">◆ 警察と協力し、定期的にパトロールや民生委員による高齢者宅の各戸訪問をしながら注意喚起を行っています。◆ 引き続き、これらの活動を実施し、地域全体で防犯対策をしていることを広めていくことで、住民の防犯対策への意識の醸成を図ります。
<ul style="list-style-type: none">◆ 空き家が増えていることもあり、防犯対策や火災予防運動として消防団や各種団体がパトロール活動をしています。	<p>【空き家の防犯対策・火災予防対策】</p> <ul style="list-style-type: none">◆ 引き続き、各地区のペースで定期的にパトロール活動を実施していくほか、火事が起こりやすい歳末は消防団第2分団と連携しながらパトロールと火災予防運動を行っています。
<ul style="list-style-type: none">◆ 子どもたちが安心して通学できるよう、毎月1日に子どもを見守る運動・あいさつ運動をしています。交通ルールを守らない自転車が増えており、危険です。	<p>【子どもたちの安全対策・交通マナー対策】</p> <ul style="list-style-type: none">◆ 見守り・あいさつ運動は、毎月子ども達と顔を合わせる貴重な機会であり、活動を続けながら子ども達が安心して登校できるよう、顔見知りの関係を築いていきます。◆ また、交通安全対策上、危険な行為が見受けられた場合は、警察など関係機関と協力し、注意喚起に努めていきます。

3 健康・福祉

【めざす姿】 両隣が顔見知りで、お互い助け合いながら、 地域でお年寄りを見守るまち

困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域別計画策定以降、民生委員・主任児童委員の11人全員で幸地区内の高齢者宅を戸別訪問し、見守っています。また、75歳以下の方についても、日々歩き回りながら状況把握に努めています。 ◆ 民生委員1人につき、3名のボランティアさんがついて協力しているほか、自治会では組長に対して、日頃から組内に目を向けるよう周知しており、地域全体で要配慮者のフォロー体制を整えています。 	<p style="text-align: center;">【地域全体での見守り活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 引き続き、民生委員主任児童委員をはじめ、住民一人ひとりが日頃から周囲に目を向けることで、ささやかに見守り活動を続けていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 見守り活動として、住民同士が交流するサロン会を開催している自治会もありますが、参加者同士の誘い合いがなく、持続的に人数が集まりにくい状況になっています。 	<p style="text-align: center;">【サロン活動の充実化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ サロン活動を始めている地区は、一人でも参加しやすいよう、医師や保健師などによる講演など、プログラム構成を検討し、多くの方が興味を持てるサロン会を検討していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 災害時の対策として、民生委員と自治会で要配慮者情報を共有する体制づくりを整えています。また、自治会では、過去に会員名簿を作成したことがありますが、個人情報保護の問題等から更新がされていません。 	<p style="text-align: center;">【災害時対応時に向けた検証と対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 防災訓練などの機会を通して、実際に安否確認が行えるか検証していきます。このような活動を踏まえて、幸地区としての日頃からの対応策も検討していきます。

<ul style="list-style-type: none"> 子ども会などの地域活動に、退会や最初から入会しない家庭が増えていきます。さらに、少子化の影響もあり、子ども会などの運営に支障をきたしています。 	<p>【子ども会加入促進活動・子ども会運営についての検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幸地区まちづくり委員会では、平成 27 年度に自治会・子ども会の活動について紹介したパンフレットを作成し、三の丸小学校を通して配布しました。今後も、各自治会や子ども会の加入促進活動にパンフレットを利用していきます。 また、地域内に子どもが減少している現状を踏まえ、各自治会で従来のスタイルにとらわれずに「子ども会と中学会の統合」や、「活動行事の見直し」などを通して、子ども会役員が運営しやすい方法を検討していきます。
---	--

4 生活・環境

【めざす姿】清掃活動を通して地域資産を守っていこう

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> 地域の誇りである御幸の浜に捨てられたゴミは年々減少していますが、海岸の環境美化保全のために、今後も定期的に清掃活動をしていく必要があります。 お堀端周辺は落ち葉やタバコの吸い殻があり、環境美化対策が必要です。 	<p>【各種団体が働きかけ合いながら、清掃活動を継続的に実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 御幸の浜の海岸清掃は幸地区内に限らず、地域外の団体も実施しており、年間 10 回以上、清掃活動が実施されています。今後も、各種団体が引き続き実施していくことで、継続的に海岸の環境美化保全に努めていきます。 また、お堀端周辺など地域内の環境美化活動は自治会をはじめ、小学校や各企業が定期的に清掃活動を行っています。今後も、それぞれのペースで美化活動を続けていきながら住み良いまちづくりを進めていきます。

5 文化・教育

【めざす姿】 伝統行事を守るまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 幸には、計4基（21区、22区、23区、24区）も山車がありますが、組立に費用がかかることもあり、すべての山車を毎年動かすことができません。 ◆ 5月にお祭りの時期になると、子どもたちは地域の人からお囃子を教えてもらっています。しかし、子どもの数も、教え手も少なくなってきており、地域全体で継承方法を考えていく必要があります。 	<p>【地域全体で継承活動に取り組む】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ お囃子の練習は、地域と子ども達とのコミュニケーションの醸成と文化の伝承に寄与しているので、これからも続けていきます。 ◆ そのためには小学生に限らず、中学生になってもお囃子活動に関わるシステムづくりや、大人も同様に参加できる体制を構築することで、後継者育成に力を注いでいきます。

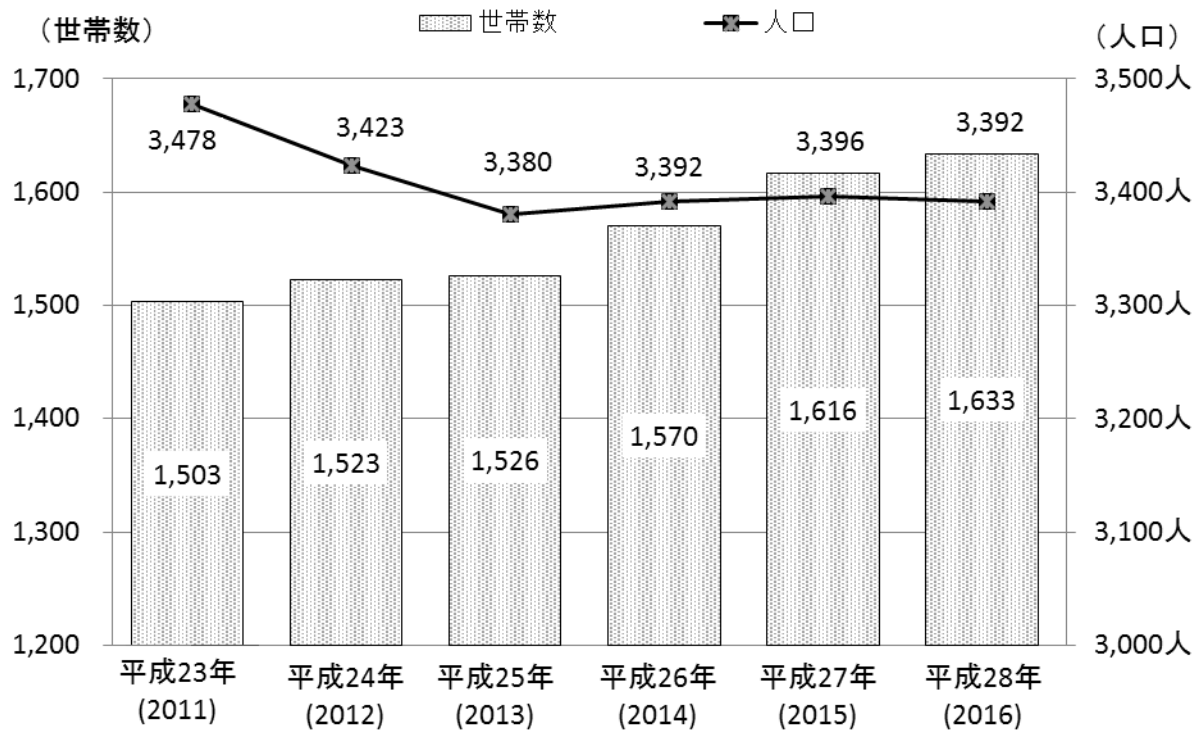
【めざす姿】 地域が学校の行事に協力するまち

誇れるもの	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 三の丸小学校PTA主催により、毎年10月に開催している「わくわくフェスタ（バザー）」は、地域と学校が一緒に盛り上がる一大イベントとなっています。 ◆ 子どもたちは老人クラブ連合会の方々から、竹とんぼづくりや昔の遊びを教えてもらい、ものづくりの大切さや伝統を楽しみながら学んでいます。 	<p>【世代間交流事業を通じた伝承活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「わくわくフェスタ」では、老人クラブ連合会ほか地域の方々の協力を得ながら、今後も竹とんぼづくりや昔遊びを子ども達に伝承していきます。また、日頃から子どもの見守り運動やあいさつ運動も継続することにより、子ども達とのつながりが更に密になるよう努めていきます。

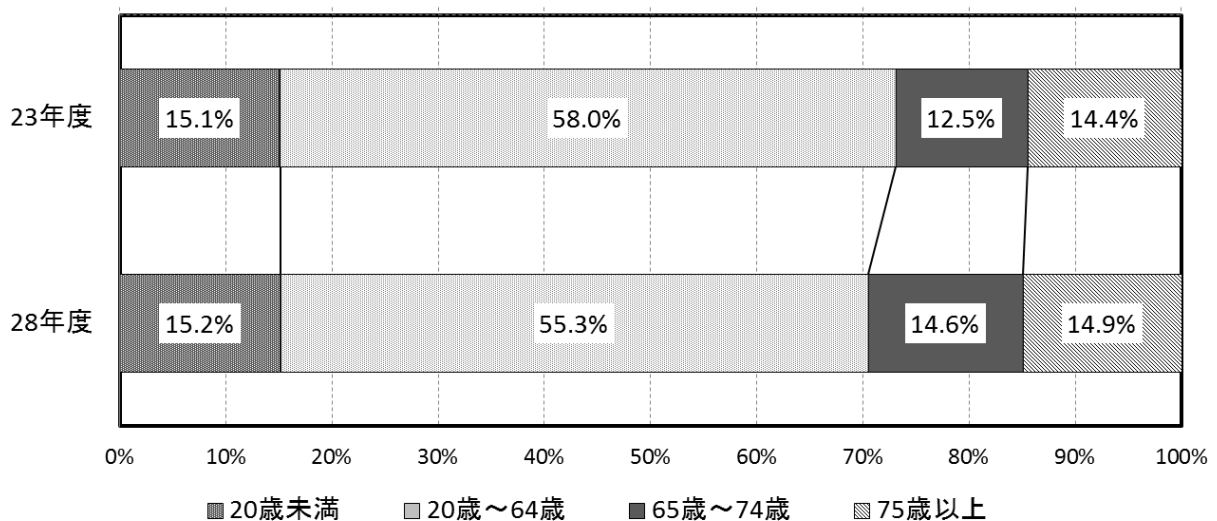
参考資料(幸地区)

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

幸地区における世帯数の推移



幸地区 高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



幸地区まちづくり委員会での検討経過

平成 28 年	6 月	9 日	総会	地域別計画の見直し方法について協議
平成 28 年	8 月	30 日	定例会	防災分野の見直し（協議）
平成 28 年	10 月	26 日	定例会	防犯/生活・環境分野の見直し（協議）
平成 29 年	1 月	24 日	定例会	健康・福祉/文化・教育分野の見直し（協議）
平成 29 年	3 月	14 日	定例会	最終調整・承認

平成 29 年 3 月作成

幸地区まちづくり委員会

平成 29 年 3 月末時点

委員長	瀬戸 充	幸地区自治会連合会 会長・第 27 区自治会 会長
副委員長	山口 芳司	第 24 区自治会 会長
会計	桑原 義樹	第 21 区自治会 会長・幸地区社会福祉協議会 会長
監事	瀬戸 裕一	第 26 区自治会 会長
委員	大矢 紀一	第 22 区自治会 会長
委員	栗山 茂男	第 23 区自治会 会長・幸地区体育振興会 理事長
委員	渡辺 光男	第 25 区自治会 会長
委員	田近 公榮	幸地区民生委員・児童委員協議会 会長
委員	朝見 健夫	幸地区老人クラブ連合会 会長
委員	西村 彰博	三の丸小学校 教頭
委員	村越 亜由美	三の丸学区連合子ども会
委員	小西 里奈	三の丸小学校 P T A
委員	山口 みほ	第 21 区子ども会 会長
委員	梶原 里美	第 21 区子ども会 会長補佐
委員	西島 寿代	第 24 区子ども会 会長
委員	笠井 美紀	第 24 区子ども会 副会長
委員	岡崎 麻子	第 25 区子ども会 会長
委員	梶 かおり	第 25 区子ども会 副会長
委員	松岡 成美	第 27 区子ども会 会長
委員	天野 葉月	第 27 区子ども会 副会長
委員	田中 里枝	第 27 区子ども会 副会長

地域別計画 (平成 28 年度改定) ～ 十字地区 ～



【花と文化の香る西海子小路】

十字地区まちづくり委員会

歴史と文化のいぶきの中で みんなで創ろう豊かなまちを

はじめの一步(住民自ら取り組むこと) ~ できることから始めよう ~

- 1 福祉・健康**
子どもとお年寄りがふれあうまちづくり
- 2 防災**
お年寄りから子どもまでのコミュニケーションが地域の連携を強くし災害に強いまちづくりをめざす
- 3 防犯**
近隣住民相互のコミュニケーションを図ることで、犯罪のないまちづくり
- 4 交通安全**
皆で見守る安全なまちづくりをめざす
- 5 生活・環境**
花と緑の十字まち
- 6 文化・教育**
地域にねざした交流の場と青少年の育成
見て・聞いて・話して育てる文化のまち
- 7 特色ある地域づくり**
みんなが参加して活気あるまちづくり

1 福祉・健康

【めざす姿】

子どもとお年寄りがふれあうまちづくり

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>高齢者の増加は今後益々顕著に現れる状況にあることから、高齢者の健康増進、体力づくり、心の健康と安らぎを維持していく活動を進めていく必要があります。</p> <p>健康づくりの推進のためには、行事に参加しやすい環境をつくるのが大切であり、楽しく運動ができる軽度のスポーツを広めていく必要があります。</p> <p>高齢者筋力向上トレーニング事業は自主活動である筋トレ教室に移り、活動が継続しています。</p> <p>子どもとお年寄りが安心して暮らせる安全ネットワークを仕組むことが課題です。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 高齢者を含め健康で楽しく参加できる体制づくりを進め、自宅に引きこもるのではなく、楽しく気軽に参加できるよう、ゲートボール、ペタンク、グランドゴルフ等の軽度のスポーツを導入し広めていきます。・ 各自治会で様々な健康づくりの活動を行っており、十字地区全体で行っている「十字ふれあいサロン」では「いきいき健康事業」と連携した企画を取り入れています。地域全体で支えあう意識を高めるため、地域での行事のお知らせや「声かけ」を心がけ、十字全体で行えて、様々な世代が参加でき、交流でき、また、担当者のみ負担増加にならないよう、検討していきます。・ また、高齢者の方が何を望んでいるかを調査し、参加者が増加するようにしていきます。・ 「幼稚園児と高齢者との世代間交流」を今後も継続していきます。また、筋トレ教室を持続できるように支援していきます。・ 一人の高齢者を複数の眼で見守るようにします。・ 「生活応援」型の活動について検討します。

<p>大人の子どもに対する認知度は高い地域ですが、少子高齢化が進む中、老人会や子ども会活動の参加が減少しており、高齢者・子どもとの交流の機会など地域住民のふれあいが少なくなっているため、各団体で様々な工夫をしています。</p> <p>ただ、各団体、独自の行事等をこなすのが精一杯だったり、単独の行事が出来なくなってきたりしています。子ども会を構成する人数が集まらず、休止となる地区も出てきました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会に子ども会が参加し、手紙やプレゼントを交換したり、舞台上で歌などを披露しています。子どもへの負担が大きくなっているため、今後実施内容を検討していきます。 ・健民祭の種目に高齢者が参加しやすいものを引き続き取り入れるほか、十字全体で子どもと高齢者のふれあう行事を検討していきます。 ・毎年恒例の餅つきでは、子どもと高齢者がふれあっており今後も継続していきます。 ・一人暮らしの高齢者へ、つきたての餅を子どもたちと一緒に配るなど交流の機会を増やしていきます。 ・小田原小唄を知らない子どもが多いので、歌や踊りを高齢者が子どもへ教える機会をつくり、子どもたちへの伝承を通じ、高齢者とのふれあいを促進します。 ・子ども会参加を親がためらう理由を考え、子どもだけでも子ども会に参加できる仕組みを作り、高齢者を含む大人がサポートをする体制など、体制を検討します。 <p>また、子ども会の行事で、子ども会単独ではなく地区全体の活動で支えていけないものがないか、検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が子ども達に教えたり、ふれあえる機会が多くなるよう、あいさつや、公民館の開放など取組を検討します。
--	--

2 防災

【めざす姿】

お年寄りから子どもまでのコミュニケーションが地域の連携を強くし災害に強いまちづくりをめざす

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>災害は実際に起こって初めて、その重大さに驚きます。地域防災訓練への参加者数からも防災意識が高いとは言えず、地震や津波への備えは実際のところ不十分と思われる。</p> <p>まずは、防災訓練等に参加することにより危機意識を共有することが必要です。</p> <p>また、防災訓練に高齢者、一人暮らしの方々の参加が少ないため、場所、規模及び実施回数を検討する必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災へのさらなる意識向上や防災訓練など、災害への普段の備えを充実させるため、自治会や十字地区防災訓練によるきめ細かい活動を実施していきます。 ・他地区との合同訓練等大規模訓練は現状通り継続し、自治会ごとなどでの小規模・少人数での訓練も実施していきます。 ・防災訓練の内容は、段階を踏んで訓練難易度を上げるなど工夫をしていきます。 ・防災訓練に地域全員の参加を求めてきて、増加傾向にあります。幅広い世代の参加のため、今後も輪番制も採用していくよう検討します。参加者は、組長だけでなく、各組2名程度の参加をするよう心がけていきます。

<p>ます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に対し、家具転倒防止の必要性について理解を求めるための啓発を行い、補助的ボランティアを行っていきます。
<p>各自治会で住民台帳や安否確認名簿を作成したので大規模災害時における住民の安否確認の体制を今後整えていく必要があります。</p> <p>また、地域への帰属意識は年々低下していますが、防災に対する自治会へ依存する個人の意識は年々高まっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の近隣住民の安否確認のためには、隣近所の状況の把握が必要であることから、日頃から隣近所（組内）のコミュニケーションを図っていきます。また、自治会ごとに名簿を作成・更新し、安否確認方法を確立させ、災害時の安否確認に活かします。

3 防犯

【めざす姿】

近隣住民相互のコミュニケーションを図ることで、 犯罪のないまちづくり

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>他人、他家への関心が薄く、地域の安全への気遣いが希薄になっています。</p> <p>空き家や空き家同然となった家屋が増え、また、空き巣がこの地区でも散発していることから、防犯に対する住民や空き家物権管理者の意識向上を図るための情報連絡を密にする必要があります。</p> <p>また、年に数件小学生や中学生に不審者からの声かけがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民や空き家物権管理者との関係をより密にし、日ごろからの情報交換を図っていきます。 ・小学生の登下校時に合わせ、犬の散歩や掃除など屋外活動を行い、不審者の情報共有も行うことで、子どもの安全を見守っていきます。併せてあいさつを交わすことにより、地域での交流を図っていきます。 ・犯罪抑止として、各家庭の玄関灯をつけるよう呼びかけていきます。 ・子ども 110 番や商店街の駆け込み避難場所を継続していきます。 ・防犯灯の設置要望箇所の吸い上げ・検討をし、自治会長につなぎます。

4 交通安全

【めざす姿】

皆で見守る安全なまちづくりをめざす

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>毎月初めに国道1号交差点をはじめ通学路での挨拶運動を実施しています。</p> <p>早川口の交差点や箱根口交差点は、交通量が多く、横断歩道を渡るのに不安や恐怖を感じるため、交通安全の確保が必要になっています。</p> <p>また、子どもの通学途中の事故を防止するため住民参加も必要となっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国道1号交差点をはじめ通学路での挨拶運動を継続・改善するとともに、危険箇所を見直し他の場所での実施について検討していきます。 ・地域児童の遊び場である公園が人目につきにくい場所もあり、また、通学時の児童の安全を確保する必要があることから、保護者が責任をもって見守ることが第一ですが、地域住民も子どもの安全に気配りをする心がけが重要です。 ・カーブミラーの設置要望箇所の吸い上げ・検討をし、自治会長につなぎます。

5 生活・環境

【めざす姿】

花と緑の十字まち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>道路、公園等公共の場の美化活動を自治会の役員や組長、老人会、青年会、子ども会等が行っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民による美化活動を継続するとともに、マンションの住人や転入者にも声をかけ、参加者を増やし、良好な住環境を保っていきます。 ・地区全体で清掃活動を行う清掃の日を設けることを検討し、地域ぐるみで取り組む意識を高めていきます
<p>ペット（犬）の飼い主のマナーが良くなり、道路の排泄物の路上への放置やポイ捨てがほとんど無くなりました。</p> <p>海岸の排泄物の放置はまだ見受けられます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の回覧により啓発を行い、飼い主のマナー意識の向上を図ります。 ・市から啓発のための看板を貸与してもらい、地区内に設置し注意喚起を行います。
<p>分別の住民意識は高いのですが、ごみの散乱と不法占住者の増加が美観を損ない、海という大きな自然の宝庫が生かされていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい海岸線を取り戻し、豊かな海の自然に接するまちとなるため、海岸清掃の実施回数を増やし、ごみのない海岸を目指します。

6 文化・教育

【めざす姿】

地域にねざした交流の場と青少年の育成

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>中学生や高校生の地域との縦、横のつながりが希薄になっています。</p> <p>中高生の豊かな心を育むため、家庭・地域・学校が連携し、学校生活を含む生活実態を把握するとともに、青少年育成のための基盤をつくる必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でのふれあいを深めるため、健民祭、バスケット大会、ボウリング大会、ハイキング、防災訓練などの地域行事に中高生も参加できるよう、学校に協力を求めるなど、多方面、広域的に呼びかけていきます。特に、ボウリング大会の参加が多いので、このような気軽に楽しめる行事も取り入れていきます。 ・地域行事の実施結果を回覧するなど、行事のPRにも努めていきます。 ・居神社、松原神社の例大祭、小田原囃子の継承等の伝統行事にも参加を呼びかけていきます。 ・松原神社の木遣り指導は、中高生が中心に行っており、今後も各世代に受け継いでいき、世代間交流を図ります。 ・地域の伝統行事と伝承されてきたものを大切に守り今後の地域づくりに役立てていきます。 ・成人の日に若者に贈り物と手紙を添えるなどして、地域の一員としての自覚を促し、地域活動への積極参加を呼びかけていきます。
<p>中高生を取り巻く環境は年々変化しており、対応が追いついていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成会によるパトロール（毎月1回）を引き続き実施し、青少年の健全育成と非行防止の啓発に努めます。

【めざす姿】

見て・聞いて・話して育てる文化のまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>居神社、山角天神社、我が国の水道施設の中では初期の頃の水道といわれる小田原用水など多くの歴史的・文化的資産及び人車・軽便鉄道の小田原駅跡や個人が所有する静山荘、由緒ある茶室、養生館跡、滄浪閣跡など大正～昭和初期の歴史的に誇れる資産が数多く存在しています。</p> <p>地域に誇りと愛着を持つために、これら資産を認識することが必要です。</p> <p>お城南通り商店会は「さつき祭り」のイベントを通じ地域の歴史的・文化的資産の掘り起こしを続けてきて、地域の交流拠点として「十字町ヒストリア」を開設しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域には、歴史的・文化的資産が多数存在しており、これらの財産を地域住民も誇りを持っています。子ども達や地域住民にさらに周知するため、歴史的建造物や史跡等をテーマとした「ウォーキングマップ」を作成します。 ・ウォーキングコースは、テーマや年齢等を考慮に入れて設定していきます。 ・大正～昭和初期の時代の建造物、洋風な建物をリストアップし、「ウォーキングマップ」に取り入れ周知していきます。 ・地域住民により、西海子小路の落葉ひろいを実施していますが、今後は、早川口遺構の掃除（草刈等）を行政と協力して実施していくよう検討します。 ・自治会や十字地区まちづくり委員会とヒストリア運営委員会が協力し取組を検討します。 <p>こうした取り組みを通じ、歴史的・文化的資産や街並みを大切に守り・保存し、活用していく意識を高めていきます。</p>

7 特色ある地域づくり

【めざす姿】

みんなが参加して活気あるまちづくり

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>地域全体（連合）で実施する行事が少なくなってきたおり、参加は積極的ですが、参加者は固定化しています。</p> <p>神社例大祭の自治会神輿の担ぎ手も年々減少しています。</p> <p>各自治会では、納涼祭や餅つき大会等老若男女のコミュニケーションづくりを行っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で実施している、健民祭、あかりの祭典（自治会神輿パレード）を今後も継続していきます。引っ越してきた方や若い世代に行事を理解してもらい、参加を促すように広報強化などをしていきます。 ・納涼祭やどんど焼きを地域全体で実施するよう検討し、地域内のコミュニケーションを図っていきます。 ・子どもたちには、大人が規範を示すことが必要であるため、地域全体で実施できるスポーツイベントなど魅力ある行事を開催し、大人と子どものつながりを深めていくよう少子化の現代にあった行事を検討していきます。 ・自治会内で取り組まれている居神社例大祭、夏祭り、健民祭、どんど焼きを今後も継続していきます。

穏やかな気風で近所、町内づきあいができていますが、自治会役員等の担い手がいなくなり、ボランティアも限界が生じています。

また、老人会、婦人会、青年（中・高校生）会などの組織が消滅して自治会役員に負担をがかかっている地区もあります。ここ数年メンバーの増加が見られる青年会もあります。老人会・婦人会・青年会等の組織の中に趣味のグループなどがあり、横断的に集まり活動しています。

また、新しく引っ越してきた方の参加が少ないように感じます。

現在、団塊の世代が地域の役職を担っており、今後担い手が不足することが予想されます。

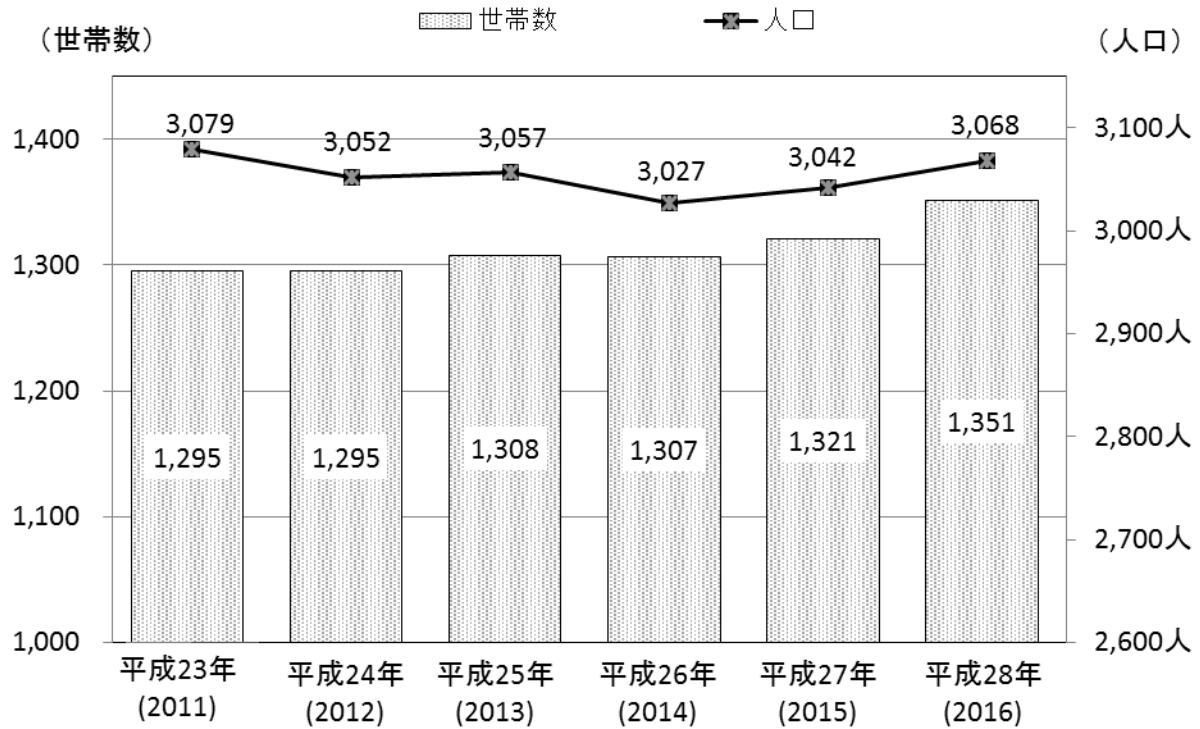
子ども会は少子化のあおりをまともに受けています。

- ・老人会、婦人会、青年会などの地域活動は横のつながりをもつことが必要なので、世代間交流としてグラウンドゴルフを実施しています。地域の人たちが集まり、連携をとって活動できる場について検討していきます。新しく引っ越してきた方が参加しやすいよう、勧誘など見直します。
- ・若い人たちにも地域活動に参加してもらう必要があります。自治会の持ち回りでスポーツ大会等を開催するなど世代間交流の推進について検討していきます。
- ・子ども会について、小学生の参加が低下しているので、有効な方策を検討するとともに、夏祭り、どんど焼き、防災訓練など地域全体の活動の中に取り込んでいくことを検討します。
- ・婦人会のメンバーの半数が子ども会と兼ねているので、婦人会と子ども会を分ける必要があるのか、体制の見直しを行います。

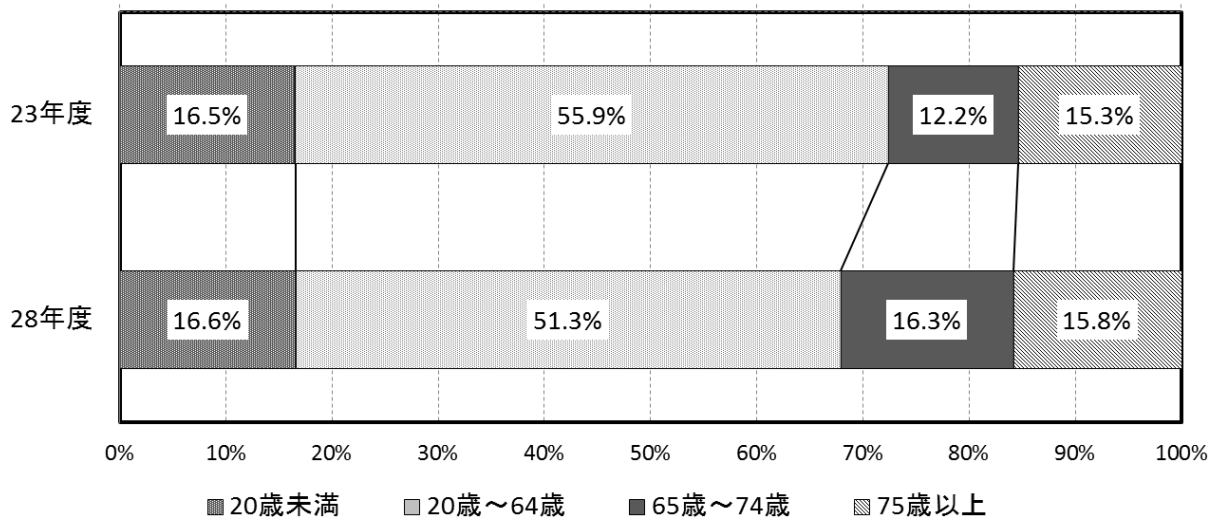
参考資料(十字地区)

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

人口と世帯数の推移



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



平成28年度十字地区まちづくり委員会での検討経過

会議名	日にち	内容
第1回十字地区 まちづくり委員会 (総会)	6月8日(水)	地域別計画の見直しについて、十字地区 まちづくり委員会で見直していくことと なった。
第2回十字地区 まちづくり委員会	8月9日(火)	委員等に説明、記入用紙を配布。また、 委員以外にも各地区3団体ずつ配布。
	9月7日(水)	記入用紙の回収
第3回十字地区 まちづくり委員会	10月6日(木)	内容の修正・追加をした十字地区地域別 計画を委員が確認・意見交換
第4回十字地区 まちづくり委員会	11月10日(木)	内容の修正・追加をした十字地区地域別 計画を委員が確認・意見交換
第5回十字地区 まちづくり委員会	12月8日(木)	内容の修正・追加をした十字地区地域別 計画を委員が確認・意見交換・承認
第6回十字地区 まちづくり委員会	2月7日(火)	完成版の配布

十字地区まちづくり委員会

平成 28 年 11 月現在

役 職	氏 名	地 域 役 職
委 員 長	山崎 時子	十字地区自治会連合会長 第 32 区自治会長
副委員長	小西 正人	第 29 区自治会長
副委員長	佐野 朝幸	第 30 区自治会長
副委員長	満谷 裕公	第 31 区自治会長
会 計 (～28.10)	小峯 正嗣	第 28 区自治会長
会 計 (28.11～)	中村 弘毅	第 28 区副自治会長
委 員	杉山 実	第 28 区副自治会長
監 事	片野 昭幸	第 29 区副自治会長
委 員	森田 正文	第 30 区副自治会長
監 事	千住 功	第 31 区副自治会長
委 員	斉藤健一郎	第 32 区副自治会長
委 員	邨山 泰	第 28 区防災リーダー
委 員	植村 洋一	第 29 区防災リーダー
委 員	杉崎 大輔	第 30 区防災リーダー
委 員	高橋 俊明	第 31 区防災リーダー
委 員	柏木 隆良	第 32 区防災リーダー 消防第 2 分団 (第 32 区選出)
委 員	柳田 洋和	消防第 2 分団 (第 28 区選出)
委 員	和田 紘明	消防第 2 分団分団長 (第 29 区選出)
委 員	金子 雅史	消防第 2 分団 (第 30 区選出)
委 員	小林 正行	消防第 2 分団 (第 30 区選出)
委 員	神永 勉	消防第 2 分団 (第 30 区選出)
委 員	安藤 啓一	地区社会福祉協議会長
委 員	五十嵐 博	地区民生委員児童委員協議会長

協力

十字地区ボランティア会	田中 啓子	第 29 区自治会	堀内 貞治
第 29 区婦人会	野村真理子	第 29 区誠友会	西田 徹二
第 29 区友和会	辻 喜治	十字地区青少年健全育成会	平井 良一
第 32 区さいかち子ども会	浅井 景	第 32 区睦和会	古川 淳二

平成 29 年 2 月 作成

地域別計画

(平成28年度改定)

～ 片浦地区 ～

片浦地区まちづくり委員会

地域のキャッチフレーズ

海と山・四季の香り漂う 片浦

はじめの一步(住民自ら取り組むこと) ～ できることから始めよう ～

- | | |
|------------------|-----------------------------|
| 1 福祉健康 | 地域の支えあいでお年寄りも子どもも安心して暮らせるまち |
| 2 防災・防犯 | 地域の力で安全に暮らせるまち |
| 3 環境 | 美しい自然のあるまち |
| 4 文化教育 | 歴史資産・郷土芸能が息づくまち |
| 5 子育て青少年 | 地域と学校・地域と子どもの絆がつよいまち |
| 6 地域振興・広報 | 山、海の恵みを生かした、片浦フランドのあるまち |
| 7 地域振興 | 絆を大切にするまち |

1 福祉健康

【めざす姿】

地域の支えあいでお年寄りも子どもも安心して暮らせるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>◆ 子どもが少なく、お年寄りが増える中、空き家の利活用により、新たに移住した方が、地域コミュニティとの交流を求めていることから、お年寄りがお年寄りを支えるだけとは違う新たな形での支えあいを構築していく必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化が進む片浦は、益々増えるお年寄りの触れ合いの機会を確保する為、敬老会やお茶飲み会、お花見、地域触れ合い訪問事業を継続するとともに、会の活動を楽しむよう会員以外の者も協力していきます。 ・ 片浦プロジェクト（※）や個々の事業所も活動していますが、昔からの祭典等昔からある行事に高齢者も興味を示して、参加してもらう仕組みを作っていきます。 ・ お年寄りが安心して住むことができる片浦にするため、若者に限らず、中年から高齢者に至るまで、地域全体で協力して支えていけるようにします。具体的に、お手伝い、手助けの仕組みの方策として、新しく移住してきた方と、既存の地域コミュニティとを上手くつなげ、お互いが支えあう地域に育てていったり、既存の保存会や実行委員会等がそれぞれ役割分担して、参加しやすい仕組みができるよう検討していきます。 ・ 地域マルシェや駅カフェ、小規模保育、地域の高齢者の居場所作り等ができるよう空き家バンクやNPOの立上げを検討していきます。

※片浦プロジェクトとは・・・

「片浦食とエネルギーの地産地消プロジェクト」の略。地域住民が主体となり、“集落、世代、生業等の枠をこえ出会い交流できる場”になることを目的に、平成23年11月に立ち上げた団体。キッチンガーデン（旧片浦中学校での食育や農体験）、片浦電力（小型太陽光パネル発電システムの製作・設置）、かたうら森 labo（耕作放棄地の開墾）、片浦植物蒸留所（地域の廃棄する植物を有効利用したアロマウォーターの製作）、あおぞらカフェと星空上映会等の活動を実施している。

2 防災・防犯

【めざす姿】

地域ので安全に暮らせるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none">◆ 海に面し、傾斜地の多い片浦は、災害時は土砂崩れ等で道路・線路が寸断され、孤立してしまう恐れがあります。 ◆ 地区内で昼間に若い人が働いている会社等との合同訓練等、昼間に災害が発生したときの新たな対応方法が必要となっています。 ◆ JRの駅滞留者対策についても東日本大震災の経験から、市の防災対策課やJRとの検討が必要だと感じています。	<ul style="list-style-type: none">・災害時に孤立する恐れがある片浦は、住民の防災に対する意識が高く、また、地域のつながりも強いため、災害時の安否確認も難しくありませんが、地震災害時における黄色いタオルによる安否確認訓練や、風水害時における電話回線による災害情報の配信制度を地区ごとに取りまとめました。また、防災訓練の実施方法を各地区の一時避難場所で行う等、片浦地区の地域特性を踏まえた上で、自主防災組織の活動の充実を図りながら、被害縮小に向けて取り組んでいきます。 ・「互助」の観点から、災害時は、隣近所との連携が非常に大切となってくるので、地域行事や日常生活を通じて、片浦の強みでもあるご近所との結びつきを今後も強めていくように努めていきます。 ・昼間には地域内に若者が少ないので、消防団OB等の経験者の協力や、地区内で昼間に若い人が働いている会社等との合同訓練等、新たな対応方法を検討しています。 ・防犯カメラを自治会連合会で平成29年1月より順次、地区内に設置していきます。

3 環境 【めざす姿】

美しい自然のあるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>◆ 片浦は、恵まれた自然環境があり、景色はとても良いのですが、その反面、地形的に傾斜地で坂道、階段が多いため、地区内に高齢者が増えてきている状況では、徒歩または自転車での外出にはとても労力を要します。路線バスも走っていますが、土日は運行しておらず、また平日も便数が少ないため不便で、車がないと生活できない状況であるため、地域ブランドを保ちつつ、地元の強みを生かした交通手段の充実を図る必要があります。</p> <p>◆ 鳥獣被害等、野生動物による農作物への被害が絶えず、また、坂道や急傾斜地が多く、車を運転できない高齢者には負担となる地形ですが、山と海に囲まれた自然があり、東洋のリビエラと言われるほどの景観を楽しめます。</p>	<p>・豊かな自然環境とその恵みを受けた特産物として、片浦植物蒸留所で蒸留ツアーを実施したり、片浦ウォーキングトレイル、リゾート地に訪れる者との交流を活かして、地域の活性化を図ります。</p> <p>・また、樹木や花を植栽し、片浦ウォーキングトレイルのコースをより楽しめるよう地域で工夫する一方、行政にも整備してもらえよう働き掛けていきます。</p> <p>・現在も、海岸清掃・美化運動・草刈・ホタルの育成等、片浦地区の自然を守る活動が多数行われています。</p> <p>・一方、鳥獣被害は年々悪化しており、市民視点での親子対象のワークショップの開催、猟師や博物館学芸員の協力により、イノシシやサル等の鳥獣対策の勉強を始め、今後もこの活動を衰退させず、維持させていきます。</p>

4 文化教育

【めざす姿】

歴史資産・郷土芸能が息づくまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>◆ 片浦は、数多く残る歴史資産等、魅力ある地域資源を有しています。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 正八幡神社祭典、子之神社祭典、大美和神社祭典、寺山神社祭典、釈迦堂花祭り等の片浦の祭りは地域に人が集うコミュニティの原点となるものとして、守り続けていきます。・ 懐かしの片浦映像を製作し、旧片浦中学校の星空上映会で上映し、若い人に関心を持ってもらうよう働き掛けを行うこと等で、次世代まで継承していきます。・ 鹿島踊りや福踊り等の地域固有の伝統芸能は片浦の宝であり、また、佐奈田霊社や文三堂等片浦に数多く残る歴史資産を地域の、特に若い人が知り、来訪者に伝えられるようにすることで、こうした資産を守り、地域活性化につなげていきます。

5 子育て青少年

【めざす姿】

地域と学校・地域と子どもの絆がつよいまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>◆ 片浦は、学校と地域だけでなく、地域と子どものつながりが強い地域です。</p> <p>◆ 少子化により、平成22年3月に片浦中学校が閉校し、平成24年度に片浦小学校が小規模特認校となったことにより児童の数も増え、また、片浦プロジェクトの活動により、片浦小学校を核としたつながりは増す一方、子ども達が城山中学校に通学しているため、中学生と地元との関わりが途絶え、顔が良く分からず声がかげにくく、こうしたつながりがなくなってしまうことが心配です。</p>	<p>できることから始めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・片浦は、子ども会のバス遠足をはじめ、清掃活動や防災訓練等の地域活動への小中学生の参加を通じて、地域と子どものつながりをさらに強めていきます。 ・片浦小学校をわがまちの学校としての思いをもって、地域の障がい者施設や各地で活躍する片浦小学校の金管バンド活動を応援するとともに、片浦小学校運動会と健民祭の合同開催を続けることで、学校と地域のつながりを強めていきます。 ・小規模特認校となりましたが、あいさつをする習慣が減ってきているため、あいさつ運動を続けることで、地域全体に目が行き届き、地域のつながりが強いという片浦の良い点を守っていきます。 ・片浦プロジェクトを中心に、地域の子ども達と大人が、地域の様々な資源と触れ合い、時にうまく使いながら、楽しい時間を過ごすことによって、子ども達にとってかけがえのない居場所をさらに作っていきます。 ・地域と城山中学校が連携を深めていけるように、城山中学校に働き掛けを行っていくとともに、PTAバザー等に卒業生が集まる等、中学生を含めた地域活動を充実することで、地域と中学生のつながりを紡いでいきます。

◆ P T A 役員の手も減っており、また、子どもが学校を卒業してから退職するまでの間が、地域活動から離れてしまうことが多いです。

・「おやじの会」が平成21年度にできましたが、その後の活動が分からないため活動が見えるように盛り上げていき、また、小規模特認校の「卒業生の会」や保護者がOB会に入れるようにしていくことにより、地区行事の担い手を増やす仕組みづくりをしていきます。また、常日頃から、声掛けだけでなく、顔の見えるお付き合いをして、子どもが学校を卒業しても、地域活動から離れないようにします。他地区から片浦小学校への通学が可能となり、小規模特認校となりましたが、さらに、開かれた小学校となるよう、今後も検討を続けていきます。

6 地域振興・広報

【めざす姿】

山、海の恵みを生かした、片浦ブランドのあるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none">◆ 海や山に囲まれた環境を活かし、農作物や海産物等の特産物が多いです。 ◆ 空き家バンク事業等による移住希望者の中には、農園付きを希望する方も多く、既存の地域コミュニティへの協力やつながりを志向する方も多いことから、農業者・漁業者・林業者の従事数の減少に伴う後継者不足の解消や耕作放棄地の増加や森林の荒廃を解決するため、両者を上手につなげることが課題となっています。	<ul style="list-style-type: none">・片浦地区まちづくり委員会等で片浦ブランドについて非農家・非漁業の人々も交えた話し合いの場を創設し、例えば、片浦レモン等をもっと広く開放するよう検討します。・片浦地区まちづくり委員会等で片浦ブランドのHPを開設し、広く情報を発信します。 ・農家以外の人に農作業を手伝ってもらえる仕組みは、小規模特認校となったことや片浦プロジェクトの空き畑の活用により、学校農園に農家の方が指導しに来てくれる等、農産物を使って、学校と地域とのつながりをさらに強化していきます。

7 地域振興

【めざす姿】

絆を大切にすまち

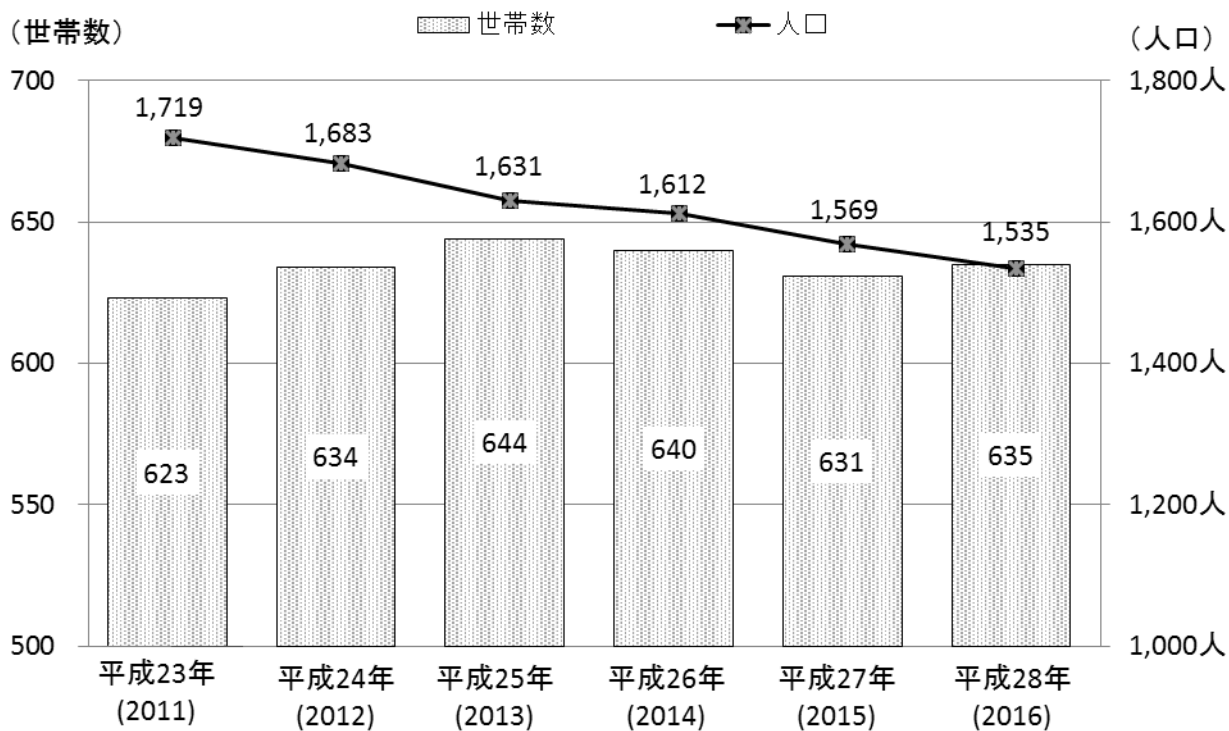
誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none">◆ 各種地域活動が盛んで住民同士のつながりが強く、顔の見える関係を築いています。◆ 市内で少子高齢化、人口減少が著しい地域ですが、地域でまとまる意識が高く、地域と学校とのつながり、また、地域住民同士のつながりが強く、地域活動も盛んで参加率も高い地域です。◆ 少子化や若者の転出で、活動の担い手となる者が減りつつあります。 ◆ 片浦は全城市街化調整区域で、土地利用に大幅な制限がかかっているため、地区の若い人が土地に残らず少子高齢化が進行する一方でした。土地利用の制限は、景観を残していく上で、必要な制限でもあります。依然として、少子高齢化は進んでいることから、市街化調整区域に関しては、大胆な施策が望まれます。	<ul style="list-style-type: none">・ どんど焼きや山の講、戦没者等に対する墓参や慰霊祭等、先祖や自然を敬う活動、また、各種公民館活動や地域活動を大切にしていきます。・ 例えば、平成28年度から祖先や自然を敬う「聞き書き」を始めています。・ 地域の様々な活動を地域全体で取り組み、参加者を増やして、絆を維持していきます。・ 地域での活動に参加していない人が参加できるような仕組みを作っていく一方、住民一人ひとりが地域のために自分の時間等を割く努力をしてもらえるように呼び掛けていきます。・ 健民祭や片浦地区球技大会、元旦健康ジョギング等の従来からの地域の行事や太陽光パネルエネルギー100%の星空上映会等の新たな片浦の風物詩を通して、片浦の人たちの持つ優しい気持ちと団結力を守っていきます。 ・ 空き家バンク事業等により、移住希望者が増え、地域が活気づいてきており、さらに地域マルシェや駅カフェ、小規模保育等ができるよう推進していきます。

<p>◆ 独身の方の割合が多いです。</p> <p>◆ 10 年後、50 年後の片浦地域がどうなっているのか心配です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域主催のお見合い等も企画していきます。小規模特認校のコーディネーターが地区のボランティア活動の担い手の発掘・育成に努めていきます。 ・片浦地区まちづくり委員会は、さらに地域内各種団体との情報交換と連帯を強めます。
--	---

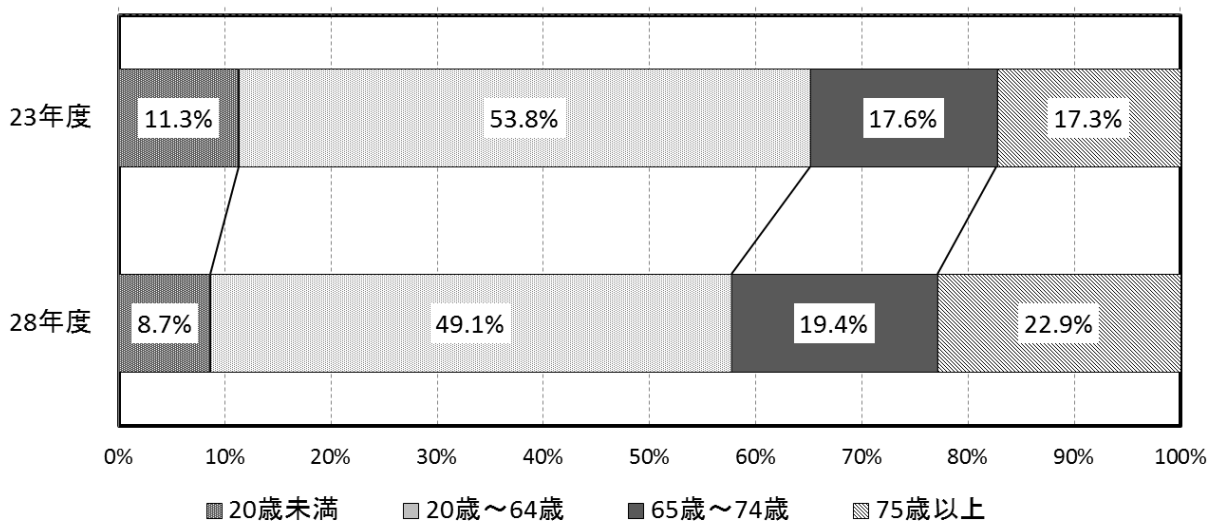
参考資料(片浦地区)

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

人口と世帯数の推移



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



片浦地区まちづくり委員会における検討経過

- 平成 28 年 5 月 26 日 地域別計画の見直し方法について、まちづくり委員会で協議
・各委員に記入用紙を配布
- 8 月 25 日 各委員より提出された用紙を基に、地域別計画の見直しを協議
- 12 月 14 日 引き続き、地域別計画の見直しを協議
- 平成 29 年 3 月 10 日 引き続き、地域別計画の見直しを協議し、承認

平成29年3月作成

片浦地区まちづくり委員会

委員長

廣井博直 (片浦地区自治会連合会会長・根府川自治会会長)

副委員長

矢郷昌行 (石橋自治会会長)

廣石計典 (米神自治会会長)

高橋照治 (江之浦自治会会長)

会計

廣井隆史

監事

鈴木伸幸

松本利洋

委員

鈴木篤史

高橋径行

佐久間孝子

廣井弘義

鈴木一正

内田裕介

帰山寧子

鈴木敦子

瀬戸ひふ美

松本勝蔵

宮本多喜子

(片浦地区老人クラブ連合会会長)

地域別計画

(平成 28 年度改定)

～ 早川地区 ～

早川地区まちづくり委員会

地域のキャッチフレーズ

海・山・川
自然の恵みを大切に！！ わがふるさと早川

はじめの一步(住民自ら取り組むこと) ～ できることから始めよう ～

- 1 防災分科会 みんなでつくる防災の早川
- 2 交通安全・防犯分科会 地域総ぐるみで行う交通安全・防犯活動
- 3 健康・福祉分科会 老いも若きも健康づくりで生き生きと！
- 4 地域交流分科会 みんなが笑顔で暮らせるまち
- 5 広報分科会 地域内の活動を多くの人知っているまち

1 防災分科会

【めざす姿】

みんなでつくる防災の早川

	誇れること	困っていること	できることから始めよう
防災活動	・消防かわら版の発行 (年2回)		・まちづくり委員会の広報紙やほかの地域内の広報紙とタイアップするなど、工夫しながら継続する。
	・非常持出品リストの作成、全戸配布 (平成26年度)	・非常持出品を準備している家庭が少ない。	・非常持出品を各家庭で用意するよう、働きかけする。
	・各自主防災組織で、防災倉庫の中身の点検、補充を実施	・地域住民に知らせる必要がある。	・防災に取り組んでいることをアピールする。 ・防災訓練で、防災倉庫の中身を知らせる。
	・工夫した防災訓練の実施	・訓練への参加者の伸びが少ない。	・訓練内容の工夫を続ける。 ・参加の呼びかけを積極的に行う。
防災マニュアル	・早川地区自主防災組織防災計画の見直しを実施(平成26年度)	・地域住民への周知が不十分である。	・地域住民に周知すべきものを抜粋して、一般家庭用「お茶の間防災マニュアル」を作成する。
		・活用ができるか心配である。	・お茶の間防災マニュアルを作成する中で、元の防災計画に改善すべき点があればチェックをしておき、数年後、そのチェックを基に、改訂を行う。
		・地域住民が興味を示さない。	・お茶の間防災マニュアルに、家族で決めたことを記入できる欄を設け、「わが家の防災行動」について、話し合ってもらおう。

2 交通安全・防犯分科会

【めざす姿】

地域総ぐるみで行う交通安全・防犯活動

	誇れること	困っていること	できることから始めよう
交通安全	・早川小学校通学路の点検の実施	・観光客やそれに伴う交通量が多く、危険である。	・危険箇所の情報を収集し、早川小学校交通安全対策協議会へ提供する。 ・一時停止線がないような危険箇所については、警察への要望を出していくとともに、看板の設置など、地域でできることを考える。
		・自転車の交通マナーが悪い。	・イベントでチラシを配ることや、警察に講話をしてもらうことで、交通マナーの向上の啓発活動を実施する。 ・小中学生のうちから、意識づけをする。
		・自転車利用者や自動車による送り迎えが多く、早川駅前のロータリーが危険である。	・生活に支障のない範囲での安全対策を考える。
防犯	・犯罪が少なく安全	・昔と比べると、近所付き合いや人間関係が薄くなりつつある。	・地域に配布した腕章があまり活用されていないので、活用していく方法を考える。
		・不審者情報などを保護者に伝えたいとき、手段が限られている。	・不審者情報などを、保護者へ有効に伝達する方法を考える。
	・各団体に、あいさつ運動や見守り活動を実施	・各組織が熱心に活動しているが、同じような活動を各組織で個々に行っている。	・それぞれの団体のあいさつ運動の日程を集計し、地域へ浸透させる方法を考える。

3 健康・福祉分科会

【めざす姿】

老いも若きも健康づくりで生き生きと！

	誇れること	困っていること	できることから始めよう
地域福祉推進体制について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の各団体の関係性が良好 ・それぞれの組織がしっかりしており、民生委員、在宅福祉サービスチーム（きずなチーム）、早川地区地域福祉コーディネーター会が連携できる体制が出来きつつある 	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手が不足している。 ・若い人がいない。 ・後継者が育っておらず、将来的に体制の維持が困難である。 ・早川地区社会福祉協議会の活動が地域住民にあまり知られていない。また、負担が偏っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手（地域福祉コーディネーター、ボランティアなど）の発掘、育成をする。 ・少しでも関わってもらう人を増やす。 ・地域住民に今の活動内容を浸透させるよう、宣伝をする。
見守り活動	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員、在宅福祉サービスチーム（きずなチーム）からの見守り、声かけを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし、老老介護、引きこもりの高齢者が増加している。 ・自治会未加入者の見守りが困難である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員、在宅福祉サービスチーム（きずなチーム）、「はやか輪みんなでささえ隊」（早川地区地域福祉コーディネーター会）が一体となって、地域で見守りを実施する。（新しい方法で無理のない情報交換会をする。） ・同世代同士でも、隣近所でお互いに見守る環境をつくる。 ・自治会未加入者同士で助け合っている場合もあり、そこから繋げる方法を検討する。 ・緊急時の連絡方法を検討し、確立する。（できる地区からモデル的にスタートする。） ・合図やルールをつくる。

サ ロ ン 活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・「はやか輪みんなでささえ隊」(早川地区地域福祉コーディネーター会)で、月1回、サロン活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉コーディネーターが少なく、ひとりの負担が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加状況や様子など、民生委員をはじめ地域と情報共有する。 ・参加者の要望を吸い上げ、活動に活かす。まずは、要望としてあがっている、無理のないウォーキングを実施する。
生 活 支 援	<ul style="list-style-type: none"> ・「はやか輪みんなでささえ隊」(早川地区地域福祉コーディネーター会)で、日常生活を送る上でちょっと困っている方のお手伝いを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉コーディネーター、隊員が不足している。 ・ささえ隊員の人数に地域格差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員、在宅福祉サービスチーム(きずなチーム)から困っている方へ、「はやか輪みんなでささえ隊」を紹介する。 ・買い物の対策を考える。 ・隊員の募集を図る。
健 康 増 進	<ul style="list-style-type: none"> ・健康おだわら普及員が、区民体育祭で、血圧・健康チェックを開催 ・健康おだわら普及員で、ウォーキング、健康教室、料理教室を開催 ・筋トレやリズム会など、サークル活動が盛んである 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の維持について対応が必要である。 ・筋トレやリズム会があるが、定員超過で困っている。(特に筋トレは定数満員で待ちが出ている。) ・行事を回覧で周知するが、人が集まらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民体育祭での血圧・健康チェックを継続する。 ・ウォーキング、健康講座、料理教室などを継続していく。 ・健康を保つための方法や、健康の相談の窓口を定期的に回覧板などでお知らせする。 ・リズム会のようなサークルを増やす。 ・行事の周知は、チラシを手渡しで配布するなど、顔と顔の関係を重視して配布する。 ・サロンや行事などへ、外へ出るよう促す。
老 人 ク ラ ブ	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動や植栽を実施 ・広報紙を発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規加入者が少ない。 ・役員の負担が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体との情報共有をする。 ・地区内の様々な行事を、老人クラブ会員へ周知する。

4 地域交流分科会

【めざす姿】

みんなが笑顔で暮らせるまち

	誇れること	困っていること	できることから始めよう
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ出しルールについて、徐々に改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会未加入者へのルールの徹底ができていない。 ・早川地区を通過する際に、ごみを捨てて行く他地区の人がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみステーションごとに管理者を決める。決め方については自治会へ任せる。 ・自治会未加入者へごみカレンダーを配布し、自治会加入を呼びかける。
	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成連絡協議会で、6月に早川駅前清掃、9月に早川全域で早川クリーン作戦（ごみ拾い運動）を実施 ・老人会やボランティアクラブによる花壇の植栽などの美化活動が活発 ・自治会や漁業関係者で港の清掃活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季になると海岸にBBQのごみが散乱している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動や花壇の植栽を継続。 ・環境パトロールの実施。 ・防犯カメラの設置。（ダミーや看板だけでも） ・西部漁港事務所、小田原市漁業協同組合へ申し出る。
郷土	<ul style="list-style-type: none"> ・海や山、漁業・農業・加工業、工芸など多彩な自然環境及び社会環境である 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人に地域の自然などを理解・体験してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史に詳しい方に講師なってもらい、歴史を伝える。 ・公民館の出前講座を継続する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・天然記念物の早川ビランジュや石垣山一夜城（国指定史跡）、早川石丁場などの歴史的資産が豊富である ・公民館主催でウォーキングを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育の推進をし、地域に対する愛着を育みたい。 ・早川～片浦のウォーキングトレイルコースがあるが、早川地区の人にはあまり知られていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングトレイルコースを活用する。 ・歴史的資産などに簡単な説明を書いたものを掲示する。

子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・ぽっかぽか会、あゆっこルーム、陽だまりサロンの3つの子育てサークルがあり、小学校や保育園と連携しながら、運営している 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの内容によっては、昔に比べると、参加者が減っている。 ・スタッフへの負担が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を継続しながら、より多くの人に利用してもらうよう、声かけを積極的に行う。 ・参加者の中からお手伝いをしてもらうように体制をつくる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・夏のキャンプやボウリング大会などの行事が盛んに行われ、子ども会の活動が充実 ・早川おやじの会一寸奉仕、早川スクールコミュニティ実行委員会で子ども向けの行事を実施 ・早川小学校は、校舎の一部や校庭が開放されており、地域と密着した学校となっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に住んでいる子どもが少ない。 ・単位子ども会の存続が厳しい。 ・役員のなり手がいない。 ・参加者が少ない。 ・資金が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けの行事を継続する。また、内容や開催時期を工夫し、参加者を増やす。 ・合併も視野に入れ、単位子ども会のあり方や体制を考えていく。
交流	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会、民生委員、青少年健全育成連絡協議会が、それぞれあいさつ運動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会未加入者が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動を継続する。 ・自治会加入促進活動を考える。
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事が盛んで、地域交流の場をつくっている ・火を囲んで、地域の人から子どもたちへ、昔話などを伝える「火がたり」を実施 ・早川クリーン作戦、防災訓練に、中学生が部活や授業で参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への参加者は年々減っている。 ・中学生の参加が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事がかぶらないように、行事の調整会議を行う。 ・誰でも参加しやすいよう、体育振興会では区民体育祭の種目を検討する。 ・火がたりに、より多くの人を巻き込む。 ・より多くの中学生が地域行事に参加できるよう、中学校と連携する。

5 広報分科会

【めざす姿】

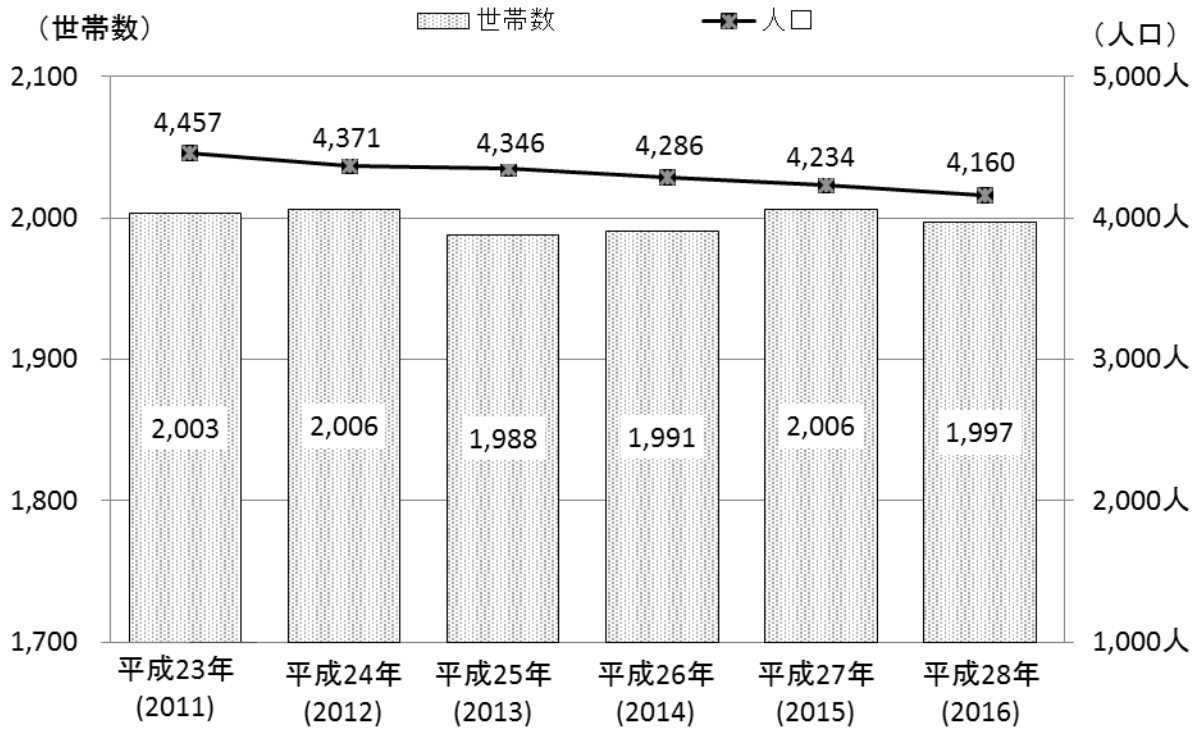
地域内の活動を多くの人知っているまち

	誇れること	困っていること	できることから始めよう
広報活動	<ul style="list-style-type: none">・早川地区まちづくり委員会の活動や所属団体のお知らせなどを載せた、早川ふれあい通信を発行	<ul style="list-style-type: none">・回覧版だけでは見ない人もいる。	<ul style="list-style-type: none">・早川ふれあい通信の作成を続ける。・より多くの住民に早川地区の活動を周知するため、ホームページの活用を考える。

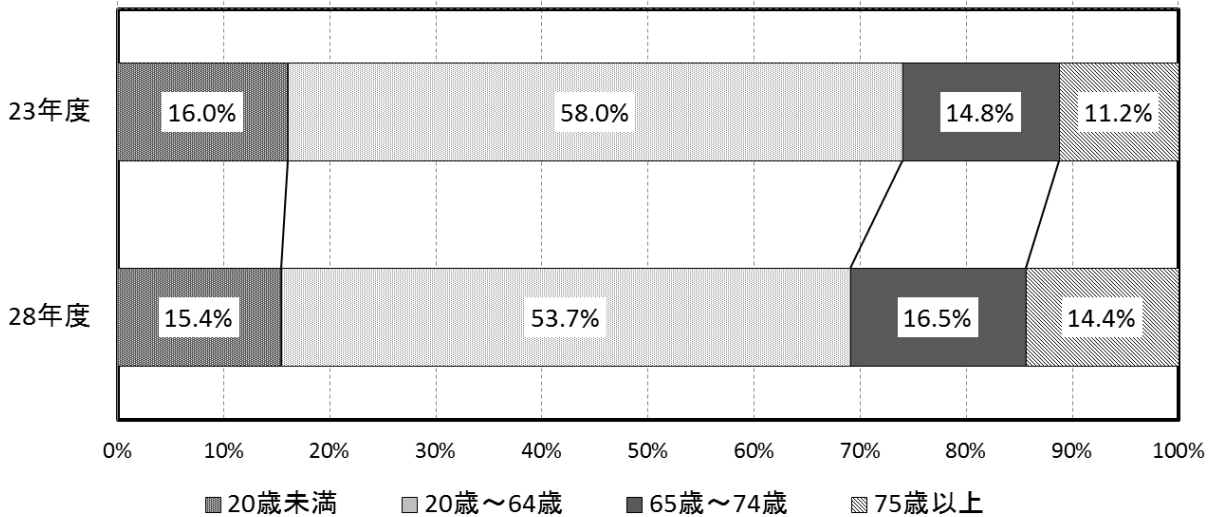
参考資料(早川地区)

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

人口と世帯数の推移



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



早川地区まちづくり委員会における検討経過

平成 28 年 7 月各分科会会議 地域別計画の見直しの方法について説明、各委員に見直し用記入用紙を配布

8 月～平成 29 年 2 月各分科会会議 地域別計画の見直し

平成 29 年 3 月 17 日 地域別計画改定版(案)の承認

平成 29 年 3 月作成

早川地区まちづくり委員会(見直し検討会)

<役員会><広報分科会>

委員長 大坪 孝壽 (早川地区自治会連合会長・木地挽自治会長・防犯指導員)

副委員長 石川 孝史 (早稲田自治会長)

副委員長・防災分科会長 小倉 一己 (木地挽自治会防災リーダー)

会 計 日下部 幸高 (東組自治会長)

監 事 國見 光範 (西組自治会長)

監 事・健康・福祉分科会長 青木 祐伸 (早川地区社会福祉協議会長・早川地区民生委員児童委員協議会長)

書記・地域交流分科会長・広報分科会長 富樫 栄広 (早川青少年健全育成連絡協議会長)

書記 相原 淳男 (早川地域福祉コーディネーター会副会長)

理事 浦井 康雄 (向口自治会長)

理事 加藤 敬典 (中組自治会長)

理事 鈴木 健一郎 (早川スクールコミュニティ実行委員会代表)

交通安全・防犯分科会長 鈴木 雄一 (少年補導員・地域交通安全活動推進員)

<防災分科会>

分科会長 小倉 一己 (木地挽自治会防災リーダー)

副分科会長 小長谷 孝 (消防団第 4 分団長)

委員 舟山 良輔 (早稲田自治会防災リーダー)

委員 鈴木 裕 (向口自治会防災リーダー)

委員 青木 孝夫 (西組自治会防災リーダー)

委員 大津 裕之 (中組自治会防災リーダー)

委員 鈴木 義之 (東組自治会防災リーダー)

委員 日下部 幸高 (東組自治会長)

委員 加藤 敬典 (中組自治会長)

<交通安全・防犯分科会>

分科会長 鈴木 雄一 (少年補導員・地域交通安全活動推進員)

副分科会長 土谷 隆之 (青少年健全育成推進員)

委員 加藤 輝利 (交通安全指導員)

委員 菅野 淳子 (城南中学校 P T A 郊外委員)

委員 田中 修 (城南中学校長)

委員 大坪 孝壽 (早川地区自治会連合会長・木地挽自治会長・防犯指導員)

委員 浦井 康雄 (向口自治会長)

協力 早川小学校安全指導担当教諭

協力 早川駅前交番

<健康・福祉分科会>

分科会長	青木 祐伸	(早川地区社会福祉協議会長・早川地区民生委員児童委員協議会長)
副分科会長	相原 淳男	(早川地域福祉コーディネーター会副会長)
委員	伊藤 初恵	(早川地区民生委員児童委員協議会副会長) ※1
委員	大野 秀樹	(早川地区民生委員児童委員協議会会計) ※1
委員	小野 利枝	(早川地区民生委員児童委員協議会副会長) ※2
委員	真田 久美子	(健康おだわら普及員)
委員	秋山 和雄	(早川地区老人クラブ連合会長)
委員	石川 孝史	(早稲田自治会長)
協力	加藤 大	(第一地区地域包括支援センター)
協力	山田 菊代	(小田原市社会福祉協議会)

※1 平成 28 年 11 月で任期満了

※2 平成 28 年 12 月より就任

<地域交流分科会>

分科会長	富樫 栄広	(早川青少年健全育成連絡協議会長)
副分科会長	鈴木 健一郎	(早川スクールコミュニティ実行委員会代表)
委員	八幡 史郎	(早川学区連合子ども会長)
委員	前多 俊幸	(おやじの会一寸奉仕代表)
委員	青木 昭宏	(早川体育振興会長)
委員	下田 節	(早川小学校PTA会長)
委員	古川 みどり	(早川小学校教頭)
委員	青木 勝	(環境美化推進員)
委員	相原 久花	(主任児童委員)
委員	佐藤 直美	(主任児童委員)
委員	國見 光範	(西組自治会長)

地域別計画 (平成 28 年度改定) ～ 大窪地区 ～



大窪地区まちづくり実行委員会

歴史と文化遺産が薫り、自然と環境に恵まれたまち 大窪

はじめの一步(住民自ら取り組むこと) ~ できることから始めよう ~

- 1 生活・環境
- 2 教育・文化
- 3 健康・福祉
- 4 文化・特色ある地域づくり
- 5 防犯・防災・交通安全

●…特色 ◆…課題 ➤…取り組むこと

1 生活・環境

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> ● 大窪地区は初夏になると入生田、風祭でホタルが舞っているところを見ることができます。生息域が減りつつあるホタルを地域全体で保護していきたいです。地域住民とホタルが共存できる豊かな環境づくりを目指します。 ◆ 河川や用水路をはじめ、公園や公共施設など、地域の生活環境を汚さないようにする必要があります。 ◆ 公園や道路の動物の糞は減り、少しずつ良くなっていますが、マナーの徹底が必要です。 ◆ ニホンザル、イノシシなどが増え、定住化しており、大きな問題となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 川掃除のときに、ホタルの生息地の部分は土を残すなど、皆でホタルを守ろうという共通の意識が大窪地区全体に芽生えるよう、また、場所を特定して保護したらどうかなどホタルの保護の方法などを話し合う場を作っていきます。 ➤ ホタルを子ども達の情操教育などに生かしていきます。 ➤ 育成会が企画するクリーン作戦には、自治会、小中学生・教職員、小中学校PTA、子ども会、老人会等も参加し、町をきれいにしています。 ➤ ボランティア会では公園等の美化清掃、植栽を実施しています。 ➤ 地域の美化清掃を各区老人会が定期的に実施しています。 ➤ 各家庭の家の回りの清掃が進んでいますが、個々人の更なる環境意識の向上に向け、啓発を進めていきます。 ➤ 今後も継続し地域が一体となって環境保全に努めていきます。 ➤ ごみのポイ捨てなどが多いところは、看板を設置するなどして、啓発を図っていきます。 ➤ 自治会が、市や県と協議をしながら進めていきます。

2 教育・文化

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> ● 大窪地区では、自治会や育成会、民生委員児童委員協議会、大窪小学校、城南中学校等であいさつ運動をしているので、子ども達へのあいさつ、声かけは定着していますが、日常生活の中でも、気軽にあいさつができる地域にしていきたいです。 ◆ 大窪地区は、誇れる歴史や文化人にゆかりのある地域ですので、掘りおこしをして、住民に広く伝える必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 今後ともあいさつ運動を続け、気軽にあいさつができる環境づくりに努めていきます。 ➤ 学校と地域が相互に協力して、子どもだけでなく大人にも地域の歴史やゆかりの文化人のことについて勉強会や研修会などで伝えていき、郷土愛を育ていき、活動につなげていきます。 ➤ 作成したウォーキングマップを活用し、ウォーキングを実施し、住民や子ども達に、誇れる歴史や文化人のいた大窪地区の魅力を伝えていきます。また、ウォーキングマップは随時改善していきます。 ➤ 歴史や文化人を次世代に伝えていくため、子どもとの共催事案を検討していきます。

3 健康・福祉

誇れるもの	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> ● 社会福祉協議会や体育振興会などでは、高齢の夫婦、独居者、障がい者、転入者の見守り不足の解消や引きこもり防止、交流を促すための活動を数多く行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 隣組との付き合い方を考え、福祉関係者のみならず、見守りできる体制を整えていきます。 ➤ 大窪地区社会福祉協議会と体育振興会が実施している年3回のグランドゴルフには、90人以上の参加者がありますが、広報活動を工夫することで更に参加者を増やし、今後も高齢者が参加できる活動を続けていきます。 ➤ 筋力トレーニング、頭の体操、サロン活動（囲碁、将棋）、栄養教室、いきいき健康教室等、現在も定期的に行っているが、より参加者が増えるように広報活動にも力を入れていきます。

4 文化・特色ある地域づくり

誇れること	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> ● 大窪地区には各所に歴史と文化、自然があり、四季を通じて、市内外から多数の来訪者があります。 ● 小学校PTA、自治会、老人会など地域の方々と学校が協力し、児童、保護者、地域の方と触れ合う「ふれあい広場 IN 大窪」を小学校で開催し、地域交流の場になっています。 ● 秋の交流会が行われていますが、地域全体の文化祭として、地域の連携を深めてさらに盛り上げています。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 道標の案内を設置し、お寺のスタンプラリールートを設定すれば、元気な高齢者の訪問が期待されます。 ➤ 作成したウォーキングマップを駅に置き、地区を訪れる方々などに誇れる歴史や文化人のいた大窪地区の魅力を伝えていきます。 ➤ 「ふれあい広場 IN 大窪」は更に充実させ、地域交流の場として定着させていきます。 ➤ 秋の交流会を地域全体の文化祭として行うには、大掛かりになり、何をするかなど解決すべき問題があります。地域が連携する1つの手段として、大窪地区全体でどう関わっていったらよいかを今後の検討課題として、地域で話し合いを行います。

5 防犯・防災・交通安全

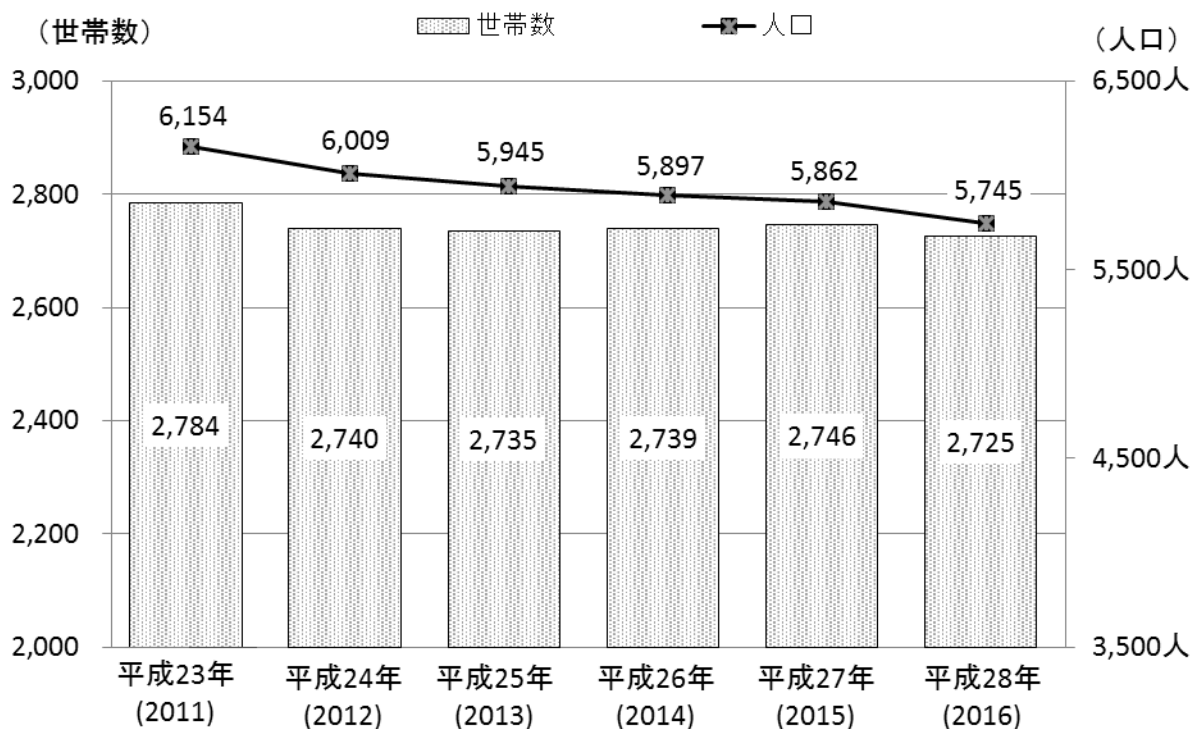
誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 防災についてのより多くの取組が必要です。 ◆ 防災訓練は会場の都合で参加者数が限られてしまいます。また、一部の住民の防災訓練への参加意識が低いです。 ◆ 中学生が三角巾の使い方を教える側として防災訓練へ参加し、役割を担っています。 ◆ 地域住民の安心、安全、特に災害時要援護者への対策が求められています。 ◆ スクールボランティア・コーディネーター及び自治会 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 大規模災害に備え、いざという時の対策など、広く地域の方に知らせていきます。 ➤ 総合防災訓練のみでなく、三角巾の使い方・救命講習などを含めて、単位自治会ごとに防災訓練を行っています。更に多くの幅広い世代の人に参加してもらい、意識を啓発し、地域防災の力を高めていきます。 ➤ 中学生、若者、消防団による支援活動も検討・実施していきます。 ➤ 救命講習を更に地区住民に広く伝える様な仕組みをつくっていきます。 ➤ 児童の登下校時の安全、防犯のため特定の人に限らず地域の人に見守りの参加を呼びかけ、見守り

<p>が保護者及び地域の方に呼び掛け、児童の登下校の際に多くの方々の見守りがありますが、児童の登下校時の見守り活動団体の中には、活動の継続が困難となっている団体もあり、見守り活動を継続していくための仕組みが必要となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 高齢者や弱者の防犯対策が求められています。 ◆ 古民家の空き家が近年増えてきていて、防犯、防災上の不安があります。 ◆ 依然としてオレオレ詐欺が減少していません。 ◆ 児童が通学に電車を使用する地区については、電車を降りた後の見守りが足りていない状況もあります。 	<p>への参加者を増やすことや、学校安全委員会で児童の登下校時の安全について年2回検討をしていますが、今後も活動を継続していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 児童や高齢者等を対象に詐欺や犯罪防止の講習会を継続します。 ➤ 育成会、防犯部で子ども達の見守りのための地域パトロールを諸団体協力のもと、毎月行っていますが、今後も活動を継続します。 ➤ 地域の行事や犯罪発生時にはパトロールを強化します。 ➤ オレオレ詐欺を防ぐため、今後も啓発していきます。 ➤ 電車を降りた後の見守りについては、地域で見守りを行っていきます。
--	--

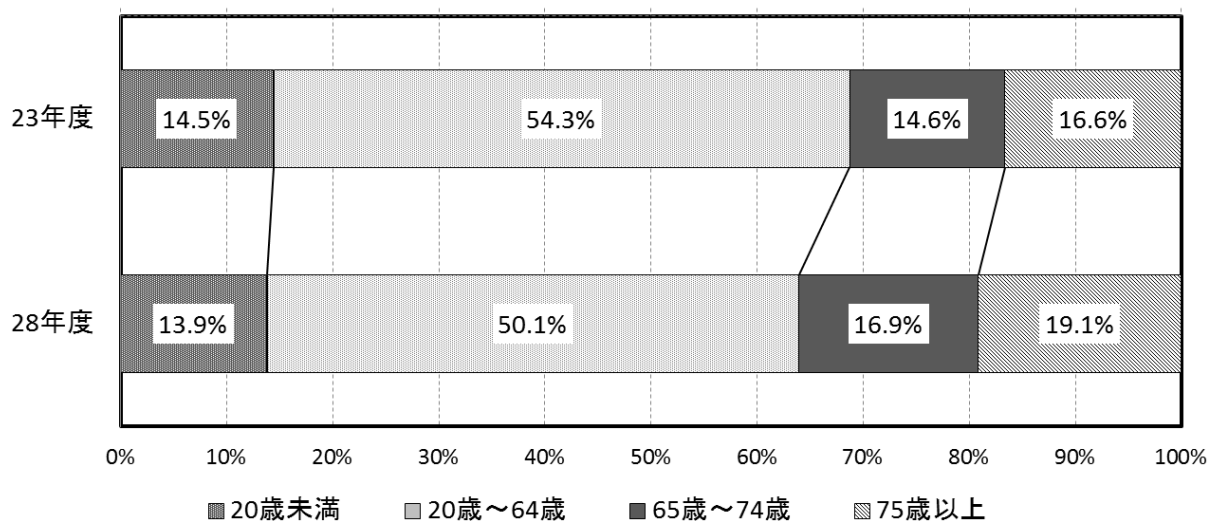
参考資料(大窪地区)

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

人口と世帯数の推移



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



大窪地区まちづくり実行委員会での検討経過

会議名	日にち	内容
総会	5月25日(水)	地域別計画の見直しについて、大窪地区まちづくり実行委員会で見直していくこととなった。
第2回役員会	7月14日(木)	地域政策課から各役員に説明
第2回全体会	8月4日(木)	委員等に説明、記入用紙を配布
	8月～9月	各委員が記入用紙⇒回収し地域政策課で集約
第3回役員会	9月23日(金)	各委員からの意見の取りまとめ方、見直し案提示方法、今後の進め方について合意
	10月5日(水)	見直し案を各委員へ郵送
第3回全体会	10月14日(金)	内容の修正・追加をした大窪地区地域別計画を委員が確認・意見交換 ⇒意見を基に修正・追加
第4回役員会	11月24日(木)	大窪地区地域別計画の役員見直し案作成
第4回全体会	12月14日(水)	大窪地区地域別計画の役員見直し案を委員が確認・意見交換 ⇒意見を基に修正・追加
第5回役員会	1月19日(木)	修正した大窪地区地域別計画を確認
第5回全体会	1月25日(水)	大窪地区地域別計画を委員が承認

大窪地区まちづくり実行委員会

平成 28 年 11 月現在

委員会役職	氏 名	地 域 役 職
委 員 長	野崎 忠	第 59 区自治会会長 大窪地区自治会連合会会長
副委員長	石幡 保雄	第 61 区自治会会長
副委員長	秋山 健	大窪地区青少年健全育成連絡協議会幹事
副委員長	田島 昭子	大窪地区民生委員児童委員協議会会長
副委員長	山田 信子	大窪地区主任児童委員
会 計	秋山 道江	健康おだわら普及員代表
監 事	津田 好一	第 58 区自治会前会長
監 事	風間 孝男	第 60 区自治会会長
委 員	下川 泉	第 58 区自治会会長 大窪地区社会福祉協議会会長
委 員	服部 泰一	第 62 区自治会会長
委 員	山田 養一	第 63 区入生田自治会会長
委 員	秋山 眞一	第 64 区自治会会長
委 員	若林 秀行	大窪地区体育振興会会長
委 員	立川 公一	大窪地区青少年健全育成連絡協議会会長
委 員	川向 良江	大窪地区民生委員児童委員協議会副会長
委 員	川向由起子	大窪地区主任児童委員
委 員	中島 静子	大窪地区ボランティア代表
委 員	鈴木 幸一	大窪地区老人クラブ会長
委 員	大木 秀夫	板橋商店会会長
委 員	竹内 雅彦	大窪小学校校長
委 員	田中 修	城南中学校校長
委 員	大木 富男	大窪小学校 P T A 会長
委 員	太野 智子	城南中学校 P T A 副会長
委 員	秋山 晃志	消防団第 6 分団副分団長
委 員	高橋 晃一	消防団第 7 分団分団長
委 員	外山 亘美	大窪地区防犯指導員
委 員	服部 茂	大窪地区防犯連絡会会長
委 員	松本 丙一	大窪地区交通安全協会会長
委 員	秋山 裕介	大窪学区連合子ども会会長

平成 29 年 2 月 作成

地域別計画

(平成28年度改定)

～ 山王網一色地区 ～

山王網一色まちづくり委員会

地域のキャッチフレーズ

潮騒の香る地域づくり

はじめの一步(住民自ら取り組むこと) ～ できることから始めよう ～

- 1 環境**
地域内がきれいで環境がしっかりと整備された「まち」
- 2 防災**
日ごろの備えを充実させ、災害時に誰もがリーダーになれる「まち」
- 3 防犯**
犯罪ゼロの安全・安心の「まち」
- 4 地域振興**
地域の人達が交流を深めふれあい活気に満ちた明るい「まち」
- 5 健康・福祉**
心身ともに健康で、安心して過ごせる「まち」
- 6 文化・教育・子ども**
地域と学校が協力し、文化・子どもを育む「まち」

1 環境

【めざす姿】地域内がきれいで環境がしっかりと整備された「まち」

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>【清掃活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 山王川・久野川清掃、クリーンさかわ、山王海岸の清掃、酒匂川河口の清掃といった清掃活動は定期的に継続して取り組んでおり、小中高生も積極的に参加していて活気があります。しかし、全体的に地域の役員が中心となっており、参加者が固定されています。 小学校においてもPTA、自治会の協力を得て海岸清掃を実施しています。 公園・児童遊園地、神社の清掃は老人会が月1回計画的に行っています。(参加率は30~40%) 	<ul style="list-style-type: none"> 各清掃活動を継続するとともに、役員以外の参加者拡大のため、各団体からの呼びかけを強化するとともに、早めに日程等を連絡する(1か月前)など情報提供の工夫を検討していきます。 近隣企業を巻き込んだ清掃活動を検討していきます。 海釣りに来る人など地域に訪れる人達のマナー喚起を考えていきます。
<p>【ごみ出し】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体として自治会加入者は分別のルールができていますが、未加入者の中には不徹底の方もいます。 アパートの独身者がごみの分別ができていません。自分が誤った出し方をしているという認識が薄い人も居るようです。 国道沿いでは車で置いていく人もいて困っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域全体でごみの分別の徹底を呼びかけるとともに、単身者世帯アパートの分別不徹底に関してはアパート管理会社に連絡していきます。 ごみ置き場にブルーシートをかけ、重石で押さえることで荒らされにくくなった場所もあるので、参考にしながら良い方法は地域に広めていきます。

2 防災

【めざす姿】日ごろの備えを充実させ、災害時に誰もがリーダーになれる「まち」

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>【防災訓練】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会が「防災」をテーマに取り上げて、地域の役員を中心に取組が進み、防災訓練を実行する中で、安否確認訓練等が地域に広まりつつありますが、全体としてはまだまだです。 ・毎年視点を変えて訓練に取り組んでいますが、参加者が毎回同じ人で、少なく、アピールの仕方に問題があります。特に、高齢者（75歳以上）の参加者が少なく、若い人は自治会に加入していないため、連絡が行きません。 ・組長会議を行い、組長は必ず参加するように指導しています。 ・山王松原は防災行政無線が聞きづらいため、携帯電話やスマートフォン等で情報を聞いています。 	<p>できることから始めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年の訓練の中の反省点や他事例を参考にしながら訓練内容を検証していきます。また、課題を明確にし、訓練に反映させて参加率の低い地域、年齢層へのアプローチを行い、参加者の拡大を検討していきます。 ・合同でなくても日ごろから避難訓練をしていれば、いつしか自ら行動するようになると考え、取り組みます。 ・海岸で釣りや遊んでいる人達は情報が入らないため、海岸で防災行政無線が聞けるように検討していきます。
<p>【広域避難所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回広域避難所運営委員会の開催に合わせて体制のチェック、防災倉庫の確認を行っています。 ・高齢者の広域避難所までの参加者が少なく、高齢者の参加ができるように内容の検討が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域避難所の運営訓練（HUG訓練）等、関係者が集まって、より具体的な訓練に取り組むとともに、他事例を検証し、体制を見直していきます。 ・まちづくり委員会の活動と一体となって運営できるよう、地域政策課、防災対策課、ボランティア活動を推進している方々との連携方法を考えていきます。

<p>【避難マップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震時の避難マップは配布されていますが、作成して終わっているのが現状です。 	<ul style="list-style-type: none"> マップ通り避難できるか、小中学生達と避難経路を歩くなどの検証、実際の避難を想定した訓練を検討していきます。
--	---

3 防犯

【めざす姿】 犯罪ゼロの安全・安心の「まち」

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>【防犯活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 70区は毎月1度地域内パトロールを実施しています。 各団体の地域内での定期的なパトロールに加え、健全育成会や育成推進員によるパトロールも適宜実施されており、徘徊している児童・生徒もほとんど見受けられていません。 山王小学校では児童の下校時刻の表を配っており、老人会、婦人会をはじめとした地域の方々が意識して子ども達の登下校時の見守りを行っています。 	<p>できることから始めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 近年、子どもが巻き込まれる事件も多くなっているため、各団体の地域内での定期的なパトロールの継続、強化に努めていきます。また、地域全体で意識した登下校時の見守りを継続していきます。
<p>【あいさつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校での指導ができていることから、通学路で登下校時に児童・生徒からあいさつされ、また、必ず声をかけると反応するので、登下校時のあいさつの習慣化がされつつあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校等で引き続き指導を行い、大人も含め、地域の方すべてがあいさつできるように取り組んでいきます。 大人からも積極的に子ども達にあいさつしていきます。
<p>【防犯灯】</p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯灯の整備は自治会から市へ申請しており、計画的に対応している一方、まだ本当に必要なところが整備できていません。 不良器具がある場合は電気店に依頼して修理を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も地域内の要望を吸い上げ、計画的な防犯灯の増設申請を行っていきます。

<p>【東町交番】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東町交番の警察官は町内パトロールの同行や祭典、行事で連携するなど、よく地域を巡視してくれています。ただ、夜間は警察官が三の丸交番にいますが、地域であまり認識されておらず、緊急時の対応に困る場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きパトロールへの同行、祭典などへの参加をお願いするとともに、夜間の非行発見時の対応などについて、より連携を強化していきます。
---	---

4 地域振興

【めざす姿】 地域の人達が交流を深めふれあい活気に満ちた明るい「まち」

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>【各団体・イベント運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各団体主催のイベントが多くあり、また、「肝だめし」などの新しい取組を開催して、参加者が増えているイベントがある一方、少子高齢化の影響で、全体的には参加者が少なくなっています。また、どのイベントも参加者の顔ぶれは同じで役員中心、一般の方が少ない状況です。 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会は会員が減り、組織によっては、存続自体が難しい状況です。 老人会は70代が入らず、子ども会は子どもが高学年になると保護者が役員の負担を避けるために辞める人が多くいます。また、スポーツ団体の活動に熱心な場合が多く、特に高学年の子どもの参加が少ない状況です。 管理会社に委託されているマンションやアパートは、自治会加入を入居条件にしている物件もありますが、現状の姿が適切かは疑問です。 	<ul style="list-style-type: none"> 従前イベントの踏襲ではなく、時代に合ったイベント運営を行っていきます。 山王70区等、活動体制が組織化された地域を参考に、地区全体に地域住民の交流の場を広げ、交流する企画の発信力の強化と交流後の結果や成果の発信をしていきます。 自治会や子ども会への加入、未加入を問わず、子ども対象の行事を企画し、自治会のPRをしていきます。 SNS等を活用した案内、誰でも通りすがりに見ることのできる掲示板などをもっと活用して、イベントの案内、困りごと相談先の案内を行うなど、情報の周知方法を検討します。 老人クラブや子ども会は、専門のコーディネーターが企画することを検討します。

<ul style="list-style-type: none"> ・各団体の年間行事カレンダーやイベントごとの案内は、自治会未加入者（特にアパート）への配布ができないため、新たな人を引き込む活動を行えず、うまく活用されていません。 ・役員は大変というイメージがあり、受け手がなかなか見つからず、1人の任期の長期化、複数の役員を兼ねている場合が多くあります。また、山王松原は軒数が少なく、高齢化が進んでいて役員になり手がいません。その中でも、青少年健全育成会では、役員の改選がスムーズに行われています。 ・助け合い募金などは回覧板等でお願ひし、組長が頑張ってお金を集めています。組長になりたくない原因の一つとなっており、年々参加が減っています。（日赤社資、共同募金等） ・自分達の生活サイクルを壊したくないと思う家庭が増えています。 ・網一色では「四季を楽しむ会」といった任意組織で交流を行っていますが、交流の場はあっても、情報を知っている人、参加者の偏りが課題です。 ・老人会では体力向上、ボケ防止のために、ゴルフやカラオケに取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の組織の必要性を提示し、実情を説明、声掛けする等、新規加入者の増加につなげていきます。また、役員の負担が重くなりすぎないように、自治会や老人クラブ、子ども会などが合併するなど、組織の再編を行い、持続可能な組織の運営方法を検討していきます。（山王松原は、学区と広域避難所が新玉小学校で、特に若い人達の意識が新玉小学区であるため、山王小学校区との交流が少ない。） ・役員は、早い段階から後任を育成するなど、後任者を見つけられるよう取り組んでいきます。 ・各種募金など地区内の居住者からの協力をどう進めていくべきか考えていきます。
<p>【祭典行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭典行事には、地域内外からの協力者が多く、地域内ではおシメ作り、おシメ張りなど協力してくれますが、祭典行事の盛り上がりは、以前より減少しており、大きな神輿が担げません。参加者も同じ顔ぶれで、町内だけの取組では無理で、マンネリ化が懸念されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の合併、合同開催を考えるとともに、費用の徴収方法、神社の近代化など、現代に合った運営方法を探りながら、各団体を通じて祭典行事の盛り上げを行っていきます。 ・若い人、子どもへの参加の呼びかけを考え、参加者の拡大を行います。

5 健康・福祉

【めざす姿】心身ともに健康で、安心して過ごせる「まち」

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>【敬老会・サロン・訪問活動など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、各自治会体単位で敬老祝賀会を開催していますが、対象者増加による開催場所の確保や予算内でのやりくりが課題となっています。また、開催には婦人会や小田原東高校等の協力があり、地域でより良いものにしていくと取り組んでいます。 ・高齢者の引きこもり防止を目的にしたきずなチームによるサロン活動（お茶を飲みながら交流）、筋力アップトレーニングは定期的（毎週火曜日）、継続的に行い、地域で回覧・通知をしていますが、参加してほしい方々の参加が少ない状況にあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者の増加に備え、自治会合同での敬老祝賀会の開催も視野に検討していきます。 ・自治会、各団体とともに数回の会議を開いてより良い敬老祝賀会にしようとしていきます。 ・本当に参加してほしい方々に参加いただけるように各団体を通じて通知する等、工夫し、活動を継続していきます。
<p>【健康普及活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康おだわら普及員と連携し、健康相談・健康祭・ミニミニ健康デー等を開催し、住民の健康増進を図っていますが、参加者が集まりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バザー等、人が集まるイベントと一緒に実施する活動を継続し、参加者を増やしていきます。
<p>【訪問活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブの友愛活動や婦人会、きずなチームが独居の高齢者、昼間一人になる高齢者への弁当を届ける活動を行っており、喜ばれています。しかし、活動の中心者は全員ボランティアであり、このまま対象が増えると継続が困難になることが予想されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ、婦人会、きずなチームの三者が情報を共有した上で連携し、今後も活動を継続していきます。

<p>【健民祭・スポーツフェスティバル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健民祭を毎年1回開催していますが、一般の参加者が少なく、減少傾向にあります。（特に子ども）また、地区毎でまとまっている訳ではないので、一部の交流でとどまっています。 ・山王松原は新玉地区スポーツフェスティバルに学校行事の一環として参加しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年1回開催し、区民の健康づくりと区民交流の機会にするため、各団体を通じ、参加者の拡大やアピール方法をもう少し考えます。 ・交流を進めるための取組を検討します。
<p>【福祉関連事業施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターとの連携のため、2か月に一度、センターの職員を招いて学習し、福祉についての理解を深め、活動の充実を図っています。（民生委員） ・地域内の福祉関係事業施設について、規模・活動等が地域の方々や施設間でもあまり知られていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を継続し、参加者の拡大を図ります。 ・非常に大切なことなので、老人会に働きかけや、老人会の会合に職員を招いて学習する等、取り組みます。 ・福祉関係事業施設をイラストマップのような分かりやすく見やすい資料として地域住民に分かるよう、掲示する等、検討していきます。
<p>【広報誌】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協からは年2回（11月・3月）の広報を自治会加入全世帯と学校施設へ、老人会からは月1回の広報を会員全員に発行していますが、読み手の反応があまりありません。 ・配布物が多く、配布作業は各役員の負担にもなり、読み手側の情報過多も心配されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面レイアウトを含め、情報過多にならないよう、対応を検討していきます。また、配布作業の負担を考えて精査して配布していきます。

6 文化・教育・子ども

【めざす姿】地域と学校が協力し、文化・子どもを育む「まち」

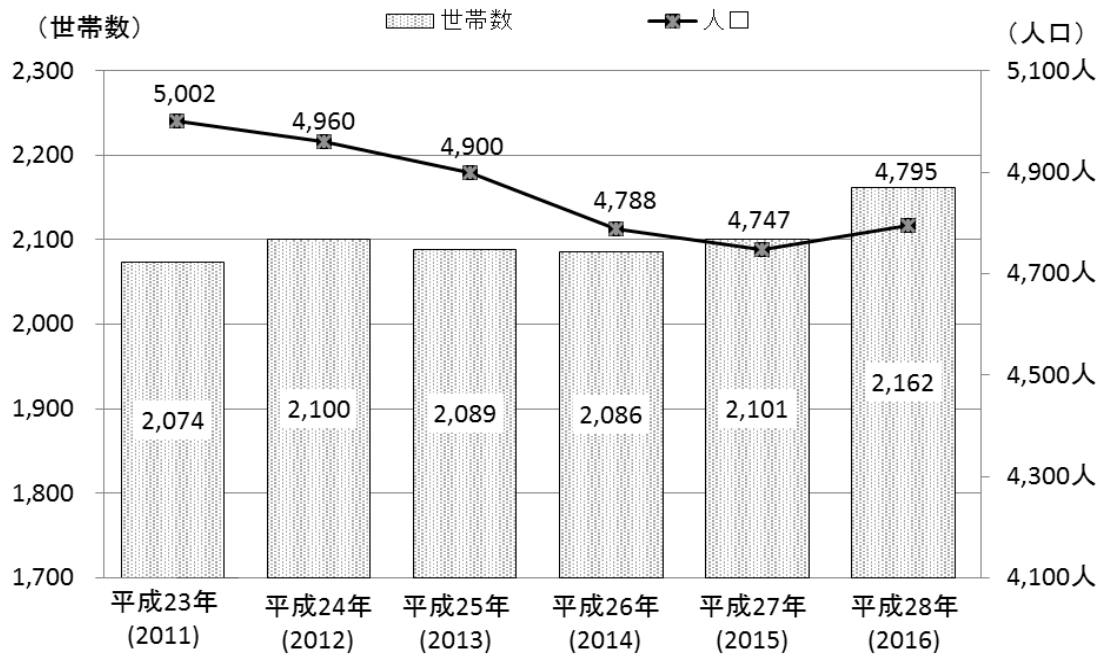
誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>【情報共有】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内の情報伝達に支障はきたしていませんが、社会の仕組の変化とともに隣組の絆が弱まってきていると感じられています。 ・ 家族の年齢構成が近い世帯同士、各団体でSNS等を利用した情報交換ができていますが、高齢者世帯との交流が課題です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体未加入者や独居の高齢者等、情報が届きにくい方への情報伝達は各団体共通のマニュアルを作成する等、方法を工夫していきます。 ・ 防災の安否確認訓練等を通じ、隣組の絆を深めていきます。 ・ 全体を通して、自治会や子ども会に加入する方が減っていると同時に、イベントごとの通知が未加入者へは行きわたっていないので、SNS等を使っての案内（例えば山王網一色地区でフェイスブック登録等）を行い、新しい加入者への呼びかけにもつなげていきます。 ・ 文章、回覧物等での情報伝達を継続するとともに、自治会総連合のHPに自治会やまちづくり委員会の情報を掲載できることがあまり知られていないので、PRしていきます。
<p>【地域の歴史】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 網一色地区においては、公民館の活動として歴史資産の活用を検討しています。 ・ 山王公民館では常時、網一色公民館ではフェスティバルの際に昔の郷土の風景等の写真を展示しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真を地域の方に見ていただく機会を作る（地域全体で古写真の収集をする）など更なる事業展開を検討していきます。 ・ 地域の希望がある場合は山王小学校内での古い写真の展示、公開を検討していきます。

<p>【見守り・ボランティア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校へのサポートは登下校時のパトロール、スクールボランティア（学習・環境施設の整備・行事への付き添い等）といった各活動が定着してきており、地域、学校、保護者が一体となって子どもを見守っています。しかし、地域の方々が協力しやすい環境の整備はまだ不十分です。 ・登下校時の安全パトロールは保護者が中心で行っています。しかし、若い人は皆、仕事があるので協力は簡単ではありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が気持ちよく登校でき、朝のあいさつができる体制を推進するとともに、地域の方々が無理のない範囲で協力しやすい環境づくりに取り組んでいきます。 ・山王小学区は交通量が多い国道と狭い路地が複雑に交差しているため、登下校時の安全パトロールを地域の方をお願いしていきます。
<p>【児童遊園地・公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童遊園地・公園は地域での子どもの身近で大切な遊び場になっており、見守り、遊具の点検・増設に心がけ、子どもの安全・成長に役立っています。また、地域の方々に温かく見守っていただいています。 ・若い人は皆、仕事があるので協力は簡単ではない状況ですが、遊具の点検などは自治会や保護者が実施しており、よくやっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での維持管理を継続するとともに、公共施設の使い方について、学校・家庭・地域が共通理解を持ちながら子ども達に指導していきます。
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練などで小・中・高の各学校と連携を取っています。また、学校では児童生徒が地域防災に関心を持つよう、指導しています。 ・小田原東高校は山王小学校及び白鷗中学校と連携した行事を実施していますが、地域の方々には小田原東高校との関わりがあることをあまり知られていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も児童生徒達に地域防災をきっかけとして、地域行事にも興味を持ってもらえるようにしていきます。また、学校との関わりを地域に知ってもらえるような工夫をしていきます。 ・高校生を地域の指導者として呼ぶ機会を持つことを検討していきます。 ・先生、PTAに負担がかかり過ぎないような活動の実施が必要です。

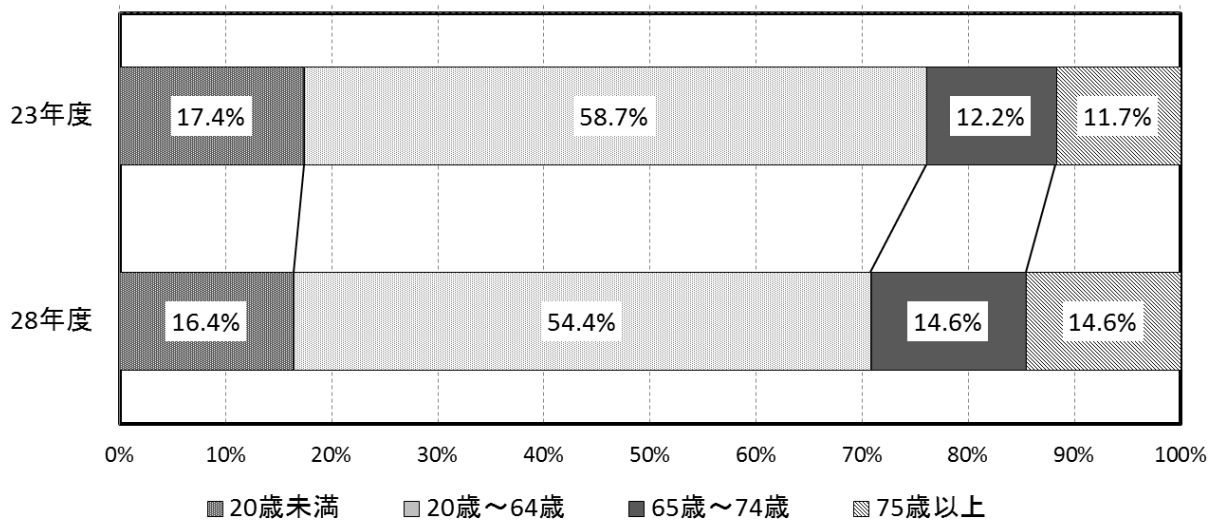
参考資料(山王網一色地区)

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

人口と世帯数の推移



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



山王網一色まちづくり委員会における検討経過

平成 28 年 5 月 24 日		地域別計画の見直しについて説明、 各委員に見直しシートを配布
9 月 27 日	b グループ	見直し（案）を基に意見交換
11 月 25 日	ab グループ	見直し（案）を基に意見交換
平成 29 年 2 月 10 日		全体承認

平成29年2月作成

山王網一色まちづくり委員会

委員長

譲 原 平 海 山王 70 区自治会・自治会長

委員

黒 澤 朝 光 山王松原自治会・自治会長
瀬 戸 晃 山王西自治会・自治会長
森 正 山王東自治会・自治会長
常 盤 一 郎 網一色自治会・自治会長
黒 澤 泰 雄 山王松原自治会・防災リーダー
湯 川 孝 一 山王西自治会・防災リーダー
川 口 功 一 網一色自治会・防災リーダー
勝 村 光 伸 消防団第 3 分団・分団長
小 島 多津子 山王網一色地区連合婦人会・会長
湯 川 貴 裕 山王小学校地区青少年健全育成協議会・会長
山 口 繁 山王網一色地区老人クラブ連合会・会長
岩 田 隆 一 山王網一色地区社会福祉協議会・会長
椎 野 泰 幸 山王網一色地区民生委員児童委員協議会・民生委員
柴 田 千賀子 山王網一色地区民生委員児童委員協議会・主任児童委員
松 下 静 江 山王網一色地区連合ボランティア会・会長
佐 藤 正 幸 山王小学校 P T A ・会長
荻 野 淳 一 山王小学校・校長
伊 東 宏 幸 白鷗中学校・校長
塩 原 正 美 小田原総合ビジネス高等学校・校長
毛 利 佳 子 障がい者サポートセンター・センター長
望 月 直 洋 社会福祉法人小田原 支援センター小田原アシスト・理事長
古 木 映 里 N P O 法人 障がい者地域作業所ゆう・所長
杉 山 孝 光 網一色自治会・前防災リーダー

地域別計画

(平成 28 年度改定)

～ 足柄地区 ～

足柄地区まちづくり委員会

地域のキャッチフレーズ

住んでみたい 住んでよかった 足柄

はじめの一步(住民自ら取り組むこと) ～ できることから始めよう ～

- 1 地域振興等** 気軽に声かけ合える、安心して住みやすいまち
子どもから高齢者まで元気で交流が盛んなまち
- 2 生活環境等** 地域の人々の環境意識が昔の酒匂川・山王川清流を呼びもどす
ごみが落ちていない地域を目指して活動するまち
高齢者が地域の子どものとふれあう元気なまち
お互いの健康状態を知っているまち
地域に子どもの声がこだまするまち
- 3 防災防犯等** 地域で支えあい築く安心
声かけあって明るいまちづくり

1 地域振興等

【めざす姿】

気軽に声かけ合える、安心して住みやすいまち

●誇れるもの・◆困ったこと	できることから始めよう
<p><住民の交流></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆自治会連合会の中でも、山王川を境に、住民の生活環境が異なっています。古くからの住宅地においても、住民の生活スタイルや意識の変化に伴い、地域のつながりが希薄になっています。 ◆新たに転入してきた住民や若い世代は、隣近所や地域の高齢者とのつながりや交流があまりないようです。 ◆自治会を通じて、健民祭等さまざまな行事への声かけを行っていますが、年々、参加者が減少するとともに、固定化されてしまっており、地域活動が形骸化しています。 ●多くの団体が協力し、町田小学校で盛大な敬老会を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの声かけは非常に大切なことです。自治会連合会では、年1回のあいさつ運動を実施していますので、これからも続けていきます。 ・あいさつは顔見知りになるきっかけになります。登下校の見守り活動やパトロール、清掃活動の際、顔を合わせたらあいさつをするよう心がけていきます。そして、子どもたちにもあいさつの大切さを教えていきます。 ・毎年実施している、健民祭や神社のお祭り等には、隣近所での声かけや宣伝を積極的に行い、参加者を増やすよう努めていきます。 ・行事の中で子育て家庭が興味を持つような催しの開催や、青壮年部へ協力を依頼し、若者が地域活動へ参加するきっかけを作っていきます。
<p><自治会></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆数年で転居することが多い住民は、自治会活動に関心がないことが多く、足柄地区に限ったことではありませんが、自治会未加入世帯が増加しています。 ◆自治会や各種団体の役員は精一杯活動しており、これ以上の負担は難しくなっています。 ◆地区には若い世代も住んでいます、生活のリズムが高齢者と合わないことも多く、地域活動へ参加することができません。 ◆自治会だけでなく、各種団体においても、役員世代交代ができていないため、担い手が不足しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりを深めていくために、住民が顔を合わせる機会を増やすよう努めていきます。 ・お祭りや各種行事の参加を呼びかける声かけは、今後も継続していきます。 ・高齢者が昔遊びを子どもに教えるなど、世代間交流ができる場をつくっていきます。 ・子ども会の保護者に参加を依頼するなど、若い人たちが地域を盛り上げるような仕掛けづくりに取り組み、少しずつ世代交代を図っていきます。

<p><子ども会></p> <ul style="list-style-type: none"> ●子ども会と自治会とで連携がとれています。 ◆親が役員を受けたくないために、子ども会をやめてしまう家庭もあります。 ●各地区の子ども会が太鼓の練習をがんばっており、お祭りで披露しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も双方で無理なく、活動を続けていきます。 ・役割を分担し、一人ひとりの負担の軽減や、スポーツ団体との日程調整を行いながら、加入しやすい状況をつくっていきます。
--	---

【めざす姿】

子どもから高齢者まで元気で交流が盛んなまち

●誇れるもの・◆困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> ●毎年7月の最終週に、各地区一斉に、夏祭りが開催されます。 ●夏祭りのときには、外から子どもや孫が戻ってきて、地域はとて賑やかになります。また、子どもたちはあちこちの会場を駆けもちして遊ぶことができ、地域の交流も生まれています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りの開催によって、小さな単位での交流が促進され、結束が強くなることから、今後も続け、更なる住民交流を図っていきます。 ・準備の際、ボランティアを募集するなどして、若者の参加を促していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ●各地でグランドゴルフを実施しており、最近是他地区からの参加者も少しずつですが、増えています。 ●34区では、お祭りやバーベキュー、夜警等、青年部での活動が活発で、男性の交流が盛んです。 ●地域の中学生在が健民祭に参加しています。 ◆地区全体の行事は、健民祭や防災訓練くらいしかなく、大人同士の結びつきが少ない地域です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地で行わせているグランドゴルフを、広く周知して、地区全体の行事として実施することを検討していきます。 ・回覧や社協だよりを活用し、行事のお知らせや結果の広報に努めていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ●町田小学校の花をいっぱいにする運動で、まちがきれいになったと感じています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・花を植えることは、防犯に役に立ち、また、更なる地域住民の交流にもつながることから、花をいっぱいにする活動を地域に広げていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ●36区は公民館活動が、セントラルハイツはサークル活動が盛んです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、実施している公民館活動やサークル活動の情報を、地区住民に広く提供することにより、地域のつながりを密にしていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ◆地域内には、神社や寺、史跡がたくさんありますが、住民の中には知らない人もいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資産を後世に伝えていく方法を検討していきます。

<p>◆子育て中の若いお母さんは隣人との付き合いがあまりありません。</p> <p>●月 1 回のにこにこ広場（子育て支援のボランティア）を開催しており、若いお母さんの交流と憩いの場となっています。</p>	<p>・にこにこ広場を広く周知し、参加者を増やしていく方法を検討していきます。</p>
---	---

2 生活環境等

【めざす姿】

地域の人々の環境意識が昔の酒匂川・山王川清流を呼びもどす

●誇れるもの・◆困ったこと	できることから始めよう
<p>●山王川や酒匂川の清掃に地区住民が積極的に参加しています。</p>	<p>・河川の清掃活動は今後も続けながら、参加者を増やす工夫をしていきます。</p> <p>・毎年、山王川の清掃前に、草刈りを実施しており、今後も継続します。</p>

【めざす姿】

ごみが落ちていない地域を目指して活動するまち

●誇れるもの・◆困ったこと	できることから始めよう
<p>●足柄地区全体でいっせい清掃日を設け、道路、公民館、公園、神社の境内等のごみ拾いや草むしりを行っています。</p> <p>◆近い時期に同じ場所の清掃を行っていることがあります。</p>	<p>・今後も活動を続け、参加者を増やし、地域の方の交流を図りながら、モラルの向上に努めていきます。</p> <p>・清掃活動の情報共有を行い、有効な活動の方法を考えていきます。</p>
<p>◆ごみステーションに捨てられているごみの中に、分別が出来ていないものや収集日でないものを捨てている人がいて、モラルの低い人が見受けられます。</p>	<p>・ルール違反に対して、お互いに注意するよう心がけ、また、定期的にパトロールすることを考えていきます。</p>
<p>◆子どもに手本をしめす親も環境美化に対するモラルが低下している人もいるので、子どもに悪影響を与えることが懸念されます。</p>	<p>・親子の参加する行事等で、ごみ出しルールや、ポイ捨て禁止について伝えるように心がけ、親子ともに環境美化に対する意識を芽生えさせていきます。</p>

【めざす姿】

高齢者が地域の子どもとふれあう元気なまち

●誇れるもの・◆困ったこと	できることから始めよう
<p>●高齢者の健康管理は、老人会で指定医を設けることやウォーキング、毎週水曜日に町田公民館で体操を行うなど、健康維持・増進に気を付けています。</p> <p>●36区では、夏休みに町田小学校グラウンドで朝のラジオ体操を実施しています。</p> <p>◆ウォーキング大会等は高齢者のコミュニケーションの形成にもつながっていますが、高齢者は軽い運動でも負担になるのか継続して参加する人は少数です。</p> <p>●コミュニケーション形成の場として、老人会が開催している行事への参加者が多く、必要不可欠なものとなっています。</p>	<p>・老人会の行事や、ウォーキング、体操等、すでにある行事を活用し、コミュニケーション形成の場をつくっていきます。</p> <p>・指定医を設けることで未病の段階で予防できるよう心がけて行きます。</p> <p>・老人会の活動に限らず、行事の内容によって、参加者が増えます。例えば、日帰り旅行等は定員を超えることもありますので、行事の内容を工夫しながら活動の継続と充実に努めます。</p>
<p>●町田小学校では、ペットボトルキャップ、廃油、ベルマーク、プルタブを集めています。集まったペットボトルキャップは、車椅子に換え、老人ホームに寄付しています。</p>	<p>・小学校へ回収ボックスを設置するなど、より多くの方からペットボトルキャップの回収ができるような工夫をしています。</p>
<p>●毎年、老人ホームに小学生、美術部や科学部の中学生が訪問し、交流をしています。終了後、食事会を兼ねて、公民館で子どもたちから感想を聞いています。</p>	<p>・老人ホーム訪問等の世代間交流を継続するように努めながら、高齢者と子どもが接する機会を増やすため、小学生に竹とんぼやコマ等の昔遊びを教え、中学生には昔の経験を話す機会を設けるように努めます。</p>
<p>●足柄地区地域福祉コーディネーター会が、「あしがらスマイルの会」を立ち上げ、生活する上で困りごとがある方を対象に、ごみ出し等の生活支援サービスを行っています。</p> <p>●ザ・ビック小田原寿町店にて、黄色いレシートキャンペーンを行っています。</p>	<p>・「あしがらスマイルの会」を周知し、活動を広めていきます。</p>

【めざす姿】

お互いの健康状態を知っているまち

●誇れるもの・◆困ったこと	できることから始めよう
<p>●健康維持・増進を考えるきっかけになるように、健民祭を開催し、それにあわせて会場で健康教室等を行っています。</p> <p>◆健民祭に参加する人が減ってきているので、寂しくなり、せつかく行っている健康教室を利用しない人がいます。</p> <p>◆健民祭が地区対抗で優勝することが目的になっていて、レクリエーションとしての目的が薄く、運動の苦手な人が参加しづらい状況です。</p> <p>●健康や体力増進のためグラウンドゴルフ、ソフトボール大会、ウォーキング大会等のスポーツ行事を開催しています。</p>	<p>・健民祭への参加者を増やすため、行事の意義や目的を伝えながら、お互いに参加を呼びかける声かけを行い、新旧住民のつながりもつくっていきます。</p> <p>・子どもや孫が健民祭の種目に出場すれば、親や高齢者が観戦に来ます。そこで世代間交流が生まれるので、子どもが参加しやすい工夫を行っています。</p> <p>・健民祭を、学校と連携する体制を考えていきます。</p> <p>・健民祭の会場で行っている健康教室をPRし、利用してもらえように努めます。</p> <p>・健民祭の種目の変更等は負担になりますが、もう少し参加しやすい種目に変更することを検討していきます。</p>

【めざす姿】

地域に子どもの声がこだまするまち

●誇れるもの・◆困ったこと	できることから始めよう
<p>◆友達同士外で遊ぶことは、将来、人と人のコミュニケーションを取る方法を学ぶ良い機会なので、子ども達が外で遊べる環境づくりが必要です。</p> <p>◆少子化の影響もありますが、地区の活動に参加する子どもが減っています。</p> <p>●毎年秋に、世代間交流として、小学生の芋ほり体験を実施しています。</p>	<p>・子どもたちに地区活動に参加してもらえよう、子ども会や学校に協力を依頼していきます。</p>

3 防災防犯等

【めざす姿】

地域で支えあい築く安心

●誇れるもの・◆困ったこと	できることから始めよう
<p>◆地域内には、酒匂川や山王川があり、地震や台風、集中豪雨等による河川の氾濫、津波等が心配です。</p> <p>◆自治会を中心に、防災訓練を行っています。しかし、防災訓練は、回覧板で周知し、参加を募っていますが、毎年同じ人が参加することが多く、人数も減ってきています。</p> <p>◆日頃から防災に関する情報に接する機会も少なく、住民の災害に対する意識が低下しています。</p>	<p>・小学校単位での防災訓練を継続していきます。</p> <p>・防災訓練の内容を見直し、更なる充実を図ることで、災害時に対応できる訓練にしていきます。</p> <p>・回覧や社協だより等を利用して、災害への備えを周知したり、各単位自治会で防災マップの作成を通じて危険箇所の認識を深めたり、講演会の実施や行政の出前講座を活用するなど、防災情報に触れる機会を増やし、一人ひとりの防災意識の向上に努めていきます。</p> <p>・単位自治会で、防災訓練の実施や、防災用具の点検および拡充を行っていきます。</p> <p>・発災時には、中学生が大きな力になります。実践に近い体験の場を用意することで、中学生の防災への意識を高めていきます。まずは、子ども会のOB・OGへ声をかけていきます。</p>
<p>◆地域の中のコミュニケーションが十分とはいええず、発災したときに、お互いが助け合うことができるか不安です。</p> <p>◆小学校の学区と自治会の区域が違うため、親子で広域避難所も異なり、発災時に避難しづらいこと等の問題があります。</p>	<p>・地域での活動を通じて声をかけ、あいさつを交わし、自治会未加入者へコミュニケーションの必要性や自治会で行っている活動を伝え、お互いが助け合える関係を作っていきます。</p> <p>・組長会議や防災訓練の際に、小さな単位で住民が話し合う場を設け、避難方法や声かけ等について確認していくことを検討します。</p>

【めざす姿】

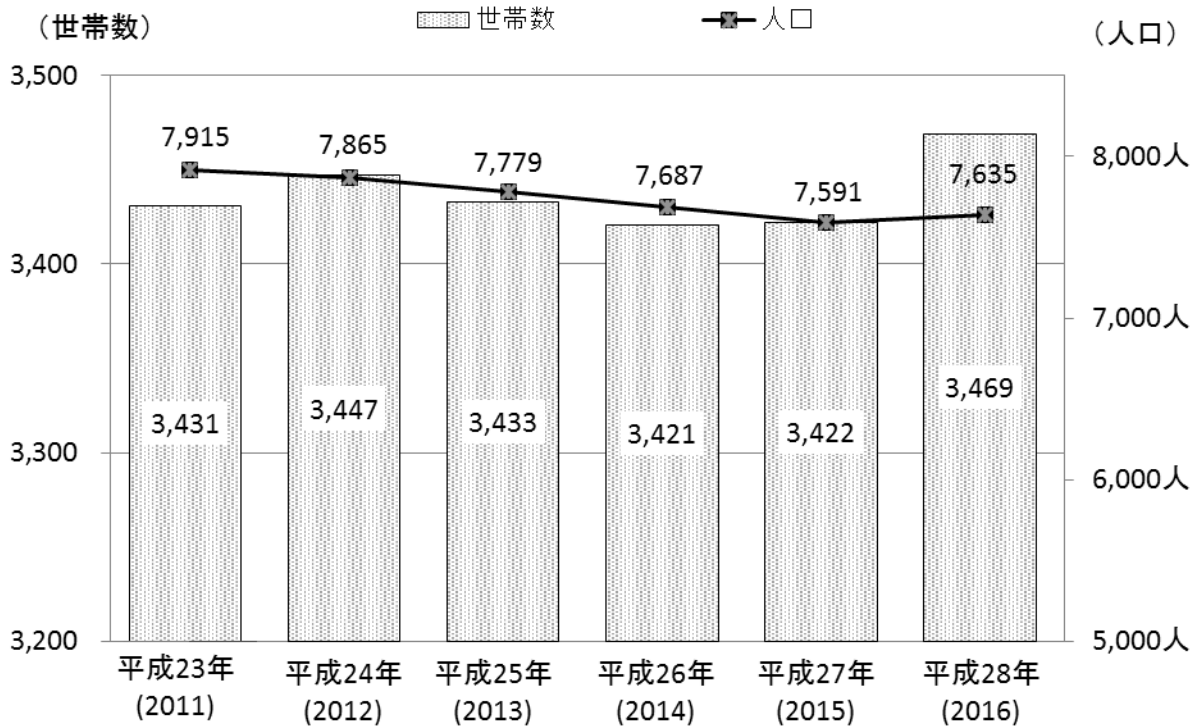
声かけあって明るいまちづくり

●誇れるもの・◆困ったこと	できることから始めよう
<p>●防犯灯の故障時には、市へすみやかに連絡をしています。</p> <p>◆痴漢や悪質な犯罪等に対する不安があります。</p> <p>◆夏休み、中高生が夜に騒いだり、たばこを吸ったりしています。</p> <p>●行政と連携した防犯パトロール、啓発活動実施しています。</p> <p>●地域ぐるみで、登下校時の見守り活動を実施しています。</p>	<p>・パトロールを継続し、地域で起きた犯罪や中高生の情報を共有、回覧で素早く周知し、また防犯教室の開催等を行っています。</p> <p>・子どもが安心して通学できるよう、登下校時の見守り活動を継続し、学校と連携しながら活動の充実を図っていきます。</p> <p>・見守り活動の時にあいさつ運動も合わせて行い、地域の絆を強めます。また、子ども110番に協力していただける方を増やし、年数が経過したステッカーは新たなものに交換し、犯罪が発生しにくいまちづくりを行っています。</p>
<p>◆地域内で交通事故が発生し、住民が被害者となるケースがあります。</p> <p>◆自転車の乗り方等交通ルールを守らない人がいます。</p> <p>◆夜間に見えづらい服装でウォーキングをしている人が増えています。</p>	<p>・交通安全教室等を通じて、正しい交通ルールとマナーを身につけ、交通事故の被害にあう人が減るよう活動を継続していきます。</p> <p>・子どもが交通事故の被害にあわないよう、登下校時の見守り活動を継続していきます。</p> <p>・交通事故が発生している箇所を回覧等で周知して、注意を促していきます。</p> <p>・夜間ウォーキングをする際には、反射板等を身に付けて歩くよう呼びかけていきます。</p>

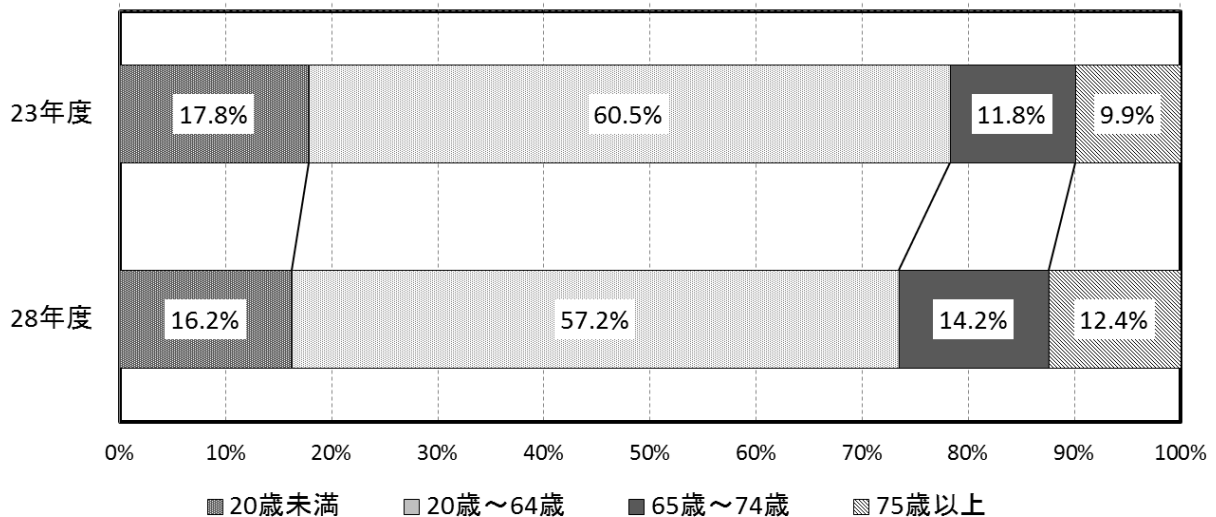
参考資料(足柄地区)

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

人口と世帯数の推移



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



足柄地区まちづく委員会における検討経過

- 平成 28 年 4 月 14 日 地域別計画の見直しの方法について意見交換
平成 28 年 7 月 11 日 各委員に見直し用記入用紙を配布
平成 28 年 11 月 10 日 地域別計画の見直し
平成 29 年 2 月 7 日 地域別計画改定版(案)の承認

平成 29 年 2 月作成

足柄地区まちづくり委員会(見直し検討会)

委員長

柳下 登 (足柄地区自治会連合会長・第 37 区自治会長)

副委員長

萩原 一夫 (足柄地区自治会連合会副会長・第 35 区自治会長)

曾我 和夫 (足柄地区自治会連合会副会長・第 36 区自治会長)

会計

松本 昇 (第 37 区環境美化推進員)

監事

佐藤 豊 (第 33 区自治会長)

委員

北舘 時雄 (セントラルハイツ自治会長)

高橋 一雄 (第 34 区自治会長)

梶川 真紀 (足柄地区自治会連合会会計)

山田 敏夫 (足柄地区社会福祉協議会長)

瀬戸 昌子 (足柄地区民生委員児童委員協議会長)

出野 正一 (町田小学校区青少年育成協議会長)

二見 マリ子 (足柄地区ボランティア会長)

高橋 末哲 (町田小学校 P T A 会長)

岩本 千依 (町田学区連合子ども会長)

加藤 宏 (第 33 区環境美化推進員)

菅野 裕二 (セントラルハイツ環境美化推進員)

古賀 正美 (第 34 区環境美化推進員)

額田 節子 (第 35 区環境美化推進員)

根上 寿雄 (第 36 区環境美化推進員)

地域別計画

(平成 28 年度改定)

～ 芦子地区 ～

芦子地区コミュニティ委員会

地域のキャッチフレーズ

人と伝統と発展が融和するまち 芦子

はじめの一步(住民自ら取り組むこと) ～ できることから始めよう ～

- 1 特色あるまちづくり
- 2 伝統や絆のあるまちづくり
- 3 “和”がある福祉のまちづくり
- 4 絆による安住のまちづくり
- 5 子どもを守るまちづくり

1 特色あるまちづくり

★誇れること・◆困っていること	できることから始めよう
<p>★地区内には、神社や寺院が多くあります。 また、北条時代に築かれた総構の一部としての空堀や城下張出（国指定史跡）等もあります。</p> <p>★市役所や合同庁舎等の官庁街であるとともに、神奈川県西のみならず、箱根や伊豆の玄関口としての小田原駅西口に隣接しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統を継承しながら、通勤者の増加等、地域の変化にも対応し、顔のわかる地域を目指します。
<p>★小田原駅西口広場、公民館、公園、道路等へ花植えを行い、その管理と清掃を行っています。</p> <p>★神社の清掃を行い、山王川・久野川清掃へ参加をしています。</p> <p>★けやき通りの落ち葉拾いをしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動を続け、きれいなまちを維持し、駅を利用する人へも潤いを与えていきます。
<p>◆行事への子どもの参加が減少しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会やスポーツ団体、小中学校と連携して、子どもの参加を促していきます。

2 伝統や絆のあるまちづくり

★誇れること・◆困っていること	できることから始めよう
<p>★大稲荷神社は毎年5月に、仙狐稲荷神社や市方神社、池上稲荷神社は、毎年秋に祭礼が行われており、山車や神輿が出ます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統行事やレクリエーション大会は、地域のコミュニケーションの場として大切なので、関係団体と協力して、続けていきます。
<p>★神社や寺院の例大祭や、どんど焼、節分、初詣等の伝統行事、夏祭、区民体育祭、公民館祭で、地域住民のとの融和を図っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館を活用し、地域のコミュニケーションを図る方法を検討していきます。
<p>★行事や祭事等に協力し合い、地域の交流は良好です。</p> <p>★家族バーベキュー大会や、家族レクリエーション大会を実施して、地域内の親睦と絆を深めています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものいない世帯でも参加しやすいよう工夫をし、新規居住者にも積極的に声かけを行っています。

<p>★川口広蔵が進めて造られた荻窪用水は、荻窪をはじめとした農業の集落が栄えました。今でもその功績をちなんで春秋の墓参と戦没者の慰霊祭を行っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・用水の支流は、荻窪用水がある限り、地域の生活水路網として保全していくよう努めます。
<p>★小学生を対象に陶芸教室や球技大会を毎年実施し、作品は子どもフェスティバルで出店しています。</p> <p>★祭礼万灯絵を製作し、祭りの賑わいに花を添えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続し、子どもたちのふれあいとコミュニケーションの醸成、地域行事への愛着を育んでいきます。
<p>◆マンションや一人暮らし用のアパートが増えており、町内の一体感が醸成し難しくなっています。また、誰が住んでいるのかわからないようになってきました。</p> <p>◆子ども会の加入率が低下しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会や子ども会への加入促進の声かけを定期的に行っていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・特に新規住宅、アパート等への入会勧誘を積極的に行っていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・マンション等の経営者や不動産会社を通じて、自治会加入を進めていきます。
<p>◆高齢化、単身世帯の増加により、活動が鈍くなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会便りを発行し、自治会の情報や会員の声を伝えることで、会員に対する活動への理解を図っていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・行事は年々充実しているため、各種行事への参加意識を高めてもらうよう、働きかけをしていきます。

～参加しよう！地域のお祭り（芦子小学校区）～

<p>寺町</p>	<p>1月15日 どんど焼 仙狐稻荷神社</p>	<p>7月第4土曜 夏祭 小田原ガス駐車場</p>	<p>10月上旬 例大祭 仙狐稻荷神社</p>	<p>2月11日 初午祭 仙狐稻荷神社</p>	
<p>荻窪</p>	<p>1月14日 どんど焼 荻窪公民館</p>	<p>お盆前の土曜 夏祭 荻窪公園</p>	<p>10月10日前の土日 例大祭 市方神社</p>	<p>2月24日 小祭 市方神社</p>	

谷津	1月14日 どんど焼 大稻荷神社 ※入谷津は城山第一公園	2月3日 節分祭 大稻荷神社	5月4、5日 例大祭 大稻荷神社	7月第4土曜 夏祭 高長寺	
池上	1月1日 初詣 稲荷神社	1月第2土曜 どんど焼 道祖神前	2月11日 初午祭 稲荷神社	8月第1土曜 夏祭 眼蔵寺	10月第2土日 例大祭 稲荷神社
宮本	1月第2土曜前後 どんど焼 宮本公民館	8月初旬 納涼祭 宮本公民館	10月第2土日 例大祭 神山神社		
小田原 サニー タウン	1月第2土曜前後 どんど焼 サニータウン内	8月 納涼祭 サニータウン内			

3 “和”がある福祉のまちづくり

★誇れること・◆困っていること	できることから始めよう
<p>◆高齢者や一人暮らしが多くなっています。</p> <p>★いきいき健康教室、敬老会、シルバースポーツ大会、ふれあい健康フェスティバル、世代間交流ウォーキングを行っています。</p> <p>★月2回の寝たきり老人訪問や年5回の昼食会等により、一人暮らし高齢者の安否を確認し、高齢者を地域で支えています。</p> <p>◆様々な行事を行っているが、参加者が固定しています。</p>	<p>・こうした活動を通して、地域のつながりを高めながら、高齢者も安心して暮らすことができるまちづくりに取り組んでいきます。</p>
<p>★区民体育祭やグラウンドゴルフ大会、子ども駅伝大会等を行っています。</p>	<p>・こうした活動を続けることで、住民の各世代における健康増進とコミュニティの育成を図っていきます。</p>
<p>★老人会は、芦子小学校で子どもたちに昔遊びを教えています。</p> <p>★子ども会と老人会が協力して、けやき通りの清掃を行っています。</p>	<p>・子どもたちと交流することで、高齢者に生きがいを持ってもらうだけでなく、高齢者と子どもとのコミュニケーションの醸成や子どもが身近な遊びの楽しさを伝えていきます。</p>

★子ども会では、夏休みにラジオ体操を行っています。	・ラジオ体操を継続し、参加する子どもたちの健康づくりや生活習慣の維持だけでなく、子ども同士のコミュニケーションの醸成に努めていきます。
	・子どもたちにラジオ体操を覚えてもらうために、体験する機会を作っていきます。
★区民体育祭には、芦子地区の子ども会だけでなく、久野地区の子ども会も参加しています。	・芦子小学校を通したつながりを大切に、地域を越えた連携を図っています。
★各地区で老人会が、行事や交流の場を作っています。例えば、ペタンク、バス旅行、講話会、会合のあとに唱歌を歌うなど、様々な行事を行っています。	・今後も、活動を通じて親睦を深めていきます。 ・また、サロン活動として、参加者を募ることを考えていきます。
★定期的にあいさつ運動を実施しています。	・住民が気軽にあいさつできるような地域づくりをめざして、あいさつ運動を続けていきます。

4 絆による安住のまちづくり

★誇れること・◆困っていること	できることから始めよう
★毎年、芦子地区自治会連合会で、防災訓練を実施しています。久野地区の宮本自治会、小田原サニータウン自治会も参加しています。 ◆防災訓練は、参加者が少ないことが課題となっています。	・参加を増やすために、お知らせや訓練内容の工夫に努めます。
◆防災に対する意識が低下しています。 ◆過去の大災害を経験した人がほとんど居なくなっていました。	・お祭り等の行事で、防災資器材の展示を行っています。
	・防災教室を開催しています。
	・災害の状況を掘り起こして次につなげる必要があります。

	<ul style="list-style-type: none"> ・単位自治会で防災訓練を実施している地区もあり、続けていきます。
<p>◆関東大震災級の災害時には、道路が狭く、避難や救助への影響や高台にある住宅の崩落が心配されています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、芦子地区自治会連合会での防災訓練をはじめ、消防団による火災予防運動や日常の訓練等を通して、住民の防災への意識と地域防災力を高め、いざというときに助け合える地域づくりに取り組んでいきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・発災時に直ちに使用できるように、防災倉庫内の点検をし、備品の充実を図っていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・坂道が多い地区では、訓練の工夫を考えていきます。
<p>◆高齢者が増加している中で個人情報保護等の問題もあるが、情報の共有化が必要です。</p> <p>◆災害時に要援護者への伝達方法がなく、心配です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が起きたときに、お互いが助け合えるように、敬老会等の交流の場を提供しながら、隣近所でのコミュニケーションを充実していきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・組長、班長による事前の連絡網をしっかりと作っていきます。
<p>◆官公庁に近く、道幅が狭く、一方通行道路等による交通渋滞が多いので、交通の安全が確保されていません。</p> <p>◆自転車の危険運転が目立ちます。</p> <p>★自転車の交通ルール改正に伴い、警察によるチリリンスクールを開催しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事故多発地帯について、地域に注意を促すとともに、改善を図るように市へ働きかけを行っていきます。
<p>★自治会管理の防犯灯について、保守・点検を行っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保守・点検を行い、夜間の安全を確保していきます。

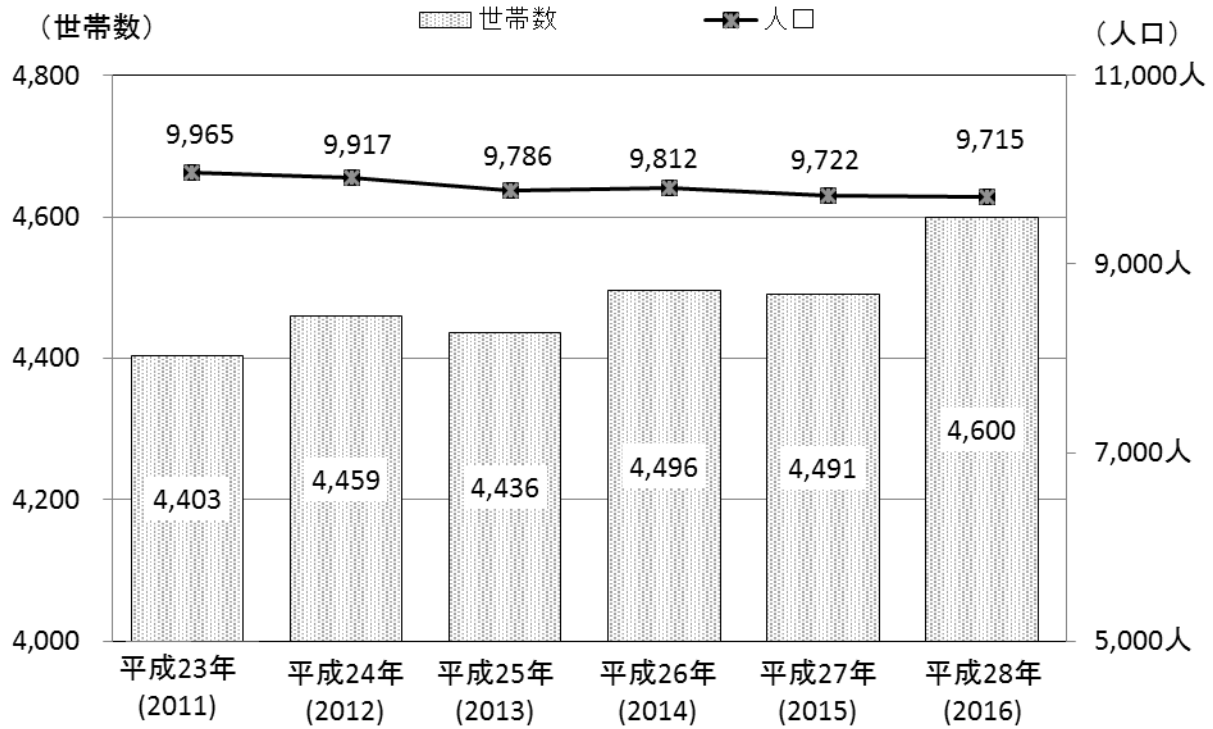
5 子どもを守るまちづくり

★誇れること・◆困っていること	できることから始めよう
<p>◆子どもが犯罪に巻き込まれないように、地域で見守る目を強化する必要があります。</p> <p>★自治会ごとの防犯パトロールや青少年育成推進協議会の地区パトロールを実施しています。</p> <p>★青少年健全育成協議会では、地域特別街頭指導を行って、子どもたちの健全な育成を見守っています。</p> <p>★月初め、小学生の通学時間に、ボランティア、自治会、民生委員で、あいさつ・見送り運動を実施し、子どもだけでなく、通勤の大人にも声をかけています。</p>	<p>・パトロールを継続し、子どもを見守る目によって、犯罪を未然に防ぎ、子どもたちを地域で守っていきます。</p>
<p>★通学路安全マップを作成し、芦子小学校新1年生に配布しています。</p> <p>★通学路を点検し、白線やグリーンベルトの設置等、道路の改善要望を行っています。</p>	<p>・引き続き、マップの配布や点検を行い、子どもたちが安全に通学できるような環境づくりを行っています。</p>
<p>◆子どもが集まって遊べる場所が少ないと感じます。</p>	<p>・まずは、今ある公園を使いやすく整備していくことを検討します。</p>

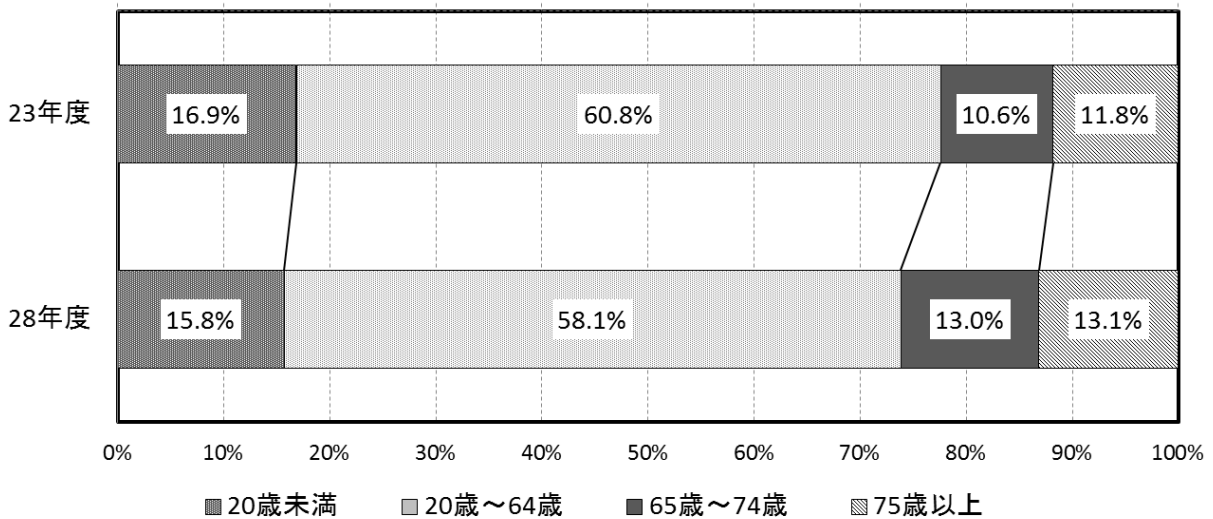
参考資料(芦子地区)

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

人口と世帯数の推移



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



芦子地区コミュニティ委員会における検討経過

- 平成 28 年 5 月 26 日 地域別計画の見直しの方法について意見交換
各委員に見直し用記入用紙を配布
- 7 月 12 日 地域別計画の見直し(第 1 回)
- 9 月 12 日 地域別計画の見直し(第 2 回)
- 11 月 21 日 地域別計画の見直し(第 3 回)
- 平成 29 年 1 月 23 日 地位別計画の見直し(第 4 回)
- 2 月 18 日 地域別計画改定版(案)の承認

平成 29 年 2 月作成

芦子地区コミュニティ委員会(見直し検討会)

委員長

市川 勇 (芦子地区自治会連合会長・池上自治会長)

副委員長

金子 和充 (寺町自治会長)

会計

橋口 綾子 (防犯ボランティア保護者チーム)

監事

田嶋 邦典 (荻窪自治会長)

岡田 健 (芦子地区民生委員児童委員協議会長)

委員

八田 迪男 (入谷津自治会長)

礪崎 透 (上谷津自治会長)

村野 芳一 (中谷津自治会長)

佐久間 悦夫 (下谷津自治会長)

中島 妃砂美 (主任児童委員 ※平成 28 年 11 月任期満了)

杉崎 貴世 (主任児童委員)

穂坂 理弘 (芦子地区老人クラブ連合会長)

村田 智子 (谷津地区青少年健全育成会長)

小野 雄二 (青少年育成推進員)

田邨 由香 (芦子学区連合子ども会長)

原田 春男 (芦子小学校防犯ボランティア子ども見守り隊・会長)

大貫 幸江 (健康おだわら普及員)

安藤 泰俊 (芦子小学校 P T A 会長)

北村 祥子 (芦子小学校・教頭)

故・渡邊 久江 (芦子交通安全母の会・会長)

準委員

湯川 増夫 (宮本自治会長)

西山 康隆 (小田原サニータウン自治会長)

地域別計画

(平成28年度改定)

～ 二川地区 ～

二川地区まちづくり推進委員会

地域のキャッチフレーズ

伝統が息づき、交流と活力のあるまち 二川

はじめの一步(住民自ら取り組むこと) ～ できることから始めよう ～

- 1 防災** **防災対策の確立**
- 2 防犯・交通安全** **日常が安全なまち**
- 3 高齢者・健康・福祉・子育て**
 地域の支えで安心して暮らせるまち
- 4 身近な環境** **みんながルールを守りきれいなまち**
- 5 伝統・文化** **歴史資産・郷土芸能を継承できるまち**
- 6 青少年育成** **地域の交流で子どもを育てるまち**
- 7 地域振興** **顔の見える関係づくりで地域活動が活発なまち**

1 防災

【めざす姿】

防災対策の確立

困ったこと（課題点）	できることから始めよう（解決策）
<p>➤ 住民は、災害に対してどれ程関心を持っているのか、また今の体制で対応できているのか疑問。</p>	<p>* 東日本大震災後も防災訓練に参加は少ない。参加者の増加も必要だが、災害が起きた時の体制・準備づくりが大切。</p>
<p>➤ 大災害が発生した時に、各家庭で各種備えが十分できているか心配。</p>	<p>* 公共の支援が受けられると考えられるまでの3日間の備えを各家庭に準備してもらえようPRしていく。</p>
<p>➤ 大災害が発生した時に、地区としての各種備えが十分できているか心配。</p>	<p>* 地震・津波・風水害などの対応備えを検討していく。 * 水害、津波時の一時避難場所の再確認をする。 * 津波災害を想定した一時避難場所の見直しを検討し、津波災害時の避難行動や避難ルートについて検討していく。</p>
<p>➤ 山王川・久野川があり、狩川、酒匂川の合流地点も近く、氾濫などの水害対策が必要。</p>	<p>* 浸水予想地区及び水深を明確化して、避難方法などを提供していく。</p>
<p>➤ 災害時における一人暮らし高齢者や障害者などの要援護者をどのように助けて避難をさせるのか。</p>	<p>* 風水害時における災害時要援護者の対応方法を検討し災害を最小限にしている。現実として、大地震などの災害時に要援護者を救助は難しい。</p>
<p>➤ 広域避難所の規模など本当に十分か。</p>	<p>* 大災害が発生した時、現在の広域避難所で本当に対応できるか検討する。 * 広域避難所に備蓄されている防災備品で不足しているものを検討する。</p>

できたこと・できていること・誇れるもの
<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の反省から、一時避難場所の見直しを行い、第44区及びグリーンタウンは多古公民館に変更した。最悪の場合は、一時的に白山中学校も利用できます。 防災訓練や防犯パトロールには、地元消防団も参加しています。

2 防犯・交通安全

【めざす姿】

日常が安全なまち

困ったこと（課題点）	できることから始めよう（解決策）
<p>➤ 地域内では夜間暗い所がまだある。</p>	<p>* 防犯灯は、自治会から市へと移管したので、必要な箇所があれば市へ要請し、設置していく。</p>
<p>➤ 地域内には、道幅が狭い踏切が多いため、慢性的な渋滞が起き、子どもや高齢者の交通安全面が必要。</p>	<p>* 警察に一時停止の取り締まりなどの協力を要請していく。</p>

できたこと・できていること・誇れるもの
<ul style="list-style-type: none"> ・ 足柄駅や白山中学校周辺に外灯が少なかったが、足柄駅前と白山神社、白山中学校内に防犯灯を設置しました。 ・ 第44区では、年5回の防犯パトロールを、白山中学校、消防団第9分団、足柄交番の協力も得て実施し、関係部門に要望し対応してもらっています。 ・ 足柄交番には年間を通じて、パトロール結果を自治会長に報告していただいています。 ・ 登下校時の横断歩道などで安全パトロールについて、小学校から要請を受け高齢者を中心に登下校時に交差点で見守りを行ってもらっています。 ・ 大雄山線の井細田駅の踏切に、歩行者用の道路が平成27年度に整備され、スムーズに歩けるようになりました。

3 高齢者・健康・福祉・子育て

【めざす姿】

地域の支えで安心して暮らせるまち

困ったこと（課題点）	できることから始めよう（解決策）
<p>➤ 高齢化が進み、一人暮らしの高齢者が増え、民生委員やボランティアクラブだけでは対応が不可能なため、地域住民の協力で地域で支えていく必要がある。</p>	<p>* 二川地区まちづくり推進委員会から発足した、ささえあう二川「ちゅうりっぷの会」が平成28年度に活動を開始したので、高齢者などのちょっとした困りごとのお手伝いをしていく。</p>

困ったこと（課題点）	できることから始めよう（解決策）
<p>➤ 健康づくりのための活動やスポーツの祭典が少なく、住民が身体を動かす場や機会を増やしてほしい。</p>	<p>* 体育協会や健康おだわら普及員でも取り組んで活動しているが、参加者が少ない。PRの方法など改善を検討する。地域で行っているサークル活動もPRしていく。</p>
<p>➤ 健民祭では、役員以外の一般の方や子どもへの参加が少ない。</p>	<p>* 健民祭もマンネリ感があり、体育協会に内容の検討を依頼していく。</p>
<p>➤ 公園は人目も少なく、空き缶やたばこの吸殻などが落ちているなど、子どもが安心して遊ぶ場所も少ないので、管理方法の検討が必要。</p>	<p>* 公園内に捨てられているごみは、各自自治会単位で清掃や花の植栽などをして、環境づくりをしていく。</p>

できたこと・できていること・誇れるもの
<ul style="list-style-type: none"> 多古親老会は、平成27年に会員の募集も行い約150名の会員で、入湯会や旅行、サロン会、神社清掃、草花植樹など多くの活動を行っています。 民生委員のふれあい訪問など、一人暮らしの高齢者への訪問をしています。 多古公民館では、リズム体操が毎週行われまた、白山エコーのコーラスや白扇会の日本舞踊、華道教室なども定期的に行われています。 公園の遊具などに子ども達が乗って遊んでいる姿をよく見ます。 健康おだわら普及員だよりを通じて健康に対する関心を高めています。 毎月1回（第3木曜日）に民生委員・児童委員主催により多古公民館で、キリンさんの会による子育て支援活動など、育児に関する悩みを気軽に相談できる機会と子育て中の保護者同士の交流を図る機会を地域で確保しています。

4 身近な環境

【めざす姿】

みんながルールを守りきれいなまち

困ったこと（課題点）	できることから始めよう（解決策）
<p>➤ ごみをネットの中に入れていないので、カラスがごみを散らかすこと、地区外の通りがかりの人が捨てて行くこと、出す曜日を間違えている人がいることなどのごみ出しのルールをどう指導していくか。</p>	<p>* ごみの収集日は、カレンダーを見れば分かるので、自治会の回覧を通じて自己責任の徹底を呼びかけるとともに、自治会未加入者に対しても分かるようごみステーションに啓発看板を設置していく。</p>

<p>▶ 地域内のコンビニ付近では、袋や空の容器が捨てられていることがあり、地域のコンビニでもルール啓発が必要。</p>	<p>* コンビニに、清掃を依頼する。</p>
<p>▶ たばこのポイ捨てが多い場所があり、人によっては週2～3回掃除しているが、車からのポイ捨ても含み、マナーが良くならない。</p> <p>▶ 犬の糞が道端に落ちていることがあり、飼い主へのルール啓発が必要。</p>	<p>* 以前より良くなっているが、たばこがポイ捨てされるような場所や犬の糞が置き去りにされる場所のような、問題がある場所には、啓発看板を設置していくとともに、自治会の回覧でもマナーの遵守を啓発していく。</p>

できたこと・できていること・誇れるもの
<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの分別のルールは、地区によってはしっかりと守られ、以前よりも身につけて守られています。 ・ たばこやごみのポイ捨ては、以前より少なくなっています。 ・ 犬の糞が放置されたままでしたが、最近は飼い主のマナーが守られています。 ・ 第44区の上多古公園や中央公園（白山神社境内）は多古親老会が、井細田八幡神社は老人クラブや氏子会が、第43区の第1足柄公園も、それぞれ清掃活動を行い、空き缶やたばこの吸い殻もなく、きれいに維持されています。

5 伝統・文化

【めざす姿】

歴史資産・郷土芸能を継承できるまち

困ったこと（課題点）	できることから始めよう（解決策）
<p>▶ 若い世代の参加や、祭りの神輿を担う子どもが少なく継承も難しくなっており、対策を練る必要がある。</p>	<p>* 神社の祭礼などは、昔からいる人だけが参加するのではなく、若い世代も含めて誰でも気軽に参加できる雰囲気づくりをしていく。各地区の行事にできるだけ二川地区の他地区からも参加できないか検討していく。</p>

<p>▶ お囃子の練習場所やどんな人がやっているのか周知されておらず、やりたい人はどこの誰に聞いたら良いのか分からない。</p>	<p>* 多古公民館で、毎週日曜日の午後やっているお囃子の練習に、二川地区の他地区からも参加できないか検討する。</p>
--	--

できたこと・できていること・誇れるもの	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 白山神社や井細田八幡神社、足下地蔵尊のお祭りは、子どもからお年よりまで住民が一堂に集い交流することができる大切な場になっています。 ・ 第44区（グリーントウンも参加）で道祖神は、2か所で行われ自治会も参加して毎年賑やかになっています。 ・ 白山神社の祭典では公民館が協力し、多古公民館の夏祭りには自治会が協力しています。祭典では抽選会を実施し、抽選会には毎年500人以上の方が足を運んでいます。多古公民館の夏祭りには、自治会が流しソーメンを出店し、子ども達の楽しみになっています。 ・ お祭りで奉納される小田原囃子は県指定無形民俗文化財に指定されており、全国こども民俗芸能大会に関東地区代表として出場するとともに、他市との交流会も行い、自治会も支援するなどして、伝統や文化を継承しています。 ・ 二川地区最後の第44区のなかよし子ども会は少人数になったためなくなりましたが、公民館の組織に入れ、キャンプなどは公民館活動の一環として行っています。 ・ 多古公民館活動は、文化部、ふれあい事業部、青年部の部門からなり、館長を中心とした夏祭りや文化祭などの地域活動が活発に行われており、公民館活動を通じて、子どもや女性、高齢者など、世代間を超えた交流を促しています。 	

6 青少年育成

【めざす姿】

地域の交流で子どもを育てるまち

困ったこと（課題点）	できることから始めよう（解決策）
<p>▶ あいさつを日常生活で定着させる方法を検討する必要がある。</p>	<p>* 大人も子どももあいさつができている地域にするため、各団体のつながりを持ち、まずは役員同士があいさつすることから始めよう。</p>
<p>▶ 足柄学区児童育成連絡会は形式的であまり有効に機能していない。</p>	<p>* 青少年育成協議会やPTAなどの団体をはじめ地域の各種団体が連携していく。</p>

できたこと・できていること・誇れるもの

- ・ 白山中のさわやかなあいさつ運動や足柄小の登下校時では、児童や生徒は気持ちよくしっかりとあいさつができています。
- ・ 児童や生徒の問題を学校の問題だけにせず、地域の問題として捉えるため、足柄小学校、白山中学校の様子が見える発行物「足柄小だより」「白山便り」を回覧したり、参観日などで大まかなことは見えています。「キリンさんの会」は、継続して行われています。

7 地域振興

【めざす姿】

顔の見える関係づくりで地域活動が活発なまち

困ったこと（課題）	できることから始めよう（解決策）
<p>➤ 各種団体の地域活動は総会や回覧などで周知しているが、参加者が少なく、地域活動の継続が厳しい。</p>	<p>* 二川地区まちづくり推進委員会で、二川地区の各団体の行事予定を作成したので、これを元に団体間の協力共催ができるようにPRしていく。地域住民にも知ってもらい参加を促すように働きかけていく。</p>
<p>➤ 地域住民の高齢化や役員の負担増で役員の担い手不足を解決する方法が必要。</p>	<p>* 団体間の協力と地域活動に、一人ひとりができることから参加できるような活動を増やすことで、地域活動の担い手を増やしていく。</p> <p>* 住民が有する経験や知識を、発揮できるよう個々の住民の知識や経験を知ることも検討していく。例えば、参加してもらえる人材の募集をする方法など</p>
<p>➤ コンビニや大型店舗が多い中、商店が徐々に減少してきており、まちに活気がなくなる恐れがあり、商店のあり方を検討する必要がある。</p> <p>➤ 高齢化の中、買い物に不便を感じている。</p>	<p>* 商店街の紹介も含め、高齢化が進む中、近くで利用できる店の紹介など、高齢者が利用できないか検討していく。</p>

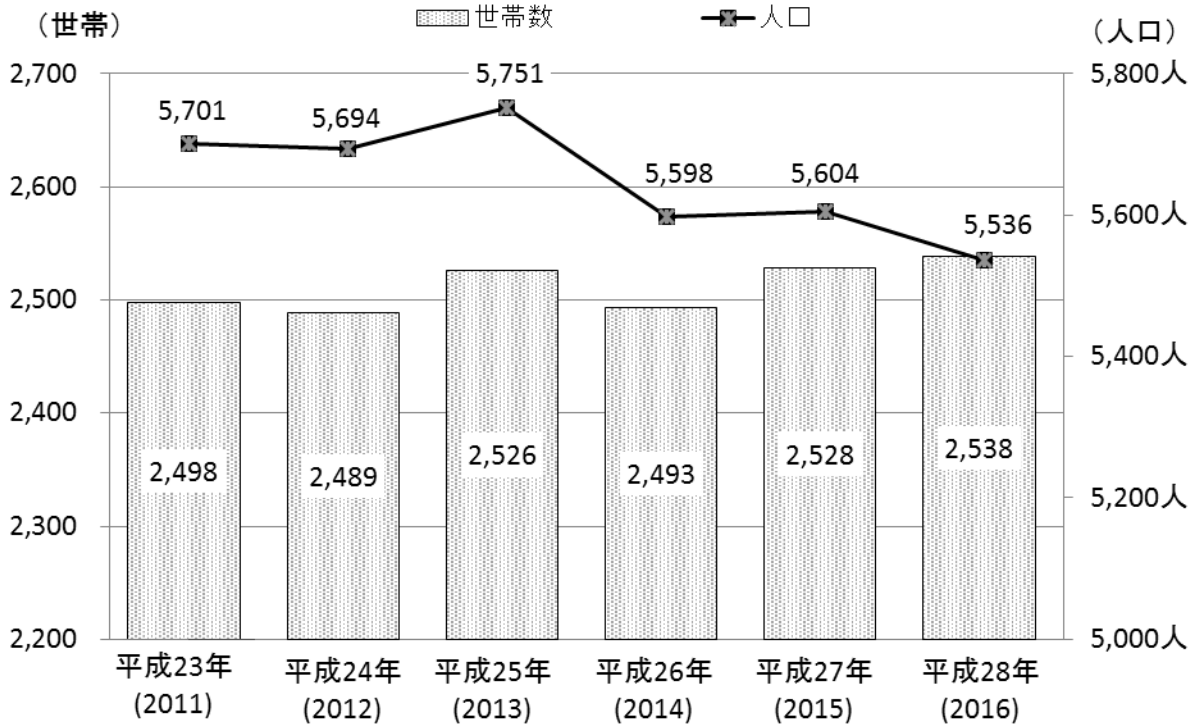
<p>▶ 商店街の活性化は難しい問題で、維持していくことが限界だが、商店街の問題を共有する必要がある。</p>	<p>* 現在検討中の「自治会カードおだわら」を利用して商店街の協力をお願いしていく。</p> <p>注記：「自治会カードおだわら」は小田原市自治会総連合が、自治会加入家庭に発行予定。</p>
---	--

できたこと・できていること・誇れるもの
<ul style="list-style-type: none"> ・ コンビニは、高齢者から見ると近くにあり、ある程度の物が購入でき便利で安心して生活できるという点でみると、大いに貢献しています。 ・ 扇町の商工会の「まいど扇町」は地元の商店の材料を使って、総菜や弁当などの配達を行っていて、良い取組です。できれば、買い物の配達もできるようになるともっと存在感が出てきます。 ・ 公民館活動では、子ども会の班長のご主人などに呼び掛け、参加者や担い手を増やしています。

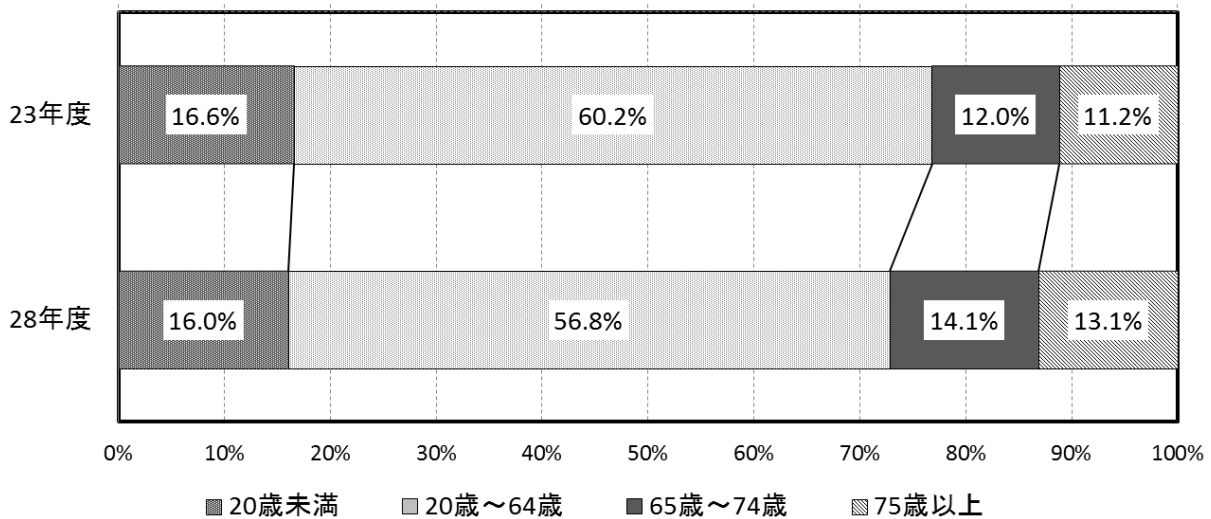
参考資料(二川地区)

人口と世帯数の推移

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



二川地区まちづくり推進委員会における検討経過

- 平成28年 2月27日 地域別計画にある課題等に対する現状等を各委員から意見出し
・各委員に記入用紙を配布
- 平成28年 6月27日 地域別計画の見直しの途中経過の報告
- 平成29年 1月12日 地域別計画(案)(平成28年度改定)の提示
・内容を確認し、修正等の検討
- 平成29年 3月7日 地域別計画の見直し
・修正等の報告
- 平成29年 3月31日 地域別計画(平成28年度改定)の承認

平成29年3月作成

二川地区まちづくり推進委員会(見直し検討会)

委員長

土屋 桂一郎 (二川地区自治会連合会会長・第44区自治会会長)

副委員長

長井 和子 (二川地区民生委員児童委員協議会会長)

世古 智也 (二川地区社会福祉協議会会長・小田原グリーンタウン自治会会長)

会計

門松 清 (第43区自治会会長)

理事

金田 恭嗣 (前小田原グリーンタウン自治会会長)

監事

中戸川 孝 (井細田一区自治会会長)

大野 博子 (二川地区ボランティアクラブ会長)

委員

磯崎 英里 (二川地区主任児童委員)

秋山 正徳 (民生委員 井細田一区)

永田 久美子 (民生委員 43区-2)

星崎 いくみ (民生委員 44区-2)

寺澤 民雄 (民生委員 小田原グリーンタウン)

黄金井 豊 (足柄小学校PTA会長)

鈴木 伸好 (足柄学区児童育成連絡会会長)

岩瀬 勇人 (扇町商工振興会会長)

地域別計画

(平成28年度改定)

～ 久野地区 ～

久野地区各種団体代表者会

地域のキャッチフレーズ

子育てにやさしい久野

はじめの一步（住民自ら取り組むこと）～できることから始めよう～

1 安全・安心なまちづくり（防災・防犯分野）

- ・遠くの親戚より近くの他人 普段のお付き合いが災害時に威力を発揮するまち
- ・昔ながらの近所付き合いを思い出して、御近所を気にかける安心なまち
- ・歩行者、自転車・自動車の運転者が、お互いの立場を理解し、交通マナーを守るまち

2 地域で子どもを育むまちづくり（文化・教育分野）

- ・子ども同士のふれあいが豊かなまち
- ・地域で子どもを見守るまち
- ・心身ともに健康な子どもを地域で育てよう
- ・自然環境と文化・歴史の中で子どもが健やかに成長するまち

3 健やかで安心して暮らせるまちづくり（健康・福祉分野）

- ・健康で長生きできるお年寄りが多いまち
- ・地域内の連携でこれからの生き方を話し合おう

4 美しく、伝統ある久野を次代に繋ぐまちづくり（環境・地域振興分野）

- ・今ある自然を守り、訪れる人が感動できるまち
- ・美しい久野をつくるため、自然や里地里山を守り育てるまち
- ・お祭り、囃子太鼓など、地域文化を絶やさず継続できるまち

5 地域のきずなを活かしたまちづくり（総務分野）

- ・人の心のあり方やつながりを大切にするまち
- ・久野地区全世帯を対象とした地域づくりをめざす
 - (1) 自治会加入への取組み
 - (2) 役員の負担軽減と担い手育成
 - (3) 地域活動の参加者を増やす取組み

1 安全・安心なまちづくり

【めざす姿】

遠くの親戚より近くの他人 普段のお付き合いが 災害時に威力を発揮するまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;">－ 特 色 －</p> <p>久野は、自治会連合会単位や小学校単位（広域避難所開設訓練）だけでなく、自治会ごとの防災訓練も実施されるなど、防災活動に対して地域住民が協力的です。また、月1回消火栓の位置等の確認や、安否確認をしている自治会もあるなど、防災への意識が高い地域です。</p> <p>多くの自治会では、防災訓練の際、隣3軒が声をかけ、まとまって集合する独自の取組みを行っています。</p> <p style="text-align: center;">－ 課 題 －</p> <p>自主防災組織（自治会）ごとに防災計画書はあるものの、住民が広くその内容を認識していないことが課題となっています。</p> <p>また、久野の一部地域は、土砂崩れなどの災害も考えられるので訓練体制の強化が必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各自治会単位で行っている防災訓練を継続しつつ、訓練内容の見直しと更なる充実を図ることで、各家庭の防災意識の向上を図っていきます。また、防災訓練には自治会単位で参加者を選出して自治会員全員が認識して活動するようにしていきます。 ・ 防災意識啓発のため、引き続き消防分団による火災予防運動や巡回等、民生委員児童委員協議会による火災防止チラシの配布を行っていきます。 ・ 子どもを守るため、学校と協力して防災訓練の実施に向けた協議を行っていきます。 ・ 防災リーダーは、現在、自主防災組織に一人ずつしか置かれていません。発災時には、小さい単位での活動も重要なので、組単位での防災リーダーの担い手づくりを検討していきます。 ・ 更なる防災意識の向上のために防災訓練や日常の防災に対するアンケートを行うとともに、参加者増を目指して防災訓練と他のイベントとの併催を検討していきます。 ・ 自主防災組織、防災本部長、副部長、防災リーダー等の任務内容を明確化し、災害時に実際に活動ができるようにしていきます。

【めざす姿】

**昔ながらの近所付き合いを思い出して、
御近所を気にかける安心なまち**

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;">－ 特 色 －</p> <p>地域の深いつながりで、近所付き合いが自然に防犯につながっています。また、登下校時の防犯パトロールや各種団体が協力して行う、年2回の防犯パトロールで声掛けと防犯啓発用のチラシ配りを行う等、防犯活動は充実しています。</p> <p>毎月実施される久野地区自治会連合会定例会では、駐在の方から月ごとの事件発生件数や内容についての説明があり、各自治会に注意を促しています。</p> <p style="text-align: center;">－ 課 題 －</p> <p>地区内に街灯が少なく、また人通りの少ない道や不審者などがいることもあり、子どもが事件に巻き込まれることが心配されます。</p> <p>犯罪を未然に防ぐために、子どもや高齢者は地域で守るという住民一人ひとりの防犯意識を高める必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪を未然に防ぐために行われている、白山中学校PTAのあいさつ運動を継続していきます。また、久野地区全体としての声かけ、あいさつ運動を励行するとともに、地域コミュニティの強化に取り組み、防犯力の向上に努めていきます。 ・ 民生委員児童委員協議会では、振り込め詐欺防止チラシの作成と配布を行い、組長会では、特に年金支給の際に気を付けてもらうように高齢者に注意喚起を行っています。こうした活動を継続することで、振り込め詐欺による高齢者への被害防止に努めていきます。 ・ 各種祭典、運動会などのイベントが開催されるときには、愛のパトロールや運動会パトロールなどの見守り活動を行っています。また、自治会連合防犯活動協議会主催の防犯パトロールや交通安全協会久野支部の街頭監視パトロール、夜間監視パトロールが実施されています。こうした活動を継続することで、小さな犯罪の芽を摘み、犯罪防止に努めていきます。

【めざす姿】

**歩行者、自転車・自動車の運転者が、お互いの立場を理解し、
交通マナーを守るまち**

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;">－ 特 色 －</p> <p>交通安全協会久野支部があり、久野の主な行事が開催されるときには、交通整理を</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全母の会による毎月1日の学童通学の見守り活動や交通安全部会による夜間ホタル作戦を行うなど、交通事

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>行うなど、交通安全活動が充実しています。</p> <p>また、交通安全キャンペーンや久野地区内の道路交通標識点検を行っているなど、交通安全に対する意識を高く持っています。</p> <p style="text-align: center;">－ 課 題 －</p> <p>路上駐車が多く、ルールを守らない運転が見受けられるなど、交通マナーが低下しています。</p> <p>久野地区は道路幅が狭く街灯も少ないので、暗い所が多いのが現状です。「自分の身は自分で守る」など、個人個人の意識レベルを上げる必要があります。</p>	<p>故から子どもを守るための活動を行っています。こうした活動を今後も継続するとともに、交通安全意識の向上を図るための新たなイベントを検討していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者、自転車・自動車の運転手がお互いの立場を理解して、交通マナーを守るように、交通安全協会久野支部と交通安全母の会が協力して、大人から子どもまでを対象とした交通安全教室の開催を検討していきます。 ・ 交通安全母の会と交通安全協会久野支部は、交通安全運動についての情報交換や協力体制を整えていきます。 ・ 交通安全の意識の更なる向上のため、交通安全母の会と交通部会会員を中心に、久野地区全体の意識と知識の向上を図ります。

2 地域で子どもを育むまちづくり

【めざす姿】

子ども同士のふれあいが豊かなまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;">－ 特 色 －</p> <p>久野は、小田原こどもの森公園わんぱくランドや県立おだわら諏訪の原公園を有し、子どもたちが遊び、ふれあう環境が整っています。また、地域のつながりが強く、親と子のつどいや久野っ子ハイキング、ふれあいまつりなどへの住民の積極的な参加や協力もあり、人と人とのふれあいを通して、優しく素直な久野っ子が育まれています。</p> <p>子ども会のない地区では、祭典の際に自治会が主体となって、子ども神輿の巡行をしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世代間や世代を越えた交流を促すため、世代間交流事業や久野っ子ハイキング、久野っ子フェスティバル、ふれあい祭り、親と子の集い、里山親子そばづくり体験塾を行っています。こうした活動を続けることで、子ども同士のふれあいを豊かにしていきます。 ・ 子どもを対象にした事業については、子ども自らが企画や準備をする取り組みや、学区が混在している自治会が連携することによって、組織にとらわれない仕組みをつくるなど、多くの子どもたちが集まり、楽しむことができるようなイベントとなるように工夫をして

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;">－ 課 題 －</p> <p>少子化や教育・スポーツ環境の変化、価値観の多様化などによって、子ども会の加入率が低下しています。また、自治会内に学区が混在し、複数の子ども会があるため、子どもが行事に参加しづらくなっています。</p> <p>学生が参加できるイベントが少なくなっています。</p> <p>子ども会の運営については、保護者、役員の負担が大きいことや地域差があり、うまく運営できていないところがあります。</p>	<p>いきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども会同士が合同でイベントを行うなど、子どもや保護者に負担感なく参加することができるような仕組みを検討していきます。 ・ 子ども会の運営については、子育てを終えた世代が子ども会活動をサポートするなどの仕組み作りを検討していきます。 ・ ジュニアリーダーを活用しながら、いろいろな世代の人が参加できるイベントの開催を検討していきます。

【めざす姿】

地域で子どもを見守るまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;">－ 特 色 －</p> <p>子どもの登下校のときに、地域の多くの人や、駐在さんが子どもたちを見守ってくれています。また、学校から子どもたちの下校時間のお知らせがあるなど、学校と連携して、子どもたちの見守り活動を行っています。</p> <p>久野小学校では、木曜日の放課後に、「久野っ子のあそびば」（市の地域の見守り拠点づくり事業）が開設され、放課後の子どもの居場所として見守りが行われています。そこでは、挨拶や昔の遊び等を通じて、コミュニケーションの取り方を身に付けていきます。</p> <p style="text-align: center;">－ 課 題 －</p> <p>見守り活動や防犯パトロールでは、毎回同じ人が参加をしていて、子どもたちを見守る活動の輪に広がりがありません。</p> <p>自分の子どもが大人になると他人の子どもには関心を示さないという傾向があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちを見守る活動については、学校と連携しながら、住民による登下校時の見守り活動やパトロールなどを継続することで、子どもたちを見守るだけでなく、子どもと交わす会話を通してマナー等の生活指導を行っています。 ・ 見守る目を増やすため、パトロールの時間や場所等の情報を提供することで、自分の空いた時間にパトロールをするなど、気軽に参加できる雰囲気づくりに努め、より多くの方が参加できるようにしていきます。

【めざす姿】

心身ともに健康な子どもを地域で育てよう

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;">－ 特 色 －</p> <p>地域の企業が、グラウンドや食堂の地域開放をして、子どもの育成活動を支援しています。</p> <p style="text-align: center;">－ 課 題 －</p> <p>子どもの心の健康が心配です。また、子育てに関する窓口が多すぎて、情報が混乱してしまふことがあります。</p> <p>核家族化が進み、身近な人に子育て相談をし難い環境になっています。</p> <p>「子どもの生活カレンダー久野子ども歳時記」で、子どもの学校内外での生活や活動の情報提供をしているが、配布対象が久野小学校の児童家庭のみであるため、久野地区全戸へ届いていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般開放をしているミクニ工業の施設を利用して、地域活動を充実していきます。また、より多くの方が利用できるよう、「利用方法」「手続き」などを整備し、周知していきます。 ・ ものづくりや果物狩を行うぞうさんの会の活動やクリスマス会でのとん汁づくりなどの子育てを支援する活動を継続して、心身ともに健康な子どもを育てていきます。 ・ あいさつは、人と人とのつながりの基本であると考えて、見守り活動において、子どもへのあいさつを励行し、子どもの心の健康を守っていきます。また、ゲームから子どもを遠ざける時間を持ったり、絵本やお話を聴く機会を設け、心に働きかけていきます。 ・ 子育て支援事業に、多くの方が参加してくれるように、自治会の回覧だけでなく全戸配布を検討したり、学校と協力して児童家庭に配布するなど、自分に直接関係ない行事等についても関心を持ってもらうような取組みを検討していきます。 ・ ぞうさんの会など、母親同士で子育てに関する悩みを相談できる機会を設けることなど、子育て中の親を地域で支える環境づくりに努めます。

【めざす姿】

自然環境と文化・歴史の中で子どもが健やかに成長するまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;">－ 特 色 －</p> <p>山や川などの豊かな自然を有し、また行政機能が集積する地区にも隣接しており、</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティの原点でもある各種祭典や区民体育祭など、魅力あるイベントを継続するとともに若年世代が参

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>生活環境が優れています。</p> <p>神社の祭典、夏祭りや秋祭り、区民体育祭などの地域行事が盛んに行われ、また参加者も多く、地域の絆が築かれています。</p> <p>観音堂や太子神社、久野古墳群、北条幻庵屋敷跡、山車など歴史遺産が数多くあります。</p> <p>伝統芸能の小田原囃子を中久野お囃子保存会が、神社の祭礼や道祖神祭りなどで披露するなど、伝統芸能の保存継承に努めています。</p> <p style="text-align: center;">－ 課 題 －</p> <p>子どもが独立して、親だけの家族構成が増えています。</p> <p>地域活動やお祭りへの参加者が減少してきており、地域の活気が失われてくるおそれがあります。</p> <p>各行事の担い手不足が問題になっています。</p> <p>久野地域は、古墳時代から中世、戦国時代などの豊かな歴史遺産に恵まれています。住民への普及、啓発が行われていません。</p> <p>地域の歴史・文化を学ぶ機会が乏しいので、小学校等と連携して住民が地域の歴史・文化と接する機会を増やしていきたいと思えます。</p>	<p>加しやすい内容の工夫やイベントを企画するなど、地域活動の活性化を図り、地域の絆を守っていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生から30代くらいの方が楽しめるようなイベントを企画し、また、その企画のアイデアを中学生に出してもらおう等の仕組みを学校と協力して検討していきます。 ・ 住民がイベントに参加したくなるような需要に合わせた事業を検討していきます。 ・ 豊かな自然や歴史遺産、伝統芸能を大切にし、次世代を担う子どもが、こうした環境の中で健やかに成長していくとともに、大人になっても住みたいと思う地域となるようなまちづくりをしていきます。 ・ 歴史遺産についての事業が少ないので、小学校と協働で行える事業を検討していきます。 ・ 世代間交流の中で歴史遺跡めぐりなどのウォーキング事業の実施を検討していきます。 ・ 久野中宿地区にある北条幻庵屋敷跡は、戦国時代末期の小田原を象徴する史跡です。現在、市の指定遺跡への追加申請を行っています。

3 健やかで安心して暮らせるまちづくり

【めざす姿】

健康で長生きできるお年寄りが多いまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;">－ 特 色 －</p> <p>自然が豊かで空気も良く、小田原フラワーガーデンや県立おだわら諏訪の原公園のみならず、里山ハイキングコース、天子台遊歩道などもあり、心身共に健康に良い環</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康増進に向け、社会福祉協議会による筋力アップ教室や健康づくり教室、健康おだわら普及員によるヨガ教室、老人クラブのミニハイキングやバス旅行などを行っています。こうした活動

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>境が整っています。</p> <p>ラジオ体操や健康教室、グラウンドゴルフ大会など、健康づくりのための活動が盛んに行われています。</p> <p style="text-align: center;">－ 課 題 －</p> <p>健康づくり活動には、いつも同じ人が参加しており、活動の輪がなかなか地域全体には広がっていきません。</p>	<p>を継続することで、健康で長生きをする高齢者を増やしていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老人クラブに加入していない人も気軽に参加することができる仕組みを検討し、多くの人に活動内容を知ってもらえるよう加入促進パンフレットなどを利用し、老人クラブの加入者の輪を広げていきます。 ・ 筋力アップ教室は、年齢条件の撤廃や年齢に合わせたトレーニング内容への変更などで、より多くの高齢者に参加してもらうよう活動内容の見直しを検討していきます。また、参加者が固定化しないように広く呼びかけていきます。

【めざす姿】

地域内の連携でこれからの生き方を話し合おう

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;">－ 特 色 －</p> <p>高齢者ミニハイキングや高齢者のための交通安全教室をはじめ、一人暮らしの高齢者への食事の配達や寝たきりの方への見守りをするなど、地域の社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会、ボランティア会、老人クラブの活動が盛んで、日頃から高齢者や障害者とのふれあいや支えがあり、高齢者や障害者に対する優しさに溢れています。</p> <p>福祉バザーを開催し、各種活動を支援しています。また、さくら会による芋煮会や料理の講習など、地域で障害者を支える活動を行っています。福祉活動については、社協便りを年3回発行し、回覧することで、広く地域に情報提供をしています。</p> <p>ささえあい久野ひまわりの会が地域の支え、高齢者や障がい者のサポートを目的に、</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅介護見守り活動や独居老人配食活動など、高齢者を支える活動だけでなく、お茶飲み会や敬老会、世代間交流事業などを通じ、高齢者同士、あるいは高齢者とのふれあいの機会を確保していきます。また、高齢者が増えていることから、各活動の開催回数等を検討し、実情に合わせて変更していきます。 ・ 社協便りは、全戸配布や紙面を読みやすくする工夫をするなど、多くの人が読み、活動への理解を深めることができるように工夫していきます。また、社協便りなどを通じて、各世帯の高齢者が積極的に老人クラブの活動に参加できるように、若い人が老人クラブの活動への理解を深めることができるよう進めていきます。

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>生活応援隊として活動しています。</p> <p style="text-align: center;">－ 課 題 －</p> <p>高齢化が進み、高齢者単身や高齢者世帯などが増加しており、地域の支えを必要とする人が増えてきています。</p> <p>家族間の連携ができず、老人クラブに参加できない場合があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ加入者の活動は活発ですが未加入者が多いのが現状です。高齢者が集い、参加して楽しかったと肌で感じてもらい、それを広く伝えていくことや、会員以外の高齢者も参加できるような仕組みづくりなどを検討することで、老人クラブの加入者数の増加に努め、高齢者のふれあいを推進するとともに、老人クラブの活性化を図っていきます。

4 美しく、伝統ある久野を次代に繋ぐまちづくり

【めざす姿】

今ある自然を守り、訪れる人が感動できるまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;">－ 特 色 －</p> <p>久野は、森林などの緑地が多く、自然豊かで、空気の良い地域です。また、久野古墳群や北条幻庵屋敷跡をはじめとした歴史的環境にも恵まれています。</p> <p>山王川・久野川清掃をはじめ、久野小学校ふれあい清掃活動など、地域の環境美化活動が盛んに行われています。また、山王川、久野川清掃で出た草などは堆肥化を行いゴミの減量に努めています。</p> <p>年に1回、ごみの分別講習会で段ボールコンポスト普及活動を行い、リサイクル意識の向上にも努めています。</p> <p style="text-align: center;">－ 課 題 －</p> <p>久野小学校に設置された郷土資料室が活用されていません。また、地域の歴史的資産が広く知られていません。</p> <p>自治会によっては年1回、地域清掃を実施してくれていますが、全体の活動として統一できていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 住民の協力のもと、山王川・久野川の清掃やPTAによる美化作業、親子ふれあい清掃、久野地区環境パトロールなどの活動を継続し、訪れる人が美しいと思うことができる久野の自然環境にしていきます。 久野小学校にある郷土資料室をPRするとともに、子どもや地域の人に気軽に利用してもらえるような仕組みを検討し、郷土の歴史を伝えていきます。 公民館では、久野の史跡を巡る会を開催し、郷土の歴史に詳しい人とともに、久野の歴史的資産を歩いて巡る事業を行っています。今後も回数を増やすなどで、より多くの人々に、地域にある歴史的資産を知ってもらい、久野への誇りと愛着を育てていきます。 年1回以上、各自治会で地域清掃を実施してもらえるように呼びかけ、久野地区全体の活動にしていきます。

【めざす姿】

美しい久野をつくるため、自然や里地里山を守り育てるまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;">－ 特 色 －</p> <p>久野が有する山林地は、人との関わりの深い森林として里地里山づくりを進めています。そこで、美しい久野里地里山協議会を結成し、里地里山づくりの活動として、明神ヶ岳に続く登山道の整備をはじめとした幅広い活動を展開しています。</p> <p>久野は、農地と住宅地が共存していて、農との共生をしている地域です。</p> <p>荒廃農地を減らすために、そばを植えて、育て、そばづくり体験教室などを行っています。</p> <p>明神ヶ岳に続く登山道が、平成28年4月に県西地域ウォーキングガイドに登録されました。</p> <p>平成23年度から毎年、里山親子そばづくり体験塾を開催し、地域の絆づくりに努めています。</p> <p style="text-align: center;">－ 課 題 －</p> <p>農業後継者が減少し、農地や山林の荒廃が進んでいます。</p> <p>山林への不法投棄が増えているとともに、自治会が管理しているごみステーションへのごみの出し方のルールが守られていません。また、飼い犬の糞の放置が目立ってきています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 久野の自然環境を生かしたハイキングや散策などの事業を検討し、地域の活性化に向けた里地里山づくりを続けていくため、美しい久野里地里山協議会を中心に、多くの人の活動への参加を促していきます。 ・ 明神ヶ岳に続く登山道は、平成28年4月に県西地域ウォーキングガイドに登録され、登山者の増加が見込まれるので、ハイキングコースに適した里山づくりを行っていくとともに、久野川沿いに桜並木があった歴史的な環境も考慮して、散策コースの整備や桜並木の植栽、森林を育てるために、広葉樹を増やし、広葉樹の販売ルートの確保など、久野の自然を活かした取組みを検討していきます。 ・ 県西地域ウォーキングガイドに掲載されたコースを活かしてウォーキング事業を行うなどの検討をしていきます。 ・ 学校や地域住民が提供してくれている未使用の農地を活用して、子どもに農業体験授業をするなど、子どもの頃から農業に接する機会と環境づくりを図っていきます。 ・ 地域の清掃活動のみならず、里地里山づくりを推進しながら、自然環境と人との関わりのある森林を守り育て、地域力を発揮して美しい久野をつくっていきます。

【めざす姿】

お祭り、囃子太鼓など、地域文化を絶やさず継続できるまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;">－ 特 色 －</p> <p>地域の伝統行事として、神山神社等の祭典が開催され、地域の活気とコミュニティの醸成に寄与しています。また、神輿保存会や囃子太鼓保存会、中久野お囃子保存会があり、こうした活動が、お祭りの開催と伝統芸能継承の支えとなっています。</p> <p style="text-align: center;">－ 課 題 －</p> <p>お囃子を指導するための後継者育成が課題となっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもだけが参加しているお囃子に、子どもの保護者も参加できるようにするなどの取組みによって、参加者を増やすことで多くの人に地域の文化や伝統芸能の大切さを伝え、その中から後継者を育成しながら、これからも地域固有の文化や伝統芸能を絶やさず次代に引き継いでいきます。 ・ 久野区民会館などの場所を活かし、地域の子どもの団体などにも練習の場を提供していきます。 ・ また、久野小学校PTAの「ふれあいまつり」や社協の「世代間交流事業」の中でお囃子体験コーナーなどの企画を検討するなど各種イベントでお囃子に触れる機会を増やしていきます。

5 地域のきずなを活かしたまちづくり

【めざす姿】

人の心のあり方やつながりを大切にするまち

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;">－ 特 色 －</p> <p>自治会活動が盛んに行われており、地域のコミュニケーションが図られています。</p> <p>地区ごとにおいても、清掃や防犯パトロールなどをはじめとするボランティア活動が盛んに行われており、ボランティアに対する意識を高く持っています。</p> <p>10月に行われる、神社の大祭、大人みこし、子ども神輿の渡御を行い、地域の親睦を深めています。</p> <p style="text-align: center;">－ 課 題 －</p> <p>地域の間人間関係が希薄化しつつあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節ごとの行事や自治会活動を通して住民のつながりを広げていきます。 ・ 各種団体代表者会が相互に連携し、各団体間や住民の横の連携を図り、ネットワークづくりを進め地域福祉や地域コミュニティの絆を深めていきます。

【めざす姿】

久野地区全世帯を対象とした地域づくりをめざす

(1) 自治会加入への取組み

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>－ 課 題 －</p> <p>自治会に加入することの必要性や自治会費の使途への理解が不足しているなどの理由から、自治会に加入するという意識が低下してきており、年々自治会未加入者が増えてきています。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 自治会への意識と未加入者の実情を把握しつつ、住民が自治会に加入するように自治会紹介パンフレット等を作成し広報とPRを行っていきます。・ 会計の透明化や諸活動の必要性の説明など、自治会に加入することへの利点がわかるような自治会運営を引き続き図ってまいります。・ 会員自らが自治会加入への声かけをしていくよう、回覧などにより意識向上を図るとともに、地域内や隣近所でのコミュニケーションを形成し、声かけをしながら加入を促していきます。また、加入を断った人にも、機会を捉えて声かけをしていきます。・ 自治会未加入世帯の人を各種イベントに招待するほか、新規転入者に対する歓迎会などを開催し、地域に溶け込みやすい環境づくりに努めていきます。・ 一人暮らしの高齢者世帯などに対する自治会加入条件の見直しを検討し、加入促進に努めていきます。

(2) 役員の負担軽減と担い手育成

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>－ 課 題 －</p> <p>自治会長や各種団体長が担う仕事が多いなどの理由から、自治会等の役員の負担が重いと感じられており、役員の担い手がおらず、同じ人が役員を受けています。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 役員数が多いことも担い手が少なくなる原因であり、また、一人に複数の業務が重なることも負担増となる原因です。自治会長などを補佐する立場の役員を複数人として、役を分散させたり、事務作業を分担するなど、もう一度役職のあり方を検討していきます。また、今後は担い手として団塊世代及び、その下の世代の取り組みも視野に入れていきます。

(3) 地域活動の参加者を増やす取組み

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p style="text-align: center;">－ 課 題 －</p> <p>自治会などが行う地域活動には、自治会長や組長などの役員が参加することが多く、一般住民の新たな参加者が増えません。自治会の行事と他の団体の行事が重なっていることがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生までは、親などとともに地域活動に参加することが多いですが、中学生以上になると参加しなくなってしまいます。中学生になっても、地域とのつながりが続くような仕組みを検討していきます。 ・ 子ども会の役員を保護者に限らず有志が行うことを検討するとともに、子ども会から青年部、自治会へと人の輪をつなげていきます。 ・ 地域活動は、新規転入者にとって久野地域を知るチャンスなので、その良さを伝えるイベントを検討していきます。また65歳以上の人を地域活動に参加してもらうための仕組みづくりを検討していきます。 ・ 各種団体代表者会議などを通して参加者を募ったり、情報交換をすることで行事の重なりを防いでいきます。

資 料

検討経過

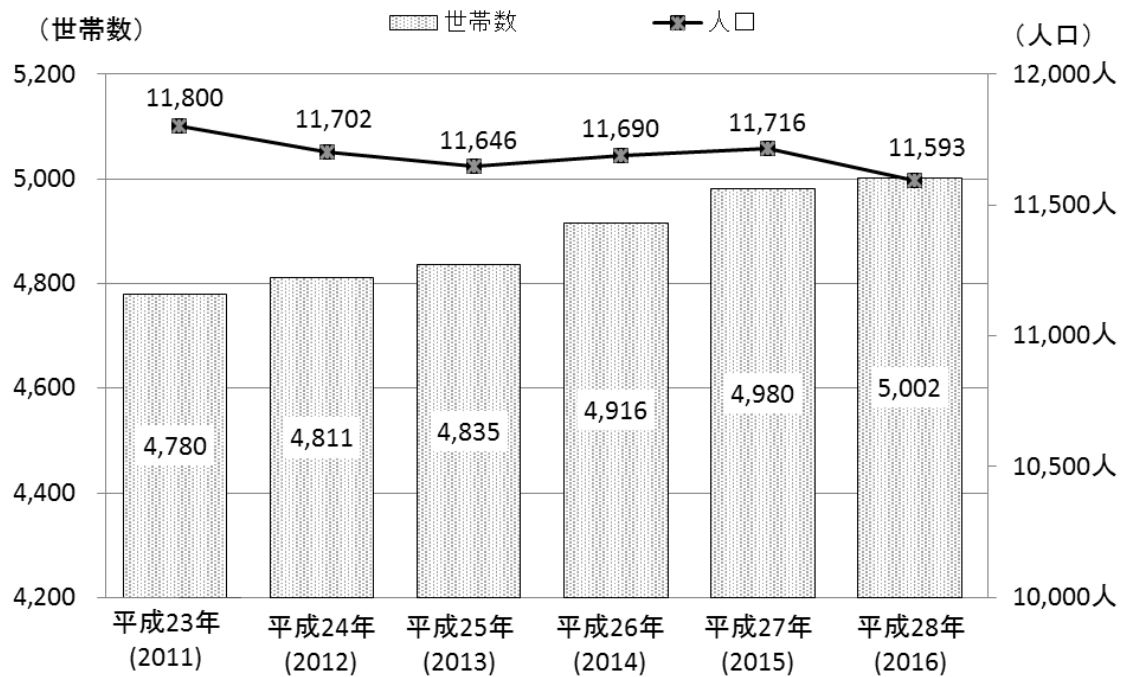
月	会議数	内 容
5月	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域別計画の見直しについて説明 ・ 久野地区の現状を把握するためのアンケートを各委員に配布
7月	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの回収
8月～9月		<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの回答を集計し、その意見を基に地域別計画の加除修正を行い、地域別計画の見直し結果（案）を作成 ・ 見直し結果（案）を基に各分科会長と地域政策課で打ち合わせ
10月	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域別計画の見直し結果（案）の提示 ・ 各分科会で話し合い（内容の加除修正等）
11月～2月		<ul style="list-style-type: none"> ・ 各分科会で話し合った内容を基に加除修正 ・ 地域別計画（平成28年度改定）を作成
3月	第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域別計画（平成28年度改定）の承認

※5月～12月は平成28年で、1～3月は平成29年です。

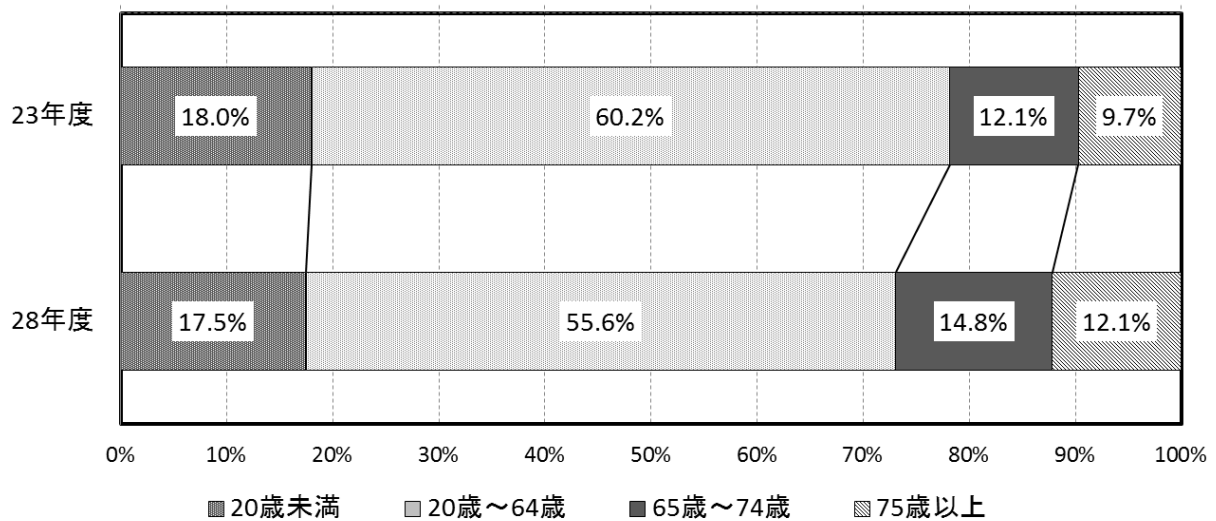
参考資料(久野地区)

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

人口と世帯数の推移



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



久野地区各種団体代表者会



会長

駿河 寛 (久野地区自治会連合会会長・留場自治会会長)

副会長

早泉 淳三 (同副会長・星山自治会会長)

皆木 孝常 (同副会長・下宿自治会会長)

【総務分科会】

駿河 寛

(久野地区自治会連合会会長・留場自治会会長)

廣川 登 (和留沢自治会会長)

磯崎 繁幸 (欠ノ上自治会会長)

一寸木利則 (民生委員児童委員協議会会長)

小林 範彦 (公民館久野ブロックブロック長)

【防災・防犯分科会】

斉藤 利男 (久野坂下自治会会長)

大竹 久 (京福台自治会会長)

門松 武則 (中久野自治会会長)

水野 和彦 (防災リーダー会代表)

浜野 正美 (交通安全協会久野支部支部長)

小宅トシ子 (交通安全母の会会長)

遠藤 富雄 (防犯指導員)

大嶋 正行 (消防団第11分団分団長)

【文化・教育分科会】

湯川 増夫

(久野地区自治会連合会会計・宮本自治会会長)

藤田 幸雄 (北久保自治会会長)

一寸木誠一 (舟原自治会会長)

岡部 和明 (久野小学校校長)

石川 慶 (久野小学校 PTA 会長)

石原 稔 (白山中学校 PTA 代表)

原田 高雄 (少年補導員)

永井 勝治 (青少年育成協議会会長)

安藤 恵 (青少年育成推進員代表)

一寸木沙紀 (子ども会連絡協議会会長)

武田 英二 (こどもあそサポート会長)

【健康・福祉分科会】

皆木 孝常

(久野地区自治会連合副会長・下宿自治会会長)

大沼 静男 (三国自治会会長)

初瀬川健次 (久野中宿自治会会長)

古市 功 (体育振興会会長)

北村 時夫 (老人クラブ連合会会長)

石川 広恵 (ボランティア会会長)

大嶋 弘子 (日赤奉仕団久野分団分団長)

久保寺征一 (ささえあい久野ひまわりの会会長)

山本 久乃 (健康おだわら普及員代表)

【環境・地域振興分科会】

早泉 淳三

(久野地区自治会連合会副会長・星山自治会会長)

石井 啓二 (諏訪原自治会会長)

西山 康隆 (小田原サニータウン自治会会長)

佐藤 敏夫 (坊所自治会会長)

星野 清治 (美しい久野里地里山協議会会長)

石綿 誠 (神山神社責任役員)

濱野 昌平 (久野区民会館友の会会長)

平成29年3月作成

地域別計画 (平成28年度改定)

～ 東富水地区 ～

絆ふかめたい東富水

地域のキャッチフレーズ

青い空 水と花 みんながあつまるまち 東富水

はじめの一步(住民自ら取り組むこと) ～ できることから始めよう ～

1 健康・福祉

地域は皆ひとつ！誰でもできるふれあいのまち
素晴らしい環境を活かした健康なまち
みんなで支え合うやさしいまち

2 防災・防犯・教育

みんなが参加しやすい空気づくり
「ながらパトロール」みんなの連携で地域を守る
地域で子どもを育てる

3 生活環境・地域振興

きれいな川の流れと恵まれた自然環境を活かして、
訪れる人の心安らぐまちづくり
地域の団体が手を携え、人と人との絆をつくるまちづくり

1 健康・福祉

【めざす姿】

地域は皆ひとつ！誰でもできるふれあいのまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>東富水小学校では日常的なスクールボランティア等の活動が行われています。</p> <p>登下校時の見守り活動の際に、声掛けを行っており、「さよなら」「ただいま」と言ってくれる子どもが増えてきました。</p> <p>子育て支援のための「地域子育て広場」を開催しています。</p> <p>子どものため、孫のためには何か役に立ちたいという気持ちのある地域の人々が子育てを支援し、子どもを中心として家庭、地域がつながっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年は子どもの時から交流のある大人とはコミュニケーションがとりやすく、高齢者は若い人と交流するとパワーがもらえる、そうした世代を超えたつながりのある地域にしていけます。 ・ あいさつ運動や登下校時の見守り活動を通して、地域の人々の顔が繋がれば、不審者が地域に入りづらいなど、防犯効果も得られます。老人会や、PTA等の協力を促し、活動を広げていきます。 ・ 地域の公民館が、子育て支援や高齢者等のふれあいの拠点になるようにしていきます。また、併せて、誰でも気軽に集まれるように内容や開催時間等を検討していきます。 ・ スクールボランティアの回数を増やすと共に、大人の多数の参加を促します。

【めざす姿】

素晴らしい環境を活かした健康なまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>酒匂川の流れ、富士山、箱根外輪山、丹沢山塊の眺望、心和む田園風景が広がる素晴らしい環境が残されています。</p> <p>美しい環境もまだ十分に活用されておらず、手</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ この素晴らしい環境を活かし、ウォーキングやラジオ体操など、誰でも参加できるような活動を行い、健康的な生活を維持し、病気になりにくい体づくりを継続的に実施できるまちにします。また、併せて、より多くの方が参加したくなるような事業を検討していきます。

<p>を加えないと雑草とごみが多くなりがちです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩して会話のできるベンチがあれば、人の交流にもつながるので、整備に向けて検討していきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは自分の家の周りを自分できれいにし、清掃をしている人を見かけたら積極的にねぎらいの声をかけましょう。またこのような取組を自治会の広報紙等で広く伝え、気持ち良く清掃できる雰囲気をつくることで、歩きたくなる、走りたくなるような環境づくりをしていきます

【めざす姿】

みんなで支え合うやさしいまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地域の中には、一人では解決できない問題を抱えている人がいます。こうした課題は地域全体の課題ととらえ、みんなで支え合う必要があります。</p> <p>東富水地区では、日常生活における困りごとを解決する生活応援隊として、ささえあいセンター東富水を小田原市で最初に立ち上げました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世代を越えた交流を通し、優しさ、いたわりの気持ちを持ちモラルのある人間形成ができるまちを目指します。 ・区民祭なども、高齢者も参加しやすい種目を多く取り入れるなど、内容を見直し、みんなで楽しめる行事の開催を検討します。また、開催時には回覧等で広く周知します。 ・見守りの中で、日常生活の困りごとに声掛けを行い、ささえあいセンター東富水につなげる活動を行います。また、社協広報紙等で再度PRを行います。
<p>障がい者に対して、地域の人々が理解し、暮らしを支援する体制を整える必要があります。</p> <p>障がい者の自立を支援する施設である梅香園では、東富水地区ボランティア会や、ささえあいセンター東富水が活動しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・梅香園では、福祉の現場の日々の様子を小冊子にして発行しています。また、パソコンや絵画、折り紙、バドミントン等の趣味を活かし、梅香園での教室の講師を行う等、それらを通して、まずは知ること、知り合うことから障がい者への理解を深めていきます。

2 防災・防犯・教育

【めざす姿】

みんなが参加しやすい空気づくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>700 人規模の大きな防災訓練が実施されています。</p> <p>防災訓練の参加者は高齢者が多くなる傾向にあり、自治会への加入率の低下など、災害時の際に地域内で助け合えるか不安です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の防災訓練の規模を維持し、多くの人が参加することで、住民の意識を向上するとともに、災害時に必要となる技術を高めていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りの時に発電機を使用する、公民館の枝切りにチェーンソーを使用するなど、何かのイベントの際に防災機材を使用し、訓練を兼ねるなど、訓練の機会を増やすよう工夫するとともに、こうした工夫を団体間で情報交換できるような場をつくります。また、併せて、住民に対しても、防災器具用具の周知に努めます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と協力して、災害時に大きな力となる中高生の参加者を増やす仕組みや、訓練内容を検討します。
	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生になってから急に地域活動に参加するといっても難しいので、小さな頃から地域との関わりが持てるよう、公民館の「文化祭」や「お正月飾り作り」、青少年育成会の「ナイトウォーク」等、子どもが参加して楽しいと思えるイベントを引き続き開催するとともに、「納涼サマーフェスタ」等のように、行事を開催する際に中学生にボランティア活動をお願いしていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントに多くの子どもが参加する環境を整え、地域とのつながりをつくるとともに、参加した子どもに責任ある役割を与え、リーダーになれる子どもを地域で育てていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに地域に入ってきた人を地域の人に紹介するなど、地域に受け入れる体制づくりをしていきます。

<p>ひとり暮らし高齢者等の災害弱者に関する情報交換は、民生委員を中心としたきずなチームで行っていますが、地域全体で共有できていません。</p> <p>また、自然災害により、避難できずに大惨事にいたった災害が起きています。そのため、災害弱者に対する避難時の応動体制確立が急務です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害弱者の人から了解を得て、民生委員以外にも情報を渡せるような体制を検討していきます。 ・組長を中心に隣近所であいさつをするなど、地域との関わりを大切にしていきます。 ・災害弱者への避難情報の周知方法の確立に努めます。
<p>消防団や防災リーダーで活躍されている人が勤め人であるなど、平日昼間の防災体制に不安があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の防災訓練とは別に初心者向けのメニューをつくり、ひとり暮らし高齢者の安否確認など、できることから始め、いずれは在宅者消防団の設立や、民生委員を中心とした、きずなチームと協力して行う等を検討します。

【めざす姿】

「ながらパトロール」みんなの連携で地域を守る

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地域の各種団体がパトロールなどを実施し、地域の安全を守っています。</p> <p>しかし、組織間の連携が十分でないため、情報を共有できず、効果的な活動が出来ていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会、青少年育成会、防犯部、防犯指導員、学校、PTAによるパトロールを今後も継続し、安全に関心がある地域だと印象付け、犯罪の抑止力を高めていきます。 ・パトロールの方法や場所など、情報交換を行い、より効果的に活動が展開できるよう、関係団体による会議を開催します。 ・地域内で事件などがあつた場合は、近隣住民に情報提供を行うなど、地域の犯罪に関する意識を高めていきます。 ・多くの人が特別にパトロールを行うのは負担になり、継続が困難になりがちなので、散歩や買い物に行く時に腕章などをつけて歩く「ながらパトロール」を広げ、気づいた点やPTAからの児童、生徒の状況などの情報を団体に吸い上げる仕組みをつくり、更に地域全体で情報共有を進めていきます。

【めざす姿】

地域で子どもを育てる

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>スクールボランティアに多数の人が協力し、学校教育への関心が高い地域です。また、参加者がスクールボランティアを通して、児童生徒の名前を覚え、下校時やパトロール中に声掛けをする等、見守り活動にも繋がっています。</p> <p>しかし、「教育なんて出来ません」と敷居を高く構えてしまい参加されない人もいます。</p>	<ul style="list-style-type: none">・スクールボランティアや猫の手ボランティアをはじめ、わらじづくりや稲作など、体験学習を通じて、地域の人々の知識や技能を子どもに伝えるとともに、子どもから子どもへと伝え、地域内で教えあう事ができる関係をつくっていきます。・各団体が開催する多世代に渡る交流活動を通じ、地域の人と子どもだけでなく、親も含めて交流を図り、子育てに関する課題について共に考え、地域全体で子育てが出来る教育力の高い地域を目指します。

3 生活環境・地域振興

【めざす姿】

きれいな川の流れと恵まれた自然環境を活かして、 訪れる人の心安らぐまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>母なる酒匂川に隣接し、水が豊かで、自然に恵まれ、子どもからお年寄りまでのびのびと憩える環境となっています。</p> <p>酒匂川に二つの橋がかかり、利便性も良く、小田原アリーナや小田原テニスガーデンなどの公共施設もあるため、スポーツ選手などが訪れます。</p> <p>しかし、公共施設の利用者などによるごみ</p>	<ul style="list-style-type: none">・富士の眺めに、河津桜をはじめ、彼岸花やれんげ草、菜の花など、四季折々の花が咲き誇る環境づくりに努めます。・この環境を活かし、訪れる人との交流を図るため、桜の咲く時期にイベントの開催を検討します。

<p>のポイ捨てが多く見受けられます。さらに、犬のフンを片付けないことやごみの分別のルールを守らないなど、マナー違反が見られます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苗を植え、草刈りをし、ごみを捨てにくい環境を作るなど、地域の力で東富水の豊かな自然環境を整え、子や孫に伝えていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政の出前講座などを活用しながら、ごみのポイ捨てや分別などに関するマナーやルールを学び、地域の環境美化に対する啓発活動を行うとともに、公共施設の美化活動を行政と地域で役割を分けて行います。また、散歩の時にはごみ拾いを行うなど、地道な活動を続け、再び訪れたいくなるまちにしていきます。 <p>美化活動については、豊岡公園をモデルとして始め、頻繁に清掃活動を行っていき、各地区へ活動を広げていきます。</p>

【めざす姿】

地域の団体が手を携え、人と人との絆をつくるまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>各地域の特色を活かし、もちつき、竹細工、正月飾りづくり、昔遊び等、多くの活動を通じ、子どもからお年寄りまで多くの人々が集いにぎわっています。また、東富水納涼サマーフェスタは、各種団体が力をあわせて毎年盛大に開催され、地域内のつながりや交流が生まれています。しかし、自治会や老人会、子ども会の加入率が低下しているとともに、役員の担い手不足に悩んでいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙「いってみよう絆ふかめよう」のように、各種団体の活動を広報し、活動内容や意義を知っていただき、自治会をはじめ、各種団体の加入率向上を図ります。 また、勧誘活動を積極的に行うプロジェクトチームを作り、加入率向上の方策を探っていきます。 ・ 自治会単位の三世代交流事業や、東富水納涼サマーフェスタ等、子どもからお年寄りまで集まれるイベントを引き続き開催し、このイベントを通じて交流を深め、地域との関わりを強めていくとともに、各種団体間が力をあわせて一つのイベントを成功させることで、団体間の連携も深めていきます。 また、併せて、各イベントを継続していくためにも、既存の行事の内容の見直しも行っていきます。 ・ こうした活動を通じ、誰でも気軽にあいさつができる、人と人とのつながりを大切にするまち

	<p>づくりをしていきます。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none">子ども会の活動や役員の担い手について、地域住民がサポートしながら、円滑な運営を行うと共に、地域文化の担い手を作るという、子ども会の目的を地域で共有し、関心を持つ人を増やし、子ども会の加入率の向上と活性化を図っていきます。 <p>また、勧誘活動を積極的に行うプロジェクトチームを作り、加入率向上の方策を探っていきます。</p>
--	---

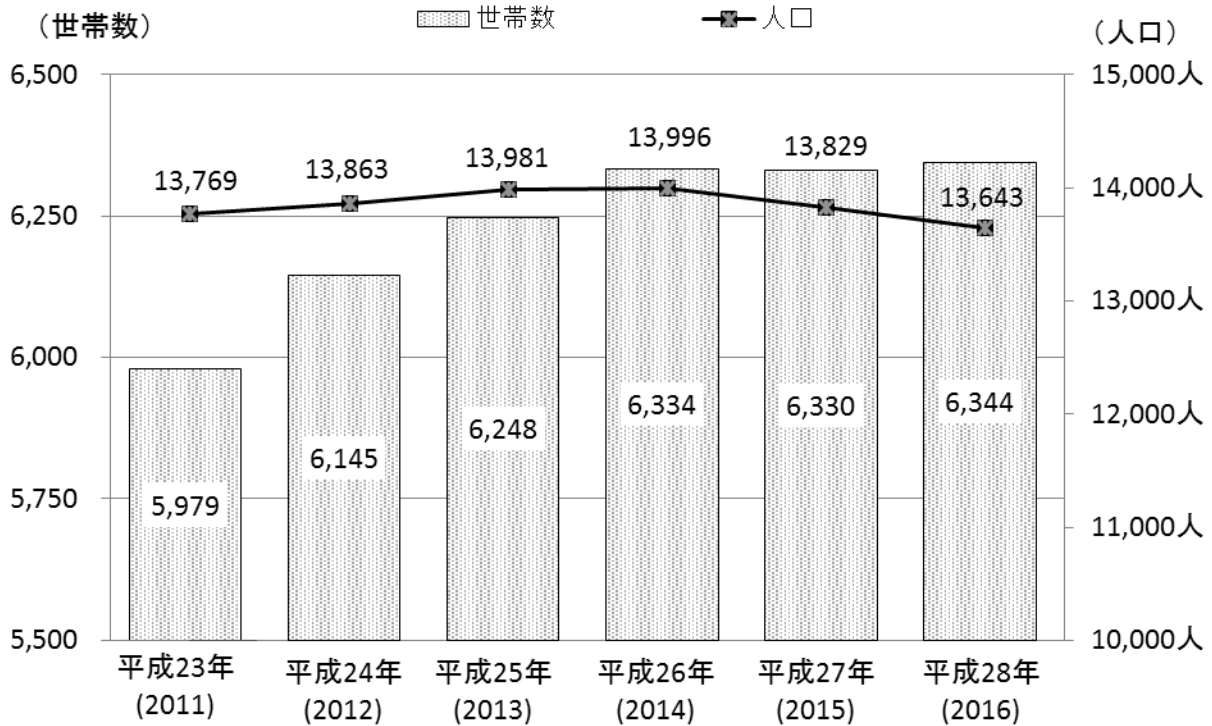
経過

月	会議	内容
6月	総会	・地域別計画の見直しについて説明。
8月	役員会	・地域別計画の見直し方法について決定。 ※絆ふかめたい東富水委員以外に、役員会で必要と思われる人物を5人抽出し、見直しメンバーに追加。(民生委員児童委員協議会からは、3役と主任児童委員2人を代表として選出。)
9月	社協理事会後	・社協理事会出席者に対して、全体会と見直し記入用紙の説明、及び記入用紙の配布。(出席者以外は郵送)
10月	役員会	①記入用紙の回収 ②役員と地域政策課が回答を集約し、現状に修正したもの【見直し結果(案)】を作成。
11月	全体会	①3分野(健康福祉・生活環境地域振興・防災防犯教育)で分科会を立ち上げ、【見直し結果(案)】を基に現状を話し合い、修正変更。 ②分科会長から結果を発表。 ⇒全体承認(軽微な変更は地域政策課及び役員に一任)
12月	役員会	・全体会の結果を確認。 ⇒見直し終了。

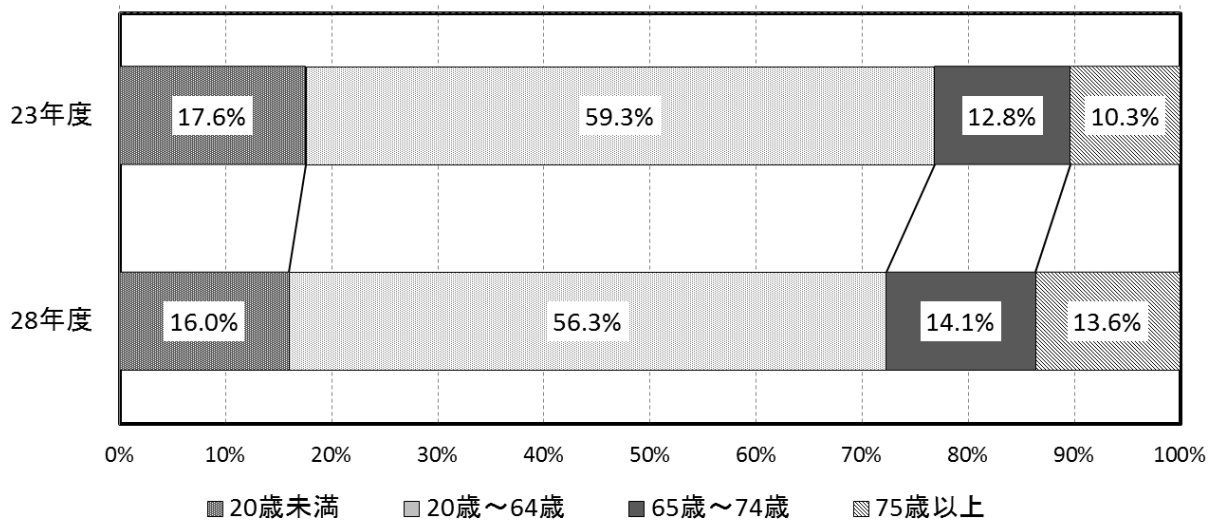
参考資料(東富水地区)

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

人口と世帯数の推移



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



絆ふかめたい東富水（平成28年11月現在）

全体総括

吉葉 茂樹（絆ふかめたい東富水・蓮正寺住宅自治会）
金子 穂積（東富水地区自治会連合会・中曽根自治会）
岩崎 良春（社会福祉協議会・堀之内自治会）

健康・福祉分科会

国原 邦夫（蓮正寺第5自治会）	山中 鈴恵（健康おだわら普及員会）
長尾 戴治（民生委員児童委員協議会）	山下 良男（社会福祉法人よるべ会梅香園）
宮下 由香（蛭田駅前自治会）	杉山 次郎（公民館連絡協議会※）
栗田 哲夫（霞ノ瀬自治会）	磯崎 伸子（民生委員児童委員協議会）
廣重 知子（蛭生会自治会）	奥津 美恵（第三地区地域包括支援センター）
石坂 照子（ボランティア協議会）	保田 浩子（民生委員児童委員協議会）

防災・防犯・教育分科会

永田 秀夫（蓮正寺第4自治会）	石井 政道（泉中学校）
内田 晋一（東富水小学校PTA）	諏訪部 高広（泉中学校PTA）
田村 克夫（蓮正寺第3自治会）	村上 浩一（蓮正寺駐在所）
夏井 信策（よし田自治会）	加藤 裕之（県立小田原養護学校）
中島 哲夫（蛭田中央自治会）	原島 幸子（民生委員児童委員協議会）
永森 修司（交通安全部会）	田中 哲也（消防団第12分団※）
竹縄 博幸（防犯部会）	伊藤 俊文（中曽根自治会※）
田中 誠（東富水小学校）	

生活環境・地域振興分科会

酒口 松男（民生委員児童委員協議会）	下澤 禮二（蓮正寺第1自治会※）
和田 正樹（青少年育成会）	本間 豊（老人クラブ連合会）
立木 一成（飯田岡東自治会）	鈴木 稔（体育振興会）
菅原 鋭進（蓮正寺第1自治会）	石井 啓隆（東富水連合子ども会連絡協議会）
土屋 皓（蓮正寺第2自治会）	中村 義博（中曽根自治会※）
林 一男（狩川自治会）	岩崎 吉成（堀之内自治会※）
平井 光代（交通安全母の会）	

※見直しメンバーとして参画。

平成28年11月作成

地域別計画

(平成28年度改定)

～ 富水地区 ～

富水地区まちづくり委員会

地域のキャッチフレーズ

水と緑 みんながふれあうまち 富水

はじめの一步(住民自ら取り組むこと) ～ できることから始めよう ～

1 地域振興

- ・人と人のつながりが強いまち
- ・歴史と文化の活用により健康づくりができるまち

2 環境美化

- ・豊かな自然環境(水と緑)に恵まれた心なごむまち

3 健康・福祉

- ・元気で長生き、人生楽しく!
- ・お年寄り、子ども、障がい者にやさしいまち
- ・住み良いまちづくりの土台を築く

4 交通安全

- ・地域の人々の、地域の人々による、地域の人々のための交通安全活動をパワーアップして、みんなが安心して住めるまち
- ・地域の子どものやお年寄りが交通事故などの災害に巻き込まれないよう地域が一丸となって見守ることのできるまち
- ・交通マナーが守られて事故のない安全安心なまち

5 防災

- ・共助・自助で地域を守る
- ・有事の際に防災機材を誰でも安全確実に使用でき、助け合えるまち

6 防犯

- ・明るいまちづくり
- ・犯罪を未然に防ぐまちづくり
- ・犯罪のない地域を目指す

7 文化・教育

- ・情報の共有と豊かなふれあい活動を通して地域教育の向上を目指す
- ・幼・保・小・中・養護学校・家庭・地域との一体教育の推進により児童生徒の健全な育成を目指す

8 広報

- ・情報の発信力(団結力)が強いまち

1 地域振興

【めざす姿】

人と人のつながりが強いまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>自治会をはじめ地域住民の団結心が強く、様々な活動に積極的に参加し、協調性もあるので、安心して生活できる地域です。</p> <p>しかし、近所付き合いが昔に比べ希薄になってきており、自治会の未加入者や担い手不足などの問題も出てきています。</p> <p>また、住みやすい地域であるが、お年寄りの憩いの場や子どもが遊べる環境が不足しています。</p>	<ul style="list-style-type: none">自治会や富水地区まちづくり委員会の役割や必要性を明確にして、安心して安全な地域づくりを進めていきます。
	<ul style="list-style-type: none">地域住民が交流を深めるために、富水地区まちづくりワイワイフェスタの開催や、自治会を通じてバス旅行などのレクリエーションを実施し、連携や結束を強めていきます。
	<ul style="list-style-type: none">地域のお年寄りが交流を深めたり、子どもが広場でのびのびと遊んだりする環境の整備を目指します。

【めざす姿】

歴史と文化の活用により健康づくりができるまち

誇れるもの	できることから始めよう
<p>多くの文化財があり、お祭りなど地域の文化や伝統が継承されています。</p> <p>また、貴重な文化財をめぐる富水ウォーキングマップがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none">お祭りなどの伝統行事を大切にし、後世に伝えていきます。
	<ul style="list-style-type: none">自然環境と触れ合うことができる富水ウォーキングマップを作ります。 <p>なお、富水ウォーキングマップは、小学生やお年寄りなど歩く人の体力に合わせたコースにより、多くの人に親しまれるものにしていきます。</p>
	<ul style="list-style-type: none">富水地区まちづくり講演会を通して、富水地区の歴史と文化を広く地域住民に伝えていきます。

2 環境美化

【めざす姿】

豊かな自然環境（水と緑）に恵まれた心なごまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>富水には川や田園など水や緑が沢山あります。</p> <p>川の土手には犬などのペットのフンが落ちていたり、ごみのポイ捨てや不法投棄などが見られ、富水の自然環境の保全に影響を与えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富水の豊かな水や緑を守るため、地域内の水路清掃、狩川クリーン作戦、せせらぎのこみち・めだかの公園周辺清掃など多くの環境美化活動を継続していきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化活動などにより富水の環境の素晴らしさを認識し、自然環境を守っていくことの大切さ、きれいにするための気持ちよさを伝えていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・狩川、仙了川等の護岸にアジサイ等を植栽し、より緑豊かな地域にしていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみステーションにごみ分別を啓発するポスターを掲示したり、点検や管理を徹底し、日ごろから環境に対する意識を育てていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区へ段ボールコンポストの普及活動を行うことで、家庭から出るごみの減量化を図ります。 ・富水地区まちづくり委員会と各地区の環境美化推進委員が連携を図っていきます。

3 健康・福祉

【めざす姿】

元気で長生き、人生楽しく！

困ったこと	できることから始めよう
<p>地域住民一人ひとりがいつまでも健康を保ち、幸せな生活を送れるようにするため、健康づくりの場が必要になっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチやおだわら百彩（市民体操）などを行う教室の開催をはじめ、レクリエーション、ウォーキング、ラジオ体操など年齢を問わず参加できる健康づくり活動を充実し、健康寿命を延ばす環境を整えていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに、アンケートなどでニーズを把握し、ヨガや歌謡など新しいことを取り入れるなど楽しく続けられるよう工夫していきます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・メタボ予防などの相談ができる「はつらつ健康相談」、健民祭の時に体脂肪や血圧を測定する「ミニミニ健康デー」などで健康に関する悩みを相談できる体制を整え、日ごろから健康に対する意識を引き続き高めていきます。
--	--

【めざす姿】

お年寄り、子ども、障がい者にやさしいまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>お年寄りが生きがいを持って暮らせるよう、地域で支えていかなければいけません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会をはじめ、一人暮らし老人昼食会、お茶会、誕生会、独居老人慰問、寝たきりの人達のお見舞いなど、子どもと一緒に歌を歌ったり、体操や手遊びをしたり、お年寄りと触れ合う活動を継続していきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・また、毎年多くの方に参加していただけるように、敬老会の内容を見直したり、単位自治会ごとに敬老会を行うなど実施方法を工夫していきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域の先進事例を参考に運営方法を見直し、活動の充実を図っていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護について正しく理解し、案内状を配布するための名簿の整備を行います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・行事案内を直接届け、まず行事を知っていただき、参加者が増えるような環境づくりを進めていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員や在宅福祉サービスチームが訪問し、案内状を配布することで一人暮らしのお年寄りの安否確認をする回数が増えるという効果も期待できます。
<p>核家族化によって家庭での子育てをする環境が変化し、育児に不安や悩みを抱えている保護者が増えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ミッキーの会など、子ども同士の交流による遊び・体験活動や、子を持つ保護者の悩みを聞いたり、保護者同士の交流を図るための子育て支援活動を継続していきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が増えているので、行政と協力しながら場所の確保に努めていきます。
<p>障がい者が社会的に自立していく環境を整えるため、地域が理解し、支える体制を整えなければ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小田原養護学校や竹の子学園の文化祭、バザー、夏祭りなど、ともしび会などのボランティア団体による障がい者支援活動を継続していきます。

なりません。	<ul style="list-style-type: none"> 富水小学校と小田原養護学校で学校間交流を行い、教育の一環としてお互いの理解を引き続き深めます。
	<ul style="list-style-type: none"> 小田原養護学校に地域住民が学校見学に行くなど地域との交流を図り、障がい者に対する理解を深め、地域で支える体制を整えていきます。

【めざす姿】

住み良いまちづくりの土台を築く

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>社会福祉協議会をはじめ、様々な団体が活動し、地域の交流が生まれ、地域福祉を支えています。</p> <p>しかし、高齢化が進み、社会福祉協議会をはじめ、団体の役員の担い手不足や若い人の行事の参加が減少するなど、地域福祉を支える基盤が弱体化しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会をはじめ、様々な団体が連携を図り、各種福祉サービス、相談活動、ボランティアや市民活動の支援、共同募金運動への協力などを行い、地域福祉を充実していきます。
	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会と富水地区まちづくり委員会が共催で行う富水地区まちづくりワイワイフェスタや、各地区公民館における趣味の活動、自治会による大晦日の甘酒の振る舞いなど、多世代に渡った交流を継続していきます。
	<ul style="list-style-type: none"> こうした活動を積極的に広報し、活動に対する理解を深め、担い手を増やしていきます。 また、担い手同士の情報交換や相談できる場を設けるなど、担い手の負担軽減も図っていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民に分かりやすい広報づくりを心がけ、多くの人に親しみを持っていただくよう工夫していきます。
	<ul style="list-style-type: none"> タウンセンターいずみ、各地区公民館、地域包括支援センターなどの健康や福祉に関する施設を十分に活用し、地域の方が住み慣れたまちで安心して生活することができる福祉のまちづくりを目指します。

4 交通安全

【めざす姿】

地域の人々の、地域の人々による、地域の人々のための交通安全活動をパワーアップして、みんなが安心して住めるまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>充実した交通安全の組織を継続していくための担い手が少なく、存続が難しくなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の交通安全部で実施する年始の交通安全祈願に毎年多くの参加者が集まるなど、交通安全に対する意識の高い、まとまりのある組織ができており、こうした組織を中心に交通安全教室、交通安全運動、夜間ホタル作戦（※）、地域行事での交通誘導など、地域の交通安全を守る活動を継続していきます。 ・学習参観時に交通安全教室を実施してもらうよう、引き続き学校へ働きかけるとともに、親子で参加できる内容を企画します。また、子ども会や老人会をはじめとした各種団体と連携することにより、泉中、富水地区内の駅や健民祭等で行う交通安全キャンペーン等の交通安全活動を継続することで、その必要性を理解してもらい、担い手の発掘と育成を進めます。

※夏、秋、年末に夜間交差点において行う事故防止の啓発活動。

【めざす姿】

地域の子どもやお年寄りが交通事故などの災害に巻き込まれないよう地域が一丸となって見守ることのできるまち

困ったこと	できることから始めよう
<p>車社会の中で、子ども達やお年寄りを交通事故から守らなければなりません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の交通安全部、P T A、交通安全母の会、富水小学区や報徳小学区のボランティアの方々による小学生の登下校時の交通指導を継続し、子ども達の安全を守ります。 また、一部の地区で交通指導を行うボランティア等が不足しているので、富水地区まちづくり委員会や防犯推進協議会等の各種団体で連携し、ボランティアの募集等に努めます。

	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全母の会が民生委員と協力し、お年寄りの世帯の方を訪問し、交通安全のチラシを渡しながらマナーを伝えたり、ともしび会に協力してもらいながら昼食会に参加しているお年寄りの方に、交通安全の啓発品を渡してもらうなど、啓発活動を通じて交通安全に対する意識を高めていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> 富水小学校や報徳小学校では、ボランティアの方を招いて、子ども達のお礼の言葉をつづった色紙を渡し、感謝の意を伝えています。子ども達からの温かい言葉は、ボランティアの方の活動の力になっており、今後も継続していきます。

【めざす姿】

交通マナーが守られて事故のない安全安心なまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>交通マナーは比較的良好いものの、一部では自転車の乗り方のルールが守られていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 富水地区まちづくり委員会、交通安全指導員や交通安全母の会が小学校や幼稚園と協力し、新入生への啓発物を配布したり、市と協力して交通安全教室を開くなど、交通ルールの普及・啓発活動を継続し、交通事故防止の徹底を図ります。 学科による知識の会得や自転車の乗り方などの実地訓練を取り入れたり、学校の夏休みや冬休みの前に交通安全教室を実施するなど実施時期を検討し、より効果的に行えるよう工夫し、富水地区は自転車運転の事故ゼロを目指していきます。 富水地区まちづくり委員会が中心となり、各地区で開催されているお茶会、敬老行事や老人クラブ等の集まりを通して、警察、市や関係団体の協力を得ながらお年寄り向けの交通安全教室を開催していきます。
<p>連合境と学区境が一致していないため、報徳小学校への交通安全教室開催に向けた働きかけが弱かった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全母の会が中心となり、学校、報徳学区の3自治会連合会（富水・東富水・桜井）と連携し、報徳小学校での交通安全教室を開催しており、今後も引き続き実施していきます。

5 防災

【めざす姿】

共助・自助で地域を守る

誇れること・困ったこと	できることから始めよう
<p>阪神・淡路大震災の際に救助された人の90%は、自力で脱出又は家族、近隣の人々によって救助されました。災害が発生した場合、行政だけでは対応できないので、地域の各種防災組織が必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害による被害を防ぎ、軽減していくために、消防団、防災リーダー会、自主防災組織（単位自治会）、地域防災の会などの組織・活動を充実し、地域住民同士支え合っています。 また、富水地区まちづくり委員会が各自主防災組織や防災リーダー会に対して、防災訓練方法、日頃の備えや組織のあり方等を企画立案し、連携しながらより多くの地域住民が自主防災組織（単位自治会）の一員であることを認識できるよう、更なる組織の充実を図っています。 ・消防団員募集のポスターを掲示するなど、各種防災組織で担い手を発掘し、充実した組織を維持していきます。
<p>災害時における一時避難場所での安否確認を早急に行うことができるよう、世帯ごとの「災害時緊急連絡シート」と、組ごとの「安否確認名簿」を全自主防災組織（全単位自治会）で作成しています。この組ごとの「安否確認名簿」を基に、災害時に、安否確認がいち早く適切に行われるよう、日頃から十分に訓練しておくことが重要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富水地区まちづくり委員会で安否確認を取り入れた防災訓練を企画し、各地区へ呼びかけ実施していきます。 ・安否確認を含めた、初動対応の大切さを防災訓練や防災チラシ等を通じて地域住民に周知徹底し、災害時に備えます。

【めざす姿】

有事の際に防災機材を誰でも安全確実に使用でき、助け合えるまち

困ったこと	できることから始めよう
いつ災害が発生するかわかりません。しかしながら地域住民の備えが万全とは言えません。	・ 自主防災組織（単位自治会）ごとに防災機材の点検や操作方法の訓練を行い、災害時に自ら防災機材を使用し、救助活動できるよう日ごろから備えていきます。
	・ 各種防災組織での訓練（水防訓練、操法訓練、防災訓練）、県・市で実施する大規模の防災訓練、自治会連合会で実施する中規模の防災訓練、単位自治会で実施する身近な訓練、各家庭における「防災点検の日」の実施により、組織としての防災力と個人としての防災力を向上させ、防災意識を高めるとともに、近隣の人とコミュニケーションを深められます。
	・ 火災予防のポスター掲示や小学生を対象とした消防の話などを通じて、地域住民の防災に対する意識の向上を図ります。

6 防犯

【めざす姿】

明るいまちづくり

困ったこと	できることから始めよう
全国的に多発する犯罪に対し、地域住民の生活が守られるのかという不安があります。	・ 地域の安全は地域で守るとの観点から、防犯組織を充実し、警察などと連携しながら、様々な活動を通じて、犯罪の発生しにくい環境づくりを進めていきます。

<p>防犯組織の高齢化が進み、担い手不足が進行しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な機会を通じて、保護者や地域の人、退職した人などに幅広く声掛けをするなど、日ごろから各組織で人材発掘を進めるとともに、講演会や研修会などを通じて、人材育成に取り組みます。
-----------------------------------	---

【めざす姿】

犯罪を未然に防ぐまちづくり

困ったこと	できることから始めよう
<p>地域のことに無関心な地域は犯罪が多発し、地域住民の生活を脅かすので、自分達で地域を守る意識を高める必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各家庭に玄関灯をつけるよう呼びかけたり、地域の危険箇所には防犯灯を増設したり、防犯灯の整備不良箇所がないか点検を継続していきます。 ・ 放置自転車、ごみのポイ捨て、建物や壁の落書きをなくすなど、犯罪者に対し、地域の目が行き届いていることを示し、犯罪が起これにくい環境づくりを進めていきます。 ・ 富水地区まちづくり委員会による防犯教室などを通じ、地域住民の防犯に対する意識を高めます。

【めざす姿】

犯罪のない地域を目指す

困ったこと	できることから始めよう
<p>お年寄りや子ども達などの安全が脅かされているので、地域が一丸となり見守る必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業や個人の協力を仰ぎ、いつでも子ども達がかげこむことができる「SOSこども110番かけこみ所」を充実し、子ども達を犯罪から守ります。 ・ 児童の登下校パトロール、地域の夜間パトロール、学校行事の際の周辺パトロールなど、地域の見守る目があるということを示し、お年寄りや子ども達など地域住民が犯罪に巻き込まれない環境づくりを進めます。

7 文化・教育

【めざす姿】

情報の共有と豊かなふれあい活動を通して地域教育の向上を目指す

困ったこと	できることから始めよう
<p>P T A、自治会、ボランティア、地域の方が学校教育に非常に協力的であるが、学校活動に関する情報や地域の方がどのような技能をもっているのかという情報が共有されていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各団体の年間計画など、いずみふれあい通信の作成・配布を通し、情報共有の場が持っています。今後も地域の協力体制の強化をしていきます。 地域にどのような技能を持った人がいるのか、知るための情報共有の場を作り、学校間だけではなく、地域での人材の活用、技能を持った人の活躍の場を作っていきます。地域とP T A、学校が一体となって活動を行えることで、より豊かな教育活動が推進できます。
<p>子どもの規範意識が低下しています。地域の方と子どもとのふれあいが少なく、子ども達に声をかける機会がありません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 0歳児から幼少期における保護者への支援を行っています。（おだわらっ子の約束の浸透） 学校単独での清掃活動を実施したり、自治会単独で清掃活動を実施するなど、それぞれが環境美化活動を行っています。「狩川クリーン作戦」や「クリーンさかわ」を通して、小中学生と地域の方との交流も行っています。自分達のまちの清掃活動を地域の方と一緒に取り組むことによって、地域の環境に目を向けると共に、地域の方にほめられたり、諭されたりする中から豊かで温かな関係を生み出すことができます。

【めざす姿】

幼・保・小・中・養護学校・家庭・地域との一体教育の推進により児童生徒の健全な育成を目指す

困ったこと	できることから始めよう
<p>不登校やいじめ、家庭における基本的学習習慣が身につかない子がいるなど今日的な課題が発生しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「これまでの育ち・学び」と「これからの育ち・学び」について共有し、子どもの背景にあるものを理解しながら指導にあたり、不登校を早期発見し、対応することで、子どもの健全な育成に努めます。

	<ul style="list-style-type: none"> 各学校で地域の民生委員児童委員と連携を図り、子どもの背景にあるものを理解しながら指導にあたっています。また、不登校の早期発見や学校が抱えている課題について、子どもに関わる団体を集めた情報交換の場を作り、引き続き共に考えていく体制を整え、子どもの健全な育成に努めています。
	<ul style="list-style-type: none"> いじめをなくし思いやりの心を育てるため、学校だけでなく、PTAや地域と連携して、あいさつ運動や登下校時のあいさつを通じた交流の拡大を行っています。また、青少年育成会が主催するミニ集会へPTAや子ども会の役員を行っている親以外の方も積極的に参加していただけるような環境づくり、ラジオ体操などを通じた多世代が交流できる場づくりを学校、PTA、地域が連携して行います。
	<ul style="list-style-type: none"> 富水地区では、子どもがいきいきと輝く学校教育の実現をめざして、学年×10分間家庭学習といった取り組みを実施しています。今後もこのような小中一貫した学習環境の整備を進めていきます。

8 広報

【めざす姿】

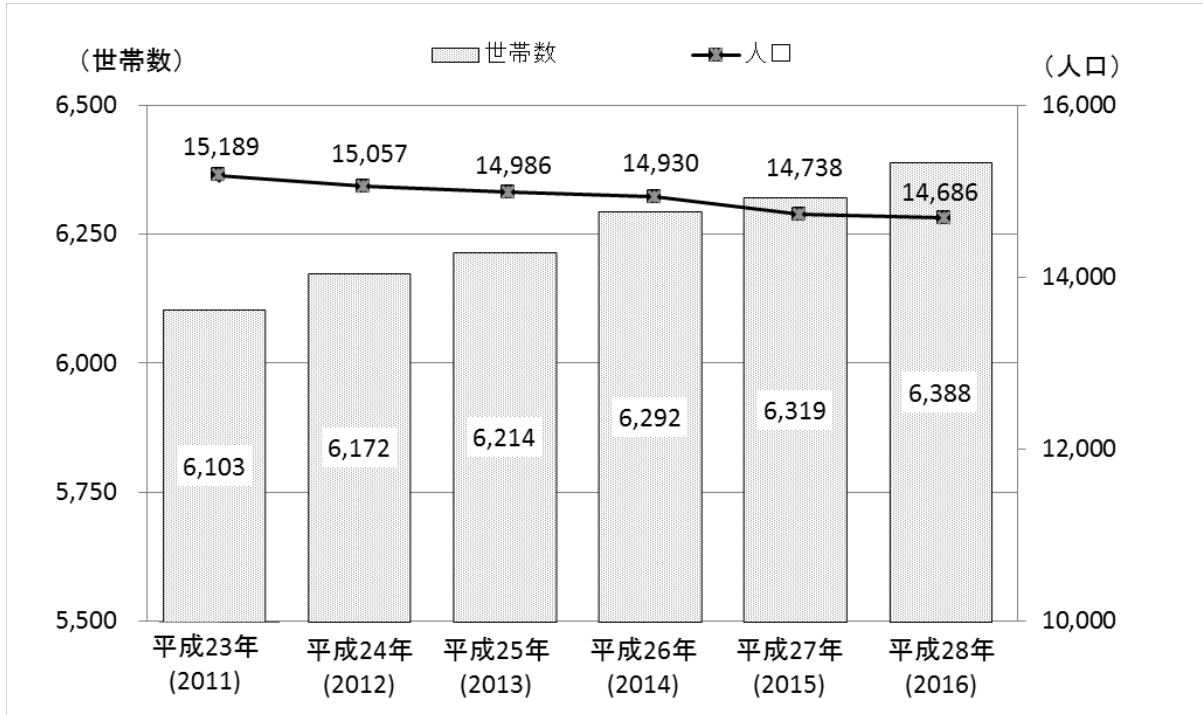
情報の発信力（団結力）が強いまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>富水地区まちづくり「ふれあいだより」を定期的に発行しています。地域の細かな活動を発信することが増え、紙面に興味をもってもらえることが増えてきました。</p> <p>ただ、紙面に取り上げる多くの行事が恒例化しています。</p> <p>また、どれくらいの人が見てくれているのか分からず、「ふれあいだより」に対する反応・評価が把握できていません。</p> <p>まちづくり委員会の存在・活動への理解・認知度を高める必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全戸配布の回数を増やし、家族皆さんで地域の情報を知っていただけるようにします。 今後、「ふれあいだより」に対する反応・評価を図っていくことを検討します。 紙面を通じて地域の方との意識交流の場及び、広くコミュニティを作っていきます。 地域で活躍・貢献されている方々を取り上げていきます。

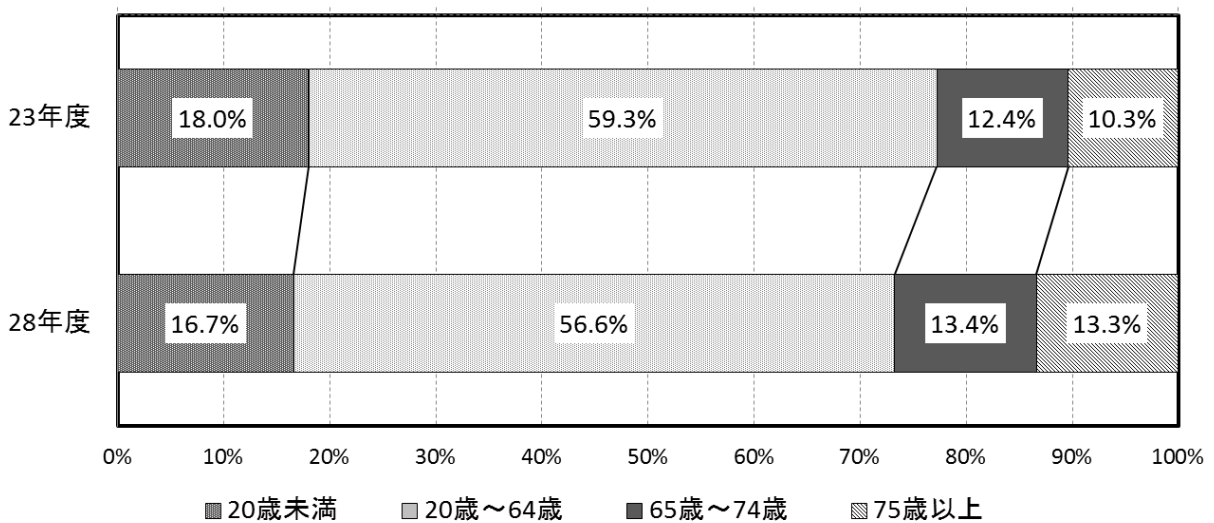
参考資料(富水地区)

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

人口と世帯数の推移



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



経過

- ①4月29日(総会)で地域別計画の見直しについて説明。
- ②7分科会(交通安全・防災・防犯・健康福祉・地域振興環境美化・文化教育・広報)ごとに複数回(各分科会合計2～3回)、現状を話し合い加除修正。
地域別計画に記載のなかった広報は、分科会が立ち上がっていることから、計画を新たに作成。
- ③12月8日(役員会)で承認。

富水地区まちづくり委員会（平成28年11月現在）

委員長	木村 秀昭	(富水地区自治会連合会・上清水自治会)
副委員長	寺澤 晃	
	撫井 清	(仲沢自治会) 【防災分科会兼務】
	金指 隆夫	【防災分科会兼務】
	市川 博明	【防災分科会兼務】
	高橋 昇	(北ノ窪自治会)
	間中 俊雄	(社会福祉協議会) 【健康・福祉分科会兼務】
会計	中野 武	(池田自治会)
監事	井上 勝美	
	平野 嗣和	
理事	市川 昭維子	(民生委員児童委員協議会)
	木村 陽子	(ともしび会) 【防災分科会兼務】
	鈴木 孝次	【防災分科会兼務】

交通安全分科会

三宅 哲夫	(防犯ボランティア)
稲子 和子	(交通安全母の会)
菅井 悦人	(交通部会)
竹中 勇人	(交通部会)
長谷川加奈絵	(交通安全母の会)
椎野 智子	(交通安全母の会)
香川 敬明	(防犯指導員)
内藤 英夫	
高田 義夫	(下清水自治会)
廣川 明	(穴部新田自治会)
稲子 順正	(府川自治会)

防災分科会

中之内 憲詔	(防災リーダー)
平岡 靖裕	(防災リーダー)
里見 徹	(防災リーダー)
椎野 政信	(消防団第13分団)
川崎 功一	(穴部自治会)
石川 弘美	
大友 さとみ	

防犯分科会

本木 忠一	(防犯推進協議会・飯田岡若宮自治会)
林 真也	(飯田岡駐在所)
加藤 智子	(保護司)
椎野 輝夫	(久所自治会)
府川 悟志	(青少年育成会)
山本 春雄	(飯田岡飯中自治会)
浦 公男	(飯田岡楠自治会)
早川 恭子	(防犯推進協議会)

広報分科会

小林 誠一	(柳新田自治会)
内海 勇	(小台自治会)
篠原 弘	
金子 勝光	
小関 美智子	
佐藤 宏子	

健康福祉分科会

柳井 由美子	(主任児童委員)
吉澤 博美	
押田 勲	
山本 くみ子	(健康おだわら普及員)
高橋 しのぶ	(民生委員児童委員協議会)
鶴井 美恵子	(民生委員児童委員協議会)
矢ヶ村 直廣	(とみず向日葵会)
内海 テル子	(とみず向日葵会)
中之内 千景	
香川 輝夫	(飯田岡本村自治会)
奥津 美恵	(第3地区地域包括支援センター)

文化・教育分科会

立山 和也	(青少年育成会)
佐々木 恵生	(主任児童委員)
下田 夏樹	(富水小学校)
山室 麻乃	(富水小学校PTA)
加藤 裕之	(報徳小学校)
田中 靖	(泉中学校)
齋藤 友紀貴	(泉中学校PTA)
中村 尚見	(小田原養護学校)
杉崎 郁夫	(小田原養護学校)
山田 菊乃	(富水学区連合子ども会)
鈴木 あつ子	(富水学区連合子ども会)
滝田 朝美	(報徳学区連合子ども会)
川田 義雄	(久所自治会)

地域振興・環境美化分科会

尾崎 壽一	
高塩 英芳	
篠崎 たけ子	(富水婦人部連合会)
福澤 裕	
和田 真幸	(体育振興会)
熊坂 太郎	(老人クラブ連合会)
菅原 知栄子	
和田 恵子	
配島 勇	
鈴木 敏	(新屋自治会)

地域別計画 (平成28年度改定) ～ 桜井地区 ～



桜井地区各団体連絡協議会

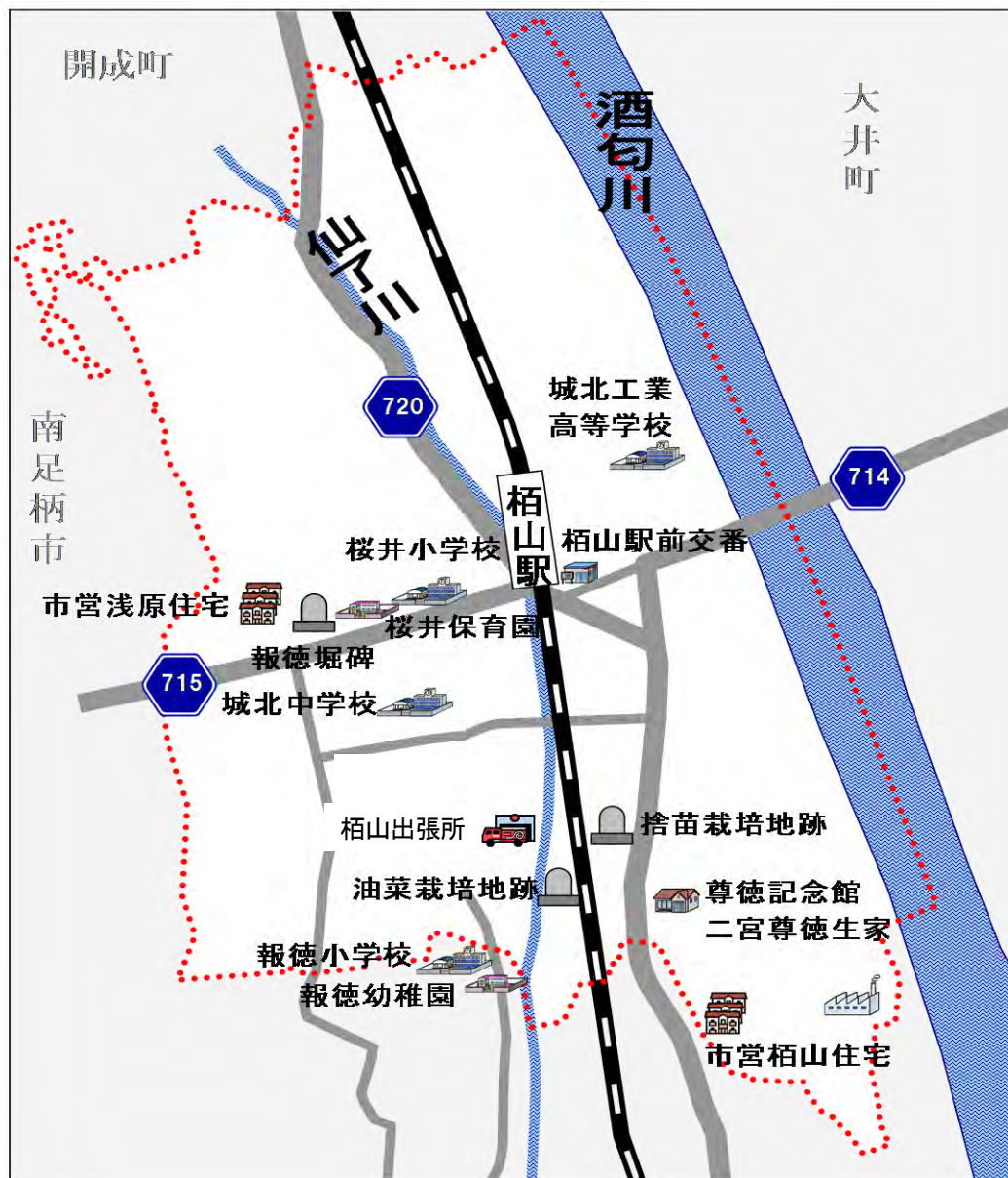
地域のキャッチフレーズ

尊徳の教えが生きているまち

地域の今（現況） ～わたしたちの地域はこんな地域～

地域の地理状況

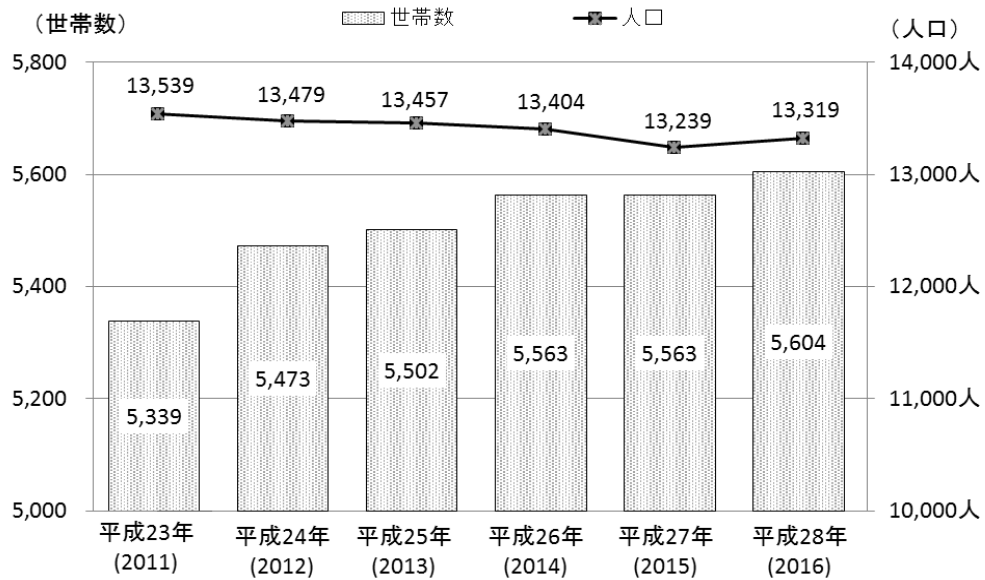
市の北部に位置し、地形上は平坦で、西は南足柄市、北は開成町、東は大井町と接しており、地域の中央には仙了川が、東には酒匂川が流れ、美しい田園風景が今も随所に残っており、また、地域の中央には、小田急線が通り、栢山駅を中心に賑わっています。



参考資料(桜井地区)

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

人口と世帯数の推移



桜井地区人口・世帯数

(単位：人)

		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	※%
世帯数		5,349	5,339	5,743	5,502	5,563	5,563	1.040
人口	全	13,534	13,539	13,479	13,457	13,404	13,239	0.978
	男	6,536	6,539	6,515	6,479	6,447	6,388	0.977
	女	6,998	7,000	6,964	6,978	6,957	6,851	0.979
年齢構成	65歳以上	2,973	2,973	3,064	3,244	3,413	3,533	1.188
	20歳～64歳	7,982	7,985	7,910	7,717	7,568	7,368	0.923
	20歳未満	2,579	2,581	2,505	2,496	2,423	2,338	0.907

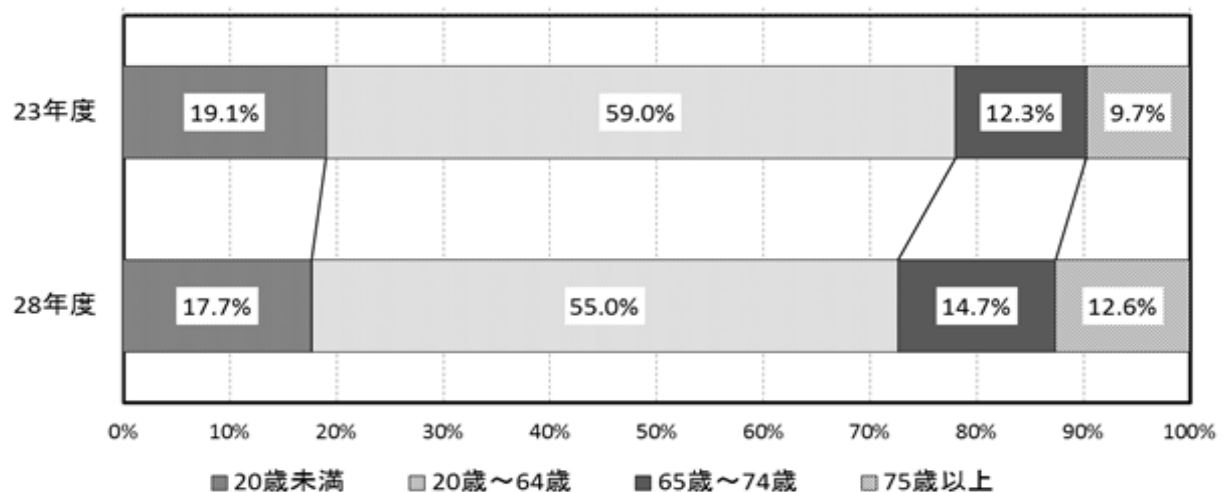
☆ 人口微減・世帯数微増 ⇒ 世帯当たり人口減 (単身世帯の増)

地域交流で不幸をなくす。

☆ 65歳以上 2割増、64歳以下 1割弱減 ⇒ 少子高齢化

※2010年と2015年の世帯数や人口を比較したところ、人口は減少しているが、世帯数が増加している。

高齢化の比較



地域別計画改定について

地域別計画は「地域のことは地域で解決」をスローガンに、2009年度に小田原市全地区で策定されました。

初版発行から5年が過ぎ社会環境の変化・全地区で地域コミュニティ組織が活動開始したことで今年度（2016年度）改定することになり、桜井地区各団体連絡協議会へ改定依頼があり、今回のこの活動となりました。

- 1) 今回の改定を実施するにあたり、初版（平成22年発行）作成時の参画団体、他地区の参画団体などを参考に改定を実施する団体を決めさせていただきました。
- 2) 今回掲げた「めざす姿」は、ほんの1例にすぎません。数多くの「めざす姿」にむけて関係諸団体の方々が日夜活動していることは、多くの地域住民の方は、ご理解していると思います。
- 3) 課題解決の第一歩として、地域の皆様に各団体の活動内容をより理解していただくため、必要に応じて「わかりやすい活動紹介資料」を作成することにしました。
- 4) 今回（今年度）の改定作業は、5テーマの予定でしたが3テーマに絞り実施いたしました。
5テーマとは、
A:健康・福祉、B:防犯、C:文化・教育、D:防災、E:生活・環境
D:防災は防災連絡会
E:生活・環境は環境美化連絡会を中心に進める予定です。
- 5) 今後とも継続的に本計画の改定（課題の解決）を実施し、「めざす姿」により近づけてゆきましょう。
桜井地区の関係諸団体・住民の皆様が一丸となって活動することにより「小田原市の中で最高の地区の一つ」にできることを確信しております。
- 6) 今回の改定で注意したことは、「より具体的に」「期限を付ける」の2点です。これはスムーズに活動を進めたい。との思いからです。

A：健康・福祉

年度	2017年度				2018年度				2019年度				2020年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
幹事団体	体育振興会 西栢山自治会															
めざす姿	具体的な進め方															
日常生活の支援体制をつくりたい。	<p>1 他地区で行っている支援活動を調査する。</p> <p>1) ケアタウンおだわらシンポジウムの公聴</p> <p>2) 他地区の現状を調査する。 ・コーディネーター・ボランティア</p> <p>2 支援活動調査結果を整理する。</p> <p>1) 実施できる項目を決定する。</p> <p>2) コーディネーターを含めた活動チームを編成する。</p> <p>3 実施準備</p> <p>4 試行</p> <p>5 見直し、不具合の改善</p> <p>6 改善策の実施</p>															

B：防犯

年度 幹事団体	2017年度 青少年育成会 道下自治会				2018年度				2019年度				2020年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
めざす姿	具体的な進め方															
地域の防犯力を強化したい。	<p>1 防犯力強化のための設備を充実する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 危険箇所にて防犯灯の増設をする。 ・ 設置箇所の見直し調査を行い、新設箇所の検討をする。 ・ 行政機関に対し、新設の要請をする。 <p>2) 公共施設、公共広場への防犯カメラを設置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新設箇所の検討をする。 															
犯罪が起きない街作りをしたい。	<p>1 地域内で犯罪が起らない・起こさないための環境をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 地域犯罪を防ぎ、防犯意識を高める施策を継続する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域夜間パトロールの継続と一部見直し 2) 犯罪が起こらないための地域内の見守り活動を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 重点パトロールの箇所の検討・仕組みの構築をする ・ 重点箇所パトロールの実施 															
防犯情報を共有したい。	<p>1 定期的な意見交換の場を作り、防犯情報を共有化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 参加団体を交えての情報交換会を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 警察情報も含む。 															

B：防犯

年度 幹事団体	2017年度 青少年育成会 通下自治会				2018年度				2019年度				2020年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
<p>めざす姿</p> <p>具体的な進め方</p> <p>2 防犯情報の回覧する仕組みの検討をする。</p> <p>1) ガイドラインを検討する。</p> <p>2) 回覧方法を検討する。</p> <p>3) 地域内回覧を実施する。</p>																

C：文化・教育

年度 幹事団体	2017年度 連合こども会 中の町自治会				2018年度				2019年度				2020年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
めざす姿	具体的な進め方															
<p>尊徳先生の教えを 地域全域に 発信したい。</p>	<p>1 尊徳思想への学校教育をフォローする。</p> <p>1) 小田原市での尊徳教育カリキュラムを調査する。</p> <p>2 尊徳思想への桜井独自の行事に参画し、地域全体に啓蒙する。</p> <p>1) 現在、実施されている行事の継続と拡大を図る。 また、各行事に小学生の参加ができる場づくりをする。 例) 金次郎桜井まつり (8月) 例) 尊徳祭、尊徳先生を偲ぶ集い (10月) など</p> <p>3 尊徳関連行事への住民参加を推進する。</p> <p>1) 各行事内容を調査と検証を行い、カレンダーを作成し配付する。</p>															
<p>学校と地域の つながりを 強化したい。</p>	<p>1 定期的な意見交換の場を作り、地域の連携を強化する。</p> <p>1) 意見交換会の参加団体を拡大する。 参加者例) 各学校長、幼稚園長、駐在所、行政、自治会長他</p> <p>2 世代間交流の場を設定し、交流を図る。</p> <p>1) 自治会行事とタイアップした行事を企画し、交流を広げる。 例) お祭り、どんど焼き (団子焼き) など</p> <p>2) 現在実施されている行事を検証し、諸団体の連携を図る。</p>															

桜井地区各団体連絡協議会における活動の経過

2016年	9月26日	32名	第一回目	「地域別計画改定」についての説明会
2016年	11月5日	25名	第二回目	各テーマのグループ分け ブレインストーミングを実施 200項目以上の課題が提示された。
2016年	12月～1月			各グループで、課題選定・課題解決策の立案作業
2017年	2月4日	26名	第三回目	課題解決策発表会の開催
2017年	2月18日	25名	第四回目	共通課題の課題解決策の審議・決定

改定作業に参画した団体（2016年度）

部会

A 健康・福祉

桜井地区体育振興会★
民生・児童委員協議会
健康おだわら普及員
桜井地区創友クラブ連合会

西栢山自治会★
東栢山学校前自治会
高河原自治会
西之庭自治会

B 防犯

桜井地区青少年育成推進員★
桜井地区防犯指導員
桜井地区少年補導員

東栢山道下自治会★
寺下自治会
弥生自治会
浅原自治会
清流荘自治会

C 文化・教育

桜井学区連合こども会★
城北中PTA
桜井小PTA
報徳小PTA
民生・児童委員協議会

東栢山中の町自治会★
東栢山城北自治会
河原庭自治会
柳町自治会
新屋敷自治会

注：団体名の「★」は、2017年度の幹事団体です。
幹事団体は、各部会の会議招集などを主な役割としています。

事務局

桜井地区各団体連絡協議会

桜井地区自治会連合会（東栢山道上自治会）
桜井地区社会福祉協議会
桜井地区青少年育成会

2017年2月 第一回改定
2010年1月 作成

地域別計画 (平成28年度改定) ～酒匂・小八幡地区～



酒匂・小八幡地区
区域図

酒匂・小八幡地区まちづくり委員会

地域のキャッチフレーズ

住んでいることに誇りがもて 住みたくなるまち、酒匂・小八幡

はじめの一步(住民自ら取り組むこと) ~ できることから始めよう ~

- 1 福祉・健康
 - (1) 福祉・健康
 - 健康で元気に生き生き暮らせるまち
 - よりよい生活環境を図るための高齢者の活動を通し、世代間の交流をめざすまち
 - 地域のみなさんが子育てに協力するまち
 - (2) 生活支援
 - ささえあう輪が広がるまち
- 2 防犯・交通安全
 - 犯罪の無い安全で安心なまちづくり
 - 交通事故のない安全なまち
- 3 生活・環境・美化
 - エコにつながる環境づくり
 - きらめくまち酒匂・小八幡地区
- 4 文化・教育
 - 地域の交流が生む机の上では学べない体験学習
 - 地域の文化・歴史を次世代へ継承していけるまちづくり
 - あいさつから始まる、マナー向上を目指すまちづくり
- 5 防災
 - 災害に対する備えと被災後の対応をスムーズにしてあるまち
- 6 広報
 - まちづくりを支える広報活動

1 福祉・健康

(1) 福祉・健康

【めざす姿】

健康で元気に生き生き暮らせるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地区各種団体が協力して開催している健康に関わる教室は人気もあり参加者が多く、特に自治会が開催する体育祭でのミニミニ健康は好評です。酒匂川河川敷は富士山が眺められる景勝地で、ウォーキングコースに適しています。</p> <p>健康管理のために、体を動かす高齢者が増えていますが、一方で高齢者夫婦、高齢者独居の世帯は孤立しがちなため、生活習慣を変えることが難しいと思われます。</p> <p>気心の知れた近所の方からの暖かい声掛けは、高齢者の大きな支えと安心につながっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体等で行っている体操教室や健康チェック、バランスの良い食事を紹介する料理教室などの健康に関わる教室や認知症予防に関する取組は、地区住民の健康促進に、今後も必要な活動なので、参加者が減少しないよう、また色々な方が参加しやすいよう、活動内容や情報発信を工夫しながら、それぞれの活動の継続と充実に努めます。 ・地区の歴史・自然資産を楽しめ、分かりやすく、参加しやすいウォーキングマップの活用とその改訂を図ります。また、地区内だけでなく、市内の歴史・自然遺産を知るため、健康ウォークを開催し、多くの人が参加できるように努めます。 ・健康促進のため、地区で行われているイベントなどの中で、地区を歩くことや軽い体操を継続実施し、情報発信や誰でも散歩できるようなウォーキングタウンを目指します。

健康ウォーク



【めざす姿】

よりよい生活環境を図るための高齢者の活動を通し、
世代間の交流をめざすまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>独居高齢者や高齢者だけの世帯への見守り活動は各種団体の方々が行っていましたが、地区内にこれらの世帯や認知症の高齢者が増えてきて、全体に目が行き届いているか心配な状況のため、地区全体で見守る必要性が出てきています。</p> <p>老人会が行っている神社や旧跡の清掃活動などが地区貢献しています。</p> <p>様々な団体で講座やイベントなどを開催し、高齢者の健康管理につなげています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区活動のやりがいを高齢者の方々に理解してもらい、地区活動へ参加する喜びをもち、引きこもりがちな高齢者が外に出て活動する環境づくりに努め、高齢者の方々の顔を皆さんが分かるような地区を目指します。 ・見守り活動についての理解を広め、家族と地域住民の協力を得ながら見守る地区を目指します。 ・各自治会や酒匂・小八幡地区まちづくり委員会で開催するサロン活動の充実に努めます。

【めざす姿】

地域みなさんが子育てに協力するまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地区で開催している、子育て支援のためのアップルパイなどは好評で参加者も多く、地区のお母さん方の子育てにととても役に立っています。</p> <p>また、子どもからお年寄りまで参加する世代間交流の行事も盛んです。</p> <p>子ども会活動について、自治会単位での活動が困難になり休会しているところも出てきています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アップルパイのような子育て広場への参加者を増やし、地区で子育てをする意識が芽生えるように努めます。 ・子ども会の増員に向けた取組を進めていきます。 ・世代間交流（子育て世代や子どもがお年寄りと接する機会）の行事は各種団体などで継続して開催し、参加者の増加に向け工夫をし、子育てに対する助言などの情報を共有できるようにします。 ・また、各団体と学校との連携・協力体制の推進を図ります。

(2) 生活支援

【めざす姿】

ささえあう輪が広がるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>生活上のちょっとした困りごとについてアンケートをとったところ、お手伝いをお願いしたい方が 89 名、お手伝いができる方が 479 名となりました。そのうち、サポーターを受けてくださった方が 120 名あまりいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の福祉の向上を目指し、生活支援サービスを取り組みます。 ・サポーターの知識向上・相互情報交換と交流の機会の創出を目的とし、サポーター勉強会を開催します。 ・活動のPRを行います。 ・福祉の担い手を掘り起こして育成をしていきます。 ・介護予防・日常生活支援総合事業での住民主体訪問型サービスを進めます。

2 防犯・交通安全

【めざす姿】

犯罪の無い安全で安心なまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地区の防犯のため自治会を始め、青少年健全育成協議会やPTAなど、地区活動をしている多くの人が防犯パトロールを実施しています。</p> <p>地区内や近隣の地区で、犯罪が増え被害者も増えています。</p> <p>酒匂・小八幡地区自治会連合会から犯罪情報の提供はあるが、交番に警察官が常駐していないため、地区の犯罪発生を抑止力や、団体の防犯活動との情報共有が低下しているのが不安な一面もあります。</p> <p>地区防犯のため多くの団体が防犯パトロールを実施していますが、各種団体の実施場所や方法、時間帯などの情報の共有が行われていません。</p> <p>子ども110番のシールが通学路などに貼られていますが劣化していて、外してしまう家庭も多いです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内や近隣地区で発生している犯罪の注意を促す回覧を行うなどの情報共有を拡大し、地区の防犯意識の向上を目指し、犯罪を防ぐように努めていきます。 ・団体が情報を共有し、協力してパトロールを実施することで、もっと効果的な活動になる可能性が高いと思われるので、実施団体の代表者が調整を行い、単位または、複数の自治会でパトロールを実施するなど、効果的なパトロールの手法を検討します。 ・劣化している子ども110番シールを新しく貼り換え、子どもを見守る目を強調していきます。 ・警察などから提供される犯罪などのデータや情報をリアルタイムで発信できるようなシステムを検討していきます。 ・地区内の交番の警察官にも会議に参加してもらい、地域の防犯や交通安全についての情報共有や検討をしていきます。

防犯パトロール



【めざす姿】

交通事故のない安全なまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>南には幹線道路で交通量が多い国道1号が東西に走り、酒匂中学校と酒匂小学校、富士見小学校の生徒と児童が通学路として利用していますが、重大事故が少ないのは地区各種団体の登下校時の見守り活動などが寄与しています。</p> <p>交通事故で一番多いのは高齢者なので高齢者の安全確保も視野に入れた交通安全教室を行っています。</p> <p>交通マナーの低下により地区内に自転車の二人乗りや中学生が登下校時の際に狭い道路に拡がって歩いており、危険です。</p> <p>歩道が確保できない視界の悪い交差点や車がスピードを出して通過する通学路など、まだ危険なところがあることが予想されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、行っている小学校の登下校時の見守り活動を継続するとともに、各種団体が行っている交通安全活動の情報共有を行い、交通安全活動の連携と充実に努めます。 ・蛍光色がついたものを身に着けることは、夜間の歩行者の安全確保に大きく寄与するので、蛍光色のグッズの携帯を促すとともに交通安全教室などでの配布も検討していきます。 ・地区で行っている交通安全教室を継続して行っていくとともに高齢者を中心に参加者を増やすための工夫をしていきます。 ・地区の交通危険箇所の洗い出しや再調査を行い交通事故のさらなる減少に向けた検討をしていきます。

交通安全教室



3 生活・環境・美化

【めざす姿】

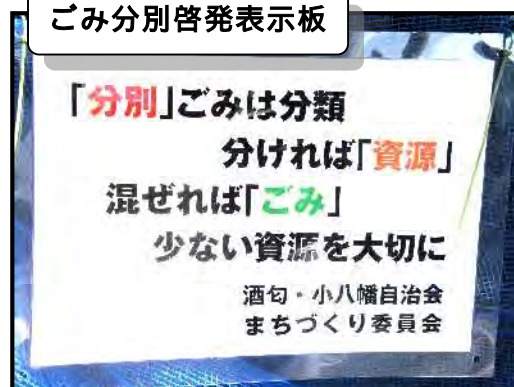
エコにつながる環境づくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>ごみ分別について学校、各種団体などで啓発を行って、関心のある方は増えてきていますが、燃せるごみ、燃せないごみ、資源ごみなどに分別をしないでごみステーションに出すマナーの悪い人がいます。</p> <p>また、地区外の人が車で分別できていないごみを持ち込んで、ごみステーションに置いて行く人がいます。</p> <p>ペットボトルやトレーの袋は、風で飛ばされやすいため、ごみの出し方に工夫が必要です。</p>	<p>できることから始めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみの水切りやごみの分別の徹底など、ごみ出しのルールの遵守徹底や地区住民にごみ出しの啓発活動を行うように努めます。 ・段ボールコンポストを広めていくことで、燃せるごみの中に生ごみの混入を減らしていきます。 ・地区の諸団体が開催する会議でごみ出しのルールや出し方の工夫を説明することや、発行している諸たよりにごみ出しのルールや出し方の工夫を載せる、自治会未加入世帯に協力を求める、ごみステーションにごみ分別啓発掲示をするなど、ごみ出しの啓発活動に努めます。 ・地区外の人のごみの持ち込みについては、ごみステーションの監視が必要なため地区が協力して、ごみステーションのパトロールなどを行います。 ・ごみ出しの支援が必要な方へのサポートについて検討していきます。

段ボールコンポスト説明会



ごみ分別啓発表示板



【めざす姿】

きらめくまち酒匂・小八幡地区

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>酒匂・小八幡地区は南が相模湾に面し、西は酒匂川に面し、地区内に小八幡川、下菊川が流れています。</p> <p>酒匂川の河口は数多くの野鳥が生息し、飛来する自然豊かな場所で、また晴れた日には富士山を眺めることができる景勝地でもあります。</p> <p>地区の南側を東西に横断する国道1号は、正月の恒例行事である東京箱根間往復大学駅伝の走路になっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・酒匂川の豊かな自然を守るため、現在地区の各種団体が実施している清掃活動のほかに、河川敷の草木が枯れてごみが見付けやすい11月下旬頃の清掃活動の実施について検討します。 ・公園などに花を植えて、地域の美化運動を進めていきます。 ・現在行っている小八幡川・下菊川の清掃を継続していきます。 ・東京箱根間往復大学駅伝を見据えて毎年12月下旬に国道1号の美化活動の実施を検討します。

4 文化・教育

【めざす姿】

地域の交流が生む机の上では学べない体験学習

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>団体の組織や隣人関係を大切にしている、自治会・各種団体による酒匂小学校の米づくり体験、小学校美化活動、スクールボランティア・PTA主催のふれあい市場や富士見フェスタ、酒匂小学校・富士見小学校・酒匂中学校3校合同でのイベントなど地区共同での学校づくりが盛んです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区共同の学校づくりの活動は活発に行っていますが、意外と知られていない状況もありますので「さかわ・こやわタウン通信」や「学校便り」を利用し地区にPRをしていきます。 ・米作り体験は指導される方がいなくなると継続してできないので、後継者探しや代替案の検討をしていきます。 ・スクールボランティアは技術や知恵をもった高齢者の方も多いので自治会や老人会に声掛けし、参加の輪を広げて活動の充実に努めます。 ・隣人関係が昔に比べ希薄になる傾向にあるので、つながりを大事にする意識の向上に努めます。

【めざす姿】

地域の文化・歴史を次世代へ継承していけるまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>祭礼などの伝統行事が盛んで、寺院などの歴史的資産も豊富なわりに、皆さんが起源や歴史についての言い伝え</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寺院や地区の歴史に詳しい人の協力を得て、言い伝えや背景の情報収集を行い、地区の歴史をみんなで共有

や背景について知りません。

地域の文化や歴史を次世代に継承することを目的とした、郷土史出前講座を中学校や老人福祉施設などで行っています。

できる方法を今後も検討していきます。

・学校だけでなく、地域の施設を利用して、郷土史出前講座などを行い、地域の歴史をより多くの方に伝えていきます。

どんど焼



春祭り



郷土史出前講座



【めざす姿】

あいさつから始まる、マナー向上を目指すまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>最近の人々は「江戸仕草」という言葉忘れていきます。</p> <p>道を譲られても「ありがとう」も言わないし、「お互いに譲り合う」という心を忘れていきます。</p> <p>地区の子どもの中には挨拶しても返事のない子や、登下校時に道路に何人かで横並びになって拡がって歩いている子がいます。</p> <p>昔は、マナー違反を注意するなど、人の子を叱れるおじさんがいましたが、地区内に注意する人がいなくなりました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中のマナー向上の基本は地区内での挨拶や声掛けなので、現在行っている「あいさつ運動」や「声かけ運動」を今後も継続し、小中学校とも協力し、地区内にお互いに譲り合う心が芽生えるように心がけます。

5 防災

【めざす姿】

災害に対する備えと被災後の対応を

スムーズにしてあるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>炊き出し訓練や防災器具の使い方を行っている防災訓練への参加者が高齢化し減少していることから地区の防災意識が高いとは思えないので、防災訓練の検討が必要です。また、各家庭が防災備品の準備や家具転倒処置などの防災のための対処をきちんと行っているか心配なので、防災訓練の際に防災関連器具の紹介などを行っています。</p> <p>さらに、大地震が発生した場合は、広域避難所が酒匂小学校と富士見小学校に分散しているため、震災直後は行政の協力を得ることは難しいので、避難場所の運営が円滑に行えるか心配です。</p> <p>一部の自治会や酒匂・小八幡地区まちづくり委員会では行事を通して世代間の交流が図られているため、いざ災害が発生した時に共助の体制がスムーズに取ることができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一部の自治会では防災のための準備や処置方法などをまとめた、防災マニュアルや防災手引きを作成し配布していますが、必要に応じて更新していきます。また、未整備自治会は作成・配布を引き続き検討していきます。各自治会での防災備品が不十分な場合は、防災備品を充実させていきます。 各団体でも、災害時に必要な備えをしていきます。 「危険箇所マップ」の作成や「防災チラシ」を作成・配布し、住民の防災意識の高揚が図れました。今後は今まで作成してきた物の活用や、酒匂・小八幡地区の自治会別にAEDや井戸、一時避難所などの場所がわかる「防災マップ」の作成をして各家庭に配布することを検討し、各家庭の防災に対する意識向上へ働きかけていきます。 津波の心配があるので、地域の方に地形の高さを認識してもらうため、

回覧などで周知していきます。

- ・防災訓練の内容を更に工夫するとともに、単位自治会での実施を検討し、小学生や子ども会、老人会にも参加を呼びかけ防災訓練への参加者を増やし、また災害や防災意識について学ぶ機会を提供することで、地区ぐるみで防災活動に取り組むように努めていきます。
- ・いざという時にどのように動くことが必要か各家庭へ検討を促します。
- ・一部の自治会では災害時の広域避難所の運営を円滑に行うため広域避難所ごとに具体的な作業と担当者の名前を記載した設置運営マニュアルの作成を行いました。今後は、担当者の役割を周知し、また、未整備の自治会には作成を促します。また、様々な災害を想定した毎年の訓練実施を引き続き工夫し検討していきます。
- ・園児の降園後や児童・生徒の下校後、園舎・校舎の崩壊時、津波到来時の対応や、災害時への子どもへのケアなどを検討していきます。
- ・地区全体に世代間交流が図られる様に引き続き進め、若い人も住みよい環境につなげていきます。

防災訓練



6 広報

【めざす姿】

まちづくりを支える広報活動

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>酒匂・小八幡地区まちづくり委員会の広報誌「さかわ・こやわタウン通信」は、平成23年11月に創刊し、平成28年度まで12号が発行されました。平成28年度には、広報の担当メンバーが選任され、より地域に密着した情報の提供をめざすことになりました。一方、「さかわ・こやわタウン通信」等の情報紙については、地域のみなさんの認知度を高めていくことが当面の課題になっています。</p>	<p>・当委員会における業務や活動を地域のみなさんに広く知らせ、信頼関係、協力関係をつくり出す情報の提供を行います。</p> <p>「さかわ・こやわタウン通信」を発行し、地域のみなさんに当委員会や各分科会の活動、今後の予定等を報告します。また、地域の行事や出来事なども随時取り上げていきます。広報分科会の自主的な活動として、他の地区の分科会との交流、イベントの見学等を進めていきます。</p>

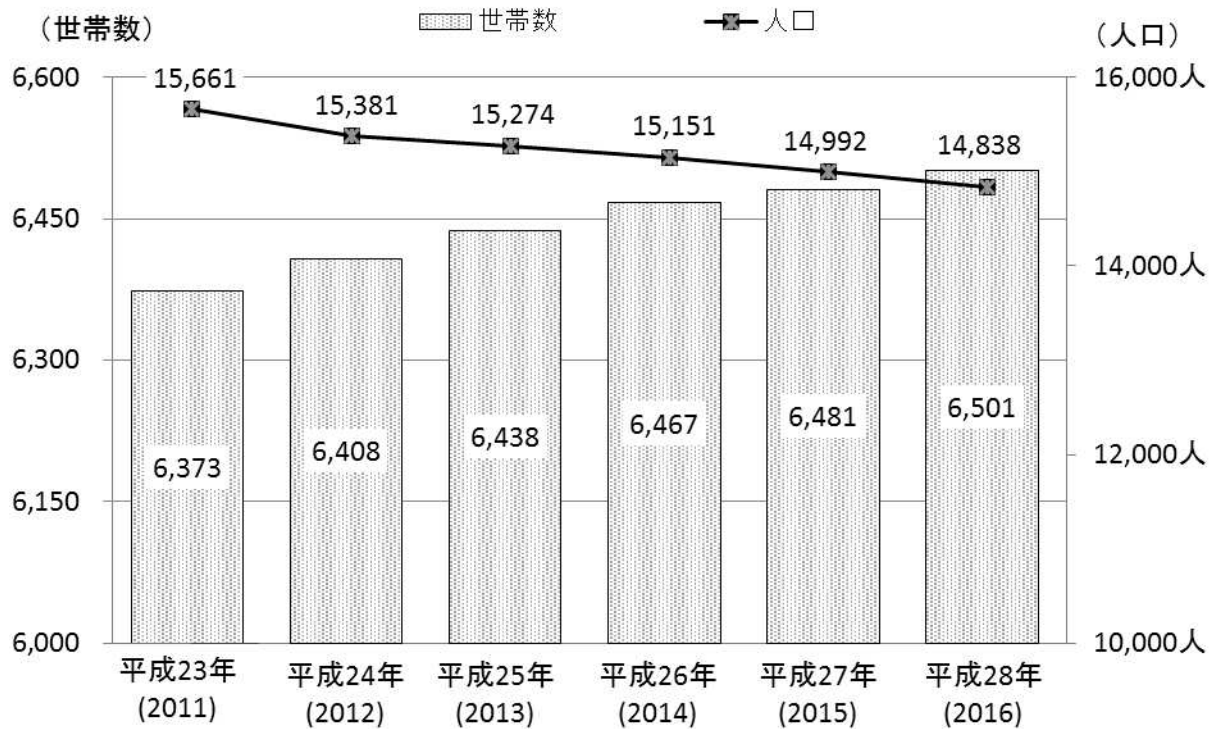
さかわ・こやわタウン通信



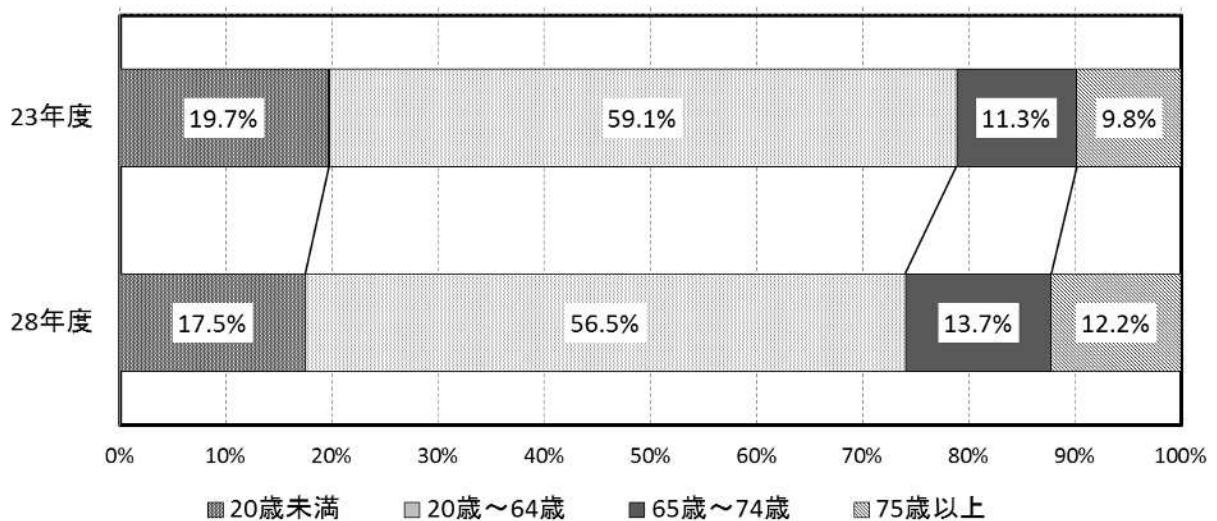
参考資料(酒匂・小八幡地区)

住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

人口と世帯数の推移



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



酒匂・小八幡地区まちづくり委員会での検討経過

会議名	日にち	内容
第1回役員会	4月13日(水) 19:30~	地域政策課から役員へ説明
総会	4月22日(金) 19:00~	地域政策課から委員に説明 事業計画として承認
第2回役員会	6月10日(金) 19:30~	地域政策課から役員へ説明
各分科会	6月~7月	見直し記入用紙の配布
	随時	地域政策課で集約し、内容の修正・追加案を作成
各分科会	7月~12月	内容の修正・追加をした酒匂・小八幡地区地域別計画の確認・意見交換 意見を基に地域政策課でさらに修正・追加
第3回役員会	12月7日(水) 19:30~	酒匂・小八幡地区地域別計画(分科会案)の意見交換 意見を基に修正
各分科会	12月~3月	役員会案を各分科会に報告
各分科会	3月31日まで	酒匂・小八幡地区地域別計画(見直し案)の承認

酒匂・小八幡地区まちづくり委員会

平成 28 年 11 月現在

委員会役職	氏名	地域役職	
委員長	太田 実	酒匂 3 区自治会長	
副委員長	上田 光男	酒匂 11 区自治会長	
副委員長	譲原 春夫	小八幡 1 区自治会長	
会計	大塚 洋	小八幡 9 区自治会長	
監事	大木 徹	酒匂 8 自治会長	
福祉・健康 分科会	リーダー	大木 徹	酒匂 8 区自治会長
	サブリーダー	和田 智恵子	民生委員・児童委員協議会副会長
	委員	椎野 二郎	酒匂 7 区自治会長
	委員	深田 脩敬	酒匂 12 区自治会長
	委員	大塚 洋	小八幡 9 区自治会長
	委員	塩海 幸信	社会福祉協議会会計
	委員	徳光 えり	民生委員児童委員協議会
	委員	磯崎 一子	民生委員児童委員協議会
	委員	金森 優子	民生委員児童委員協議会
	委員	西村 由美	民生委員児童委員協議会
	委員	島津 三喜子	民生委員児童委員協議会
	委員	高橋 美智子	民生委員児童委員協議会
	委員	西山 和美	前ボランティア会長
	委員	松本 ひろ子	元健康普及員代表
	委員	山室 妙子	日赤奉仕団酒匂分団
	委員	小松田 智子	第四地区地域包括支援センター 管理者
	委員	白川 恵子	婦人会地区委員
	防犯・交通安全 分科会	リーダー	上田 光男
サブリーダー		今屋 健一	青少年健全育成協議会代表 ケンケン市民パトロール隊長
委員		小野寺 稔	酒匂 4 区自治会長
委員		深澤 淳一	酒匂 15 区自治会長
委員		長崎 源市	小八幡 2 区自治会長
委員		斉藤 和幸	小八幡 6 区自治会長
委員		小澤 理嘉	酒匂小学校教頭
委員		湯原 直子	富士見学区連合子ども会長
委員		丹治 律子	酒匂学区連合子ども会副会長
委員		金子 敏道	体育協会副会長
委員		譲原 弘	防犯指導員
委員		譲原 百合子	交通安全母の会長
委員		青山 浩正	酒匂中学校 PTA 副会長
生活・環境・美化 分科会	リーダー	塩海 一男	小八幡 4 区自治会長
	サブリーダー	山室 妙子	日赤奉仕団団長
	委員	太田 実	酒匂 3 区自治会長
	委員	山崎 文夫	酒匂 5 区自治会長
	委員	富永 正昭	酒匂 13 区自治会長
	委員	菊田 一成	酒匂 16 区自治会長
	委員	大木 義則	小八幡 3 区自治会長
	委員	天野 聡	小八幡 10 区自治会長

	委員	鈴木 一彦	富士見小学校教頭	
	委員	鴛海 幸司	富士見小学校 PTA 会長	
	委員	小野 正枝	元ボランティア会長	
文化・教育 分科会	リーダー	須藤 光雄	酒匂 1 区自治会長	
	サブリーダー	大川 憲治	酒匂 6 区自治会長	
	委員	大木 実	酒匂 2 区自治会長	
	委員	田中 好宏	酒匂 9 区自治会長	
	委員	安藤 和	酒匂 10 区自治会長	
	委員	澤井 俊夫	酒匂 14 区自治会長	
	委員	原田 憲彦	酒匂 17 区自治会長	
	委員	須藤 和也	青少年育成推進員班長	
	委員	松本 俊代	前青少年育成推進員班長	
	委員	稲毛 真弓	酒匂中学校教頭	
	委員	板井 亜紀子	酒匂中学校地域連携部長	
	委員	三廻部洋次郎	前酒匂 8 区自治会長	
	防災分科会	リーダー	譲原 春夫	小八幡 1 区自治会長
		サブリーダー	下川 春雄	防災リーダー代表
委員		古見 隆照	防災リーダー	
委員		安藤 ひかり	防災リーダー	
委員		譲原 克明	小八幡 5 区自治会長	
委員		松嶋 健一	小八幡 8 区自治会長	
委員		石井 宏	消防 17 分団団長	
委員		谷川 宗治	消防 17 分団	
委員		鈴木 修一	民生委員児童委員協議会長	
委員		栗林 辰彦	前小八幡 5 区自治会長	
委員		鈴木 晶子	酒匂幼稚園	
委員		及川 章子	酒匂小学校 PTA 会長	
エスケイひだまり		リーダー	中津 滋	地域福祉コーディネーター
	会計	本多 孝子	地域福祉コーディネーター	
	委員	内田 理佐	地域福祉コーディネーター	
	委員	二見 裕美	地域福祉コーディネーター	
	委員	二見 昭	地域福祉コーディネーター	
	委員	五十嵐 尚美	地域福祉コーディネーター	
	委員	大木 徹	地域福祉コーディネーター	
	委員	譲原 弘	地域福祉コーディネーター	
	委員	川瀬 貴美子	地域福祉コーディネーター	
	委員	栗原 稔育	地域福祉コーディネーター	
	委員	太田 実	地域福祉コーディネーター	
	委員	和田 智恵子	地域福祉コーディネーター	
	委員	譲原 八恵子	オブザーバー（ボランティア会長）	
	事務局	委員	椎野 憲一郎	
広報（分科会） 次年度設立予定	リーダー	三廻部洋次郎		
	委員	鈴木 修一		
	委員	須藤 康男		
	委員	徳光 えり		
	委員	吉田 霧枝		
	委員	西山 貞二		

平成 29 年 2 月 作成

地域別計画 (平成 28 年度改定)

～ 下府中地区 ～

下府中まちづくり委員会

地域のキャッチフレーズ

小田原の中核として発展し、

みんな仲良く生き生きと暮らせる町、下府中

はじめの一步(住民自ら取り組むこと) ～ できることから始めよう ～

住民のコミュニケーションが強いまち

安全で安心して暮らせるまち

ごみのない清潔なまち

犯罪を予防するまち

災害時に住民が協力できるまち

お年寄りが安心して住み・お年寄りにやさしいまち

交通事故のない安全なまち

地域活動により、人と人との繋がるまち

生活マナーを守りきれいなまち

【めざす姿】住民のコミュニケーションが強いまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>新幹線発祥の地をメインにイベントを通じてコミュニケーション</p> <p>新幹線が開業する2年前の昭和37年、新幹線の試験コースが鴨宮～綾瀬間に設置され、試験車両が鴨宮車庫基地から出発しました。</p> <p>下府中では新幹線発祥の地を川東地区の活性化と捉え、平成3年から「川東ひかり祭り」と銘打って地域の活性化、文化事業の促進、青少年の健全育成及び安心・安全のまちづくりをスローガンにスタートし、平成28年10月には第26回目を開催しました。</p> <p>下府中商工連合会と自治会連合会が中心となり組織する「川東ひかりまつり実行委員会」が主催し、小田原市・小田原箱根商工会議所・小田原市観光協会・小田原市商店街連合会の各団体から後援と支援をいただいております。</p> <p>また、巡礼サマーフェスタも平成28年に第22回目を開催しており、地域の大きなイベントがコミュニケーションの場の一つとなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線発祥の地であることに端を発したまちおこしの「川東ひかり祭り」や、巡礼街道周辺で開催している「巡礼サマーフェスタ」を、地域の商工会の皆様や地域住民で更に盛り上げ、地域のコミュニケーションの強化を図ります。 ・イベントの開催経費や人的負担、開催場所の確保など主催者の負担は年々増加していますが、世代交代や運営内容の見直しを検討しながら、引き続き地域のご理解とご協力を得ながら開催していきます。

【めざす姿】安全で安心して暮らせるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>見守り活動</p> <p>下府中は県市道が縦横に交差し、住民は道路網の良さを誇りにしていますが、反面、昼夜を問わず交通量が多く、特に児童生徒の登下校時は交通ルールを守らない車等で子どもたちは</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動は活発ですが（自治会、ボランティア組織、老人会等）、自発的に参加を希望される方が少ないのが実情です。自治会で行事等の参加者募集があった場合には、積極的に地域活動に参加するように住民の意識向上に努めます。

<p>危険にさらされています。</p> <p>そこで、自治会を中心に地区パトロール隊を組織したり、自治会役員が当番制で担当したり、地区ごとに横断歩道や危険な箇所立ち、子どもたちを交通事故や不審者から守っています。</p> <p>鴨宮中学校地域連絡協議会も、登下校時の安全・防犯活動などに取り組んでいるほかに、あいさつ活動を通じて、地域の児童・生徒の健全育成も含めた活動を実施しています。</p> <p>また、住宅地が多い地区では、警察の目の届かない場所や不審者情報などを基に夜間の通勤通学者の帰宅時や居住者の安全を守るため、定期的に防犯パトロールを実施し、地域の安全・安心を守っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に参加しやすい体制作りとして特定の人に負担が大きくなることを避けて、みんなで分け合うことを考慮していきます。 ・いざという時に力を合わせる共助の組織が今後必要となってくるので、地域活動への参加意識の向上や、特に若年世帯が地域活動に参加しやすい環境づくりを図っていきます。 ・隣り近所の挨拶に始まり、情報交換、コミュニケーションを深めると同時に、自己防衛の意識を持つことを徹底していきます。
--	---

【めざす姿】 ごみのない清潔なまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>清掃活動及び環境美化キャンペーン</p> <p>「あいさつ、防犯活動を兼ねた清掃活動」を、毎月第4木曜日の原則15時から下府中地区の11自治会が一斉に行っています。</p> <p>矢作地区は、「小田原をきれいなまちにしよう」を合言葉に、昭和50年から月2回の神社境内や児童公園の清掃と毎年5月、8月には河川の草刈りなど美化清掃に取り組んでいます。こうした長年の地域ぐるみの活動が評価され、平成19年度・地域環境美化功績者として「環境大臣賞」を受賞しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市外や地域外から大型商業施設等の来訪者が多く、車からのたばこのポイ捨て等により幹線道路だけでなく、生活道路までもごみが散乱してきているので、「ポイ捨てを無くすよう」声かけ等を行い、啓発活動を進めていきます。 ・公共施設や道路等の定期的な清掃活動は各地区で実施していますが、特定な住民に限ることなく呼び掛けを強めていきます。 ・小・中学校と連携しながら清掃活動ができる取り組みを考えていきます。 ・河川の清掃は上流地域との連携も必要であるので、清掃日の統一を図るよう努めます。

【めざす姿】 犯罪を予防するまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>平成 28 年 2 月にマロニエの一角に「鴨宮川東交番」が設置され、地域の防犯力は大幅に向上しています。</p> <p>中里地区と前川(国府津)地区には、大型商業施設と映画館等の文化・娯楽機能を併設した施設や大型文化・娯楽施設などがあり、特に県西地域唯一の映画館は、複数のスクリーンを保有する施設が 2 館あります。したがって、地域外の多くの方も深夜まで映画鑑賞等に訪れ、また、付近には深夜営業店舗も多く、引ったくりや自転車の盗難などの被害が増加傾向にあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在実施している防犯パトロールや見守り活動を充実します。 ・犯罪を予防するため自治会連合会が中心となって、定期的に交番との情報交換を行い、警察などと連携を図っていきます。 ・防犯パトロールは、住民の積極的な協力なくしては継続的な活動は出来ませんので、隣り近所の声かけ、回覧等により担い手不足を解消するように努めます。 ・防犯教室の開催や防犯情報を回覧するなど、個人個人の防犯意識を向上させます。
<p>幹線道路や商業施設などは夜間でも明るく、人通りや車の通行も多く安心できますが、生活道路に入ると防犯灯が少なく、暗さが目立ち不安を感じる場所があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・暗くて不安や危険な場所については、自治会で調査し、行政と協力しながら防犯灯や防犯カメラの設置を推進し犯罪を抑制することに努めます。

【めざす姿】 災害時に住民が協力できるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>神奈川県西部地震が懸念されています。下府中でも自治会単位で自主防災組織が結成され、防災資機材の備蓄や防災訓練等を実施し、住民には一時避難場所や広域避難所の確認と避難路の徹底を図っています。</p> <p>昨今の震災を教訓に、自分の身は自分で守るという意識が向上しています。</p> <p>しかし、大型商業施設等に流入する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会自主防災組織は、活動を具体的に住民に伝え、災害時に戸惑うことのないように、先ず自分の身は自分で守ることの徹底を図ります。 ・災害時に自宅や家族の安全が確認された場合には、地域の防災活動に参加する共助の精神を醸成していきます。 ・下府中小学校広域避難所の運営には大型商業施設管理者も含まれていることから合同訓練等も検討し

<p>人口は一日5万人といわれており、災害発生時に施設内や付近を通行する人々により混乱に拍車がかかる恐れがあります。</p> <p>下府中11自主防災組織が避難する広域避難所は2箇所です。</p> <p>鴨宮2区・3区・5区・矢作及び下堀地区が矢作小学校です。また、鴨宮4区-1・2、中里1区-1・2、中里2区及び大道地区が下府中小学校となります。</p>	て行きます。
	・それぞれの広域避難所において地区の実情に即した訓練を実施しています。
	・普通救命講習会などを開催し、基礎知識、AEDの操作を学び、災害時に多くの人に対応できるように努めていきます。
	・中学校と協力して、生徒が防災訓練に参加するように呼びかけ、地域の防災力が高められるよう検討して行きます。

【めざす姿】お年寄りが安心して住み・お年寄りにやさしいまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>民生委員と地域の各種団体などが協力して見守りを進めています。</p> <p>少子高齢化の進む中で、介護の負担増に苦しむ家庭が多くなります。</p> <p>特に、一人暮らしの高齢者の受け入れ先の心配や高齢者だけの世帯では高齢者が高齢者を介護しなければならない世帯が増えています。</p>	<p>・一人暮らしの高齢者や介護が必要な高齢者の見守りを行います。</p>
	<p>・昼食会やサロン活動などを開催して、地域全体で高齢者との関わりがもてるようにしていきます。</p>
	<p>・高齢者の見守りにはプライバシーの問題もあり、家庭の状況に応じた対応が必要ですが、民生委員やボランティア会、自治会などが協力し、情報を共有しながら対応方法について検討して行きます。</p>
<p>神奈川県西部地震が懸念されており、災害時に地域の支援が必要な一人暮らしの高齢者や高齢者世帯及び、障がい者を持つ家庭が増えています。</p>	<p>・自主防災組織の活動の一環として小田原市災害弱者名簿を基に災害弱者の把握に努めます。</p>
	<p>・災害弱者の把握や支援は、プライバシーにかかわる問題があり個々の状況に応じた対応が必要となりますので、民生委員や自治会役員等と協力し対応策を検討して行きます。</p>

【めざす姿】交通事故のない安全なまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>小学校の登校下校時に合わせた見守りやパトロールを実施しています。</p> <p>道路交通網が良く大型商業施設等が点在していることから交通量が多く、登下校時の児童生徒が危険にさらされています。</p> <p>また、鴨宮中学校地域連絡協議会では、中学校区の児童・生徒の登下校時の安全活動を年5回実施しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区ボランティアや自治会役員等が、子どもたちの登下校時に合わせた安全確保のための見回り活動を続けていますが、活動の更なる充実を図るため後継者の発掘と育成に努めます。 ・PTA活動の一環として、会員やその家族で安全確保のための見回り活動を進めていきます。 ・自治会、PTA、学校などと交通安全や危険箇所に関する情報を共有しあい、交通事故のない安全なまちに努めます。
<p>車道の渋滞が激しいため、自転車が歩行者の間を縫って歩道を走るなど、マナーの悪い運転が目立ちます。特に休日の巡礼街道の歩道は買い物客の自転車などの通行が多く歩道も狭いため危険です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の小中学校や子ども会が児童生徒に対して安全な自転車の乗り方等を指導する交通安全教室を実施していきます。 ・自治会や老人会を通じて、交通安全教室の開催や回覧などをして地域の交通マナーの向上や交通安全を呼びかけていきます。 ・交通安全協会などと協力して、現場での交通ルールの指導をすることを検討していきます。

【めざす姿】地域活動により、人と人との繋がるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>少子高齢化が進むと若い人が少なくなり、将来的には、地域活動に支障が出てきます。</p> <p>お互いに無関心な住民が増えくると防犯や環境美化など、誇りとする居住環境の悪化に繋がります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や地域行事の中でボランティアの募集を行い、地区のボランティア活動の担い手の発掘・育成に努めていきます。 ・地区の運動会や防災訓練など老若男女が集まる機会を通じて、若い人達に地区のボランティア活動の重

	<p>要性を理解してもらえよう情報提供に努めていきます。</p>
	<p>・住民一人ひとりが地域のために自分の時間等を割く努力をしてもらえよう呼びかけていきます。</p>
	<p>・地域活動に関心が薄い人が多いので、「誰かがやってくれるでしょう」でなく「自分になにかできないか」という気持ちの醸成を図ります。</p>

【めざす姿】生活マナーを守りきれいなまち

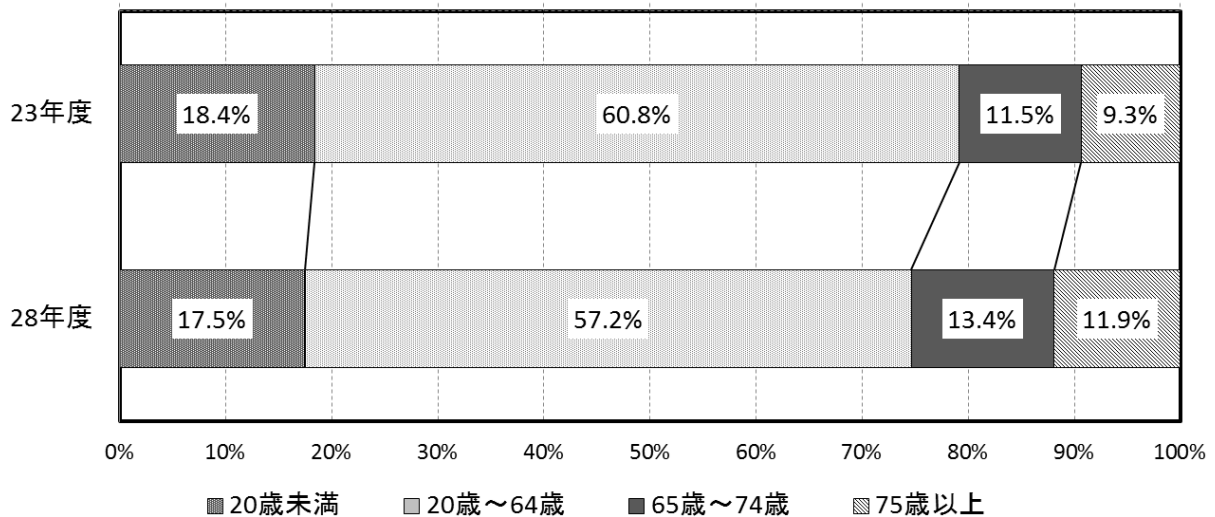
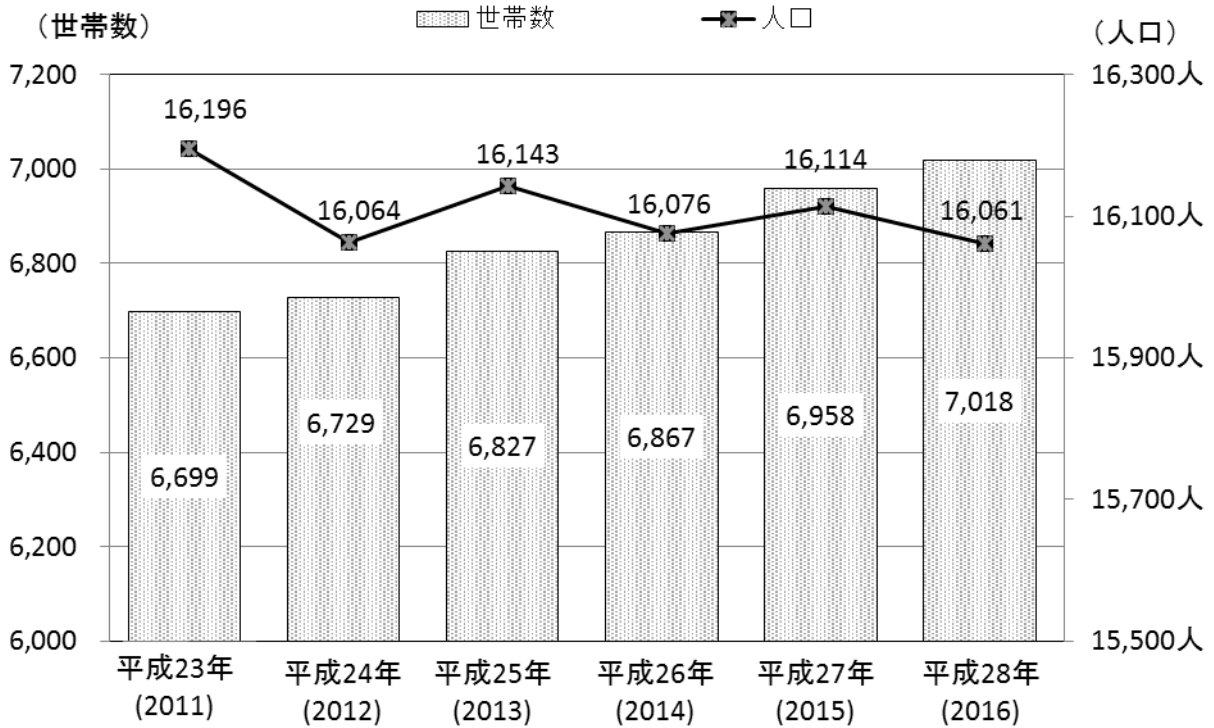
誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>「あいさつ、防犯活動を兼ねた清掃活動」によりたばこや空き缶のポイ捨ては、改善されています。</p>	<p>・「あいさつ、防犯活動を兼ねた清掃活動」を地域全体に広げていきます。</p>
<p>ごみの収集日は、年間カレンダーが配布され、ごみ分別等のルールを各自で承知しているはずですが、出す日を間違えたり、出勤途中などで他地区のごみ集積場所に不分別のごみを放置していく不心得な人が目立ちます。</p>	<p>・地域活動の一環として環境美化マナーの徹底を呼び掛けます。</p>
<p>犬の糞の始末をせず、散歩をしている人を見かけます。マナーを守ることが飼い主の責任です。</p>	<p>・自分の家の前だけでも掃除を行うように呼び掛けます。</p>
	<p>・回覧、掲示物などで自己責任のルールの徹底を呼び掛けます。</p>
	<p>・学校や各種団体の活動と連携しながら清掃活動を行います。</p>

参考資料(下府中地区)

人口と世帯数の推移

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

※平成24年以前は南鴨宮1～3丁目を除いて算出



下府中まちづく委員会における検討経過

平成 28 年 4 月 15 日	地域別計画の見直しの方法について説明
平成 28 年 7 月 12 日	各委員に見直し用記入用紙を配布
平成 28 年 9 月 16 日	各委員より見直し用記入用紙を回収
平成 29 年 1 月 30 日	三役で地域別計画見直し(案)作成
平成 29 年 2 月 7 日	役員会及び全体会で地域別計画見直し(案)の承認

平成 29 年 2 月作成

下府中まちづくり委員会(見直し検討会)※平成 28 年 9 月現在の名称

委員長

劔持 寿重 (下府中地区自治会連合会会長・鴨宮 3 区自治会会長)

副委員長

星崎 政光 (前下府中地区自治会連合会会長)

吉田 好男 (下府中地区民生委員児童委員協議会会長)

鈴木 晴夫 (元下府中地区自治会連合会会長・下府中地区社会福祉協議会会長)

会計

秋山 榮太郎 (下府中地区自治会連合会副会長・中里 1 区-2 自治会会長)

幹事

楮木 美行 (下堀自治会会長)

原 照夫 (中里 1 区-1 自治会会長)

神部 敏男 (下府中地区自治会連合会会計・中里 2 区自治会会長)

天野 忠敬 (矢作自治会会長)

高橋 和之 (鴨宮 2 区自治会会長)

相沢 廣悦 (鴨宮 4 区-1 自治会会長)

府川 貴晴 (鴨宮 4 区-2 自治会会長)

内田 静一 (下府中地区自治会連合会副会長・鴨宮 5 区自治会会長)

青木 清二 (大道自治会会長)

監事

佐宗 俊久 (小田原市立下府中小学校校長)

加藤 始 (小田原市立矢作小学校校長)

委員

西澤 浩之 (小田原市立鴨宮中学校校長)

杉本 英子 (下府中ボランティア会会長)

志村 善治 (下府中老人クラブ連合会会長)

金井 保江 (下府中婦人会会長・防犯指導員小田原支部防犯指導員)

小川 敏昭 (下府中青少年育成推進委員会会長)

林 富士夫 (下府中体育振興会会長)

柳川 辰男 (交通安全協会下府中支部支部長)

神谷 賢治 (小田原地区保護司会保護司)

田代 康夫 (下府中少年補導員)

松村 俊哉 (下府中少年補導員・矢作小学校 P T A 会長)

杉山 美起也 (小田原市消防団第 16 分団分団長・下府中小学校 P T A 会長)

植田 敏光 (下府中地区公民館長代表・白銀公民館館長)

森重 宏明 (下府中コミュニティ S h i n 2 会長・鴨宮中学校 P T A 副会長)

地域別計画 (平成28年度改定) ～ 富士見地区 ～



平成28年4月3日 神明神社例大祭

富士見地区各種団体連絡協議会

ずうっと住みたい自然豊かなまち

はじめの一步(住民自ら取り組むこと) ~ できることから始めよう ~

- | | |
|------------------|---|
| 1 地域振興 | ・住民のコミュニケーションが強いまち
・地域活動により、人と人との繋がるまち |
| 2 防犯・交通安全 | 安全で安心して暮らせるまち |
| 3 環境 | ごみのない清潔なまち |
| 4 防災 | 災害時に住民が協力できるまち |
| 5 健康・福祉 | お年寄りが安心して住める・やさしいまち |

1 地域振興

【めざす姿】

・住民のコミュニケーションが強いまち



誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>南鴨宮、富士見地区としてのイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 年1回、南鴨宮各種団体連絡協議会を開催し、各団体が年間事業を報告、協議する場となっています。 ◆ 神明神社の大祭によるお神輿、新田公園の夏祭り、南鴨宮文化財保存会の山車曳き、長寿会が中心となり、各種団体の連携による菊川鯉のぼり等多くのイベントを地域が一体となって協力し合っています。 ◆ 小田原市鴨宮ケアセンターの地域交流会が平成28年から行われ、介護等の相談に利用してほしいとの提案があります。 <p>新幹線発祥の地としてのイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 新幹線開業2年前の昭和37年（1962年）、新幹線の試験コースが鴨宮～綾瀬間に設置され、試験車両が鴨宮車庫基地から出発しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・富士見地区の行事（4月の神明神社による例大祭、5月の菊川鯉のぼり、8月の南鴨宮夏祭り、9月の敬老会、10月の富士見地区民体育祭、11月の神明神社による七五三や新嘗祭、公民館による文化祭、12月の三世代交流の餅つき、1月の初詣、賀詞交換会、道祖神祭りでの山車曳き、どんど焼き、2月の豆まき、初午祭、祈願祭、観梅会）を年間通して地域住民に周知し、地域文化の継承と地域の交流を図っていきます。 ・地域がひとつになる大祭をはじめ、地域のイベントを盛り上げるため、若年層を中心に声掛け勧誘を行い、文化交流を通じて地域の共存を図るために文化祭の機会を捉えて、情報を発信していきます。 ・小田原市鴨宮ケアセンターの地域交流会が行われ、積極的に活用していきます。 ・新幹線発祥の地であることに端を発したまちおこしの「川東ひかり祭り」を、地域の商工会の皆様や地域住民で更に盛り上げ、地域のコミュニケーションの強化を図ります。



- ◆ 新幹線発祥の地を川東地区の活性化の起爆剤と捉え、平成3年には「川東ひかり祭り」が、地域の活性化や青少年の健全育成等を目指して、毎年10月の第3土・日曜日に実施されるようになりました。



【めざす姿】

・ 地域活動により、人と人との繋がるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 運動会や防災訓練に若い人が近年は積極的に参加しています。 ◆ 地域の方の憩いの場として、富士見ふれあいサロンが毎月第3火曜日に定着しています。地域の出来事等情報交換し合い、このような活動の必要性を意識していただいています。（平均40名） ◆ 少子高齢化が進み、若い人が少なくなり、また、自治会加入者が微減しており、将来的には、地域活動に支障が出るおそれがあります。 ◆ 最近の傾向として、地域活動に無関心な住民が増えており、防犯や環境美化等、誇りとする居住環境の悪化につながりかねません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区の運動会や防災訓練等、各種団体が行う行事を通じて、地域の繋がりを強化し老若男女が集まる機会をつくり、若い人たちに地区のボランティア活動の重要性を理解してもらえるよう行動計画等の情報提供に努めていきます。 ・ 花見会に園児、芋煮会には児童を招待して、老人の背中を見せていくことを継続していきます。 ・ 地域活動の一環である、保存会事業、福祉事業への協力参加、小中学校事業のボランティア活動を実施していきます。 ・ 住民一人ひとりが地域のために自分の時間等を割く努力をしてもらえるように各種団体の役員は積極的に声を掛けることが第一歩ですが、さらなる呼び掛けを行っていきます。



- ◆ 子ども会の関心が希薄になっていますが、社会現象では済まされない出来事です。行政、教育委員会等がリーダーシップをとり、自治会・連合子ども会等と情報共有しながら、改善策を練ることが急務です。



- ・地域活動に関心が薄い人が多いので、「誰かがやってくれるでしょう」でなく「自分になにかできないか」と言う気持ちの醸成を図るため、自治会へ働き掛け、地域内河川の美化活動のように地域全体の活動になるように取り組んでいきます。
- ・社会教育の場として楽しく教養を深めることを目的とした講演会や、地域の活性化及び地域住民の融和を図ることを目的として南鴨宮夏祭り等を継続していきます。

2 防犯・交通安全

【めざす姿】

安全で安心して暮らせるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 見守り活動 富士見地区は区画整理が行われたため住宅街の道も広く、住民は道路網の良さを誇りにしています。反面、昼間は交通量が多く、特に児童生徒の登下校時には注意が必要です。 そこで、富士見小学校登下校見守りをボランティアにより実施し、子ども達を交通事故や不審者から守りながら、あいさつを行い、子ども達の健全育成に役立っています。 なお、役員、活動に参加するメンバーは固定しており、人員不足や制服等の課題があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動は活発ですが、自発的に参加を希望される方が少ないのが現状です。いざという時に力を合わせる共助の組織が必要になりますので、積極的に地域活動に参加するよう住民の意識向上に努めます。 ・特定の人に負担が大きくなることを避けられるように運営ルールを整理して、若年世帯や女性が地域活動に参加しやすい環境をつくり、現役世代でも運営可能な自治会等を目指します。



地域活動への参加が減っているため顔見知りが減っています。そのため、互助、防犯の面から問題が生まれる可能性があります。



- ◆ 75歳になられた方へ救急要請カードを配布し、個別援助表を作成して確認しています。
- ◆ 幹線道路は夜間でも明るく、人通りや車の通行も多く安心できます。一方、生活道路に不安を感じる場所があります。防犯灯は市で設置することになり、新しく設置する数が限られています。
- ◆ 子ども会では、毎年、新入生歓迎会と合わせて、市の交通安全指導員の指導のもと交通安全教室を行っています。
- ◆ 地元の自動車学校で交通教室を行っています。

- ・役員は顔見知りになっていますが、役員以外の方が顔見知りを増やす方法を検討します。
- ・子どもにあいさつをしたり、交通ルールを守る等大人が子どもに見本を示します。
- ・見守り活動において、PTAとの連携を検討していきます。
- ・朝のあいさつ運動等の見守り活動は、一部の役員のみでは限界があり、住民の積極的な協力なくしては継続的な活動はできませんので、隣近所の声掛け等により担い手不足を解消するよう努めます。
- ・個人でできる防犯対策をPRする等、地域における自主防犯活動を啓発していきます。
- ・不審者情報等を掲示板や回覧等で速やかに流す等、防犯意識の向上に努めます。
- ・一人暮らしの高齢者を訪問した際、振込詐欺等の注意情報や交通事故予防についてのお知らせをします。
- ・自治会としての防犯灯の整備は終わりましたが、今後も危険箇所における防犯灯の整備を検討し、市に対して設置するよう要望します。
- ・門灯をつける運動を地域内に広げていきます。
- ・各種団体や長寿会を通じて、地域の交通マナーの向上や交通安全の呼び掛けを継続していきます。

3 環境

【めざす姿】

ごみのない清潔なまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none">◆ 南鴨宮第1・第2・第3長寿会では、昭和53年ごろから地区の美化と緑化のためJR鴨宮駅前花壇の植付けや「酒匂きらり広場」等の清掃に取り組んでいる活動が評価されています。◆ 富士見地区自治会連合会では、酒匂川の除草・清掃ボランティア活動を継続的に行っていることが評価されています。◆ 自治会連合会では、毎年4月・7月・10月・1月の第3木曜日にポイ捨て防止キャンペーンを実施していますが、地元住民は、タバコや缶、ペットボトル等のポイ捨てをほとんどしていないため、通行者のモラルアップ対策が課題となっています。◆ ごみの収集日は、年間カレンダーが配布され、ごみ分別等のルールを各自で承知しているはずですが、出す日を間違えたり、他地区からごみ出しルールを無視し、ごみを放置していく不心得な人が目立ちます。	<ul style="list-style-type: none">・今後も各種団体が行っているポイ捨てをなくすための啓発活動を継続し、特定の住民に限ることなく呼び掛けを強化して、一人ひとりの美化意識の向上に努め、住民と連携し、富士見地区の環境をきれいに保っていきます。・11月の全市一斉美化清掃、長寿会等の団体による公園の清掃が行われていますが、みんなが使う公園や道路、川の散乱物等は気付いた人が片付け、周囲の人に協力をいただく等、クリーンなイメージづくりをする意識を一人ひとりが持つことが大切です。・地域活動の一環として、自治会が率先して、環境美化マナー徹底の呼び掛けを教宣し、継続して行います。 <div style="text-align: right;"></div>

- ◆ 犬の糞の始末をせず、散歩をしている人を見かけます。マナーを守ることが飼い主の責任です。
- ◆ 年8回のきらり広場の清掃や神明神社及び神社跡地、公園の清掃、下菊川沿いや駅前ロータリー花壇の植栽と除草、酒匂川左岸小田原大橋上・下流の花壇の除草作業を行っていますが、こうした美化及び清掃活動の参加者が一定の方に固定化する傾向にあります。
- ◆ 一部の区域では、月に2回のペースで自治会役員ボランティアによるごみ拾いを行っています。
- ◆ 街路樹の落ち葉掃き等を住民が進んでしてくれていることにより、町自体はきれいに感じます。しかし、一部の人に負担が掛かりすぎているのも事実です。

- ・各種団体が連携し、各活動に合わせて清掃活動を行います。
- ・ポイ捨て防止キャンペーンを実施していますが、ポイ捨てをする側にポイ捨てをやめさせるような啓発活動を検討します。
- ・周辺住民に負担が偏らないよう行政と連携して、より良い方向を検討します。



4 防災

【めざす姿】

災害時に住民が協力できるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 富士見地区では、毎年10月に富士見小学校区として防災訓練を実施しており、実施の都度、災害時の対応を詳細に説明して、啓発活動を行っています。特に津波に対する危機意識を強く打ち出します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から災害時を想定した話を各家庭や各種団体で行うことで、災害時の自助・共助の精神を醸成していきます。 ・自治会の自主防災組織としての活動とともに広域避難所に関する情報を住民に伝え、災害時に戸惑うことのないように、先ず自分の身は自分で守ることの徹底を図ります。

- ◆ 各自治会の自主防災はよく実施していると思いますが、富士見小学校学区広域避難所運営に関しては、課題があります。
- ◆ 水害、地震等大きな災害が長年発生していないため、住民がどういいう行動を取るか不安が残ります。
- ◆ 大きな地震の発生が懸念されている中、災害時に地域の支援が必要な一人暮らしの高齢者や高齢者世帯及び、障がい者のいる家庭が増えており、課題になっています。
- ◆ 自治会としては、防災関係資機材を年1回点検し、また、一部の地域では、各世帯にヘルメットを1個、計画的に支給しています。
- ◆ 地震災害時に、近所のどこに手伝いに行けば良いのか、どのような形でどこに行き参加するのか分かりません。

- ・ 自宅や家族の安全の確認が第一です。
- ・ 富士見小学校学区における広域避難所の運営方法の改善を目指します。
- ・ 高齢化が進んでいるので、日常生活の中での共助の意識を高めていきたいと思えます。
- ・ 津波の危険性のある地区なので、津波に対する啓発を行います。
- ・ 地震のメカニズムや市の防災行政無線の仕組みを理解し、地域住民に周知していきます。具体的には、津波の場合はサイレン放送、津波のおそれのない場合はチャイム放送だという違いを理解し、東日本大震災での教訓である、“津波てんでんこ”により、津波避難ビルなのか、一時避難場所への避難なのか、各自で避難先の判断ができるようにします。
- ・ 災害が起きた時に、近所同士でお互いに声を掛け合ったり、黄色いハンカチのようなもので、地域住民の安否を確認できるような仕組みを検討していきます。



5 健康・福祉

【めざす姿】

お年寄りが安心して住める・やさしいまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 少子高齢化の進む中で、介護の負担増に苦しむ家庭が多くなります。特に、一人暮らしの高齢者の受け入れ先の心配や高齢者だけの世帯では高齢者が高齢者を介護しなければならない世帯が増えていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長寿会行事の声掛けをする等、一人暮らしの高齢者や介護が必要な高齢者の見守りを行います。



◆ 地区民生委員児童委員協議会と地区社会福祉協議会が協力しながら見守り活動を進めています。訪問時には心配ごとや相談を聞いています。

◆ 地区民生委員児童委員協議会とボランティア会が合同で開催している年2回、一人暮らし高齢者へのお弁当作りと配布、絵手紙を作成して、ふれあい活動を通して安心感を持ってもらえるように活動しています。

◆ 子ども会が長寿会並びに自治会と一緒に餅つきを行い、三世代交流を図っています。

◆ 富士見地区には、潤生園や虹の会ありんこ、なぎさ作業所等の介護・福祉に関する施設が数多くあり、高齢者や障がい者に優しい地域になっています。

・高齢者の見守りにはプライバシーの問題もあり、家庭の状況に応じた対応が必要ですが、民生委員やボランティア会等が協力し、訪問時は心配事を聞く等して、情報を共有しながら対応方法について検討していきます。



・自治会や各種団体が協力して、介護・福祉施設との接点を持ち、高齢者や障がい者を近くで見守れる地域にしていきます。

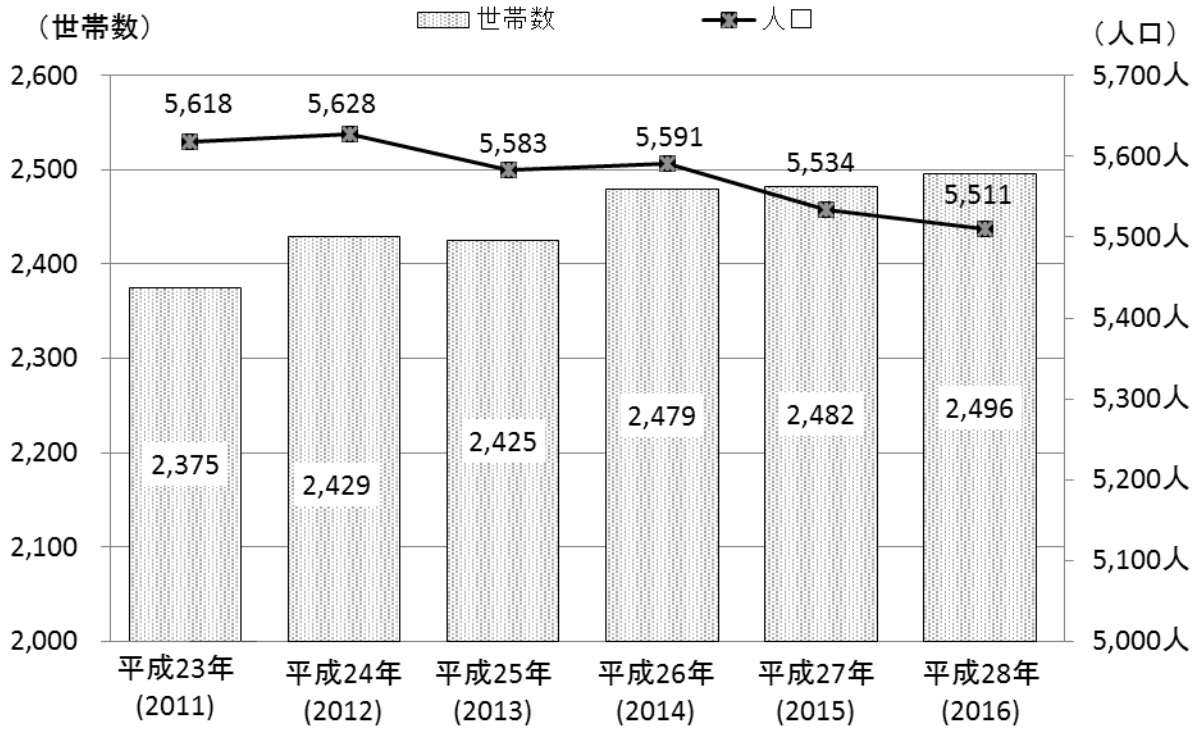


参考資料(富士見地区)

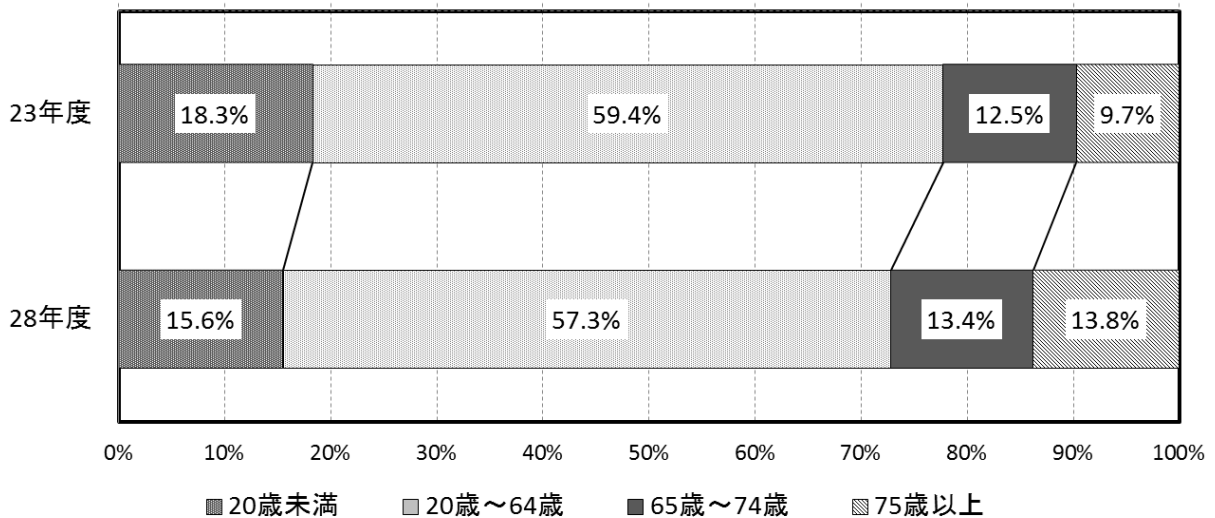
人口と世帯数の推移

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

※平成24年以前は、南鴨宮1～3丁目で抽出



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



富士見地区各種団体連絡協議会における検討経過

- 平成 28 年 6 月 8 日 地域別計画の見直し方法について、自治会長と協議
- 6 月 26 日 地域別計画の見直しについて各種団体連絡協議会で依頼
・各種団体に複数の記入用紙を配布
- 7 月 31 日 地域別計画の提出
- 9 月 7 日 地域別計画の見直し(案)の協議方法について、自治会長と協議
- 9 月 21 日 第1回見直し検討会
・3 グループに分かれて 9 分野を協議(9 分野を 6 分野に整理)
- 10 月 25 日 第2回見直し検討会
・3 グループに分かれて 6 分野を協議(再度確認)
・キャッチフレーズ候補出し
- 11 月 15 日 第3回見直し検討会
・全体協議(9 分野を 6 分野に整理)
・キャッチフレーズの決定(3 案から絞り込み)
- 12 月 20 日 第4回見直し検討会
・最終原稿及び写真の確認

平成28年12月作成

富士見地区各種団体連絡協議会（見直し検討会）

委員長

関野 次男 (富士見地区自治会連合会会長・南鴨宮第2区自治会会長)

副委員長

小河 卓二 (南鴨宮第4区自治会会長)

菅野 和明 (富士見地区社会福祉協議会会長)

委員

露木 史郎 (南鴨宮第1区自治会会長)

渋川 一衛 (南鴨宮第3区自治会会長)

瀬戸 成男 (南鴨宮第5区自治会会長)

植田 正 (富士見体育振興会会長)

香坂 功喜 (富士見地区民生委員児童委員協議会会長)

山口 なほみ (南鴨宮ボランティア会会長)

加賀 方雄 (富士見地区南鴨宮連合長寿会会長兼第三長寿会会長)

湯川 菊雄 (新田公民館館長)

和田 博 (新田子ども会会長)

地域別計画

(平成28年度改定)

～ 豊川地区 ～

豊川地域コミュニティ運営協議会

地域のキャッチフレーズ

友愛のまち 豊川 ～相寄り相助け～

はじめの一步 (住民自ら取り組むこと) ～ できることから始めよう ～

1 健康・福祉

- ・健康で交流とコミュニティのあふれる活気のあるまちに
- ・寄りそい、支えあい、優しさのあるまちに

2 生活・環境

- ・自然と景観を守るクリーンなまちに

3 防災

- ・地域ぐるみで対策を考え、安心して住めるまちに

4 防犯

- ・犯罪や事件のない、安全なまちに

5 交通安全

- ・交通ルールを守り、事故のないまちに

6 文化・歴史・地域振興

- ・気軽に訪ね、みんなで集える、とよかわ文化・歴史のまちに

7 教育

- ・地域で支える、守る、育む、とよかわ教育のまちに

1 健康・福祉

➤…課題 ○誇れること・近年の豊川地区の動き

【めざす姿】

健康で交流とコミュニティのあふれる活気のあるまちに

誇れるもの/課題	きっかけ/原因	これからの活動方針/解決策
▶ラジオ体操や各種交流事業の参加者が固定化し、新規参加者が増えない【※1】	<ul style="list-style-type: none"> ・知名度が低い ・各種団体をまきこめていない ・学校から参加への呼びかけはあるようだが、地域と連携した取組にはなっていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・周知方法・内容を工夫 ・子ども会・老人クラブ等のメンバーへ勧誘 ・学校と連携した取組を企画 ・第2回体操会の実施を検討
▶ラジオ体操の指導者が不足している	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の養成意識が希薄している ・目的が変更され、技術的指導の必要はない 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回体操会の実施を検討 ・指導者養成より、住民同士のコミュニケーションツールを主眼とする

【めざす姿】

寄りそい、支えあい、優しさのあるまちに

誇れるもの/課題	きっかけ/原因	これからの活動方針/解決策
○連合全体のサロン会を開催(平成28年度～)	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者の孤独化防止 ・地域住民が触れ合う機会の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者向上にむけて周知 ・バラエティ溢れる内容に工夫 ⇒囲碁将棋や手作り体験型の取り入れ
○地区単位でのサロン会の開催を検討中	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの方が参加しやすい ・各地区に場所がない ・既に清寿会で実施中だが、加入者は年々減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・連合全体のサロン会を継続 ・事業が安定した後、各地区でのベストな展開方法を検討(既存のサロン会の拡充または別途開催など)
▶敬老者は増加傾向だが、敬老会への出席者は減少している	<ul style="list-style-type: none"> ・1か所では遠くて参加できない ・全市的にアンケートを実施したので、今後のあり方を検討する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果と28年度の事業結果【※2】を基に、今後の運営方法を検討 ・敬老者が喜び・集まりやすい事業内容/スポーツ等の検討

<p>▶介護保険制度や現状を理解していないため、必要な方が制度を十分に活用できていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集や理解は個人任せ ・内容理解までの支援策はとっていない ・民生委員や包括支援センターに依頼し、個別対応している 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の個別対応に付け加え、健康な方も対象にした説明会を開催
---	--	--

【※1】

ラジオ体操は、平成 26 年度より、住民一人ひとりが健康を意識し、介護予防に努めると共に、誰もが気軽に始められる取組として各地区で実施。（参考資料（豊川地区）介護認定率の推移参照）

【※2】

28 年度の豊川地区敬老会は連合全体から単位自治会自治会ごとの開催へ変更し、実施された。

2 生活・環境

【めざす姿】

自然と景観を守るクリーンなまちに

誇れるもの/課題	きっかけ/原因	これからの活動方針/解決策
<p>▶ゴミ捨てのマナー違反者が後を絶たない (分別・他のステーションに捨てるなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が増加傾向にあり、ルールが十分に伝わっていない ・各地区で試行をこらしているが地域外からのマナー違反者も多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・分譲開発の不動産業者と連携し、ゴミ出しルール冊子の配布依頼を検討 ・各地区で、以下の取組を検討・強化していく <ul style="list-style-type: none"> ・注意喚起(看板の整備) ・防犯パトロール中に監視 ・監視と通報の呼びかけ ・防犯カメラ設置の検討 ・マナー違反の記録・管理(日時・場所など)
<p>▶クリーンさかわは参加者が定着化している一方で、マンネリ化も懸念されている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者は増加傾向にあるが、ゴミは少なくなってきた ・参加者へ実施の意義が再認識されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンさかわの意義を再認識させ、参加者の意識向上を図る ・クリーンさかわと他の事業とコラボを検討し、豊川地区なりの要素を追加する <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ茶会 ・サロン会 ・風水害を想定した危険箇所の把握

3 防災

【めざす姿】

地域ぐるみで対策を考え、安心して住めるまちに

	誇れるもの/課題	きっかけ/原因	これからの活動方針/解決策
自主防災組織(各地区)	<p>▶自主防災組織による自助・共助の意識啓発活動は、住民へ十分に伝わっているのか不明</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自治会だけでは限度がある 各家庭にどこまで立ち入って良いのか分からない 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の場でアンケートをとり、各家庭がどこまで指導を求めているのか確認する 各種団体や行政に協力を仰ぎながら活動する(出前講座などを利用) AEDマップ作成を機に、自助・共助の啓発活動を進めていく
	<p>▶自主防災組織の役割分担はあるが、具体的な活動方法は決まっておらず、実際に機能するか分からない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の機能について十分に理解し、共有化できていない 自主防災組織内の役割分担や一時避難場所について検討する場が持てていない 毎年の防災訓練で実施している内容は一部(救急救護など)に限られる 	<ul style="list-style-type: none"> 地震が起きた際の流れや自主防災組織の機能について再確認し、意識統一を図る 大地震発生時の自主防災組織の動きを想定しながら、各班の役割分担や一時避難場所について再検討し、整理する(マニュアル化) 防災訓練を通して各班で実践し、検証繰り返す 定期的に自主防災組織間で情報共有を行う(豊川地域コミュニティ運営協議会など)
	<p>▶災害時における要配慮者の具体的な避難誘導方法が確立されていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の対策【※1】から優先的に行ってきたため、災害時の対応策は未実施 個人情報やプライバシーに対する知識がなく、自治会と民児協で意思統一がされていない 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から見守りをしている組長をはじめとした近隣住民へ、緊急時も同様に対応してもらおうよう、働きかける 自治会長と民生委員間で、緊急時に要配慮者への対応ができるよう、共有化を図る

	誇れるもの/課題	きっかけ/原因	これからの活動方針/解決策
広域避難所運営	<p>▶実際に避難所運営ができるか不安である</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織同様、広域避難所運営における各班の役割について、具体的な取組が班員に理解されていない ・災害を経験したこともなく、どのようなことが予想され、何から備えていけば良いのか分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域避難所運営について学び・知識の共有化を図る ・HUG（避難所運営ゲーム）の実施【※2】 ・過去の避難所運営の事例等を参考に、豊川小学校の避難所運営方法を協議し、最低限のルールを決める（配置や教室の取り決め） ・広域避難所開設訓練で、実践し、検証する
風水害対策	<p>▶風水害に対する住民の意識向上が必要である【※3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市が発行している洪水ハザードマップが十分に認知されていない ・最大雨量が100年に1回の想定のため、地震より認識は低い 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と協力し、洪水ハザードマップを活用し、学ぶ機会を設ける（クリーンさかわ等、酒匂川に関連する行事とコラボなど）
災害対応	<p>▶役員全員が連合全体の地理を把握はしておらず、災害時に迅速かつ正確な情報が共有できるか疑問である</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有するための経験がなかったため、会社や橋などを目標物としても十分に認識できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・対応がしやすいように、予め防災マップに記号を付けるなどして目標物を落とし込み、各地区で共有し合う

【※1】

高齢者単身世帯や災害時要配慮者を対象に各戸訪問するセーフティアドバイス事業や、世帯人数状況の把握などを実施

【※2】

避難所運営のイメージを持つことを目的に開発された訓練ゲーム

【※3】

本地区は酒匂川を有しており、台風等による風水害対策も求められている

4 防犯

【めざす姿】

犯罪や事件のない、安全なまちに

誇れるもの/課題	きっかけ/原因	これからの活動方針/解決策
<p>○防犯の未然予防・青少年の非行防止・子どもの連れ去り防止のため、各地区で見守り活動が発足・継続されている</p> <p>▶地域や各種団体が連携し、効率的な防犯対策が必要とされている</p> <p>【※1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度に防犯推進協議会が廃止 パトロールのメンバー不足や・高齢化により、回数が増やせない 	<ul style="list-style-type: none"> パトロールの効率化を図り、定期的に活動を行っている団体とパトロール箇所・時間を情報共有する 振り込み詐欺防止対策として、敬老会やセーフティアドバイス事業などの機会を通して、注意喚起に努める 青少年の非行防止対策として、中学校を通じて川東地区内での連携を高めていく(情報提供・注意喚起) 誰もが参加しやすい未然防止策を検討し、協力者を募る(散歩しながら見守り活動の展開など)
<p>▶犯罪情報は逐一、周知しているが十分に住民へ伝わっていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各地区で情報提供はされているが、情報を伝達する場が定例会の場など、限られる 犯罪情報はプライバシーや捜査上の問題もあり、タイムリーに公開できない背景もある 	<ul style="list-style-type: none"> 駐在や学校・自治会・関連機関との連絡網(電話・メール)の整備を検討

【※1】 平成 27 年度豊川地域コミュニティ分科会調査より

豊川地区の犯罪発生率は、全市の中で平均レベル。その内、7割を占めるのが窃盗。また、振り込み詐欺も依然として多い状況である

5 交通安全

【めざす姿】

交通ルールを守り、事故のないまちに

誇れるもの/課題	きっかけ/原因	これからの活動方針/解決策
<p>○交通安全協会や PTA、母の会、老人クラブなど、様々な団体やボランティアが登下校時や各種行事の際に、交通安全活動を実施している</p> <p>▶どこの団体がいつ、どの場所で活動しているか分からない（登下校時） 【※1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の活動を取りまとめる機能がない ・人数不足の声があがっているが、総体的に見守り活動のメンバーが足りているか検証はしていない ・各自の活動を通して危険箇所の発見に繋がるため、広範囲かつ漏れのない見守り体制づくりが必要である 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体に見守り箇所を地図で確認を取り、とりまとめる ・学校の通学路マップと見守り箇所を照らし合わせて検証する
<p>▶登校時より下校時に見守るメンバーが少ない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動メンバーが昼間は仕事を持つ者などが多く、登校時より人数が限られる 	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の活動状況を把握し、下校時に重点的に見守る箇所を選出する ・近隣住民にも協力を仰ぎ、無理のない程度に見守り活動ができる体制を整える
<p>○各種団体が連携し、総合的な交通安全対策が行われている【※2】</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各種団体が連携して活動を実施していく ・日頃から住民一人ひとりが交通安全標識や注意喚起の看板の状態を確認することで、地域全体でメンテナンスする ・活動が日々見守っている児童や地域住民へより広く周知され、子ども達や転入者が地域の大切さを感じ、自然と地域活動に従事していくよう努めていく

【※1】 平成 27 年度豊川地域コミュニティ分科会調査より

- ・豊川地区は、全市的にも交通事故発生件数が高い。（国道 255 号をはじめ、小田原大井線、穴部国府津線、小田原厚木道路のインターチェンジもある交通の結節点であり、交通量が多く、安全対策が必要）

【※2】

- ・毎年、豊川小学校の交通安全対策協議会で見守りメンバーの声を元に、危険箇所の洗い出しを実施
- ・危険箇所の対応は、学校または自治会を通じて、道路標識やカーブミラー、注意喚起の看板などを整備するよう、随時、行政へ働きかけている
- ・交通安全協会や各種団体が、交通安全の注意喚起看板を設置するほか、注意喚起の回覧を出している。

6 文化・歴史・地域振興

【めざす姿】

気軽に訪ね、みんなで集える、とよかわ文化・歴史のまちに

誇れるもの/課題	きっかけ/原因	これからの活動方針/解決策
<p>○豊川地区は各地区で地区の歴史的な遺産や特色を生かした活動や、継承活動が行われ始めている【※1】が、今後、どの歴史的財産を優先的に残し、継承していくべきかルールが決まっていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豊川地区は桑原、成田、飯泉の3地区で構成されており、各地区において特色や歴史背景も異なることから、地域全体で考える機会がなかった ・歴史継承に、資料を有効活用する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・3地区ごとに残していくべき遺産を整理して、保存方法を豊川連合として検討する ・歴史を継承する上で、受け手となる若い世代（子ども会・子育て世代）にも話し合いに入ってもらおうよう、働きかける ・活動を通して、解明できない点が出てきた場合は、連合育成会で作成した資料を参考にすのほか、市の職員や有識者に協力を仰ぎ、勉強会を設ける ・歴史的遺産の継承活動は児童の地域学習にも繋がるため、将来的に、学校教育との連携も視野に入れていく
<p>▶お祭りをはじめとした伝統行事は、伝統や慣習を伝える良い機会となっているため、より多くの子ども達や子育て世代に参加してほしい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豊川地区の転入者は増加傾向にあるため、お祭りの参加者は増加傾向にあるが、同時に豊川地区の歴史や行事を知らない人も増えてきている ・対象者が自治会の加入者で、行事に従事してくれる方に限られている ・自治会活動や行事の魅力的な情報が十分に転入者に伝わっていない ・役員の負担が多いことを危惧して自治会に加入されない背景がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の事前周知だけでなく、結果報告も行うことで、地域行事を知ってもらう機会を増やす ・地域のささいな変化もお知らせしていく（道路拡張や出店情報など） ・自治会加入未加入問わず、皆が行事に参加しやすい環境づくりを検討していく（行事のお手伝い従事者枠の募集・お神輿のルート変更の提案など） ・世代を問わず、交流が生まれやすいよう、工夫を検討する（運営スタッフ全員に名札を着用するなど）

【※1】・神社主催の神社めぐりや、自治会で昔の写真を募り、年表にまとめる活動が行われている
 ・豊川連合育成会のもと、豊川地区の遺跡等を地図に落とした資料「（仮称）豊川文化・歴史散策ガイドマップ」が作成された

7 教育

【めざす姿】

地域で支える、守る、育む、とよかわ教育のまちに

誇れるもの/課題	きっかけ/原因	これからの活動方針/解決策
<p>▶自然豊かな豊川地区の特色や地域人材を生かした学習は、教育課程の位置づけが明確となり、豊かに取り組んでいる。しかし、ボランティアが高齢化などにより、人材発掘登用が課題である</p> <p>▶学校で個別にコーディネートはしてきているが、十分に地域と相談する場はあまりなかった。</p> <p style="text-align: right;">【※1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育方針の事業課程に合わせて行うため、コーディネートするまでに手間や課題が多くあり、地域の方の発掘が難しい ・学校のボランティアコーディネーター1名で活動しており、協力者がいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育方針で地域の協力を要する事業があった場合、学校運営協議会や豊川地域コミュニティ運営協議会の中で情報共有していく ・学校のボランティアコーディネーターの役割を理解し、各種団体が協力できる体制を検討し、構築していく
<p>(中学生)</p> <p>▶地域の各種伝統行事は、子ども達が地域を知り、住民同士が交流する場だが、近年、子どもの減少に伴い、特に中・高生の参加が低迷傾向にある</p> <p>○各自治会や団体から学校を通して依頼し、中学生にボランティアとして行事に携わっていただいている</p> <p>(小学生)</p> <p>▶子ども会を通して地域行事場で交流しているが、子ども会の加入率の低下や休会している地区もある</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人口の減少や他のコミュニティの増加により、地域活動に参加しにくい状況になってきている（部活・スポーツクラブなど） ・中高生と地域住民が意見交換をする機会がなく、具体的にどのように接点を作っていけば良いか分からない ・役員の負担が多いことを危惧して子ども会に加入されない背景がある 	<p>(中学生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の事業やクリーンさかわ・健民祭など、既存の行事に中学生へお手伝いの依頼を働きかけていく <p>(小学生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区で子ども会活動について協議し、役員の負担軽減や地区に合った子ども会の運営方法について検討する

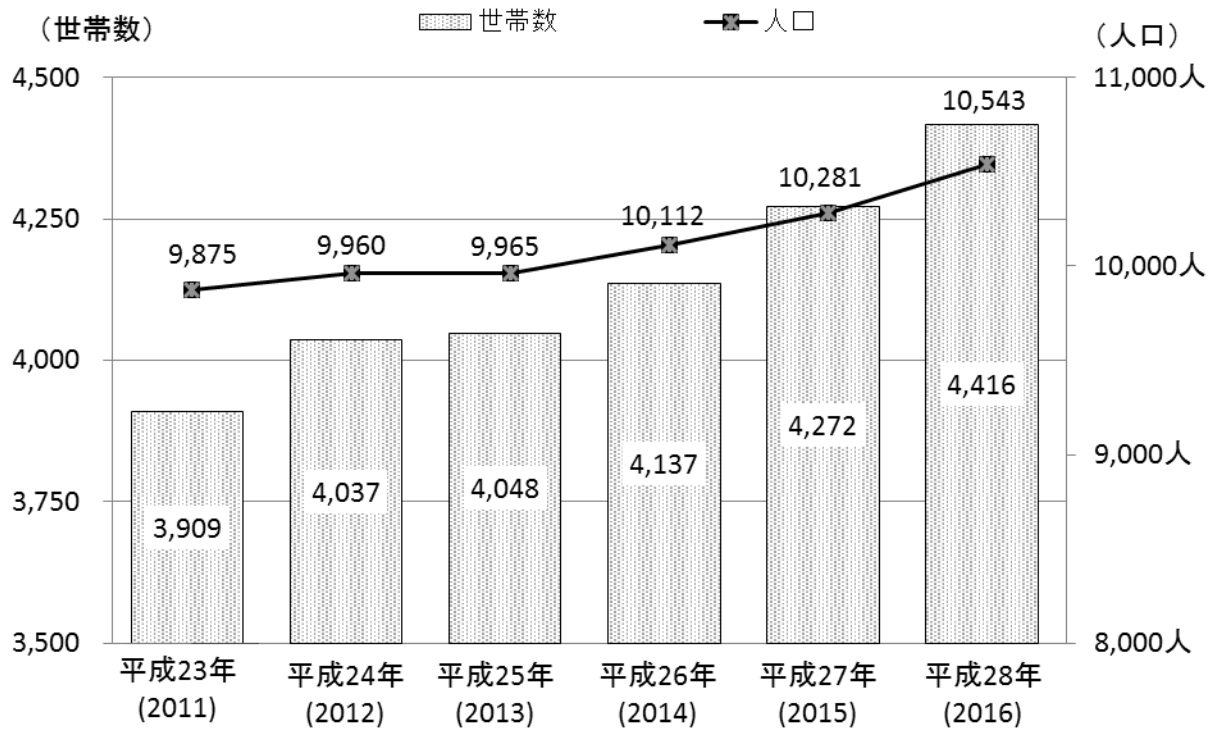
【※1】 近年の豊川地区における状況

- ・平成 28 年度から豊川小学校にてコミュニティスクール（学校運営協議会）が開始され、今後、学校と地域との距離はより近くなりつつある
- ・小中学校で総合学習の中で地域学習が行われている

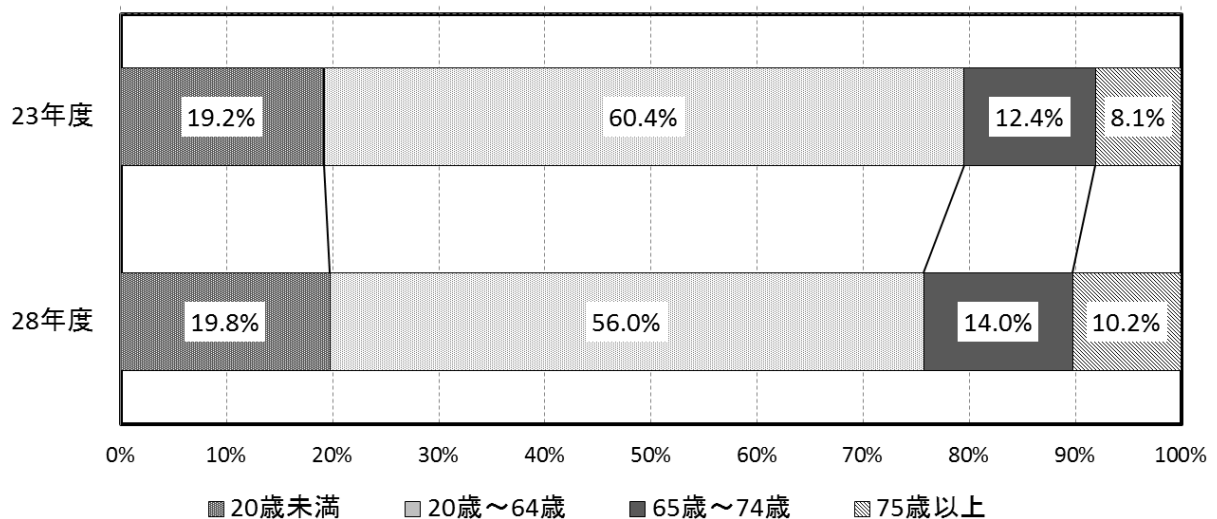
参考資料(豊川地区)

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

人口と世帯数の推移

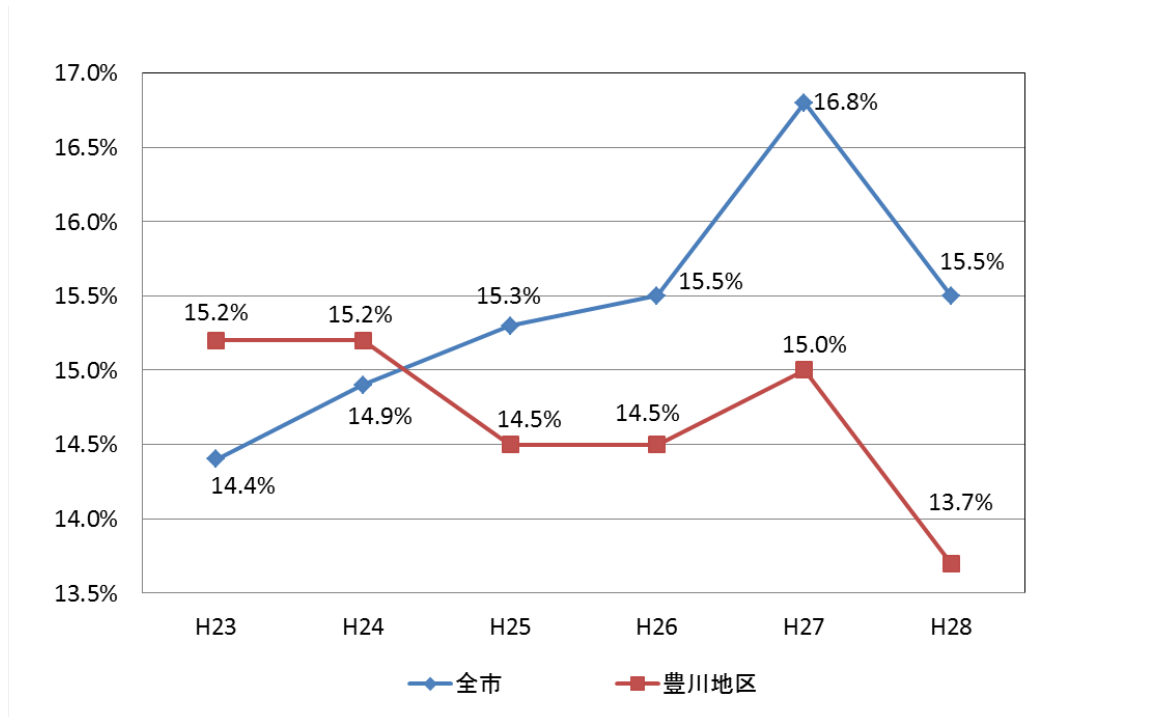


高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



介護認定率(要介護認定者数)の推移

(介護認定データから住所が飯泉・成田・桑原の者を抽出)



豊川地域コミュニティ運営協議会における検討経過

平成 28 年 5 月 25 日	総 会	地域別計画の見直しについて地域政策課から説明
平成 28 年 7 月 27 日	定例会	各委員へヒアリングシートの配布
平成 28 年 9 月 24 日	定例会	ヒアリングシートの集約
平成 28 年 11 月 30 日	定例会	ヒアリング結果を基に作成した改定案について協議（1）
平成 29 年 1 月 28 日	定例会	改定案について協議（2）
平成 29 年 3 月 1 日	役員会	役員内で改定の最終調整
平成 29 年 3 月 9 日	定例会	改定案の最終調整・承認

平成 29 年 3 月作成

豊川地域コミュニティ運営協議会

委員長 澤地 光春（桑原自治会）

副委員長 頼田 勲（飯泉 1 区自治会）

和田 道明（飯泉 2 区自治会）

大木 隆（飯泉 3 区自治会）

※平成 28 年度メンバー

委員

福祉健康/環境

大木 隆（飯泉 3 区自治会）

細羽 英昭（富士見自治会）

鈴木 立子（豊川地区ボランティア会）

坂田 由美（豊川地区健康おだわら普及員）

水野 宏（清寿会）

梅野 明啓（成和自治会）

吉田 トシ子（豊川地区社会福祉協議会）

加藤 和子（前民生委員児童委員協議会）

八森 綾子（民生委員児童委員協議会）

山下 則子（協力：小田原市第五地区包括支援センター）

防災・防犯・交通安全

頼田 勲（飯泉 1 区自治会）

村山 武（小田原市消防団第 15 分団）

松岡 こずえ（豊川交通安全母の会）

鈴木 増一（豊川地区防災リーダー主任）

上原 正人（飯泉 2 区自治会 防災リーダー）

村山 淳一（西成田自治会 防災リーダー）

奥津 治平（桑原自治会 防災リーダー）

植村 久夫（東成田自治会）

吉田 正明（小田原交通安全協会豊川支部）

鈴木 マサ子（JAかながわ西湘女性部豊川支部）

渡邊 康弘（飯泉 1 区自治会 防災リーダー）

和田 定幸（飯泉 3 区自治会 防災リーダー）

杉浦 巖（成和自治会 防災リーダー）

内田 博（富士見自治会 防災リーダー）

文化・歴史・地域振興・教育

和田 道明（飯泉 2 区自治会）

澤地 光春（桑原自治会）

門松 裕彰（飯泉育成会）

奥津 紘平（桑原育成会）

栗畑 寿一郎（千代中学校）

佐野 智子（豊川保育園）

大川 晋作（豊川小学校 PTA）

椎野 隆司（西成田自治会）

土田 寛仁（豊川連合青少年育成協議会）

栢沼 茂治（豊川体育協会・成田育成会）

柳川 ひとみ（豊川小学校）

西澤 浩之（鴨宮中学校）

久昌 陽子（豊川連合子ども会育成会）

地域別計画

(平成28年度改定)

～ 上府中地区 ～

上府中地区まちづくり委員会

地域のキャッチフレーズ

上府中 みんなで起こそう 地域の和

はじめの一步(住民自ら取り組むこと) ～ できることから始めよう ～

- 1 文化・教育**
 - ①文化の継承と発展が図れるまちづくり
 - ②地域のつながりを広げるまちづくり

- 2 生活環境・地域振興**
 - ①明るく安全な町並みづくり
 - ②安全で安心な元気なまちづくり
 - ③ごみのないまちづくり
 - ④人の気持ちを奮い立たせるまちづくり

- 3 健康・福祉**
 - ①世代間交流で生きがいづくりができるまち
 - ②健康づくり活動が盛んなまち
 - ③高齢者、生活弱者とのふれあうまちづくり
 - ④子育てが楽しいまちづくり

1 文化・教育

【めざす姿】

①文化の継承と発展が図れるまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地域に継承されているお祭りや祭囃子をはじめ、有形、無形の文化財や遺跡が多く、また、公民館行事として文化展などが開催されています。</p> <p>しかし、地域の大切な文化が、地域に新たに入ってきた人や若い人に知られていない、祭囃子の指導者・後継者が不足しているなど、文化の継承が危うくなっています。</p> <p>まちづくり委員会では「郷土の遺跡・史跡ガイドマップ」を作成し、「子ども達の郷土愛醸成」「世代間交流」「健康増進」のため、各種行事を計画しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会や健民祭、納涼祭、学校の行事などに祭囃子の発表をできる機会を作ることで、祭囃子への関心を高めていきます。指導者・後継者の育成、技術の向上については、仕組作りなどを含め検討していきます。 ・各公民館で行っている文化展を継続し、それぞれの開催日や内容の案内、共通の事業を検討するなど交流の促進を図っていきます。上府中地区全体での文化展については、各地区での開催日が異なるなど地区特有の事情があり、解決すべき課題が多く、引き続き検討していきます。また、神輿・山車曳行事などの文化行事についても同様であり、合同開催についてはどういう形態で可能か引き続き検討することにしていきます。 ・「郷土の遺跡・史跡ガイドマップ」を活用した各種行事を継続実施し、地域の文化財に対する理解を深め、次世代に継承していきます。また、子ども達の歴史遊びなど、スクールコミュニティ事業の活性化も図ります。

【めざす姿】

②地域のつながりを広げるまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>健民祭や史跡巡り、歴史遊びなど多くのイベントを開催しており、各種団体、小中学校などとの連携を強化することによって、参加者増加へ向けての仕組作りをしています。将来的には各自治会単独では開催困難になるイベントを上府中地区全体でできるよう、検討していく必要があります。</p> <p>子どもの人数が増えているにもかかわらず、子ども会の加入率が低下して</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健民祭をはじめ、スポーツを中心とした活動が地域に根付いています。また、史跡巡りや歴史遊びを介した地域、世代間交流を継続実施し、幅広く参加してもらえるようにし、更なる地域活性化を図っていきます。 ・各種団体イベントの参加募集を自治会の回覧だけでなく、子ども会の回覧や学校との連携を図り、参加者を増やす工夫や努力をしていきます。 ・運動会、ほたる田まつり、ふれあい給食などの学校行事に参加し、交流を深めていきます。小中学

<p>おり、子どもと地域との関わりが少なくなってきました。また、宅地開発が進んだことで、風車の騒音や長いポールが強風で倒れた場合の危険性から、子どもの日に鯉のぼりがなかなか見られません。</p>	<p>校と定期的に情報交換を行い、地域の人が参加しやすい環境作りを推進します。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会を介した各種団体との情報交換を継続していきます。 ・使われていない鯉のぼりを回収し、行政、小学校のPTA、おやじの会などと連携して酒匂堰に鯉のぼりを揚げることを検討します。
	<ul style="list-style-type: none"> ・当面は現在計画している案件を最優先し、将来的な運営方法を検討していきます。

2 生活環境・地域振興

【めざす姿】

① 明るく安全な町並みづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>防災訓練は、毎年大勢の人が参加し、継続して行われています。また、防災訓練時だけではなく、納涼祭、祭典などでのテントの設置、発電機、投光器の使用を通し、有事の際に対応できるように訓練しています。</p> <p>煙検知器の設置については「高齢者の見守り」をベースに、隣近所で注意喚起の呼びかけをしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練がさらに充実したものになるよう、行政や消防団第19分団と連携し、今後も多くの人に興味を湧く工夫をしていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回の防災訓練以外での資機材使用の訓練を継続するとともに、資機材の定期点検などを行っていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・煙検知器の設置から10年が経過し、交換時期が来た家庭への交換促進をしていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器事故の注意については、回覧、安全教室を開催するなどして改善していきます。
<p>まちづくり委員会で「安心安全マップ」を作成し、地域内の危険箇所などを周知しています。</p> <p>しかし、防犯灯が少ない場所や防犯灯の球切れなどによる危険な道もあり、住民の安全確保のために検討を進めていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、PTAなどとの定期的な交流を通して防犯灯必要箇所を洗い出し、市に要望を出していきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体などとの連携による定期的な防犯パトロールの実施と「安心安全マップ」を活用した駐在所の警察官による巡回を継続していきます。また、パトロールで見つけた危険箇所を「安心安全マップ」に反映させ、周知していきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者の見守り」をベースにした隣近所のコミュニケーションの充実と見慣れない人のチェックを継続し、不審者情報の共有ができるように検討していきます。

【めざす姿】

②安全で安心な元気なまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地区全体で、自主的なボランティアによる登校時の見守り活動を行っています。また、見守り活動のメンバーには腕章やベストを貸与しています。メールを活用し、事件事故・風水害などの情報を迅速に伝達できています。</p> <p>交通安全教室の開催、通学路の点検を実施し、事故をなくすことに努めていますが、道路の整備状況が悪く、子ども達の通学時の安全が確保されていません。また、横断歩道で車が停止しない、子どもが飛び出すなど交通マナーが守られていないケースがあり、交通事故が減らないのが現状です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 登校時の見守り活動は、定着してきているので、各団体などへ呼びかけてメンバーの拡大を図ります。
	<ul style="list-style-type: none"> 見守り活動とあいさつ運動による隣近所のコミュニケーションの充実強化、交流の活発化を継続実施していきます。
	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が見守り活動に参加することで、高齢者と子どもの交流を図るとともに、外に出ることで高齢者の健康を維持する効果も得られます。また、サロン活動を介して高齢者に呼びかけ、見守り活動・あいさつ運動に参加してもらい、子ども達とのふれあいの場を持てるようにしていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> PTA 地区懇談会、交通安全対策協議会などを介して危険箇所の除去のための要望書の提出、「安心安全マップ」の充実強化を図っており、今後、看板の設置などはまちづくり委員会の分科会で検討をしていきます。
<ul style="list-style-type: none"> 各地区での交通安全教室の開催、通学路の点検は継続実施し、上府中地区全体としての交通安全教室の開催を検討していきます。また、学校と連携して、下校時の見守り活動も実施検討します。 	

【めざす姿】

③ごみのないまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>田畑が多く、自然環境に恵まれており、住宅も密集感がなく、住環境が良い地域です。</p> <p>各地区で年1~2回の環境整備活動を実施し、不法投棄物の回収などを行い、住環境の保全に努めており、ルール順守などの看板も設置しています。また、中学生作成の環境美化のポスター掲示を行い、意識の向上に努めてい</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各地区で行われている環境整備活動と、消防団第19分団と連携した月1回の巡視を継続して行うことで、まちをきれいにし、ごみを捨てにくい環境づくりを行い、良好な住環境を守っていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> 環境パトロールが実施しやすくなるよう、腕章やスタッフジャンパーなどの支援を検討します。
	<ul style="list-style-type: none"> 上府中地域のごみの分別結果や「環境衛生マップ」などを回覧することでルールの周知徹底を行い、

<p>ます。</p> <p>しかし、川や道路、農地などへのごみのポイ捨てやごみ置き場のルールを守らないなどのマナーが守られていないケースも発生しています。</p> <p>森戸川でごみの不法投棄があり、また河床には草が繁殖して、大雨時に氾濫する可能性があります。関口川も汚れが目立ち、浄化をする必要があります。</p>	<p>個人の意識向上を図るとともに、一人ひとりがごみの減量について考えるように促します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森戸川、関口川の環境整備はプロジェクトを立ち上げ、行政・学校・地域の方々と連携して定期的に環境整備を行います。また、河川へ魚の放流をすることで浄化を検討し、合わせて小学校高学年の環境教育に結び付けていきます。
--	--

【めざす姿】

④人の気持ちを奮い立たせるまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地域の祭りやスポーツを通じた行事などが盛んで、住民同士の交流が図られています。</p> <p>しかし、ライフスタイルの変化や地域活動への意識の変化により、行事を主催する団体役員になりたがらない人が増え、担い手不足が大きな課題となっています。また、行事への参加者が固定化する一方、行事に無関心な人が増えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体のイベントをチラシなどで案内することで、より多くの人に参加していただけるよう PR し、地域の行事を通じて住民の交流を図っていきます。 ・団体の役員の業務の負担と責任の分散化ができるような仕組作りを検討し、役員候補者の掘り起こしをしていきます。 ・新たな事業を行うときには何かを廃止するなど、時代に合った事業展開ができるよう検討を進め、担い手が運営しやすく、より多くの人に参加しやすい持続可能な地域活動にしていきます。 ・新規転入者に対して、各種イベントのチラシなどにより参加の勧奨をし、地域に溶け込んでもらうなど、地域のつながりを強いものにするよう工夫していきます。 ・見守り活動、あいさつ運動、サロン活動による住民同士のコミュニケーションを図り、気軽に声をかけ合い、助け合えるまちづくりを進め、地域活動の活性化を図ります。

3 健康・福祉

【めざす姿】

①世代間交流で生きがいづくりができるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>健民祭や敬老会をはじめ、地域のお祭りなど、世代間交流が盛んに行われ、また、昼食会などを通じて高齢者や障がい者との交流を行っています。</p> <p>しかし、子どもや若い人との交流がまだ少ないようです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健民祭や敬老会、防災訓練などの行事を通じて、子どもから高齢者までの交流を増やし、高齢者や障がい者などを支える環境を整えて行きます。中学生の敬老会への参加者を増やし、高齢者とのふれあいの場を増やしていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡巡りハイキングを複数コースで行い、付加価値としてふれあい美化活動を定期的に行い、郷土愛を深めるとともに幅広く参加者を募り、世代間交流を推進していきます。 ・世代間交流ハイキングなどを通じて、健康維持・増進を図っていきます。また、子ども会への参加を推進していきます。地区のお祭りでは子ども会・自治会・老人会・民生委員などが連携して交流を推進していきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治会で交流を重ね、地域で支え合う環境を作っていきます。

【めざす姿】

②健康づくり活動が盛んなまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>体育協会の活動をはじめ、グラウンドゴルフや体操教室など多くの健康づくり活動が行われています。</p> <p>しかし、地域でどのようなサークル活動が行われているか知られていない面もあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育協会の活動をはじめ、任意のグラウンドゴルフなどを応援します。また、年齢に関係なく各地でラジオ体操を行います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でどのような活動が行われているか、各種サークル活動を回覧などで周知し、活動を広げていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・健康おだわら普及員・地域包括支援センター・行政と連携して各種健康教室への参加を呼びかけ、健康づくりに取り組んでいきます。また、各種団体が連携して健康維持活動を取りまとめて案内をし、幅広く参加してもらうとともにメニューの追加を検討してもらいます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・健康おだわら普及員からのお知らせなどを継続し、

	身近な健康について気軽に相談できる体制を作っていきます。
--	------------------------------

【めざす姿】

③高齢者、生活弱者とのふれあいまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>障がい者との昼食会、一人暮らし高齢者との昼食会、配食などを行っており喜ばれています。</p> <p>しかし、要支援の人に対する支援活動がまだ不十分です。一人暮らしの人への支援活動はさらに必要となっています。</p> <p>老人会に加入している方はもちろんのこと、一人暮らし高齢者にサロン活動への参加の声掛けをし、隣近所との交流を図っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・老人会では、寝たきりの会員に対しては友愛訪問を実施し、米寿のお祝いを市老連、上府中老連、単位クラブなどで実施しています。今後も継続して実施していきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも気楽に立ち寄れるサロン活動を行います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員やボランティアクラブが連携し、一人暮らし高齢者や寝たきりの方を訪問し、交流を図るとともに安否確認を行います。また、防災袋の中身の期限切れを確認し、見守り体制を構築していきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者、障がい者が孤独にならないように支えていき、隣近所で声をかけ合えるような地域にしていきます。 ・将来的には生活弱者（買い物、ごみ出しなどの日常生活で困っている人）の手助けを有料で代行する体制を構築していきます。現状では対応できない事柄について体制構築を図っていきます。

【めざす姿】

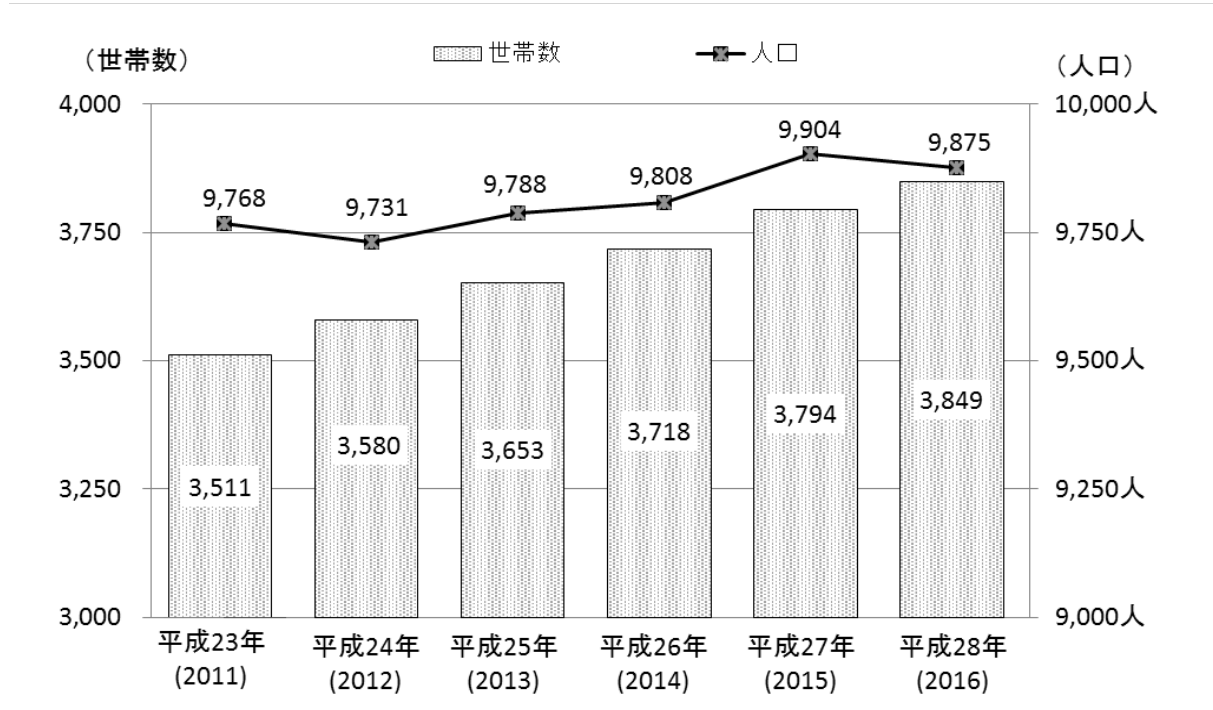
④子育てが楽しいまちづくり

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>核家族化が進み、育児世代が悩んでしまうケースが増えています。</p> <p>社協だよりなどを通じて子育て支援事業を応援しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員が子育て広場（アイアイ）と高齢者とのふれあい広場を開催し、子どもの遊ばせ方の指導や子どもの健康状態の確認を行うとともに保護者同士や地域の方が情報交換できる活動を年間通して行っていきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で気軽に子育ての悩みを相談できる人がいることや、子育て支援の活動を多くの人に知っていただくため、開催日時、場所などの回覧、掲示を継続実施するとともに、子育てしている親に幅広く知ってもらう方法を推進していきます。

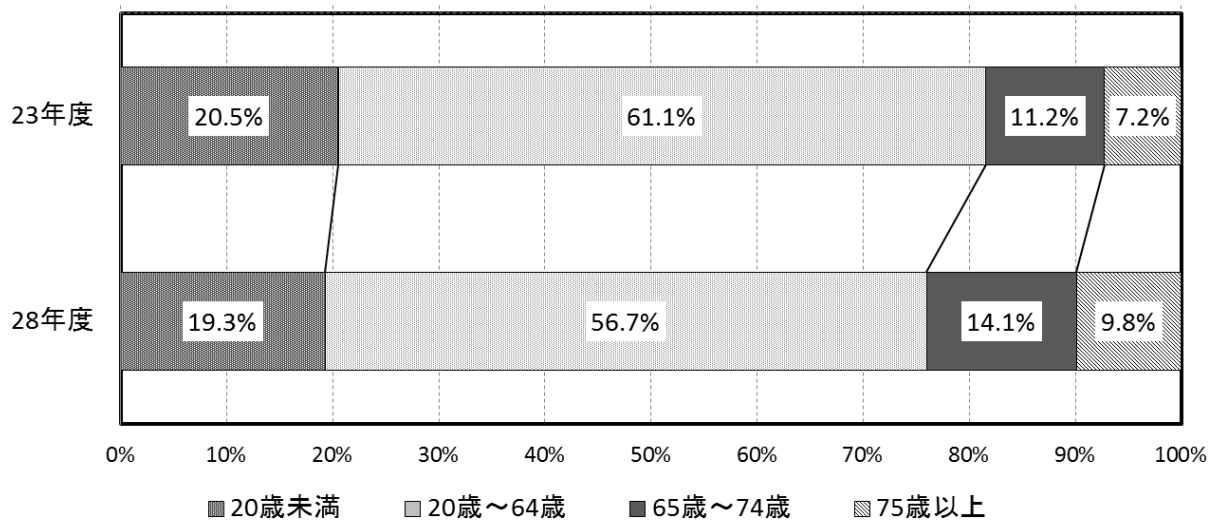
参考資料(上府中地区)

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

人口と世帯数の推移



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



上府中地区まちづくり委員会における検討経過

- 平成 28 年 4 月 27 日 地域別計画の見直しについて説明
- 5 月 27 日 地域別計画の個人見直しシート、各分科会まとめシートを配布
- 9 月 29 日 たたき台として、委員長が全分野に対する意見を記入した見直しシートを会議の場で全委員へ配布
各分科会で協議
- 10 月 27 日 各分科会で協議
- 11 月 25 日 各分科会で協議
- 12 月 15 日 各分科会長から見直し計画(案)を発表してもらい承認、見直し作業終了

上府中地区まちづくり委員会

顧問

大友 昭夫（小田原市老人クラブ連合会）

委員長

沖山 明（上府中地区自治会連合会会長・高田別堀西自治会会長）

文化・教育分科会

安楽 順之（上千代自治会理事）

高橋 和夫（下千代自治会会長）

栗飯島 美津久（高田別堀南自治会会長）

伊藤 立（上原自治会会長）

小林 勲（永塚自治会）

古宮 研三（西大友自治会会長）

白木 章（民生委員児童委員協議会 ～11/30）

長谷川 住子（主任児童委員 ～11/30）

関田 智彦（青少年育成協議会会長）

山崎 かおり（連合子ども会副会長）

磯崎 衛（老人クラブ連合会会計）

栗畑 寿一朗（千代中学校校長）

生活環境・地域振興分科会

杉崎 一博（ボランティアクラブ会長）

二見 武夫（高田別堀東自治会会長）

小池 規雄（上千代自治会会長）

小宮 邦雄（永塚自治会会長）

吉本 順（東大友自治会会長）

内藤 勝吉（民生委員児童委員協議会）

山崎 敏博（少年補導員）

吉田 和枝（体育協会副会長）

川口 トヨ子（日赤奉仕団団長）

樋渡 美智子（交通安全母の会会長）

宮川 晃（千代小学校校長）

田邊 周一（消防団第19分団分団長）

竹村 秀晃（上府中駐在所）

健康・福祉分科会

山下 皓久（地区社会福祉協議会会長）

高野 昭芳（民生委員児童委員協議会会長）

生沼 豊（延清自治会会長）

長谷川 トキ子（地区社会福祉協議会副会長）

松嶋 克夫（民生委員児童委員協議会監事 ～11/30）

木村 絹代（民生委員児童委員協議会副会長 ～11/30）

小塩 千恵（民生委員児童委員協議会会計）

磯川 昌子（ボランティアクラブ副会長）

高橋 亮子（ボランティアクラブ会計）

鈴木 勝（遺族会支部長）

松田 純子（健康おだわら普及員代表）

小泉 郁夫（老人クラブ連合会会長）

伊東 修吉（老人クラブ連合会副会長）

石綿 理枝（第五地区地域包括支援センター）

地域別計画 (平成28年度改定)

～ 曾我地区 ～

地域のキャッチフレーズ

緑と歴史遺産を誇り、富士を仰ぐ長寿の里“曾我”

はじめの一步(住民自ら取り組むこと) ～ できることから始めよう ～

I 安心・安全なまちづくり

1 災害への備え

日頃の備えで災害に強いまち

2 「互助」の仕組みづくり

「自助」「互助」の精神が根付き、地域防災力の高いまち

3 犯罪を防ぐ「見守る目」

お隣同士の良い関係、つくって守る安全・安心なまち

4 交通安全への取り組み

「高齢者や子どもを交通事故から守る」意識の高いまち

II 健やかで安心して暮らせるまちづくり

1 支え合いの取り組み

福祉の活動を伝え、地域が支えあえるまち

2 健康づくりへの取り組み

体力づくりと仲間づくりで健康な人々が住むまち

3 高齢者への見守りとふれあいの取り組み

高齢者への支えと見守りの厚いまち

III 良き資産を次代に繋ぐまちづくり

1 美しいまちを守る取り組み

曾我の美しい自然環境を守り伝えるまち

2 わがまちの誇りを伝える取り組み

伝統行事を通じ、地域世代間の交流が活発なまち

3 特色を活かした取り組み

地域を知り地域の特色を活かし地場産業の活性化を図るまち

4 地域のきずなを活かした取り組み

子どもから高齢者まで顔が見える繋がりのあるまち

IV 生きがいのあるまちづくり

学びあいとふれあいが充実しているまち

V 継続性のある地域別計画の推進

皆で作った地域の計画を、皆で推進させよう

I 安心・安全なまちづくり

1 災害への備え

【めざす姿】 日頃の備えで災害に強いまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>【特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 曾我地区防災訓練には、多くの人が参加し、防災に対する意識を高く持っています。また、地元企業の協力もあり、水害の訓練も行っています。 ◆ 災害時に備えて、各自主防災組織ごとに独自に各世帯状況等の情報の把握を行っています。 ◆ 曾我地区の一部では、自治会を中心に拍子木を使った火災予防活動を行っています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 曾我山や酒匂川があり、地震や風水害、山火事などへの備えが必要となります。特に、地震発生時の建物や大谷石の塀の倒壊、液状化現象、酒匂川氾濫による土石流などの水害への対応策、崖崩れの危険箇所等の把握、災害時の中河原配水池の安全性、山火事発生時の防災対策などが求められています。 ➤ 年々高齢者や単身世帯が増加しており、災害発生時の対応で、動けない人をどうしたらよいかなど、心配なことが多くあります。 ➤ 新たに「土砂災害警戒区域」や「特別警戒区域」が設けら 	<ul style="list-style-type: none"> * 災害による被害を少なくするため、引き続き、曾我地区防災訓練の実施や防災用具の整備を行うとともに、自主防災組織の更なる充実を図っていきます。また、防災訓練を通して、誰もができる初期消火や消火器の使い方を学び、火災などの災害に備えていきます。 * より多くの地域住民が曾我地区防災訓練に参加するように引き続き呼びかけるとともに、当日参加できなかった方に対して、「誰もが出来る初期消火や消火器の使い方」などの情報提供の方法や、防災意識の共有化の方法を検討します。 * 避難体制の変化や、昨今危険度の高まっている地震に対しての対応を含め、防災訓練の内容や、回数、自主防災組織ごとの防災訓練の実施などを検討します。 * 災害時の安否確認の方法や、動けない人への対応などを検討します。 * 災害時に本当に必要なことは何かを住民たちで話し合い、毎年の防災訓練に反映していきます。その中で、より実用性のあるタオルなどを使用した応急救護の訓練の実施を検討します。 * 防災に関する日頃の備えについて、住民への啓発活動を充実させます。 * 発災時における被害の軽減と世帯状況の把握などのため、平常時においては、個人情報保護の必要性も意識しながらも、各世帯状況等の情報の提供についての理解を求めていきます。また、収集した情報についての更新について、検討します。

<p>れ、災害時の避難体制が変化しており、また、酒匂川流域を中心とした水害も含め、それらに対応した対策や避難訓練の実施が求められています。</p> <p>➤ 地域全体として行っている防災訓練には、多くの人が参加しますが、毎年決まった方が参加する傾向にあり、地域全体で防災意識の共有化がされていません。</p> <p>➤ 災害時想定道路用水路が多く、新道も出来、道普請の作業負担も増しているため、管理等の見直しが必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 災害時に備えて、各自主防災組織で各世帯状況などの情報の把握を行っていますが、曾我地区全体での情報共有を検討します。 * 引き続き、定期的に草刈や枝下ろしなど、山道の清掃や、道普請を行います。また、所有者や地権者にも日ごろの管理をお願いし、山火事発生時や台風等に、迅速に対応できるように管理をしていきます。 * 市と情報交換を行いながら、消火器設置場所の周知を行い、火災発生時に初期消火による被害拡大防止に努めます。 * 防災班の再確認と共に、放送スピーカーの不良のチェックを行っていきます。 * 防災知識の啓発活動を続けていきます。また、他県の実体験等を取り入れ、防災知識の充実を図ります。 * 自治会連合会では、毎年地域の要望を市や県へお願いし、協議を行っています。その最重要項目の砂防工事について、早期着工を目指していきます。
--	--

2 「互助」の仕組みづくり

【めざす姿】 「自助」「互助」の精神が根付き、地域防災力の高いまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>【特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 山火事などの災害に対応する自治消防があり、加入が義務付けられています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 自主防災組織や消防団の必要性に対する地域住民の意識が低くなっています。 ➤ 消防団員の確保が難しくなっています。また、地域外に勤務する団員が多く、昼間時に災害が起きたときの体制が心配です。 	<ul style="list-style-type: none"> * 災害時における「互助」の考えから、自主防災組織や消防団の必要性や重要性を地域の人に引き続き周知するとともに、中高生にも協力を求められるように、学校や保護者と連携しながら生徒の意識を向上させていきます。しかし、二次災害を防止する意味から動員については慎重に検討していきます。また、自治会と消防団の連携を密にしながら、性別や年齢要件の緩和などを検討し、団員の確保に努めていきます。 * これらの行動指標を地域住民に周知するとともに、次年度に確実に引き継いでいきます。

<p>➤ 自主防災組織が高齢化しており、災害発生時に機能するか不安です。</p>	<p>* 災害時に的確な指示を出せることができる地域のリーダーを育成していきます。また、自主防災任務分担に基づく業務マニュアルの作成や、定期的な訓練を行っていきます。</p>
--	---

3 犯罪を防ぐ「見守る目」

【めざす姿】 お隣同士の良い関係、つくって守る安全・安心なまち

<p>誇れるもの・困ったこと</p>	<p>できることから始めよう</p>
<p>【特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 青少年健全育成協議会のパトロールは、地区社会福祉協議会の会議で、見廻り箇所の協議をするなど、地域の連携を図りながら実施しています。 ◆ ミニ集会で高い塀を抑制するための協議や各家庭への注意・啓発などの防犯への取組みを行っています。 ◆ 犯罪発生状況など、社会福祉協議会の会議で、構成員である曾我駐在所から当地区及び市内他の犯罪や事故の報告があり、情報を共有して防止に努めています。 ◆ 青少年健全育成協議会主催で社会を明るくする運動、ミニ集会や、テーマに合った講師を依頼し講演会を実施し、子どもへの見守り活動の啓発を行っています。 <p>【課題】</p> <p>➤ 空き巣等の犯罪が発生し、地域住民の安心・安全な生活が脅かされています。地域の繋がりが弱くなることで、子どもへの見守りの目が薄くな</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 青少年健全育成協議会パトロールや防犯パトロールを継続しながら、地域の安全確保に努めるとともに、各家庭に空き巣等への注意と防犯対策の周知を行い、住民の意識啓発を図っていきます。また、防犯対策として、パトロールの時間帯やコースを検討し、その効果を検証していきます。 * 引き続き回覧を活用して、犯罪発生情報などを適時に伝えていきます。特に盗難や空き巣等の犯罪があった場合は、直ちに回覧を作成して各家庭に周知を図り、再発防止に努めます。また、併せて、迅速な情報伝達のため、携帯・スマートフォン等の利用を推進していきます。 * 地域の絆を強めることが、防犯への第一歩と考え、声かけやあいさつ運動の励行により、隣近所の協力体制を整え、地域の見守りによって、子どもの安全も確保していきます。また、防犯セミナーの実施等により防犯意識を高めていきます。 * 防犯灯は市に管理移管（LED照明化）され、自治会の負担が軽減されました。それに伴い防犯灯設置に対する市の補助金は廃止されました。自治会と市で話し合って防犯灯の設置をしていきます。また、防犯カメラの設置

<p>ることが心配です。</p> <p>➤ 夜道が暗く、安心して歩くことができません。また、通学路は交通量の少ない道路を選んでいるので、防犯面では不安なところがあります。</p>	<p>について、今後検討等していきます。</p>
---	--------------------------

4 交通安全への取り組み

【めざす姿】 「高齢者や子どもを交通事故から守る」意識の高いまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>【特色】</p> <p>◆ 通学路の安全確保のために、スクールゾーン対策協議会を設置し、通学路にある障害物の撤去などを依頼する活動を行っています。</p> <p>【課題】</p> <p>➤ 幅員が狭く歩道のない道路の交通量が多く、子どもが安心して学校に通うことができません。</p> <p>➤ 個人宅の生垣が道にはみだしているところがあって危険です。</p>	<p>* 新入学児童・園児を交通事故から守る活動や登下校時の見守り活動をはじめ、通学路の調査や点検を行って、行政や住民に対して危険箇所の改善や障害物の撤去などの働きかけを行っています。こうした活動を継続しながら、見守りの目によって子どもの安全を確保していきます。</p> <p>* 回覧の発行や交通安全教室、警察署で作成しているポスターの掲示などを通して、交通ルールの遵守と自らできる交通事故防止策を身に付けてもらうとともに、交通安全に対する意識を引き続き醸成していきます。</p> <p>* 教育の基本は家庭であることに鑑み、家庭教育の徹底を行うことで、子どもも交通ルールを学び、守ることを教えていきます。</p> <p>* 交通安全の向上のため、各種団体の役員等が行う下校時防犯パトロールの配置、時間等を検討していきます。</p>

II 健やかで安心して暮らせるまちづくり

1 支え合いの取組み

【めざす姿】 福祉の活動を伝え、地域が支えあえるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>【特色】</p> <p>◆ 自治会をはじめとした地域の主だった団体が社会福祉協議会の構成員となっており、毎月の会議が課題解決や情報共有、各種活動の調整などの場となっております。また、曾我地区みまもり委員会が発足され、一層の連携取組が進んでいます。</p> <p>【課題】</p> <p>➤ 高齢化が進み、これからは高齢者同士が支え合いをしていかななくてはなりません。</p> <p>➤ 民生委員や健康おだわら普及員、ボランティアクラブなどの地域福祉を支えるための担い手の数が不足しています。</p>	<p>* 曾我の連携強化のため、曾我地区社会福祉協議会の会議は、今後も継続していきます。また、本協議会の役員交代時には、十分な事務引き継ぎをし、事業の継続性、問題点の改善等、会運営の更なる充実を図ります。</p> <p>* 民生委員とボランティアクラブの連携を密にするなど、地域福祉の更なる充実に取り組むとともに、高齢者が高齢者を支える時代を迎える前に、行政が直接担う福祉への働きかけも視野に入れながら、地域福祉のあり方や具体策について引き続き検討します。</p> <p>* 子育て支援スタッフや民生委員、主任児童委員は、子育て支援の活動をしていますが、活動に対する認知度が低いので、引き続き回覧などにより活動の周知をしながら理解と協力を求めています。</p>

2 健康づくりへの取組み

【めざす姿】 体力づくりと仲間づくりで健康な人々が住むまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>【特色】</p> <p>◆ 曾我地区体育祭やペタンク活動、グラウンドゴルフ、体操教室、ヨガ教室、健康絆ウォークなどの体を動かす活動だけでなく、はつらつ健康相談やミニミニ健康デー、栄養教室などの「食」を含めた健康管理面の活動もあり、地域の輪と健康づくりのための活動</p>	<p>* 各種スポーツをはじめとする健康づくりの活動は、人々のふれあいと健やかで生き生きとした暮らしを支えるために、体育振興会や健康おだわら普及員を中心に今後も継続していきます。</p> <p>* 体操教室やミニミニ健康デーなどの健康活動については、遠くまで歩くことができない高齢者への対応や参加者を増やし、きめ細やかな対応をしていくため、保健師の助言と協力を得ながら、身近な自治会単位で</p>

<p>が行われています。特に曾我地区体育祭は多くの人に参加する曾我の代表的な行事の一つです。また、グラウンドゴルフクラブの運営など、運動とふれあいのできる場があります。</p> <p>【課題】</p> <p>▶ 日常生活における交通手段に自動車を利用している人が多く、運動不足は否めませんが、地域で気軽に参加できるサークルがないなど、時間に余裕のない人が運動をする機会がありません。また、農業従事者は、農作業で身体を動かしているため、さらに健康づくりを行うという意識が低くなっています。</p> <p>▶ 曾我地区体育祭は、参加者が高齢化し、また役員が出ていることが多く、参加者が増えず、種目を行うことも難しくなっています。特に若い世代の人の参加者が少なくなっています。また、参加しない人の中には、家に引きこもっている人もおり、こうした人たちに参加を促していくかが課題となっています。</p>	<p>の活動を検討していきます。</p> <p>* また、これらの活動を通じて、健康で長生きをするための効果を説明しながら、自らの健康は自らで維持していくということと、散歩、ラジオ体操などの気軽に行えることから、日常的に運動を行うような意識付けを図っていきます。</p> <p>* 曾我地区体育祭は、高齢者も楽しめるようなレクリエーション的な種目や子どもが参加できるような種目を増やすことを検討し、参加者数の増加に引き続き努めます。また、回覧だけでなく、各活動団体で声かけをしています。</p> <p>* 家に閉じこもってしまっている人には、まず仲間づくりが第一歩と考え、あいさつを中心に隣近所で声かけをし、地域との繋がりを深めていきながら、引き続き地域活動への参加を促していきます。</p>
---	--

3 高齢者への見守りとふれあいの取組み

【めざす姿】 高齢者への支えと見守りの厚いまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>◆ 一人暮らしの高齢者のために、安否確認などの見守り訪問をはじめ、配食サービスや昼食会</p>	<p>* 高齢者とのふれあい、あるいは支えあいをしていくために、高齢者への見守り活動を継続するとともに、気軽に参加できる体制</p>

(クリスマス会・梅見会)などの活動を行っています。また、高齢者同士が集まる旅行やサークル活動が盛んに行われています。

- ◆ 曾我地区みまもり委員会が発足され、更に各地区自治会単位に「みまもり隊」が編成され、高齢者の見守り体制が強化されました。

【課題】

- 高齢者同士が支え合うために、高齢者が集える場が大切となってきますが、老人会の加入率が地区ごとに格差が広がり、役員の担い手も少ない状況となっています。そのため、入会の実年齢が上がってきています。また、老人会だけではなく、自治会等の組織の中に、老若男女が一緒に楽しめる、趣味や学習会等を組織し、生涯学習を含め、高齢者の生きがいと健康増進を図る必要があります。
- 高齢者を支えるための各種活動を行っていますが、担い手も減り、また、対象となる人の中でも訪問等を嫌がる人もあって、サービス提供が難しくなっています。
- 若い世代が減少し、高齢化が進行しており、一人暮らし高齢者や高齢者だけの世帯も増えています。特に市営住宅における単身高齢者世帯の増加は顕著となっています。
- 曾我は、病院や商業施設が少ないので、年齢と共に足腰が弱く

づくりをめざすことで更なる充実を図っていきます。

- * 地域で高齢者を支えていくため、地域全体で老人会などをバックアップするとともに、誰もが老人会に楽しく参加できるような体制づくりを検討していきます。また、各公民館の開放など、日頃から高齢者が集える場所の確保を考えていきます。
- * 高齢者の日常生活支援のために、地域による送迎ボランティア活動の実施を検討していきます。その際は、支援や有償化、事故の補償などの考慮も必要です。また、併せて、民間やシルバー人材センター、行政などのサービスを理解し、その活用方法を周知していきます。

<p>なっている状況で、通院などにおける付き添いなどの問題もあり、このまま暮らしていくことができるのか心配です。</p>	
--	--

Ⅲ 良き資産を次代に繋ぐまちづくり

1 美しいまちを守る取組み

【めざす姿】 曾我の美しい自然環境を守り伝えるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>【特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 曾我山や酒匂川を有し、地域全域で富士山が見え、多くの生き物や草花に囲まれ、空気は澄み、人家が少なく清々として、落ち着いた佇まいがある小田原一良いところです。また、中小の清流にも恵まれております。 ◆ 曾我山の一部が「里地里山等保全区域」に指定され、曾我山の自然環境や景観の保護が行われています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 曾我山や農道などに家電製品、タイヤ、他の生活道具などの不法投棄があります。 ➤ 鳥獣による農作物や人的被害が心配されます。 	<ul style="list-style-type: none"> * 春夏の美化清掃や下水掃除・公園草取りなど、地区内清掃をはじめ、六地藏や宝徳松、熊野神社など、公共施設や自然環境だけでなく、歴史遺産の清掃を行っています。こうした活動を継続し、曾我の豊かな自然環境や歴史遺産を美しく保って次世代に引き継いでいきます。また、次世代の理解を深めるために、子ども会等と協力し、小中学生の参加も検討していきます。 * 不法投棄対策のため、引き続き美化推進委員によるパトロールなどを行っています。また、歩いている時にごみが落ちていれば回収するなど、地域住民一人ひとりの意識を向上させ、清掃活動の更なる充実を図り、まちをきれいにすることによって、ごみを捨て難い環境をつくっていきます。また、併せて、監視カメラや看板などの設置も検討していきます。 * 小田原市鳥獣被害防止対策協議会と連携し、侵入防止柵や電気柵の設置等を行うとともに、狩猟免許取得者を増加させ、直接、有害鳥獣を捕獲するなど、鳥獣被害を受けない環境作りを検討します。

2 わがまちの誇りを伝える取組み

【めざす姿】 伝統行事を通じ、地域世代間の交流が活発なまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>【特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 宝徳松や益田信世別荘跡をはじめ、白山神社、熊野神社や須賀神社など、曾我には伝統のある歴史遺産があり、また、それぞれの神社では祭典が行われて多くの人が集い、曾我の誇る地域コミュニティの原点となっています。 ◆ 鬼柳自治会の夏祭りや中河原自治会の盆踊りには、多くの人に参加し盛大に行われております。一方、夏祭りを止めてしまう地区もあります。 	<ul style="list-style-type: none"> * 三嶋神社祈念祭や宗我神社祭礼、導き地蔵祭典、どんど焼きをはじめ、納涼大会や夏祭りなどの伝統文化行事は、現在曾我に住んでいる人だけでなく、この地で生まれ育った人たちにとっても大切なものであり、また人と人とを繋ぐ交流の場として守っていきます。 * 祭り囃子は、「祭囃し保存会」が自治会の支援や役員、指導者の努力により、技術の向上、発表の場の拡大等、ますます活発な活動をしており、自治会や地元民間施設の夏祭り、梅まつりなどでも活躍しています。今後も引き続き、参加者の意識を醸成し、地域の活性化に繋げていきます。 * 曾我梅まつりを利用して、曾我の文化遺産・歴史資産を広報していきます。また、今後も開催していくために、地元負担の少ない運営方法の工夫や、内容の検討をしていきます。

3 特色を活かした取組み

【めざす姿】 地域を知り地域の特色を活かし地場産業の活性化を図るまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>【特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 米、梅、みかん、柿、梨などが栽培される農業中心の地域です。 ◆ 曾我梅まつりは、多くの人で賑わい、地域に活力を与えています。 ◆ 地域内のどこからでも富士山が見え、景観の優れた地域です。また、康岳寺や熊野神社などの歴史遺産や酒匂堰と鬼柳堰による豊かな穀倉地帯です。 	<ul style="list-style-type: none"> * 地産地消を活用し、高齢者や身体の不自由な人のために、ミニショップなどを開いて地域の特産物を販売する取り組みを引き続き検討していきます。こうした活動には、J Aや市との連携を図りながら、農業振興策との併用を考えていきます。 * 十郎梅ブランド向上委員会のように地域と市が連携して、曾我ブランドを生み、育てていき、魅力ある農業とするとともに、荒廃農地の解消や農業後継者の育成に取り組んでいきます。 * 農地の宅地化などによる土地の利活用は難しいので、まずは曾我の特色である「農」

<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 市街化を抑制する区域として宅地ができず、新たな世帯が増えません。 ➤ 農地等の荒廃・農業の後継者不足で山が荒れ、耕作放棄地に繋がっています。また、農業従事者が高齢化しています。 ➤ 商店がなく、高齢者化が進むと日常生活に支障をきたすのではないかと心配です。 	<p>を活かしたまちづくりなどによる地域振興策を検討していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 田植え・稲刈り体験やみかん・梅もぎ、花見などによって、曾我を体験し、食べて、遊んで満喫するという、「る（体験する）る（食べる）ぶ（遊ぶ）」を起こし、地域の活性化に繋げていきます。そのために、まずは「地域を知ろう」と題し、寺や史蹟めぐりなどのマップづくりをしていきます。 * 多くの参加があるウォークラリー大会や、健康絆ウォークを今後も開催し、地域の史跡などの資産を巡り、住んでいる人に曾我の自然や歴史を知ってもらいます。
---	---

4 地域のきずなを活かした取組み

【めざす姿】 子どもから高齢者まで顔が見える繋がりのあるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>【特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 隣近所の協力体制が整っていて、地域のコミュニケーションも密になっています。 ◆ 住民の出入りが少なく、顔なじみの人たちが多く住んでいるので、安心して暮らすことができる静かで緑に包まれた環境です。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 各自治会の高齢化が進んでいますが、加入をしていない集落の高齢化も進み、今後は地域で連携していく必要性があります。 ➤ 若い世代が増えず、小学校入学児童が減少しています。 	<ul style="list-style-type: none"> * 曾我地区自治会連合会や曾我地区社会福祉協議会が連携し、市の協力も得ながら、自治会連合会への未加入者との対話を図り、今後の方向性を模索していきます。 * 子どもがスポーツなどの地域行事に参加することで、人々と顔見知りになり、地域の見守りの中で、健全育成を図っていきます。その中でも、曾我地区体育振興会が中心となって開催している体育祭や、親子で楽しめるスポーツ大会などは今後も続けていきます。

IV 生きがいのあるまちづくり

【めざす姿】 学びあいとふれあいが充実しているまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>【特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ グラウンドゴルフ大会や日本舞踊などの生涯学習活動が盛んに行われています。また、パークゴルフ、ペタンク、ハイキングなどの体育事業を推進しています。 ◆ 曾我小学校では、地域の文化の拠点となるように、学習発表会、アウトリーチをはじめ、多くの地域の方に学校を開いています。 ◆ 地域によっては、毎年ふれあい会を開催して、地域の人々が作成している作品を展示して、地域の人に見ていただき、親睦を図っています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 各地区に公民館があつて、生涯学習への環境は整っていますが、生涯学習活動などへの参加者は同じで、なかなか広がっていきません。 	<ul style="list-style-type: none"> * 各種活動への関心を高めるため、広報活動の活性化をするとともに、曾我地区全体の文化的交流を図るため、曾我地区連合公民館長会議の開催を検討していきます。 * 公民館活動を広く広報することで、参加者を増やしていきます。また、併せて、生涯学習のノウハウの蓄積や、ニーズの把握を行っていきます。

V 継続性のある地域別計画の推進

【めざす姿】 皆で作った地域の計画を、皆で推進させよう

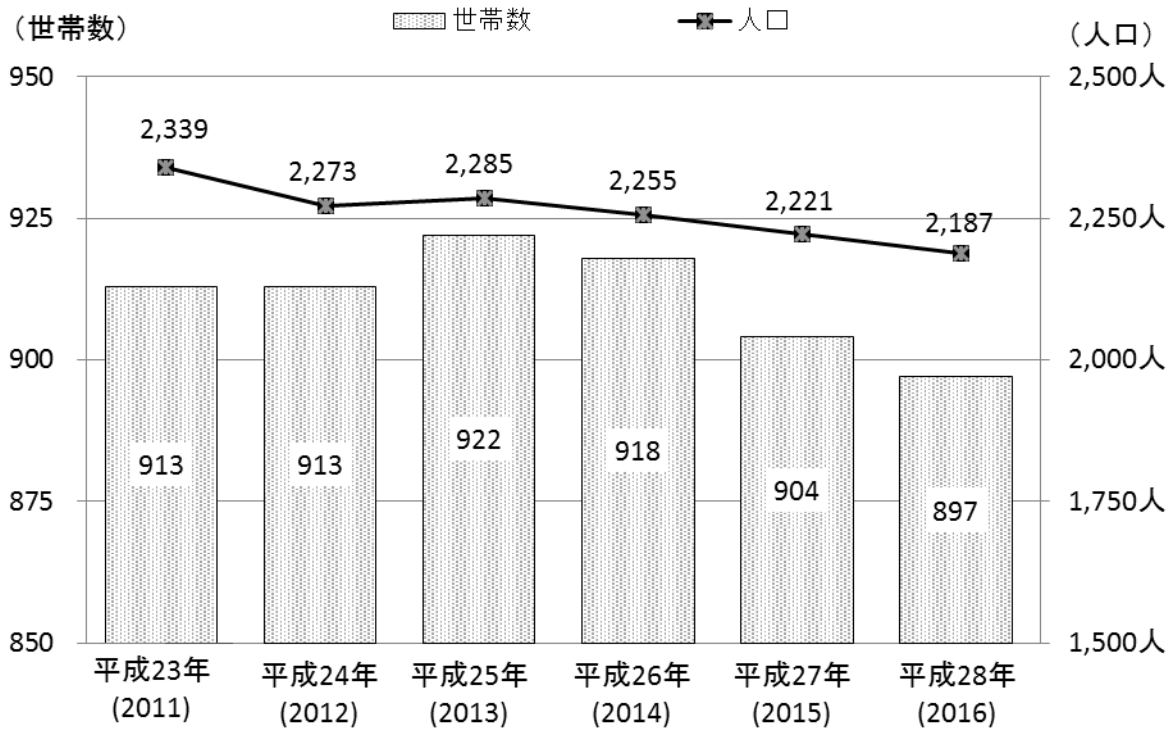
誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>【特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 曾我地区に係る地域別計画の策定は、曾我地区社会福祉協議会の構成員を中心とした「曾我地区まちづくり検討委員会」により作成されました。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 曾我地区社会福祉協議会の役 	<ul style="list-style-type: none"> * 曾我地区みまもり委員会を中心にできることから計画の推進を図っていきます。また、各団体の総会等で次年度への引継ぎを行い、計画の継続性を促していきます。

<p>員、構成員の大部分が1～2年と短期間で交代するため、地域の取り組むべき課題が次年度の役員、会員に継続しにくい状態です。取り組むべき内容が社会福祉協議会構成団体の権限を越えているため、実現が困難な課題が多いと思われます。</p>	
--	--

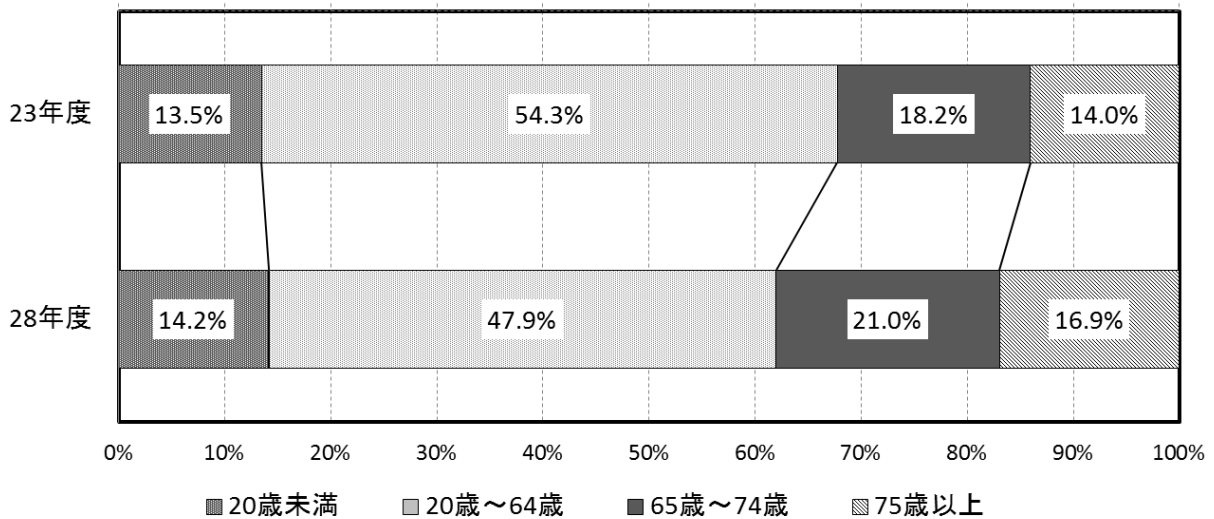
参考資料(曾我地区)

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

人口と世帯数の推移



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



曾我地区社会福祉協議会における検討経過

会議	日程	内容
社協定例会	7月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域政策課が地域別計画の見直し作業の説明 ・見直しシートを各委員に配布 ⇒各委員は持ち帰って、回答を作成
社協定例会	8月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域政策課が見直しシートを回収 ⇒後日、地域政策課が回答を集約し、【見直し結果（案）】を作成
代表者打合せ	10月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者が【見直し結果（案）】を確認 (代表者：自治会3役、社協3役、みまもり委員会3役)
社協定例会	10月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・【見直し結果（案）】を各委員に配布 ⇒各委員は持ち帰って、内容を確認
社協定例会	11月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で【見直し結果（案）】の内容を基に、協議 ⇒全体承認

平成28年11月作成

曾我地区社会福祉協議会（平成28年11月現在見直しメンバー）

会長 前場 利己（曾我大沢自治会会長）
副会長 渡辺 勉（下大井自治会会長）
副会長 長田 康子（民生児童委員協議会会長）
会計 柳川 貢（上曾我自治会会長）

理事

新鹿 勲（花里住宅自治会会長・自治会連合会会長）	水野 和美（民生委員）
柏木 茂高（中河原自治会会長・自治会連合会副会長）	市川 美江（民生委員）
杉崎 光由（鬼柳自治会会長・自治会連合会会計）	長谷川 美津子（民生委員）
秋本 武男（籠場住宅自治会会長）	前場 典子（民生委員主任児童委員）
柿澤 広明（春木住宅自治会会長）	小野間 伊都子（民生委員主任児童委員）
山元 重治（民生委員）	浜松 光子（ボランティアクラブ代表）
星野 千恵子（民生委員）	

評議員

柏木 圭介（中河原自治会副自治会長）	高橋 美佐子（健康おだわら普及員）
鳥居 和郎（上曾我自治会副自治会長）	山崎 敦子（健康おだわら普及員）
関野 栄（曾我大沢自治会副自治会長）	三橋 雅幸（曾我小学校校長）
小泉 清一（下大井自治会副自治会長）	枝野 充宏（曾我小学校PTA会長）
小野間 正洋（鬼柳自治会副自治会長）	鳥居 明男（老人クラブ連合会会長）
平田 和子（籠場住宅自治会副自治会長）	高橋 幸男（体育振興会会長）
萩原 恵美子（籠場住宅自治会副自治会長）	渋谷 守道（消防団第21分団分団長）
今野 文男（春木住宅自治会副自治会長）	柏木 良子（青少年健全育成協議会会長）
金阿弥 一男（花里住宅自治会副自治会長）	杉田 久夫（交通安全協会曾我支部支部長）
柏木 郁夫（地区代表【連絡員】）	根本 千穂（連合子ども会会長）
柏木 一彦（地区代表【連絡員】）	

オブザーバー

水口 隆義（曾我駐在【警察官】）
 波多野 俊雄（小田原警察署防犯指導員）
 菊地 進（小田原警察署少年補導員）

地域別計画

(平成28年度改定)

～ 下曽我地区 ～

下曽我地区団体運営協議会

地域のキャッチフレーズ

梅かほる歴史の郷 下曽我

はじめの一步（住民自ら取り組むこと） ～ できることから始めよう ～

1 安全なまちづくり【児童の健全育成・防犯・防災】

- ・助け合う心が身を守る

2 曽我の里づくり【地域振興・文化・環境美化】

- ・下曽我が誇る、豊かな自然、史跡、祭りなどの地域資源を活かして、ふれあいや交流のあるまちづくり
- ・曽我の里の風土を多くの人とともに伝えていく

3 下曽我ケアタウンづくり【福祉・健康づくり】

- ・ふれあう人の輪、元気な下曽我

はじめの一步(住民自ら取り組むこと) ~ できることから始めよう ~

I 安全なまちづくり【児童の健全育成・防犯・防災】

【めざす姿】

助け合う心が身を守る

1 児童の健全育成（挨拶運動・交通安全）

活動状況	これからの課題・活動計画
<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全と挨拶運動は同時的なものとして児童の見守りを実践している ・小学校と交通安全母の会が箇所、人数、時間を調整し組織編制して実施している ・各種団体のイベント時には、極力大人の方から実行することを呼びかけている ・小学校では、生徒へ挨拶の励行を指導している 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の会議等における懇話、回覧、学校広報等で、さらに活動メンバーの拡大を図る ・「児童の健全育成」を「交通安全」「挨拶運動」ととどめず幅広く解釈し、小学校が主催する校外学習への協力など、地域と学校の連携教育を図る

2 防犯

活動状況	これからの課題・活動計画
<ul style="list-style-type: none"> ・自治会長会議へ駐在所が出席して情報交換を行っている ・防犯ベストの着用拡大等で地域内へのPRを図り、抑止力を強化している ・PTAでは、子どもほっとステーションの取組を実施している（80世帯） 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡網を作成し、スムーズな情報の共有化を図る ・放送設備の活用を検討する ・健全育成協議会を中心にした、地域全体のパトロールの体系化を図る ・少年補導員、防犯指導員、健全育成会など、同種の組織団体間の連携の明確化を図る

3 防災

活動状況	これからの課題・活動計画
<ul style="list-style-type: none"> ・全地区での安否確認訓練の実施など、訓練に工夫を重ねている ・一部の地区では、小中学生を巻き込んだ訓練が実施されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生の活用等、訓練内容の充実化を図る ・消防団・防災リーダーとの連携を強化し、防災訓練の充実化を図る
<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織を活用し、地区の現状に見合った資機材整備、意識向上を図っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害をシミュレーションし、自主防災組織の再点検ならびに自主防災組織間の連携方法を検討する ・自主防災組織の資機材の点検と補填を行う
<ul style="list-style-type: none"> ・広域避難所運営委員会では、班別に話し合いを行いながら下曾我小学校における避難所運営方法を検討している 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域避難所資機材の定期点検を行う ・広域避難所の運営方法の検討及び事例研究を行う

II 菅我の里づくり【地域振興・文化・環境美化】

【めざす姿】

下曾我が誇る、豊かな自然、史跡、祭りなどの地域資源を活かして、ふれあいや交流のあるまちづくり

菅我の里の風土を多くの人とともに伝えていく

1 地域振興（各種行事・地域活性化）・文化（地域資産の継承）

活動状況	これからの課題・活動計画
<ul style="list-style-type: none"> ・宗我神社の祭礼は、歴史的に事実上自治会主導で整然と無理なく実施されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統、文化活動の参加者の固定化打開のため、転入者や若い世代へ参加を呼びかける
<ul style="list-style-type: none"> ・梅まつりは、梅まつり実行委員会が中心となり、市の観光課、観光協会とタイアップしての流鏝馬神事など、恒例行事が実施されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の梅まつりとして発展していくよう、各地区のまつり体制の体系化を図る

活動状況	これからの課題・活動計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ 曾我兄弟遺跡保存会では、日頃から他地域との交流を図りながら遺跡保存に関する研究をしている ・ 主に「傘焼き祭り」の開催や、「小学校探検ウォーク」への支援を通して、歴史継承活動をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種団体が連携し合い、歴史継承や遺跡保存活動を地域全体で強化していく
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の課外授業である「探検ウォーク」等を通して、各種団体と小学校との連携が強化されてきている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史だけに限らず、下曾我地区の農業や産業も子ども達へ伝えていけるよう、取組を拡大していく

2 環境美化

活動状況	これからの課題・活動方針
<ul style="list-style-type: none"> ・ 下曾我応援団ふらむによる竹林伐採が継続している ・ 土地改良区、梅の郷環境保全会、自治会による定期的な環境保全、美化活動を展開している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 六本松等景勝地の管理方法を検討する ・ ふらむ等による休耕地などの地域活性化プロジェクトに対する協力を行う ・ ふらむの自然観察会に対して協力する ・ 環境美化推進員を有効活用し、地域全体での環境保全の活動を明確化させる ・ 梅の郷環境保全会は農地保全が主体であるが、住宅地への付帯的な活動としての展開を検討する

Ⅲ 下曽我ケアタウンづくり【福祉・健康づくり】

【めざす姿】

ふれあう人の輪、元気な下曽我

1 福祉

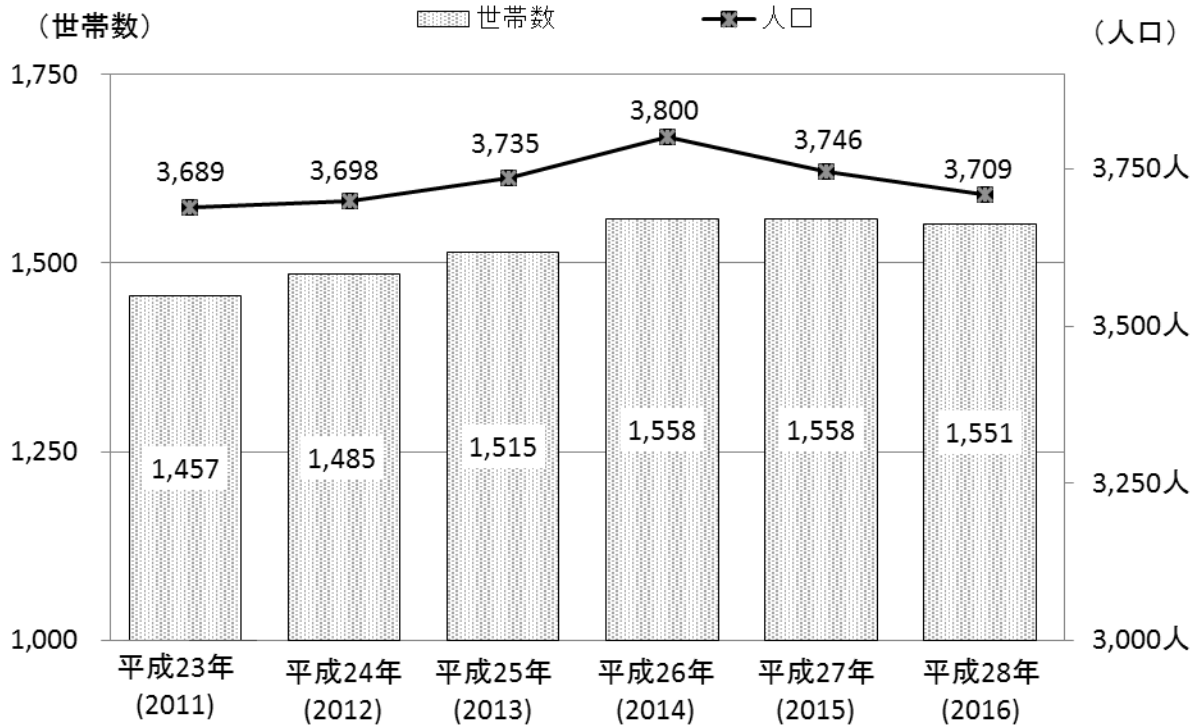
活動状況	これからの課題・活動方針
<ul style="list-style-type: none">・社協のあり方を福祉に特化することへの見直しをはかるため、組織、規約等の見直しを進め、戦略的な体制ができつつある・社協事務局の一員として「地域福祉コーディネーター会 憩」を結成し、企画立案、管理などを行うことになった・サロン活動は「ふらっと下曽我」「ふれあいお茶飲み会」「子育てサロン」など活発に活動している	<ul style="list-style-type: none">・在宅福祉サービスを充実化させ、要支援者に対する見守り活動や支援を定着化させる・世代間交流事業を社協の活動として拡大する・より地域住民同士のふれあいが持てるよう、地域在住の専門職の方々へ協力を仰ぎ、サロン活動の充実化を図る

2 健康

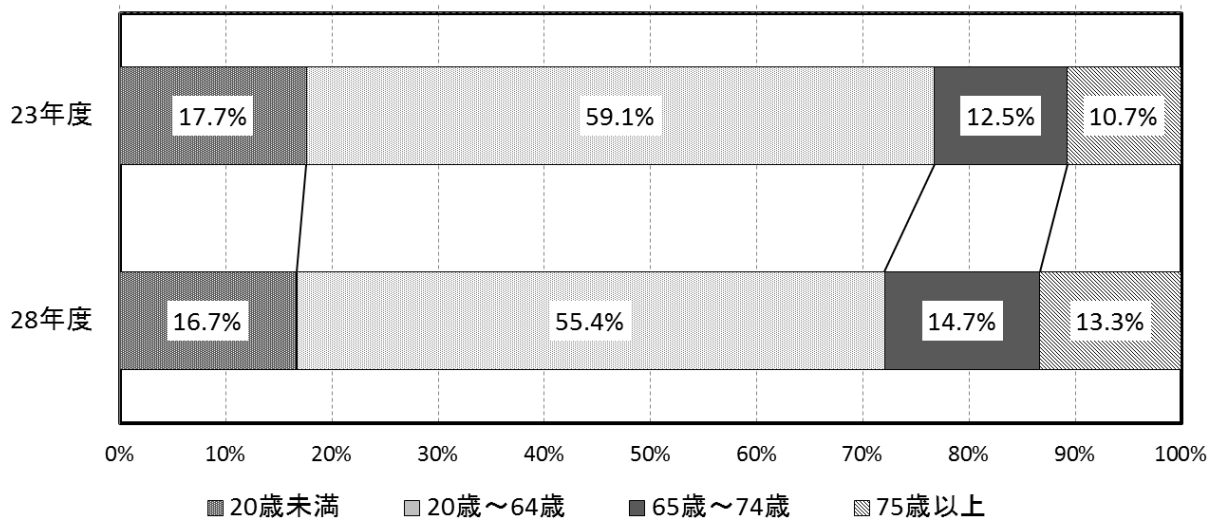
活動状況	これからの課題・活動方針
<ul style="list-style-type: none">・健民祭は恒例行事として体協主管で滞りなく行われている・老人クラブも含めて、各種スポーツ大会が盛んに行われている・健康おだわら普及員も、定められた活動について旺盛に活動しているが、若干、地域住民の認知が不足している点が惜しまれる	<ul style="list-style-type: none">・健民祭のみならず、他の事業を充実化させ、スポーツを通じた健康増進活動を更に展開させる・健康おだわら普及員の活動の可視化及び活性化を図るため、地域全体で支援体制を構築する・常時開催されている料理教室や栄養教室について、既存のサロン活動とのタイアップを検討する

参考資料

下曽我地区における世帯数の推移



下曽我地区における高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



下曾我地区団体運営協議会における検討経過

平成 28 年 6 月 15 日	各委員へ見直しの趣旨を周知、ヒヤリングシートの配布
8 月末まで	シートの回収・意見のとりまとめ 3 分科会にて該当分野における地域活動の整理
10 月 5・19・25 日	より良い地域づくりのための新たな課題設定を協議
平成 29 年	
3 月 8・15・22 日	地域別計画改定(案)の承認・次年度事業計画に向けた協議

平成 29 年 3 月作成

下曾我地区団体運営協議会

事務局長

曾我 祐行（下曾我地区自治会連合会 会長／曾我原自治会長）

事務局（自治会連合会）

神保 雅亘（下曾我地区自治会連合会 副会長／曾我谷津自治会長）

柏木 政弘（曾我岸自治会長）

坂本 規一（曾我別所自治会長）

佐宗 教安（曾我神戸自治会長）

香川 幸一（曾我山岸自治会長）

委員

○第 1 分科会 児童の健全育成・防犯・防災

奥村 真佐美（下曾我小学校）

長谷川 博一（青少年健全育成協議会）

神保 邦子（下曾我地区交通安全母の会）

市川 倫之（消防団第 20 分団）

浅海 健（防災リーダー）

大高 雅子（下曾我小学校 P T A）

横田 拓未（千代中学校 P T A）

○第 2 分科会 地域振興・文化・環境美化

鳥居 敬（宗我神社崇敬会）

長谷川 英明（下曾我土地改良区）

鳥越 睦夫（曾我兄弟遺跡保存会）

穂坂 信雄（曾我梅まつり実行委員会）

川久保 和美（下曾我応援団 ぷらむ）

○第 3 分科会 福祉・健康づくり

竹下 啓子（下曾我地区社会福祉協議会）

佐宗 修二（民生委員児童委員協議会）

内山 健治（下曾我体育協会）

植田 芳司（前 民生委員児童委員協議会）

地域別計画

(平成28年度改定)

～ 国府津地区 ～

国府津地区まちづくり推進委員会

地域のキャッチフレーズ

人と海と山の織りなす小田原の東玄関 国府津

はじめの一步(住民自ら取り組むこと) ～ できることから始めよう ～

1 健康・福祉

隣近所が気軽にあいさつするまち
元気なお年寄りが多いまち
親が一人で悩まないまち
みんなが心も体も健康で元気なまち

2 地域振興

国府津地区住民が一つにまとまっているまち
地域の資源・資産を生かして活力のあるまち

3 防災・防犯

ふれあいと安心のまち
地域ぐるみで災害に強いまち
みんなが見ているまち

4 生活・環境

みんなの顔が見え、人々の絆が強く、温かさのあるまち
地域内がいつもきれいで、ポイ捨てさせないまち
緑あふれる、自然豊かな国府津地区
やすらぎと愛着がある川をめざして
隣近所が声を掛け合うまち

1 健康・福祉

【めざす姿】

隣近所が気軽にあいさつするまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>地区内に一人暮らしの高齢者と高齢者世帯が増えていますが、まちづくり推進委員会、民生委員児童委員や老人会など、地区の各種団体によって活発な見守り活動が行われています。</p> <p>しかし、個人情報保護法の施行後、私生活に踏み込まない風潮もあり、一部では助けを求めたがらない人もいます。</p>	<p>・現在行っている見守り活動などを継続しながら、組長を活用した取組を検討するなど、地域全体で高齢者や要介護者を支えるという意識の向上に努めます。また、見守り活動の充実を図るため、まちづくり推進委員会やきずなチームの活動を拡大し、担い手を増やしていきます。</p>
	<p>・民生委員児童委員が中心となり、今後も訪問活動を継続し、地域住民が一体となった取組を充実させていきます。</p>
	<p>・なかなか面会していただけない方もいますが、粘り強い訪問活動を行い、自分自身の安否確認を行うことの必要性について理解を得られるよう努めていきます。</p>

【めざす姿】

元気なお年寄りが多いまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>高齢者を対象としたサロン活動が活発に行われ、特に75歳以上を対象に行われている「ふれんどりい」は好評で、国府津地区を6地区に分け、開催しています。また、平成28年度からはまちづくり推進委員会による「サロンこうづ」もスタートしました。「サロンこうづ」では「おでかけサロン」として、現在までに法秀寺（南地区）、蓮台寺（北地区）、田島公民館（田島地区）で開催しており、年齢・性別・地区を問わず、出欠も取らないため、気軽に参加できます。サロンは介護予防を目的とし、行政・</p>	<p>・自治会、民生委員児童委員、まちづくり推進委員会、交通安全協会などの協力を得ながら、空き店舗や空き家の活用を検討し、「ふれんどりい」や「サロンこうづ」の活動回数、開催場所を拡大していきます。</p>
	<p>・地域別に利用できる拠点が少しずつ広がっていますが、さらに増えるように検討していきます。</p>

<p>警察・地域包括支援センターなどの情報を受け取る場としても役立っています。</p> <p>しかし、高齢者は長い距離を歩くことができないので、会場まで距離のある人は参加したくても参加できません。</p> <p>また、地区内の学校や保育園を利用するにも、各行事などによりに昼間使用していることから、利用することは難しい状況です。</p> <p>田島では、農協女性部が中心となって、年1回、80歳以上の高齢者を対象に「ミニデイサービス」を行っています。この行事は、公民館にお招きし、ゲームや音楽鑑賞などを通じて楽しんでもらいます。</p>	<p>・サロンなどに参加できない高齢者の実態を調べ、参加を望む人に車を手配して参加を促すことができるか検討していきます。</p> <p>・ふれあい品お届けや「ミニデイサービス」では、対象となる高齢者一人ひとりを訪問しながらお手紙を手渡しています。これにより、声掛けによる安否確認ができるほか、高齢者同士や地域とのつながりを持つことができます。</p>
--	---

【めざす姿】

親が一人で悩まないまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>保育園、幼稚園の入園前の子どもを持つ親を対象に子育てについて、主任児童委員や子育て支援スタッフを中心に相談に当たっています。</p> <p>月2回国府津学習館で「のびっ子」を開催しており、広報誌や口コミで参加者が増えている一方、会場が手狭になってきている面もあります。会場には購入したウレタンマットを敷くことで、幼児も安心してハイハイできています。</p>	<p>・国府津学習館以外の会場の検討を行います。ウレタンマットを敷くことで小学校の空き教室を活用できるのではないかと考えます。</p>

【めざす姿】

みんなが心も体も健康で元気なまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>自分の体力を正しく把握して、生活のなかに適切な運動を取り入れることが健康づくりの第一歩であると考え、健康おだわら普及員、地域福祉コーディネーターなどで高齢者向けの体力作りを行っていますが、地域全体に浸透していません。有志では八幡神社、さがみ信用金庫などで自主的に行っています。</p>	<p>・ラジオ体操などの軽い運動をサロン活動といった各地域のお年寄りの集まりの中で実施し、健康の維持増進に努めています。</p> <p>・「サロンこうづ」では「スリーA方式」（脳を活性化させ、認知症の発症や進行を遅らせることを目指す取組）を地域福祉コーディネーターがリーダーとなっ</p>

<p>地区住民の健康増進を目的に健康おだわら普及員や各団体がウォーキング、体育振興会がトリムを年2回開催しています。特にトリムは子どもから大人まで参加者が多く、世代間交流としても好評です。</p>	<p>て毎回行って、大変好評なので、継続していきます。</p> <p>・健康おだわら普及員や各団体のウォーキング、体育振興会のトリムを継続していきます。</p>
--	--

2 地域振興

【めざす姿】

国府津地区住民が一つにまとまっているまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>国府津地区では健民祭、夏祭り、どんど焼きなど様々な行事が各団体や住民の協力で実施されており、お互いが顔見知りになる絶好の機会であると同時に情報交換の場にもなっています。また、菅原神社の例大祭や八幡神社、津島神社の例大祭には、山車や神輿がまちの中を練り歩き、地域が一体となります。</p> <p>しかし、10年、20年後の国府津地区を担うであろう中学生が参加できる活動が少ないので、小学校を卒業すると地区の活動から離れてしまいます。</p>	<p>・地域の行事は、住民同士のふれあいや情報交換の場として大切なので、参加が増えるような工夫をしながら、その維持に努めていきます。</p> <p>・平日では参加が難しい方のために、高齢者を対象にした「ふれんどりい」「ミニデイサービス」「サロンこうづ」や未就園児を対象にした「のびっ子」の土日休日の開催を検討していきます。</p> <p>・子ども会の負担を少なくし、自治会と協力して、子ども達が自由に参加できるような活動が必要と考えます。学校側にも協力を得ていくことを検討します。</p> <p>・地域に根ざした祭りなどは、住民同士のコミュニケーションを促し、地域のつながりを深くする行事として、引き続き実施していきます。</p>

【めざす姿】

地域の資源・資産を生かして活力のあるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>国府津地区の特産品としてみかんや梅、柿があります。かつては多くのみかん農家がありましたが、今は後継者不足に悩んでいます。そのため中には荒廃地になってしまっている土地もあります。対策として、みかんの木のオーナー制度を行っていますが、担い手不足のために登録者が増えていません。</p> <p>また、荒廃地の増加に伴い、近年、鳥獣被害（カラス・イノシシ）が多発しており、庭先にまで出没しているため、人的被害が危惧されています。</p> <p>現在、国府津商工振興会が「みかんの花咲く丘ファミリーコンサート」というイベントを定期的で開催しています。また、田島では「桜まつり」を開催しています。</p>	<ul style="list-style-type: none">・「みかんの花咲く丘ファミリーコンサート」というイベントを引き続き開催し、みかんのPRに努めていきます。今後もボランティアを募り、イベント開催に必要な人員を確保します。・「桜まつり」を今後も継続して開催していくため、近隣の農業者や生活している住民への影響などを考慮しながら、主催する田島桜の会に協力するとともに、地場農産物のPRなどを通して、地区の活性化に努めていきます。

3 防災・防犯

【めざす姿】

ふれあいと安心のまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>各種団体が協力して、登下校時に交通安全のための見守り活動を行っていることは住民には心強く、誇りに思います。顔見知りになり、子ども達から話しかけられることもあります。しかし、まだ危険な箇所があり、さらなる充実が求められています。また、見守る側は毎日のことなので各個人への負担が大きくなっているのも実情です。</p>	<ul style="list-style-type: none">・見守り活動は、子どもを交通事故や犯罪から守ると同時に子どもと大人があいさつを交わす、貴重なふれあいの機会になっています。今後も継続するとともに、人材確保のための呼びかけをしていきます。・見守り活動や交通安全教室を通して児童に交通安全教育を行い、危険箇所を教えながら注意を促していきます。・下校時の見守り活動については、活動時間が長いので個人の負担にならないよう実施方法について検討していきます。

【めざす姿】

地域ぐるみで災害に強いまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>消防団や防災リーダーの日頃の活動が充実していて、住民の安全・安心な暮らしを守っていますが、地区外または市外に仕事を持っている人が多く、昼間にいないため、大きな災害が起きた際に対応をすることができません。</p> <p>民生委員児童委員が要援護者になる可能性の高い方の個人情報などの登録をお願いし、台帳を作成、定期的に情報の更新をして防災に活用しています。</p> <p>また、一時避難場所は回覧などでお知らせしていますが、中には一時避難場所を知らない人もいます。</p>	<ul style="list-style-type: none">・地区の消防団と防災リーダーが今までの活動を継続するとともに、交流の場をつくり、防災上の課題や情報を共有し、連絡網を見直すなど、さらなる安心安全のための活動の充実に努めていきます。・災害時に頼りになる若い世代（小学生・中学生）と地域住民との防災訓練や、防災に関する講習を継続実施していきます。・広域避難所での要援護者への支援体制を含め、広域避難所開設マニュアルの見直しを行い、広く住民に周知し、防災に対する意識の向上を図っていきます。・地域住民への一時避難場所の周知徹底、案内看板の設置確認を徹底していきます。

【めざす姿】

みんなが見ているまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>防犯活動協議会を中心に日常的なパトロール、月2回の地域内パトロールを行っていますが、高齢化が進み、担い手不足が深刻です。</p> <p>地域内で犯罪が起きた際の情報共有はできていますが、防犯活動をされている方々だけでなく、地区内の犯罪を予防するためには地区全体で防犯意識を持つ必要性があります。</p>	<ul style="list-style-type: none">・現在行っているパトロールを継続していきます。また、活動に参加している方々への負担軽減の方法も検討し、防犯活動に参加しやすい環境を整え、担い手を増やすように努めていきます。・パトロールに消防団第18分団、国府津中学校 PTA 地区委員会、国府津小学校 PTA 校外委員会が定期的に参加し、若返りを図っているので、今後も継続していきます。・民生委員児童委員が高齢者の見守りを行う際に犯罪に関する広報誌を渡したり、地区内で発生している犯罪の種類などの案内を回覧、サロンの際に小田原警察署

	<p>の方に防犯の話をしていただくなど各自で防犯意識を持ってもらえるように努める活動を今後も継続していきます。</p>
	<p>・防犯活動協議会が行っているコンビニ店オーナー、店長との情報交換会開催以降、店先でのたむろや万引きが減少するなどの成果が得られているので継続していきます。</p>

4 生活・環境

【めざす姿】

みんなの顔が見え、人々の絆が強く、温かさのあるまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>各種団体の活動や行事などに参加する中堅世代が少ないため運営が困難です。特に健民祭や防災訓練は参加者が役員中心になるなど固定化しています。高齢者、単身者の増加、共働きなど、多様化するライフスタイルに合った意識啓発が必要です。</p> <p>また、各行事の会場は国府津学習館や国府津小学校、国府津中学校となることが多く、3会場とも隣接しているため、遠い人はいつも遠くなってしまいます。会場から遠い場所に住んでいる人は遠いことを理由に参加しないこともあります。</p>	<p>・防災訓練は災害時の被害軽減に寄与するだけでなく、自分の身を守るために必要となります。活動の維持・充実の方法を検討していきます。</p> <p>・行事などへの積極的な参加を引き続き呼びかけるとともに、一般の人達が参加しやすい行事の方法を検討していきます。</p>

【めざす姿】

地域内がいつもきれいで、ポイ捨てさせないまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>自治会連合会主催のポイ捨て防止キャンペーンを年3回実施しているほか、各地域内でもポイ捨て防止の活動を行っており、ごみの量が減少しています。地域住民の環境に対する意識が向上しています。また、地元企業が「国府津未来」という集まり</p>	<p>・ポイ捨て防止の活動への参加者を増やすため、土日に活動することも検討していきます。また、周知方法についても回覧だけでなく、隣近所の声掛けを行うなど工夫していきます。</p>

<p>をつくり協力していただいています。</p> <p>しかし、平日に実施するため、参加者が少なく、参加者を増やす取組が課題です。</p> <p>11区では道路沿いの花壇整備を実施し、ポイ捨てさせないまちづくりを実施しています。</p> <p>菅原神社（毎月5日）、八幡神社（毎月10日）は老人会が清掃活動を行なっているため、1年を通してきれいになっていますが、秋の落ち葉のシーズンなどは清掃活動が大変です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会が主体の清掃活動を行い、ごみが落ちていない環境作り、ポイ捨てさせないまちづくりを実施します。 ・喫煙者のことも考え、駅などへの灰皿設置を検討していきます。 ・菅原神社、八幡神社の清掃活動は老人会が実施していますが、今後は地域の人を巻き込んだ活動を検討していきます。
--	--

【めざす姿】

緑あふれる、自然豊かな国府津地区

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>国府津の山から田島にかけての景観は四季折々に美しく、特に秋の紅葉はきれいで山を眺めるだけでも癒されます。</p> <p>また、国府津山の自然環境を守るため、ツーデーマーチの開催日の前にはコースの景観保全と環境美化のために、地区の団体「みかんの花咲く丘」が清掃活動を行なっています。</p> <p>国府津山のすばらしい眺めや豊かな自然などを楽しむため、市内だけでなく、市外からも多くの観光客が訪れていますが、反面ポイ捨てによるごみが増え、粗大ごみの不法投棄も増えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ツーデーマーチに向けての国府津地区全体での草刈、ごみ拾いを継続していきます。 ・田島地区にホタルが復活している箇所があるので、見守り活動を継続していきます。 ・八ツ沢川沿いにホタルが生息しているので今後も見守っていきます。

【めざす姿】

やすらぎと愛着がある川をめざして

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>森戸川の水は汚れており、川には降りられず愛着が感じられない状況です。また、支流は水量が少ないためヘドロなどが溜まっているところがあり、台風などで水量が増すと溜まったヘドロが森戸川に流れ込んでしまいます。</p> <p>9区・10区は八ツ沢川の清掃、15区では年2回関口川の清掃を近隣企業と協力して行っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・将来子どもが川に入り、小魚を捕まえたり、釣りができる川にするため、清掃活動を今後も継続していきます。 ・気象注意報・警報が発表された場合には、近隣の消防署と連携して川の水位を見守っていきます。

【めざす姿】

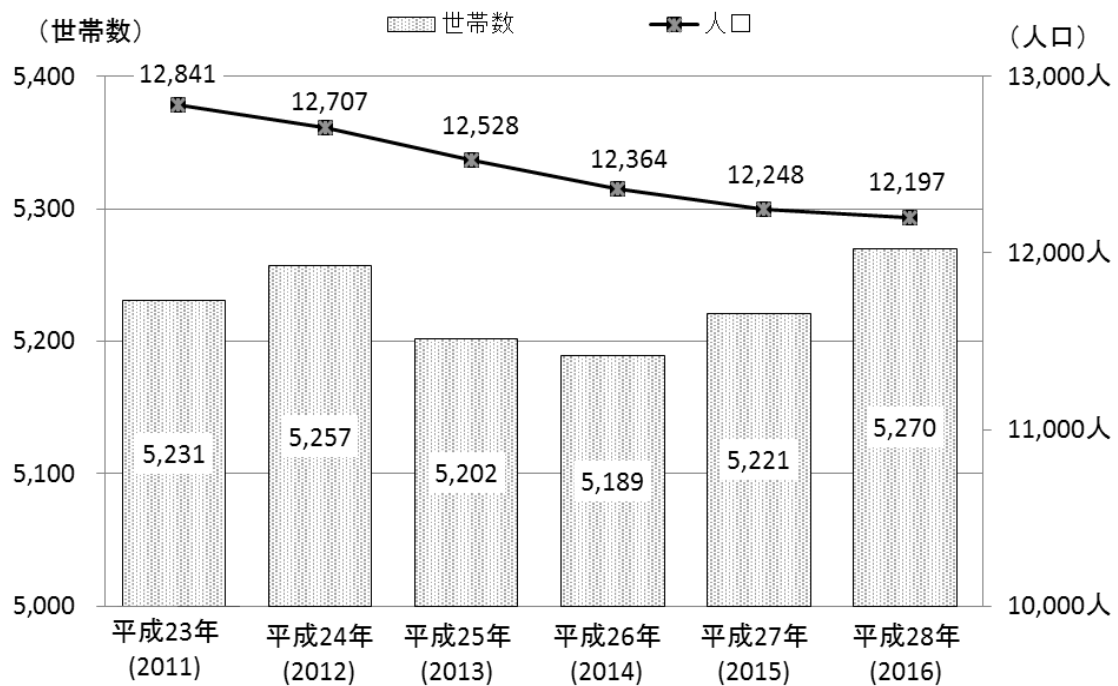
隣近所が声を掛け合うまち

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>近くに商店が少なく、時には中里の大型商業施設まで買い物に行かなければならない中、バスの本数が少ないので帰りにはタクシーを使うことも多く、生活への負担が大きくなっています。特に車を運転することができない高齢者には不便です。</p> <p>地域内の活性化を目的とし、国道1号沿いの民家の駐車場を借りて、月1回店を出しています。</p>	<p>・地域行事で使用するものはできるだけ地区にある商店で買い物をするようにして、地区内の商店が活性化するように心がけます。東地区の民家の駐車場での出店については回数を増やしていきます。</p>
	<p>・地域内の活性化を目的とした出店を地域全体に広げられるように検討します。</p>
	<p>・地区内のコンビニでは配達をしてくれるところもありますが、今後高齢者の買い物難民対策は大きな問題として検討していきます。</p>

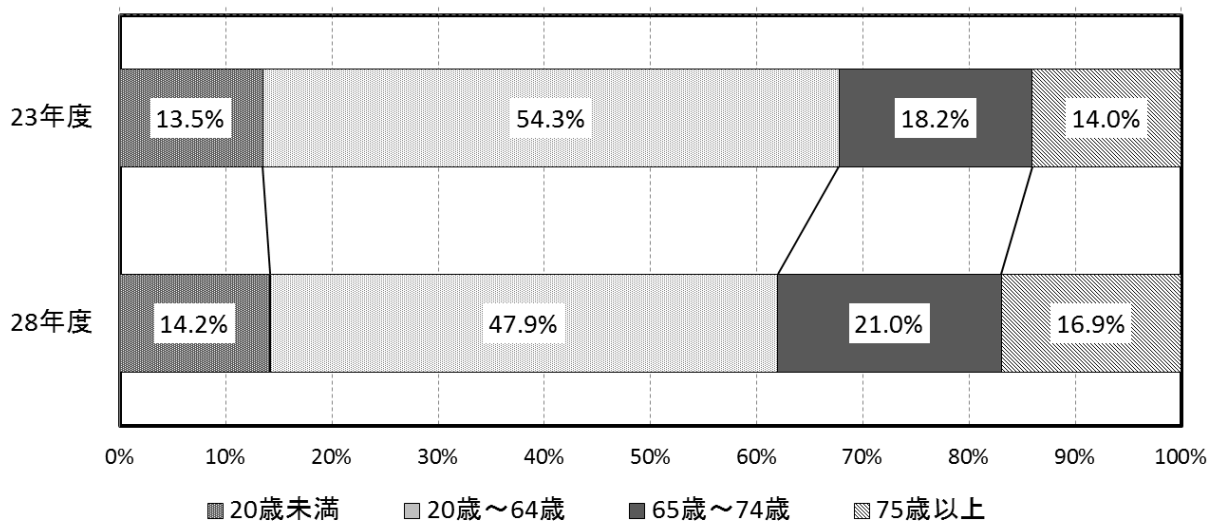
参考資料(国府津地区)

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

人口と世帯数の推移



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



国府津地区まちづくり推進委員会における検討経過

平成 28 年 6 月 10 日	自治会長会議	委員(自治会長)へ地域別計画の見直しについて説明
9 月 6 日	三役会 コーディネーター会	三役・コーディネーターへ地域別計画の見直しについて説明、見直し用記入用紙を配布
9 月 7 日	自治会長会議	委員(自治会長)へ見直し用記入用紙を配布
10 月 3 日	コーディネーター会	地域別計画の見直し(協議)
11 月 28 日		見直し計画(案)を作成し、委員長へ提示・調整
平成 29 年 2 月 16 日		全委員に見直し計画(案)を配布し、意見募集
3 月 16 日	全体会	地域別計画改定版(案)の承認

平成29年3月作成

国府津地区まちづくり推進委員会

委員長	川口 博三	(国府津地区自治会連合会会長・国府津第10区自治会会長)
副委員長	折金 典男	(民生委員・児童委員協議会会長)
副委員長	高橋 正則	(社会福祉協議会会長・国府津第6区自治会会長)
会計	石塚 勇	(国府津第5区自治会会長)
事務局	長谷川弥生	(きずなチーム代表)
監事	松本今朝臣	(国府津第1区自治会会長)
監事	岸 治恵	(民生委員・児童委員協議会副会長)
理事	佐藤 哲男	(国府津第7区自治会会長)
理事	田代美奈子	(婦人会会長・地区社会福祉協議会副会長)
理事	菰山 信	(防犯活動協議会会長・小田原警察署協議会委員・防犯指導員)
理事	鈴木 清治	(老人連合会会長・地区社会福祉協議会副会長)
理事	櫛引 政司	(青少年健全育成協議会会長)
理事	古谷 浩	(体育振興会会長)
理事	朝倉 一彰	(商工振興会会長)
理事	朝倉 義勝	(国府津中学校PTA会長、国府津第3区自治会会長)
理事	井上 弘行	(国府津小学校PTA会長)
委員	劔持 秀一	(遺族会会長)
委員	小川 新治	(連合子ども会会長)
委員	三上 雅敏	(国府津第2区自治会会長)
委員	朝倉 寛二	(国府津第4区自治会会長)
委員	木村 宗嗣	(国府津第8区自治会会長)
委員	佐藤 清	(国府津第9区自治会会長)
委員	星野 國三	(国府津第11区自治会会長)
委員	野地 賢二	(国府津第12区自治会会長)
委員	川口 眞弘	(国府津第15区自治会会長)
委員	小林 昭	(国府津第16区自治会会長)
委員	八田堀光男	(国府津第18区自治会会長)
委員	小岩 幸雄	(国府津第19区自治会会長)
委員	八ヶ代順子	(健康おだわら普及員)
委員	和田 博行	(消防団18分団分団長)
委員	石塚 達義	(青少年健全育成協議会副会長)
委員	高梨登志子	(婦人会副会長)
委員	秋山 和光	(体育振興会事務局長)
委員	松本ひとみ	(国府津中学校校長)
委員	大木 敏正	(国府津小学校校長)

他、地域福祉コーディネーター 8名

地域別計画 (平成 28 年度改定)

～ 前羽地区 ～

前羽地区団体長等連絡会

地域のキャッチフレーズ

海と山に囲まれ、昔の風情が残る住みよいまち 前羽

はじめの一步(住民自ら取り組むこと) ～ できることから始めよう ～

- 1 文化・教育・福祉**
- 2 生活環境・防災・防犯**
- 3 地域振興**

1 文化・教育・福祉

◆ 誇れるもの・ ▶ 困ったこと	できることから始めよう
<p>◆ 地域は海岸に接しているといった特色を生かして、キス釣り大会を行っています。</p> <p>▶ 参加者に対する釣り具の貸出が十分とは言えません。</p> <p>▶ 低学年の児童は釣竿を扱うのが困難です。</p> <p>▶ 学校に呼びかけてキス釣り大会への参加者を募っていますが、参加者が少ないのが実情です。</p>	<p>* 子どもたちに自然とのふれあいを通して、自然の大切さを学ぶ機会と捉えて、こうした活動を続けていきます。</p> <p>* 青少年健全育成協議会と体育振興会が協力して釣り具の準備をしていきます。</p> <p>* 釣り以外に砂浜や海岸で自然とふれ合える行事を検討していきます。</p> <p>* 学校を通して呼びかけを続け、参加者の拡大を図っていきます。また、低学年の子どもたちも楽しく参加できるように内容を工夫して参加者を増やしていきます。</p>
<p>◆ 「いきいき健康事業」や「世代間交流事業」、未就園児グループ「キラキラ星」と一人暮らし高齢者とのふれあい事業など、高齢者の介護予防に向けた事業展開をしています。</p> <p>▶ 地域福祉への更なる貢献をするため、活動を活発にすることが必要です。</p>	<p>* 事業への参加者を増やすことで、活動の活発化を図り、高齢者や未就園児のための活動を支えています。</p> <p>* 橘南地区社会福祉協議会で行っている、高齢者のためのサロン活動を継続していきます。</p> <p>* 世代間交流などの事業は、参加者が興味を持ち参加しやすくなるように常に事業内容を見直していきます。</p> <p>* 広報にも力をいれながら、参加者やご近所同士の誘い合いや口コミを利用して、参加者を増やしていきます。</p>
<p>▶ 前羽地区健民祭、球技大会など、各種スポーツ大会を開催していますが、参加者集めに役員の方が苦勞しているのが実情です。</p> <p>◆ 前羽地区健民祭には、中学生がボランティアとして参加し、準備や放送などを担当しています。</p> <p>◆ 前羽地区健民祭では、高齢者が参加しやすい種目が増え、子どもから高齢者までが盛り上がる行事となっています。</p>	<p>* 健康と交流のためにも、こうしたスポーツ大会を続けていくため、各種団体からも呼びかけを行っていきます。</p> <p>* 学校や地域の子どもたちにも協力を要請して参加者募集や準備を行っていきます。</p> <p>* 子どもから高齢者までが参加できるように、常に競技内容を工夫していきます。</p>
<p>▶ 自治会に未加入の世帯は行事に参加できないなどの問題があります。</p>	<p>* 自治会未加入世帯の子どもの行事参加への対応を検討してきます。</p>

<p>◆ 前羽小学校では「優しさ」と「学力」・「たくましさ」を育てています。地域の力をお借りして、安心・安全な学校生活を送ることができています。</p>	<p>* 学校だよりや回覧、HP 等で情報公開を進め、保護者などの地域の方と子どもと一緒に協力し合える学校行事になるように工夫していきます。</p> <p>* スクボラの日などを活用して学校と地域の協力体制を強化していきます。</p>
<p>◆ 運動会や学習発表会などで学校の行事に地域の多くの方が参加してくれています。</p>	<p>* 地域の行事に多くの子どもが参加し、地域とともに子どもを育てていけるように、これからも学校は協力していきます。</p>
<p>◆ 学校職員が地域の行事に参加することで学校職員が地域活動の様子を把握しています。</p>	<p>* 学校職員は地域行事によく参加してくれています。今後も地域行事への参加の声掛けを継続していきます。</p>
<p>▶ 前羽小学校は、児童数が少ないため、保護者の約半数が PTA の役員になっています。</p> <p>▶ 幼稚園児、中学生、高校生の子どもを持つ保護者が、重複して役員を受けざるを得ない状況にあります。</p>	<p>* 組織の縮小を検討しましたが、一人の負担が多くなってしまうことも考えられるため、活動マニュアルを作成するなどをして負担軽減の工夫をしています。</p>
<p>◆ 前羽小学校のプールは、夏休み期間中に児童が利用できるように開放されています。</p> <p>▶ 平成 27 年度から監視業務が委託となり、保護者の負担も軽減したが、委託費用が PTA の会計を圧迫しています。</p>	<p>* 保護者の理解を得て、プールの開放を継続していきます。</p> <p>* 児童の安全確保のためにも、保護者と業務委託の監視業務の割合を検討していきます。</p> <p>* 前羽小学校などの小規模な学校にはプール開催費用の負担が大きいので、市からの助成などを協議して問題の解決に取り組んでいきます。</p>
<p>▶ 前羽地区は、前羽連合子ども会が休会し、単位の子ども会が活動していますが、子どもの数が減少しているので、活動のあり方を見直す必要があります。</p>	<p>* 子どもの数が少なくなっていく傾向は、今後も続くと思われていますので、前羽地区として一つの子ども会を持つなど、地区の子ども会のあり方について検討していきます。</p> <p>* 子ども会と各種団体が協力し、お互いに顔を知り合える関係の構築を目指していきます。</p>
<p>◆ 子ども会が主催で、前羽地区内の 3 つの子ども会を対象にバス旅行を実施しています。</p>	<p>* 現在、3 つの子ども会が合同で行っているバス旅行などの行事を活発化させて、子ども会への加入促進を図っていきます。</p>
<p>◆ 江戸中期の頃の地図では、地区内の沿道には、たくさんの道祖神がありました。</p> <p>◆ 現在でも道祖神祭りとどんど焼き</p>	<p>* 地域に伝わる古い伝統文化は、今後も大切に、学校とも協力して子どもたちに継承していきます。</p>

を行っています。	
◆ 地蔵尊を各家に宿泊させて持ち回る「廻り地蔵」は、5つの地区で行われています。	* 廻り地蔵を軽量化するなど、歴史的なものを現代の地域に合わせた形で行っていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域の伝統文化に対する関心が薄れてきています。 ▶ 前羽の歴史に詳しい方に、歴史や文化についての話を聞き、後世に残していく必要があります。 	* 体育振興会と市が共同で作成しているウォーキングコースづくりに歴史的なものを取り入れていきます。
◆ 国道1号線沿いの車坂には、歴史的な人物が前羽地区について詠んだ歌や文章とその説明が書かれた看板があります。	<ul style="list-style-type: none"> * 平成27年度に車坂看板の補修を行い、平成28年度には看板周辺の整備に取り組んでいます。 * 看板周辺には花壇を設置し、今後、前羽地区の名所として地域の方々へPRをしていきます。

2 生活環境・防災・防犯

◆ 誇れるもの・ ▶ 困ったこと	できることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 毎年7月の海の日に前羽海岸クリーン作戦を実施し、前羽地区では恒例行事になっています。 ▶ 地域住民のほか、幼稚園児、小学生、中学生及び先生が参加していますが、今後も更に参加者を増やしていく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> * 市内の海岸沿いにある自治会連合会が、「海の日」に一斉に行えば、環境美化を効果的に行うことができます。また、PR効果も期待できるので、自治会総連合と市への協力を働きかけていきます。 * 広報おだわらに「前羽海岸クリーン作戦」が掲載されたので、今後より多くの地域情報誌に取り上げてもらえるようPRを継続していきます。
◆ 催事するときや年末などに、子どもや地域の安全を守るためパトロールを実施しています。	* 夏祭りや運動会では、青少年健全育成協議会によるパトロール、年末は消防団によるパトロールを継続していき、今後も子どもたちの安全を守っていきます。
◆ 防犯灯の整備は、おおむねできています。	* 防犯灯の定期点検をするなど、犯罪を未然に防ぐための検討をしていき、新たな場所に防犯灯設置の必要がある場合には、市へ要請していきます。
▶ JR線路際の細道など、夜道が暗くて、歩いていて危険を感じる箇所があります。	* 駐在所にパトロールの依頼や、地区内の犯罪件数の情報をもらうなどの連携をしていきます。

<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自治会連合ごとに、年1回防災訓練を実施し、避難訓練や被災者に対する応急処置方法などの訓練をしています。 ◆ 橘中学校で行われる訓練へも各自治会が積極的に参加しています。 ➤ 災害時に活動する消防団や日赤奉仕団などの担い手の確保が困難になってきています。 ➤ 防災訓練への参加者が固定化しています。 	<ul style="list-style-type: none"> * 災害時への関心が高まってきているので、小中学校の防災訓練への積極的な参加や単位自治会としての防災訓練などを検討していきます。 * 防災訓練への参加者が固定化されており、参加者を増やす工夫をしていきます。 * 防災講座を開いて、地域住民の防災に対する関心を高めていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 「災害時要配慮者」の把握と、災害時の対応などの課題があります。 ➤ 防災は、自治会における最重要課題であり、災害時の安否確認のため、常に世帯構成を把握しておきたいが、最近は個人情報を出してもらうことが難しくなっています。 	<ul style="list-style-type: none"> * 近所の災害時要配慮者を地域住民が把握できる体制を検討し、発災時の対応を時間帯によってパターン化するなど、連携体制を強化していきます。 * 防災訓練などで世帯構成が把握できるよう、出前講座を利用し、個人情報の取り扱いについて、自主防災組織で勉強します。
<ul style="list-style-type: none"> ➤ カラスに荒らされているごみステーションが多く見受けられます。 ➤ 車からのポイ捨て、海岸や堤防管理用通路（地域では「海岸道」と言っています）、農道に缶やゴミを捨てる人がいて困っています。 ➤ 放置自転車や不法投棄が増えて困っています。 ➤ 犬のフンを片付けない人など、マナーの悪い人がいます。 	<ul style="list-style-type: none"> * 不法投棄や犬のフンの問題は、ごみステーションへの見回りやネットの設置、小学校と協力して手作りポスターの作成と掲示を行うなど、ごみが荒らされないように啓発を行っていきます。 * 放置自転車や不法投棄の見回りの強化、警告看板の設置などを検討していきます。

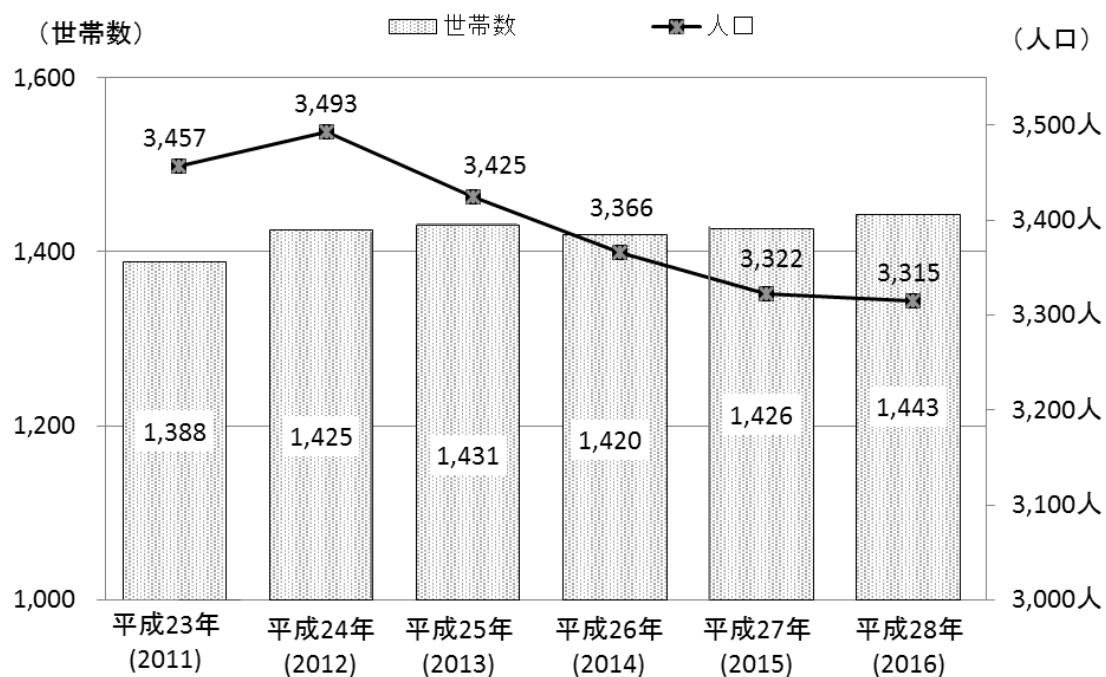
3 地域振興

◆ 誇れるもの・ ➤ 困ったこと	できることから始めよう
<p>◆ 橘商工会は、毎年4月と11月に「橘ファミリーフェスティバル」や地場産まつりを開催し、地域の活性化を図っています。</p> <p>◆ 橘商工会青年部は平成21年度から、「みんなの花火」を行っており、地域行事として定着しています。</p>	<p>* 橘商工会は、こうした活動を継続するとともに、橘南地区自治会連合会との連携を更に深めていきます。</p> <p>* 地域住民との交流を促進するために各種活動のPR、活動への理解を得ていくとともに、地域の活性化を図っていきます。</p> <p>* 機会を捉えて、各自治会員に商工会のまちづくり活動へ出席してもらえるよう呼びかけをしていきます。</p> <p>* 商工会のお店が協力し、買い物が楽しめるように各種団体とともに工夫していきます。</p>
<p>◆ 現在、西湘テクノパーク内の企業9社が賛助会員として自治会活動に参加しています。</p>	<p>* 商工会が中心となり、西湘テクノパークにある企業との連絡窓口を設けていきます。</p> <p>* 自治会活動だけではなく、まちづくり活動へも参加してもらえるように、企業に呼びかけを行っていきます。</p>
<p>➤ 農業と商工業には青年層の組織がありますが、近年、担い手の問題があります。地域産業の活性化を目指すには制度の見直しが必要です。</p>	<p>* 地域産の作物をつくることで前羽地区をPRしていきます。</p> <p>* 担い手の減少が課題になっているので、オーナー制度を検討するなど見直しを行っていきます。</p> <p>* 直売所などの拠点地で前羽地区の産物を販売していきます。</p>
<p>➤ 前羽地区は昔から伝わる文化や歴史なものが数多くありますが、地区外の方へはあまり周知されていません。</p> <p>➤ 前羽地区の歴史を地域振興に活用する検討が必要です。</p> <p>➤ 前羽の歴史を知っている方が少なくなっているため、話を聞いて記録に残しておく必要があります。</p>	<p>* 体育振興会と市が共同で作成している、ウォーキングマップを活用した事業を検討していきます。</p> <p>* 過去に商工会が作成した観光マップの見直しを行い、商工会と協力して新たなものを作成していきます。</p> <p>* 新たに作成している、ウォーキングマップや観光マップを公共施設に置かせてもらえるように交渉していきます。</p>
<p>◆ 現在、地区の名称は「橘南」ですが、昔から「前羽」の名前に親しみがありません。</p>	<p>* 各種団体へ意見を諮り、団体名称に「前羽」の名前を使っていくことを検討していきます。</p>

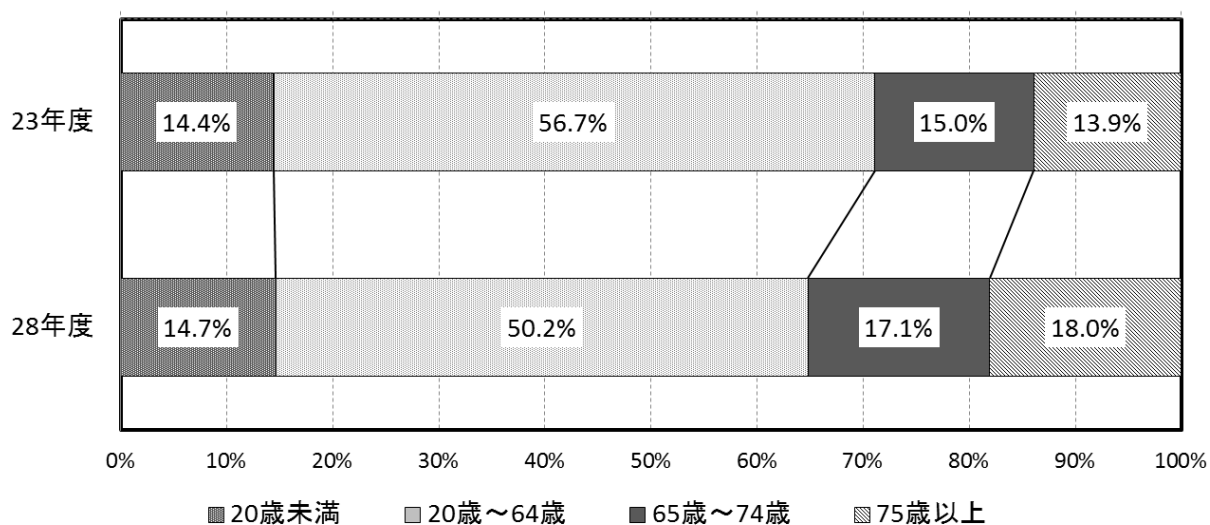
参考資料(前羽地区)

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

人口と世帯数の推移



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)





【小学生レクリエーション大会】



【前羽海岸クリーン作戦】

前羽地区団体長等連絡会

会 長

椎野 禎章(橘南地区自治会連合会長・向原自治会長)

副会長

鈴木 栄子(橘南地区社会福祉協議会長)

遠藤 剛(町屋自治会長)

会 計

北村 千波(橘中学校PTA会長)

監事

駒沢 昭久(羽根尾自治会長)

川井 修(JR前川アパート自治会長)

委 員

小島 栄(橘南地区青少年健全育成協議会長)

椎野 尚(橘南地区民生委員・児童委員協議会長)

杉山 栄一(前羽長楽会長)

石塚 和弘(前羽体育振興会長)

細川 初恵(日赤奉仕団前羽分団長)

小野澤 藤一(橘商工会長)

廣澤 智一(小田原市消防団 22 分団副分団長)

鍋倉 かつみ(前羽小学校長)

向笠 弘子(前羽幼稚園長)

石塚 順一(前羽小学校 PTA 会長)

足立 志保(小学生レクリエーション大会役員)

多田 光孝(子ども会代表)

富瀬 一枝(前羽ボランティアグループ代表)

大曾根 一郎(西自治会長)

石塚 一男(中宿副自治会長)

峯尾 博司(押切自治会長)

椎野 純雄(前・前羽体育振興会長)

大竹 哲三郎(前・押切自治会長)

平成 28 年度作成

地域別計画 (平成 28 年度改定) ～ 橘北地区 ～



橘北地区まちづくり委員会

歴史溢れる長寿の里 たちばな北

はじめの一步(住民自ら取り組むこと) ~ できることから始めよう ~

総論

1 生活・環境

コミュニケーション

自然環境

ごみ出しルール

2 地域振興

農業

商業

3 文化・教育

伝統、伝統行事

地域文化

生涯学習

4 防災・防犯

防災

防犯

5 健康・福祉

子育て

高齢者

総論

人口減少や少子高齢化の社会を迎える中、橘北地区が今後も発展し続けていくためには、現在の自然環境を保ちながら、安心、安全なまちづくりを行う必要があります。そこで、公共施設や道路の整備、交通手段の確保により、住み良い生活環境を整えつつ、人口の増加を図って行きたいと考えています。

そのための働きかけを行いながら、地域としても、あいさつなどの励行により顔が見える関係を築きつつ、ボランティア活動の推進により、地域活動への参加者同士や若い世代とのコミュニケーションづくりを進め、「地域活動は地域への恩返しである」という意識の醸成を図っていきます。


また、農業が盛んであるという特色を活かし、都市住民との交流をめざす観光農業に向けた取組みを進めるなど、地域の力を最大限発揮して、自然・歴史と住環境と人の心が調和した、住む人にとって住みよく、訪れる人にとっても暮らしたいと思える「まちづくり」を進めていきたいと考えています。

1 生活・環境

★…特色 ➤…課題 *…取り組むこと

コミュニケーション

誇れること・困ったこと	出来ることから始めよう
<p>★ 住民同士のコミュニケーションの促進を図るため、自治会、子ども会を中心に各種団体が活動を行っています。</p> <p>➤ 高齢化や健康状態などにより、自治会の定期清掃や、組長を行うのは難しいといった声が聞かれます。</p> <p>➤ 各団体では役員の担い手不足の課題があり、また、1年で役員を交代する団体では、交代初期に引継ぎの不手際などによる混乱などが見受けられます。</p>	<p>* 他団体と繋がりを持つようになり、情報を得られるようになってきましたが、充分ではないので、定期的に情報交換の場を持つなどして、更なる連携を図っていきます。</p> <p>* 地域活動は自治会、子ども会を中心に行っていますが、高齢化やニーズが多様化し、自治会などへの関心が低下する中では、既存の組織だけでは対応し切れません。若い世代や退職後のシニア世代の参加を促す、組長を通じての次世代の担い手発掘などしていくことで、地域の中で、地域活動の担い手を育て、組織化したり、手助けをしたりしていく仕組みづくりを引き続き進めていきます。</p> <p>* それぞれが無理のない範囲で清掃活動を取り組むなど、工夫を進めていきます。また、清掃活動が出来なくとも、出てくることによって、会員相互のコミュニケーションが取れますので、顔を出してもらうことがとても大切です。そのため、高齢者などは参加して世間話だけでも良いという考えを浸透させていき、気軽に参加しやすい雰囲気づくりを行っていきます。</p>

	
<p>➤ 中学生まではあいさつが良く出来ますが、大きくなるにつれ、道ですれ違ってあいさつをするという意識が希薄になっています。また、あいさつを励行するために「あいさつ運動」を行っており、日常でもあいさつが少しずつ交わされるようになってきていますが、まだまだ充分ではありません。</p>	<p>* あいさつは、顔が見える関係を築くなどコミュニケーションだけでなく、防犯上・防災上も効果がありますので、地域にあいさつの輪を広げていきます。その際、防犯帽子や防犯ベスト等を着用していると、相手方もあいさつを返しやすいため、防犯グッズを身につける習慣を広めていきます。</p>
<p>➤ 各種団体では地域活動が盛んですが、年々担い手が減ってきており、活動継続のための方法を考える必要があります。</p>	<p>* 中学生や定年退職後の人など、地域活動をしたことがない人にも、知恵や経験を生かせるよう、参加しやすいきっかけを作るよう検討していきます。</p> <p>* 担い手減少の一因である、事業の必要性や仕組みづくり、負担感等について見直していきます。</p> <p>* 各種団体間同士での情報共有、連携をし、活動を広くアピールしていきます。</p>
<p>★ 独楽回しなどの昔遊びを行ったり、竹とんぼや草鞋づくりなどを行うバザーや折り紙遊びなどを行う下中小学校の「うっしっしー祭」、早朝マラソン大会など、高齢者と子どものコミュニケーションがとれる機会が多くあります。</p>	<p>* 学校を通じて地域コミュニティを醸成するため、スクールボランティアなどをして学校に入ってきてもらい、子どもと触れ合うことで、地域の子どもの地域で育てる意識が芽生え、子どもの地域への愛着や、地域の大人と子どものつながりを強めていけるような環境づくりを更に進めていきます。</p> <p>* 大人にとっても、学校で子どもの声を聞くことが健康に良い影響を与え、また、学校で子どもと遊ぶことで、子どもからあいさつをしてもらえるなどの効果もありますので、積極的に学校へ入っていく意識を持っていきます。また高齢者は距離があると意欲があっても参加しづらいこともあるので、交通手段などの検討をします。</p>

自然環境

誇れること・困ったこと	出来ることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> * 以前に比べると住宅が増えています、まだまだ田舎の良いところが残っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 地域の自然を伝えていくことで、自然に対し親しみ地域に誇りを持たせていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ★ 橋北は、里山や棚田が残っており、また、ホタルの生息地があるなど、美しい自然が残されています。 ➤ 美しい里山が残っていますが、近年、荒廃農地が増えてきて、里山が荒れ始めています。 * 「沼代桜の馬場」は、道路の両脇に 70 本のソメイヨシノが咲き誇る、隠れた名所です。 ➤ 犬の糞や尿が多く、困っています。 	<ul style="list-style-type: none"> * ホタルの生息地を守るため、河川をなるべくコンクリートにせず、また、強い農薬を使わないように働きかけます。また現在ボランティアで、巻貝・カワニナの繁殖に力をいれていますので、このような活動を続け、引き続きホタルが住める環境を維持していきます。 * 中村川については、管理内容や管理体制も考えた上で桜などを植栽することで、通学路やウォーキングコースなどに活用することを検討していきます。 * 地域を歩いて地域の良さを実感できるマップ作りを検討していきます。 * 沼代の棚田については、日本野鳥の会等とともに棚田の保全を行っていますので、活動を継続していきます。 * 侵入竹林などを伐採し、他団体との連携を上手く取りながら、里山再生の方法を検討していきます。 * ツーデーマーチなどで地域外から来る方を気持ちよくお迎えするため、ポイ捨てや草刈未整備が目立つ道路を中心に清掃活動を行っていきます。 * 「沼代桜の馬場」での桜の植樹や、開花時期の更なる活性化策について検討していきます。 * 家の周囲の清掃をすることで、犬の糞や尿を防いでいきます。

ごみ出しルール

誇れること・困ったこと	出来ることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> ➤ ごみ出しのルールはかなり守られてきていますが、一部の人を守っていません。 	<ul style="list-style-type: none"> * 小田原市で行っているごみの環境調査の結果やゴミ出しのルールなどを引き続き広く住民に周知・徹底して、ごみ出しルールの啓発に努めていきます。また、市の出前講座を利用して、ごみの分別への理解を深めていきます。

2 地域振興

農 業

誇れること・困ったこと	出来ることから始めよう
<p>* 昔に比べ、開発が進んで農地が少なくなっていますが、橘北はまだまだ農業が盛んな地域です。</p>	<p>* 「下中たまねぎ」は、オーナー制度によって多くの人が、定植から収穫まで楽しめる仕組みがあり、耕作面積が年々増えていますので、さらにオーナーが増えるように、農協や市などと協力を密にし、PR活動をしていきます。</p> <p>* 地域の方々へ「下中たまねぎ」や「下中落花生」の苗植えから収穫までの体験やおいしさなどを伝えていきます。</p> <p>* 定植祭と収穫祭では、地域の方々にも手伝ってもらっていますが、更に盛り上げ、集客力を向上させるため、調理方法のPRやホームページの活用など、より良い方策を検討していきます。</p>
<p>➤ 橘北は、農業がさかんですが、農作物の価格が不安定などの理由により、自活が難しいことがあるため、農業の後継者が育ちにくい状況です。</p>	<p>* 世界的な観光地としての箱根に近く、小田原厚木道路のインターの隣接地となっており、交通の利便性を利用した観光農業を振興するため、インターネットを活用した情報発信や空き家を利用した週末滞在型農業などにより、地域の農（酪農）業の活性化を図る方策を研究していきます。</p>
<p>* 農業の後継者不足のため、荒廃農地が目立ってきています。</p>	<p>* 荒廃農地対策の一つとして、菜の花を植え、収穫した菜種を食用油として利用し、さらにその廃油を市がリサイクルする仕組みづくりに取り組んでいます。自然に優しい環境づくりにむけて、今後も継続していきます。</p> <p>* 荒廃農地対策の一つとして、油の取れる菜の花やひまわりで迷路などの遊び場ができないか、検討していきます。</p>

商 業

誇れるもの・困ったこと	できることから始めよう
<p>* 橘商工会は、毎年4月と11月に「橘ファミリーフェスティバル」や地場産まつりを開催したり、「橘出張商店街」を月2回行ったりして、地域の活性化を図っています</p> <p>* また、橘商工会青年部が平成21年度から「みんなの花火」を羽根尾の駐車場でを行っています。</p> <p>* ほかに、「ふれあい事</p>	<p>* 橘商工会は、こうした活動を継続するとともに、自治会などとの連携を更に深めていきます。</p> <p>* 地域住民との交流を促進し、各種活動のPR、活動への理解を得ていくとともに、地域の活性化に協力していきます。</p> <p>* 機会を捉えて、各自治会長への商工会のまちづくり活動への参加をしていただくようお願いをしていきます。</p> <p>* 商工会と橘北地区まちづくり委員会との連携を図っていきます。</p>

業」により、地域の青少年の方々とのおふれあいの場を設けています。	
<ul style="list-style-type: none"> * 橋北地区には、農業と商工業に青年層の組織があります。今後は、商工青年と農業青年との連携を深め、地域産業の活性化を進めていきたいです。 ➤ 古くからみかん栽培が行われてきましたが、担い手の減少が課題となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 商工青年と若手農業者とが交流を持ち始めており、今後はこれを発展させ、商工・農業の連携を深めながら、地域産業の活性化を図っていきます。 ➤ 担い手が不足するみかん栽培では、高齢者の協力について検討していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ➤ バスの利用者減少によって、不採算地域となり、路線バスの再編が行われました。 	<ul style="list-style-type: none"> * バスの利用について地域としても積極的に働きかけをしていきます。また、「コミュニティバス」の導入について、検討・働きかけをしていきます。

3 文化・教育

伝統、伝統行事

誇れること・困ったこと	出来ることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> * どんど焼きは、地域コミュニティを支える行事として、自治会や子ども会などが中心となって多くの地域で行われています。地域の人々が集まって主催するところもあります。 ➤ 役員の高齢化もあり、どんど焼きを行うことが困難になってきています。 	<ul style="list-style-type: none"> * どんど焼きでは、トン汁を作ったり、餅つきを行ったり、団子を大人と子どもと一緒に作ったりするほか、最後に焚き火を消すときに水消火器を使用して、消火訓練を同時に行うなどの工夫をし、また、回覧やホームページなどで行事を周知することで、さらなる参加者の増加に努めていきます。 * 役員1人1人の負担を減らせる方法を検討し、行事を続けていけられるよう、工夫していきます。
<ul style="list-style-type: none"> * 神奈川県無形文化財及び国の重要無形民俗文化財に指定されている「相模人形芝居 下中座」や市指定無形民俗文化財の「白髭神社の奉射祭」など、伝統を受け継いでいる地域であります。 * 子どもがいろいろ売り口上を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> * 「相模人形芝居 下中座」のような伝統を小中学生の生徒に教え、次代に伝えていく努力をします。また、地域の伝統行事を次代に伝えようとしている人たちと連携し、地域として協力していけるような体制づくりをしていきます。 * 地域活性化の一つとして、いろいろ売り口上を小学生などに教え、各種行事に参加するなど、今後その啓発に努めていきます。

地域文化

誇れること・困ったこと	出来ることから始めよう
★ 中学校では地域を知るための授業が有り、シルバー大学歴史観光コースを卒業した方が、スクールボランティアとしてガイドを行っています。	* 地域の史跡を子どもへ教えることは大変重要ですので、こうした活動を継続し、住民にも、この地域の史跡を知る機会を増やしていきます。
★ 小中学校は地域のために体育館を解放しており、住民が利用しています。	* ボランティアのために空き教室を開放するなど地域に開かれた学校が実現できていますので、今後は、図書室なども開放し、さらに多くの住民が学校へ訪れるよう、学校と話し合っていきます。
➤ 子どもたちのために地域の方々が協力をし、教科学習、クラブ活動、校庭の樹木剪定など様々な場面でスクールボランティアを行っています。	* 開かれた学校と、安全・安心の確保の両立は難しいですが、学校を中心とした地域づくりを行い、気軽に地域の人々が来校し、ボランティアが行いやすい環境を整えるなどしていくことで、地域と学校の連携を更に強め、スクールコミュニティを形成していきます。

生涯学習

誇れること・困ったこと	出来ることから始めよう
➤ 身近で学んだり体験したり機会が十分とはいえません。	* 講演、講座、講習などを開き、地域の方々の学びたい意欲を支援していきます。特に子ども達への体験の場を提供したいと思います。

4 防災・防犯

防 災

誇れること・困ったこと	出来ることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> ➤ 災害時の対応は、自助・共助・公助ですが、共助の体制を保つのに若い人が不足しています。 ➤ 災害時の連絡体制や器具の準備が不足しています。また、個々人への啓蒙も不足しています。 ➤ 学校での防災訓練や育成会による災害時救助訓練を実施していますが、地域防災訓練への参加に繋がっていません。また、自主防災組織による防災 	<ul style="list-style-type: none"> * 若い人に頼っていても、昼間に発災したときなどは地域に若い人がいないことが想定されますので、日頃の防災訓練でも若い人がいないことを想定して行い、また、消防団や防災リーダーOBの活用、安否確認名簿・災害時に生かせる能力（職業等）のリスト整備など、地域で災害に対応できる仕組みづくりを検討していきます。 * 普段地域にいる、小学校高学年や中学生の協力を得られれば、心強いですので、普段から防災訓練に参加してもらえるように学校と協力しながら進めていきます。 * 地区内の事業者の協力を得て、避難行動マニュアル等を配備するなどし、昼間の発災時に若い

<p>訓練が実施されていない地区もあります。</p>	<p>人を動員できるような協力体制を整えていくことを検討していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 自主防災組織による防災訓練が行われる地区を増やしていけるよう、働きかけていきます。 * 広域避難所を訓練として実際に開設し体育館に一泊してみるなど、より現実的な訓練を検討していきます。 * 地域の方々を対象に救命・救護講習を開催するなどし、災害に強いまちづくりを進めていきます。
----------------------------	---

防 犯

誇れること・困ったこと	出来ることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 小田原厚木道路の二宮インターが近くにあり、地域以外の車輛の往来がとても多いという事情のため、防犯・交通安全に対する意識が高く、小田原市内で初めて認定された青パト（青色回転灯装備車）を使用した「橘ブルーアイズ」が結成され、パトロールに取り組んでいます。 ▶ 橘ブルーアイズが地域の防犯活動に大きく貢献しており、また、自治会・各種団体などと連携を深め、より防犯効果の高い、細やかな見回り活動をしています。 ▶ 学校の周りでは、PTAと民生委員児童委員とボランティアが毎日10人以上で協力をして、見回り活動を行っています。 ▶ 「下校時見守り隊」を結成し、小学生の登下校時に見守り活動を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> * 橘ブルーアイズは、より高い防犯効果を生むため、自治会・各種団体などと連絡を密にし、見回り回数を増やしていきます。 * 防犯の目が光っているというアピールも大事ですので、地域で防犯の目が光っていることを周りから見ても分かるように、パトロール以外のウォーキング、散歩などのちょっとした外出時でも防犯帽子や防犯ジャケットを着用することを意識していきます。 * 地域住民の顔が見える関係も防犯に役立ちますので、普段からの路上でのあいさつや登下校時の子ども達への声かけなど、コミュニケーションを心がけていきます。 * 多世代の地域の方々に子どもを見守る仕組みづくりをしていくため、地域活動に参加しやすい環境をつくっていきます。 * 各団体をまとめる体制を作っていくため、自治会において防犯専門の部会、あるいは組織が立ち上げられないか、検討を行います。 * 健康づくりのために散歩をする住民が増えているので、歩きながらでも見守りができるような意識の向上を図っていきます。

5 健康・福祉

子育て

誇れること・困ったこと	出来ることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> ➤ こゆるぎの完成により、幼児とその保護者が利用する子育てサークルの活動の幅が広がり、親子が一緒に参加することができるようになってきています。 ➤ 小学生の子ども同士が集まって遊んだり、上級生が下級生の面倒をみるなどの子ども同士の関係が希薄になってきました。 ➤ 子ども会に入会する家庭が減少し、子ども会の存続が難しくなり休会となる地区も出てきています。そのため、地域行事へ参加する子どもが少なくなってきました。 ★ 下中幼稚園の園庭が芝生化されています。 	<ul style="list-style-type: none"> * 子育てボランティアの活動を推進し、地域における子育て支援を充実していきます。 * 子どもが安心して遊べる場所・環境を地域でつくっていきます。 * 放課後の学校を利用して、子どもの居場所づくりのため、放課後児童クラブが開設されていますが、勉強やスポーツ、文化芸術活動、地域の方々との交流等の機会を提供し、子どもたちを心豊かで健やかに育むことを目的とした「放課後子ども教室」の設置に向けて、取組を進めていきます。 * お祭りや子ども会の活動などを通じて子ども同士の絆を強めていくとともに、子ども自身が企画運営するような行事など、上級生が下級生の面倒を見ていくような関係づくりのための地域行事の実施を検討していきます。 * 各団体が連携し、より良い解決策や、子ども達の行事参加方法などを検討していきます。 * 地域が下中幼稚園の園庭を活用し、世代間交流につなげていくなど検討していきます。

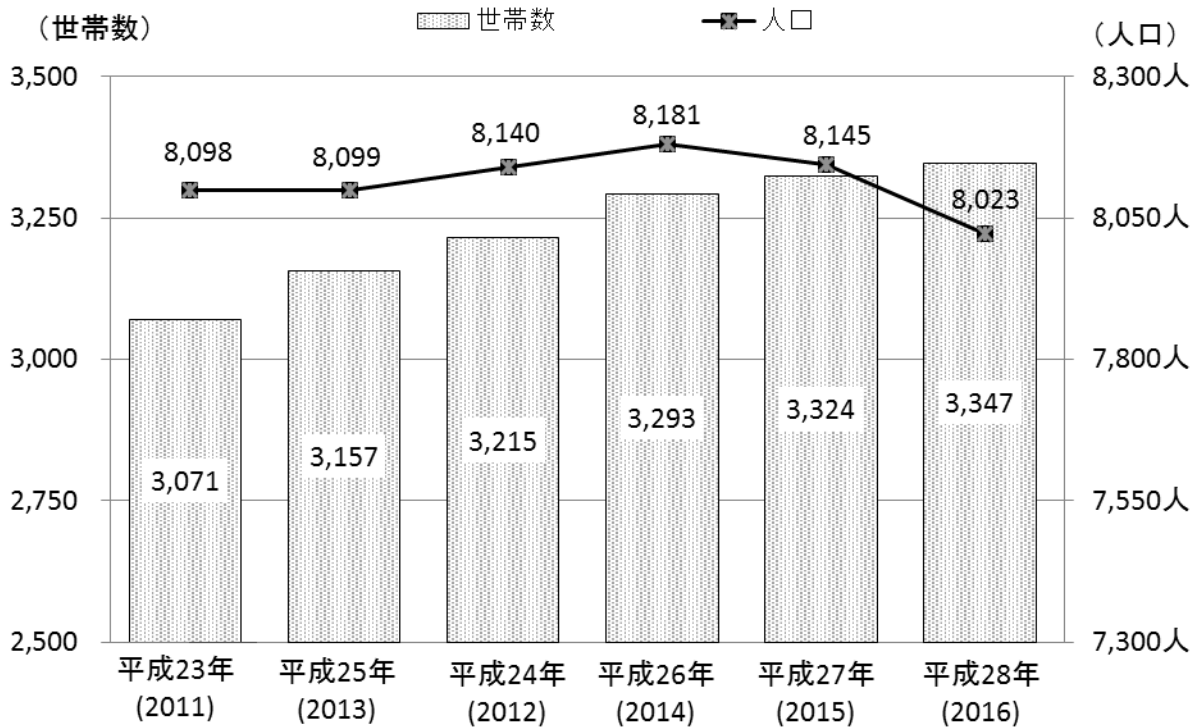
高齢者

誇れること・困ったこと	出来ることから始めよう
<ul style="list-style-type: none"> ➤ これから地域内に高齢者が増加することが予想されますが、高齢者の持っている知恵と経験を地域のために発揮できる機会が少なく、また交通手段の問題があります。 ★ 「趣味の作品展」や「早朝歩こう会」、カラオケ教室、サロン活動など、高齢者の参加しやすい行事が行われています。 ➤ 一人暮らしの高齢者が増えており、地域での見守りを厚くする必要があります。 ➤ 休憩場所やベンチが少ないため、高齢者などが散歩するときに休憩する場所がありません。 	<ul style="list-style-type: none"> * 地域活動のPRと声かけ、交通手段の確保によって、活動の楽しみを見出し、高齢者自らが地域活動に参加するためのきっかけをつくっていきます。 * 地域活動は、地域への恩返しであるという意識の醸成や、自己実現、生きがいといった観点から、参加者同士のコミュニケーションづくりを更に図っていきます。 * ベンチ等を設置するスペースを探し、設置について検討していきます。

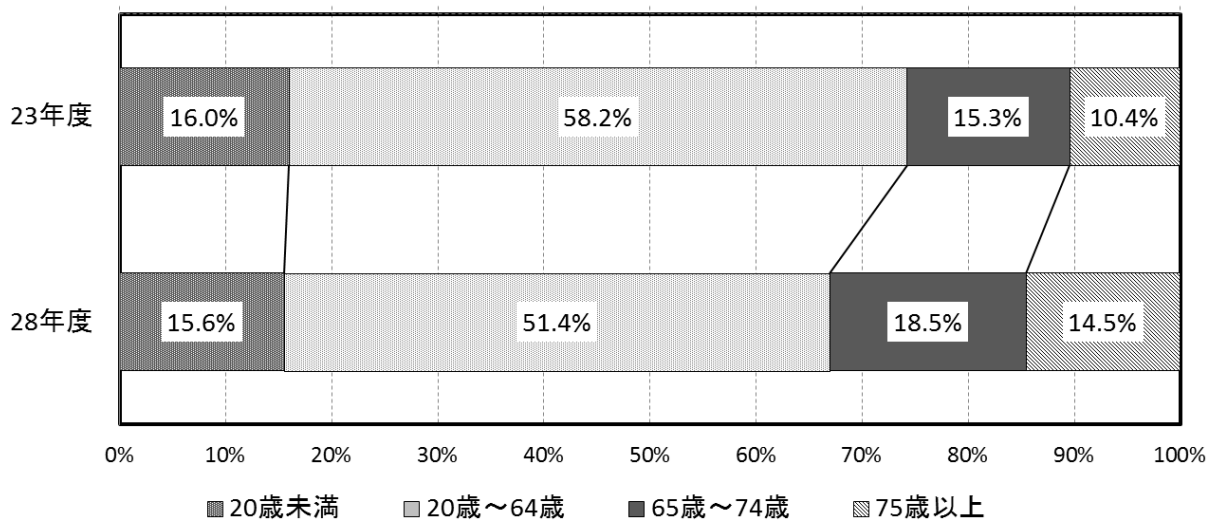
参考資料(橘北地区)

※住民基本台帳による4月1日の推計人口を基に算出

人口と世帯数の推移



高齢化の比較(平成23年度と平成28年度)



橘北地区まちづくり委員会での検討経過

会議名	日にち	内容
総会	3月19日(土)	地域別計画の見直しについて、橘北地区まちづくり委員会で見直ししていくこととなった。
役員会	4月23日(土)	地域政策課から役員に地域別計画の見直しについて説明
三役会	6月18日(土)	地域政策課から3役に説明 ⇒見直しの詳細について承認
三役会	7月9日(土)	地域政策課から3役に説明 ⇒委員に記入用紙を郵送し、返信していただくことが決定
	8月6日(土)	委員等に記入用紙を配布 ⇒各委員が記入(9月10日締切)
役員会・子どもに関する意見交換会	8月25日(金)	地域別計画の見直しについて、質疑応答
三役会	9月10日(土)	今後のまとめ方、進め方について承認
	8月～10月	記入用紙の回収 ⇒地域政策課で集約
全体会	11月6日(日)	内容の修正・追加をした橘北地区地域別計画を委員へ配布 委員からの意見を基に再度修正案を作成し、役員会で承認されれば、見直し作業終了となる旨説明 ⇒承認
	11月14日(月)	橘北地区地域別計画への意見募集締め切り
三役会	12月10日(土)	役員会資料の橘北地区地域別計画(全体会案)を三役が事前に確認・意見交換
役員会	12月17日(土)	橘北地区地域別計画(全体会案)を役員が確認・意見交換→承認へ

橘北地区まちづくり委員会

平成 28 年 11 月現在

役 職	団体名	職 名	氏 名
委員長	橘北地区自治会連合会 湘南橘台住宅自治会	会長 会長	田中 正俊
副委員長	橘北地区自治会連合会 さつきが丘自治会	副会長 会長	相田 裕二
副委員長	橘北地区自治会連合会 中村原第 6 区自治会	副会長 会長	中垣 勉
会計	橘北地区自治会連合会 若葉台自治会	会計 会長	大場 道博
監事	中村原第 7 区自治会	会長	重田 雅彦
監事	中村原住宅自治会	会長	鈴木 武
常任理事	橘北地区社会福祉協議会	会長	山下 隆士
常任理事	青少年健全育成協議会	会長	清水 玲子
常任理事	民生委員児童委員協議会	会長	高橋 治彦 石塚 ミドリ (12/1~)
常任理事	橘北体育振興会	会長	添田 充正
常任理事	小田原市消防団第 22 分団	分団長	高橋 忠順
常任理事		小田原市議会議員	加藤 仁司
理事	橘北地区ボランティアクラブ	会長	阿部 眞澄
理事	下中学区連合こども会育成会	会長	猪股 将治
理事	交通安全協会橘北支部	支部長	深澤 延弘
理事	下中老人クラブ連合会	会長	津田 政宏
理事	下中小学校 P T A	会長	脇 純一
理事	橘中学校 P T A	副会長	佐々木 有紀
理事	下中小学校	校長	鈴木 一也
理事	橘中学校	校長	岩崎 由美子
理事	下中幼稚園	園長	山田 加居
理事		橘地区保護司	廣本 まさ子
理事	下中駐在所		片瀬 重信
委員	中村原第 1 区自治会	会長	篠田 守義
委員	中村原第 2 区自治会	会長	多田 文男
委員	中村原第 3 区自治会	会長	峯尾 俊一
委員	小船第 1 区自治会	会長	船津 宣夫
委員	小船第 2 区自治会	会長	石塚 八郎
委員	上町自治会	会長	早野 耕右
委員	山西自治会	会長	田中 伸義
委員	沼代自治会	会長	江川 到
委員	小竹打越自治会	会長	岸 広久
委員	小竹坂呂自治会	会長	栗山 光信
委員	小竹下自治会	会長	野地 諭
委員	明沢自治会	会長	秋沢 武雄
委員	小竹脇自治会	会長	岸 文雄
委員	橘団地一般住宅自治会	会長	土井 浩義

平成 29 年 2 月 作成

